

99-84

90  
87

名和昆蟲研究所編輯部編

日本鱗翅類汎論

全

發行所

名和昆蟲研究所

99-84



請君毋持心

著者

師友

是長田升小造等

明治 38 6 26  
内交

三年一八八五

長野菊次郎氏ハ夙ニ昆蟲學研究ニ心ヲ傾ケ特ニ鱗翅類專攻ノ志望ヲ抱キ屢々當所ニ來リテ博ク内外ノ書ヲ參考シ或ハ標本ニ就キテ之ヲ究明セラル、茲ニ數年其間氏ハ常ニ適切ナル參考書ナキヲ慨キ銳意熱心ニ事ノ細大ヲ問ハズ悉ク標本ニ基キ敢テ諸書ニ泥マズ或ハ身ヲ飼蟲ノ勞ヲ取り未ダ世ニ知ラレザル幾多ノ事實ヲ探リ其得ル處頗ル多カリキ然レドモ氏ハ素ト小成ニ安セズ益其蘊奧ヲ窮メントテ米國留學ヲ企テ昨年此地ヲ去ラル、ニ當リ從

來氏が研究ノ一端ヲ草シテ當所ニ遺サレタリ今之  
レテ世ニ公ニシ一ハ氏ノ勞ニ酬ヒ一ハ後進者ノ便  
ニ供セン爲メ茲ニ稿ヲ整ヘ今回當所ヨリ發行スル  
所以ナリ

明治三十八年六月

名和昆蟲研究所長 名和靖

### 自序

余岐阜ニ假寓セル際少シク本邦産ノ鱗翅類ニツキテ研究センコトヲ志シ、ニ  
斯學ニ忠實ナル名和靖君ハ是ニ關スル研究ノ材料ヲ給セラレタルノミナラズ  
同君貯藏ノ貴重ナル標本ト參考書トヲ自由ニ閱覽スルコトヲ許サレタルハ實  
ニ余ノ深ク肺肝ニ銘シテ忘ル、能ハザル所ナリ今ヤ余一時岐阜ヲ去ルニ當リ  
從來見且ツ記シタル草稿ヲ一括シタルモノ即チ此書ニシテ之ヲ同君ニ呈スル  
所以ノモノハ其厚意ノ一分ニ酬井ン爲ナリ杜選粗漏誤謬ノ點ハ余ノ研鑽未タ  
到ラザル今日ニ於テハ自ラ之ヲ判スルコト能ハズ他日誓テ之ヲ訂正センコト  
ヲ期ス

圖版ノ原寫眞ハ名和正君ノ手ニ成リ挿圖ハ重ニ伊藤七郎君ノ手ニ成リテ名和  
愛吉氏ノ之ヲ補助セラレタルアリ文辭ノ校正ハ小竹浩君小森省作君ノ力多キ

ニ居レリ又目下遠ク滿洲ノ野ニ從軍セラル、森宗太郎君ノ嘗テ盡サレタル厚  
意等ハ孰レモ著者ノ深ク感謝スル所ナリ

明治三十七年九月二十日岐阜ヲ去ルニ際シ

長野 菊次郎 識

### 緒言

此書ノ組織ハ重ニヘルビ氏ノ蝶蛾譜 Berge's Schmetterlings buch. ノ順序ニ據リ又之ガ増補翻譯トモ見  
ルンキカービー氏ノ歐羅巴蝶蛾譜 Kirby's European Butterflies and Moths 並ニ其訂正増補ナル The  
Butterflies and moths of Europe ヲ參考シ其他數十種ノ外國書ヲ考查シタリト雖モ構成ノ材料ニツキテ  
ハ殆ンド本邦ノ事實ヲ採レリ。

蝶類ノ和名ニツキテハ先輩ノ定ムル所アリ特ニ宮島氏ノ日本蝶類圖說ノ如ク既ニ一括セラレタルモノ  
アルヲ以テ此書ノ和名ヲ採用スルニ當リ全然宮島氏ニ據ランコトヲ再三熟考シタレドモ種々ノ理屈ヨ  
リシテ悉ク同氏ノ選定ニ從フ能ハザル事情アリ故ニ往々他賢ノ選定セラレタルモノヲ採用シタリ然レ  
ドモ余ノ新ニ命ジタルモノハ一モアルコトナシ

蛾類ノ和名ニツキテハ次ニ擧ゲタル余ノ意見ヨリシテ大部分ヲ改稱シ又新和名ヲ下シタルモノ多シ余  
ノ此大膽ナル所爲ニ對シテハ大方諸賢ノ叱咤非難ヲ受クル事敢テ期スル所ナリ然レドモ余ハ素ヨリ之  
ヲ強フルモノニアラザルガ故ニ從來命ゼラレタル名ハ皆之ヲ記載セリ之ガ収拾ノ如何ハ諸賢ノ公平ナ  
ル判斷ヲ俟ツ此書ハ當初總論ノミヲ通俗的ニ記述スル計畫ナリシニ中途ヨリ俄ニ分類篇ヲ加フルコト  
、ナリシヲ以テ同篇ノ如キハ一層不完全ナリ特ニ種ノ記述ニツキテ簡單ニ失スルハ紙數ニ制限アレバ  
ナリ他日ノ訂正増補ヲ期ス

本文中ノ挿圖ハ外國書ヨリ引用シタル少數ヲ除クノ外ハ名和氏ノ原圖ト余ノ原圖トヨリ成レリ  
 圖版ハ第七版ノミ少シク縮小スレドモ其他ハ皆自然大ナリ技術不進歩ノ今日ニ於テハ満足ヲ讀者ニ與  
 フル能ハザルコト遺憾ナリ二三重複ノ種アルハ撮影ノ際多數ノ標本中ヨリ比較的恰好ナルモノヲ選擇  
 スルニ當リ配列ヲ誤リタルモノナリ敢テ他意アルニ非ス

明治三十七年十月二日

著述者識

### 鱗翅類ノ和名ニ對スル卑見

動植物ノ名稱ニツキ純粹的學問上ヨリイハバ、學名ダニアラバ和名ノ必要ナキコト固ヨリ論ナシトイ  
 ヘドモ、歐米人ガ學名ヲ記憶スルコトハ吾人ニ比シテ數倍容易ナルニモ關セズ尙各國其俗名アルヲ見  
 レバ、和名モ亦決シテ捨ツベキニアラズ、乃チ換言スレバ、學名ハ學問的、和名ハ通俗的ニシテ共ニ必  
 要ヲ感ズルモノナリ。苟モ和名ニシテ必要ナル以上ハ、之ヲ命ズルニモ多少ノ規約即チ標準ヲ定メテ  
 是ニ準據シ、各人各箇ニシテ殆ンド統一ナキコトハ大ニ避ケザル可カラザルコト固ヨリ余ノ喋々ヲ俟タ  
 ザルナリ。顯花植物ニハ幸ニモ古人ノ早ク是ニ注意セシ結果、和名ノ大勢既ニ定リタリシニヨリ新ニ  
 和名ヲ命ズルニモ左程ノ困難ヲ感ゼザルノミナラズ、古人ガ多少ノ研鑽ヲ積ミタルト比較的區別ノ容  
 易ナルトニヨリ系統的關係ヲ示スニ足ルベキ名稱ノ既ニ多クアリシコト例ヘバ菊科ニ屬スルモノニハ  
 語尾ニきくヲ有シ、蘭科ニ屬スルモノニハらんヲ有スルゴトキハ實ニ吾人ノ多トスル所ナリ。然レド  
 モ昆蟲ノ如キニ至リテハ普通ナルモノ特ニ大形ナルモノ、少數ニノミ和名ヲ存セシニ過ギザリシヲ以  
 テ、新ニ和名ヲ命ゼントスルニ當リテ非常ノ困難ヲ感ズルコトハ諸學者ノ經驗セラレシ所ナラン。余  
 少シク鱗翅類ヲ研究スルニ際シ、之ガ不便ヲ感ズルコト少カラズ、然リ而シテ今日ニ於テ之ガ基礎トナ  
 ルベキ標準ヲ定メザレバ後來非常ノ混雜ヲ生ジ、後進者ヲシテ殆ンド其據ル所ヲ知ラザラシメンコトヲ

憂ヒ、聊カ余ノ卑見ヲ草シテ大方諸賢ノ叱正ヲ請ハント欲スルモノナリ（此篇重ニ鱗翅類ニツキテ論ズレドモ他ノ昆蟲ニモ亦適用スベキコトヲ信ズ）。和名ハ固ヨリ學名ノ如ク一定ノ規約ノ下ニ命ズルモノニアラザルヲ以テ、固ヨリ分類ノ要素ヲ含蓄スルモノニアラザレドモ、一和名ニシテ確定セシ以上ハ永久變更スル必要ナキヲ以テ、彼ノ學名ガ分類學ノ進歩ト共ニ幾回モ其變更ノ必要ヲ生ズルニ比シ大ニ便利ナル點アルナリ、此點ヨリ謂ハ、和名ハ唯物ノ符牒トシテ如何ナル名稱ヲ附スルモ妨ナク唯早ク定メタル人ノ名稱ヲ墨守スレバ其ニテ事足ルガ如シト雖モ、生物ノ討究漸次密ナルニツレテ漸次其數ヲ増スニ當リ、之ヲ識別スルニ便ナラシムルニハ如何ナル方法ニヨル可キカハ大ニ吾人ノ考慮セザル可カラザル所ナリ。幸ニ蝶ニハ畧一定ノ和名定リテ分類上ノ關係サヘ多少存セルコト、例ハバ鳳蝶屬ニハ多クあげばノ語尾ヲ有シ豹文蝶屬ニハへうもん、蛺蝶屬ニハたては等ノ如キ、其他屬ヲ異ニスルモ同科ノモノニテ同ジ語尾ヲ有スルは小灰蝶科ニ於ケルし、蛇目蝶科ニ於ケルじやのめ等ノ如シ。是等ハ記憶ノ上ヨリイフモ、系統上ヨリイフモ、最モ適當ナル和名ト信ズルナリ。然ルニ蛾類ニ至リテハ天蛾科ノ多數ガすいめノ語尾ヲ有シ、硝子蛾科ノモノガすかしバノ語尾ヲ有セル如ク、一二蝶類ト同一撤ニ出デタル例ナキニアラズト雖モ、其他ハ實ニ亂雜極リナク、甚シキハ幼蟲ノ名カ成蟲ノ名カ判ジ難キモノサヘアリ。抑蛾ノ名稱タル蝶ノ名稱ヨリ推スモ、固ヨリ成蟲ニツキ命ズベキモノニシテ幼蟲ノ名其儘ヲ成蟲ニ宛ツベキニアラズ、然レドモ蛾ハ其色彩紋理蝶ノ如ク顯著ナラザル

ト、比較的小形ノモノ多キト、其種ノ多數ナル等ハ之ガ和名ヲ命ズルニ非常ノ困難ヲ感ゼシメ、止ムヲ得ズ往々幼蟲ノ名ヲ成蟲ニ宛テ、或ハ其ノ下ニ蝶或ハ蛾ノ文字ヲ加ヘタルコト、例ハバさくらけむし蝶或ハ蛾、いばたのいもむし蝶（蛾）等ノ如シ。若シ櫻又ハ白蠟樹ニ生ズル幼蟲ガ一種ナラバ此和名ニテ少シモ妨ゲナシト雖モ、櫻ノ毛蟲ニモ白蠟樹ノ烏蠟ニモ今日既ニ數種アリ、又討究ノ進ムニ從ヒ今日知ラレザル幼蟲ノ増加スルコト疑ナキヲ以テ、漸次混雜ヲ加フルヤ必セリ。特ニ或ル人ハ蝶ト呼ビ或人ハ蛾ト稱アルナド一層ノ亂雜ヲ生ズル原因ナリ。抑蝶ト蛾トノ區別ニツキテハ分類學上判然タル區別アルニアラネドモ、若シ區別ヲ主トスル点ヨリ云ヘバ和名ニモ蝶、蛾ヲ區別スルコト必要ナラン、唯蛾ノ文字ヲ語尾ニ附スルニ當リ大ニ其口調ヲ害スルニヨリ世ノ諸賢ノ之ヲ採用スルニ躊躇スル所アラント信ズ。然レドモ一歩進ミテ思考スレバ、蝶或ハ蛾ノ文辭ヲ附スルト附セザルトハ、草ニ對シテくさヲ附シ木ニ對シテきヲ附スルト同一ニシテ、或ル場合ニハ殆ンド無意味ノモノナリ。例ハバさむぎは、るりたては、やまとしゅうみ等ニテ少シモ妨ゲナク、必シモ蝶ヲ附スルノ必要ナキナリ。故ニ余ハ蛾ニ命名スルニモ蝶蛾ノ語尾ヲ附セズシテ成語ヲナスモノヲ選ビナバ少シモ蝶蛾ニ拘泥スル必要ナク、若シしじみガ貝類ノ蛤ト混ジ、すいめガ鳥ノ雀ト混ズル様ノ場合ニ際シ蝶或ハ蛾ヲ附スルハ諸人ノ心ニ任ジテ可ナラント信ズ、故ニ余ハ和名ヲ命ズルニ略ホ左ノ標準ニ據ランコト如何ニト愚考スルモノナリ。

- 一 成蟲ニヨリテ命ズルコト。
  - 二 近縁ノモノニハ成ルベク同一基名ヲ用キルコト。
  - 三 外部ニ現ハレタル形態ノ特徴ニヨルコト (例ヘバ觸角ノ形狀、眼球ノ色彩、脚ノ形狀、翅ノ色彩紋理形狀大小厚薄闡明、軀軀ノ形狀色泽、其全體ノ狀貌等)。
  - 四 形態ニヨラザルモノハ他ト區別スベキ名辭ヲ基語ニ冠スルコト (例ヘバ人名「古來ノ英雄、名譽學者、功勞アル人等」鬼神ノ名「鬼、魔等」地名「始メテ採集シタル地、分布ノ地、多産ノ地等」其他顯著ナル名辭)。
  - 五 學名ノ意味ヲ採ルコト。
  - 六 嗜食植物ノ名ヲ冠スルコト。
  - 七 習性ニヨルコト。
  - 八 口調ヲ好クスルコト。
- 尙少シク之ヲ詳論センニ、第二ニ舉ゲタル基名トハ鳳蝶屬ニ於ケルあげはテフ名辭ニシテ、其あげはハ即第七ノ習性ヨリ來リタルナリ、之ヲ基名トシテ是ニ黃或ハ黑等ヲ加テ以テ種ヲ區別スルハ翅ノ色ヲ冠シタルナリ。又松村博士ガ *Acronycta* 屬ニハ、複眼ノ後方ニ黒斑アルニヨリ同屬ノモノニハ「くろ」ノ基名ヲ命ジテ是ニ麻、櫻、杏等ノ名辭ヲ加ヘテ種ヲ區別セラレタルハ、即第六ト第二トノ結合ニ

ヨルナリ、其他硝子蛾科ニテハすかしバガ基名トナリテ、或ハ蝦夷、葡萄、小等ノ文辭ノ冠セルハ皆前條ニ適合スルモノナリ。但シ基名ハ口調ノ都合或ハ他ノ理由ニヨリ必シモ語尾トナラザルコトモアラシ。又第五ノ學名ノ意ヲ採ルニ當リ、其種名ガ既ニ形狀、色彩等ニヨリテ命ゼラレタルトキハ、則チ其實第三ニ據ルト同一ナレドモ、種名ガ人名或ハ地名等ニヨリテ成レルトキハ宜シク是ニ基名カ又ハ他ノ言辭ヲ加ヘザレバ混雜ヲ生ズル恐レアルナリ。例ヘバじよねす氏 (Jonas) 紀念トシテ命ジタル種ニ對シ直ニじよなし蝶(蛾)ト命ズルトキハ *Neoris* (*Caligla*) *Jonasi* 或 *Catocala Jonasi* モ同一トナリテ既ニ今日此兩種ハ同一和名ヲ有セリ。

前述ノ理由ニヨリ余ハ野蠶蛾科ニ屬スル各種ニ對シ舊來ノ和名ヲ改正セント欲ス、今日ニテハ野蠶蛾科ヨリ分離シタルドモ從來同科ニ隸シタル彼ノいぼたむしてふト云ハル *Brahmia japonica* ニハ古來蜀江錦ノ和名アルニヨリ之ヲ根據トスルト同時ニ、此科ニ屬スルモノハ紋理モ美麗ナルニヨリにしきヲ以テ之ガ基名トシ、各種ノ錦ヲ此等ノ各種ニ配當スルコト左ノ如シ。

新稱	舊來ノ名	學名
ヤマトニシキ	やまのゆのてふ、やまのゆのが	<i>Antheraea yamamai</i> Guer.
カラニシキ	さくさん	<i>Antheraea pernyi</i> Guer.
アヤニシキ	しんじゆさん	<i>Philosamia cyathia</i> Dru.



オホアヤニシキ  
ツバリノニシキ  
エゾニシキ  
アヅマニシキ  
アラニシキ

てぐすのでふ、くりけむしのが  
じよなしてふ  
やまかますてふ、やまかますのが、つりびく  
たほみづあをてふ、たほあをが

Attacus atlas L.  
Caligula japonica Moore.  
Neoris jonasi But.  
Rhodia fugax But.  
Tropaea artemis Brem.

此ノ如ク殆ント獨斷的ニ和名ノ改正ヲ計ルコト實ニ唐突ノ至リニシテ、大ニ諸賢ノ叱咤ヲ受ケンコト固ヨリ期スル所ナレドモ、今日ニ於テ大英斷ヲ施シ根本的ニ基礎ヲ定メテ和名ノ統一ヲ謀ルニアラザレバ千歳ノ後、後進者ヲ如何ニセン、況ンヤ本邦産数千ノ蛾ニ對シ如何ニシテ和名ヲ命ゼントスルカ併シ余ハ唯余ガ卑見ヲ發表スルノミナレバ、敢テ諸賢ニ對シテ余ノ説ヲ強フルモノニアラズ、大ニ諸賢ノ忠言ニ從ヒテ唯其標準ノ大體ナリトモ一定センコトヲ希望スルモノナリ。大方ノ諸君幸ニ余ノ卑見ノ誤レル所ヲ教示セラレナバ余ハ喜ンデ其教ニ從ハンノミ。

### 日本鱗翅類汎論目次

第一篇 總論	一
第二篇 形態篇	三
第一章 卵	四
第二章 幼蟲	八
第三章 蛹	三二
第四章 成蟲	三六
第三篇 通論	七八
第一章 生存上ニ於ケル彩色及裝置	七八
彩色 擬態 警戒色 雌雄淘汰 保護的裝置	

第二章 分布	八一
第三章 鱗翅類ノ効用	八四
第四章 有害ノ鱗翅類	八五
第五章 鱗翅類ノ敵	八七
第六章 疾病	八九
第四篇 分類篇	九〇
蝶亞目	九二
第一 鳳蝶科	九二

一 あげはのてふ。二 きあげは。三 からすば	
あげは。四 くるあげは。五 ねながあげは。六	
じやかうあげは。七 もんきあげは。八 しるね	
ひあげは。九 ながさきあげは。一〇 あなすぢ	
あげは。一一 みかどあげは。一二 きしたば	
あげは。一三 きふてふ。一四 ひめぎふてふ。	
一五につこうしるてふ。	
第二 粉蝶科	九六
一六 ひめしるてふ。一七 えぢしるてふ。一八	
もんしるてふ。一九 すぢぐるてふ。二〇 つま	
きてふ。二一 もんきてふ。二二 みやまらんき	
てふ。二三 やまきてふ。二四 きてふ。二五	
つまぐるきてふ。二六 つまべにてふ。	

第三 斑蝶科

九九

二七 あまぎまだら。二八 かばまだら。二九  
すぢぐるかばまだら。三〇 リウキウあまぎまだ  
ら。三一 ねほりまだら。

第四 蛱蝶科

一〇〇

三二 あなたてはもぎ。三三 たてはもぎ。  
三四 むもんたてはもぎ。三五 ひめいちもじ  
三六 えぢいちもじ。三七 はやたては。三八  
きたては。三九 ひなをとしてふ。四〇 ひめひな  
を。四一 くじやくてふ。四二 こひなを。  
四三 きべりたては。四四 るりたては。四五  
あかたては。四六 ひめあかたては。四七 いし  
かきてふ。四八 うらぎんへうもん。四九 ねほ  
うらぎんへうもん。五〇 くまべりうらぎんへう  
もん。五一 うらぎんすぢへうもん。五二 ねほ  
うらぎんすぢへうもん。五三 へうもんてう。五  
四 こへうもん。五五 ひめへうもん。五六 ぎん  
すぢへうもん。五七 めすぐるへうもん。五八  
つまぐるへうもん。五九 へうもんもぎ。六〇  
こへうもんもぎ。六一 みすぢてふ。六二 は  
やしみすぢ。六三 ねほみすぢ。六四 リウキ  
ウみすぢ。六五 ほしみすぢ。六六 ふたすぢて  
ふ。六七 いちもぢてふ。六八 ねほいちもじ。

二

第六 天狗蝶科

一一五

六九 こむらさき。七〇 むらさきてふ。七一  
ごまだらてふ。七二 あかほしごまだら。七三  
すみながし。七四 リウキウむらさき。七五 ふ  
たてふ。七六 このはてふ。

第五 蛇目蝶科

一一一

七七 こじやのめてふ。七八 うすいろこじやの  
め。七九 ひかげてふ。八〇 くらひかげてふ。  
八一 くらひかげもぎ。八二 ひめきまだらて  
ふ。八三 きまだらもぎ。八四 じやのめもぎ  
き。八五 きまだらてふ。八六 うらじやのめ  
八七 かすりひかげ。八八 じやのめてふ。八  
九 ひめうらなみじやのめ。九〇 うらなみじや  
のめ。九一 ひめひかげ。九二 ちやまだらひか  
げ。九三 このまてふ。

第七 小灰蝶科

一一六

九五 ごいしじみ。九六 こしじみ。九七 ひ  
めしじみ。九八 いぶりしじみ。九九 ねほり  
しじみ。一〇〇 えぢしじみ。一〇一 うぢむら  
さきしじみ。一〇二 へりほしじみ。一〇三  
ねがさばらしじみ。一〇四 しじみてふ。一〇五  
やまさしじみ。一〇六 べにしじみ。一〇七 つば

蛾亞目

一一三〇

第一 天蛾科

一一三〇

一五七 えびがらすすめ。一五八 めんがたすす  
め。一五九 しもふりすすめ。一六〇 えびがら  
すすべにすすめ。一六一 くらすすめ。一六二  
さざなみすすめ。一六三 ほそばすすめ。一六四  
さびいろすすめ。一六五 ももすすめ。一六六  
くちばすすめ。一六七 ねほしもふりすすめ。一  
六八 ぎんぼすすめ。一六九 ひまごすすめ。一  
七〇 うんもんすすめ。一七一 うちすすめ。一  
七二 えぢすすめ。一七三 すきはほれじやく。  
一七四 くるすかしば。一七五 ねほすかしば。一  
七六 くるますすめ。一七七 くらくもすすめ。一  
七八 ひめほうじやく。一七九 ひめくるほうじ  
やく。一八〇 くらほうじやく。一八一 ほうじ  
やく。一八二 いぶきすすめ。一八三 べにすす  
め。一八四 ひめすすめ。一八五 きいろすすめ

目次

三

第八 弄蝶科

一一二五

めしじみ。一〇八 うらなみしじみ。一〇九 く  
ろしじみ。一一〇 るりしじみ。一一一 むらさ  
きつばめ。一一二 るーみすしじみ。一一三 こ  
つばめ。一一四 うらぎんしじみ。一一五 あか  
うらつばめ。一一六 みやまからすつばめ。一一  
七 リんごつばめ。一一八 ふぢぐるあなつばめ  
一一九 あなつばめ。一二〇 めすあかみどりつ  
ばめ。一二一 うらじろしじみ。一二二 うらす  
ぢつばめ。一二三 つまぐるあなつばめ。一二四  
うらなみあかつばめ。一二五 あかつばめ。一二  
六 こいしつばめ。一二七 つばめてふ。一二八  
うすいろつばめ。一二九 ぎんつばめ。一三〇  
うらぎんしじみ。一三一 るりつばめ。一三二  
きまだらつばめ。

一八六 したべにすすめ。一八七 こすすめ。一八八 せすすすめ。一八九 いっほんせすすすめ。一九〇 びろうごすすめ。一九一 たかさこすすめ。

第二 雛鹿子蛾科

一三八

一九二 ひなかのこ。

第三 硝子蛾科

一三九

一九三 えがすかしば。一九四 おごうすかしば。一九五 こすかしば。一九六 きんすぢすかしば。一九七 ほしすかしば。一九八 きんもうすかしば。一九九 ももぶすかしば。

第四 緋鹿子蛾科

一四一

二〇〇 ひめくろうすば。二〇一 りくろうすば。二〇二 くろうすば。二〇三 あなほだくろうすば。二〇四 きまだらくろうすば。二〇五 きほしくろうすば。二〇六 むのげうすば。二〇七 せひがの。

第五 星鹿子蛾科

一四三

二〇八 きはだしろほしかのこ。二〇九 しろほしかのこ。

第六 蚕蛾科

一四四

二一〇 しろむびほたる。二一一 しろむびほたるもぎき。二一二 こしきほたる。二一三 リウ

きうりほたる。二一四 うすばつばめ。

第七 擬鳳蝶科

一四五

二一五 あげほもぎき。

第八 錨紋蛾科

一四六

二一六 かばいろいかり。

第九 小緑蛾科

一四七

二一七 もんきこみどり。二一八 あかへりしろうすぢこみどり。二一九 しろうすぢこみどり。

第十 地衣蛾科

一四八

二二〇 こまだらほしたば。二二一 べにいろめなみ。二二二 べにいろなみ。二二三 きいろなみ。二二四 べにいろめなみもぎき。二二五 あかまだら。二二六 あかへりくろすぢ。二二七 きべりうすねすみ。二二八 うすきれすみ。二二九 ひめきべりうすねすみ。二三〇 ほしすぢれすみ。二三一 きべりれすみ。二三二 かばいろふたほし。二三三 きいろこまだら。二三四 あかすぢしるば。

第十一 燈蛾科

一五一

二三五 くろすぢもぎき。二三六 かばいろべにしたば。二三七 きびいろべにしたば。二三八 かのこぎしたば。二三九 うすかばあかほし。二四〇 にしきあかしたば。二四一 はらあかたほし

第十四 蝙蝠蛾科

一六一

二七五 くもがたかうもり。二七六 ぶびひめかうもり

第十五 避債蟲蛾科

一六二

二七七 をすうすみ。二七八 おほをすうすみ。二七九 ひめをすうすみ。

第十六 蟬寄生蛾科

一六三

二八〇 せみやざりくろば。

第十七 刺蟲蛾科

一六四

二八一 こがねまるば。二八二 みざりまるば。二八三 しろうすぢまるば。

第十八 鈎翅蛾科

一六五

二八四 くろすぢかきば。二八五 きまだらかきば。二八六 きはだかきば。二八七 ふたすぢかきば。二八八 きいろかきば。二八九 やまさかきば。二九〇 うすくろかきば。二九一 あかうらかきば。

第十九 蠶蛾科

一六七

二九二 やまさたから。二九三 やまさたからもぎき。

第二十 野蠶蛾科

一六八

二九四 やまごにしき。二九五 からにしき。二

第十二 毒蛾科

一五五

二五二 こしろたへ。二五三 をびうこん。二五

四だすくろうこん。二五五 ねほねすくろうこん。二五六 はらぐろむびうこん。二五七 ほしうすいろうこん。二五八 うすばしろたへ。二五九 うすぐもしろたへ。二六〇 まだらうすぢめ。二六一 うすばいろば。二六二 くもがたくちば。二六三 をすしろほしきなみ。二六四 ひめをすくろさなみ。二六五 あしぐろしろたへ。二六六 をすくろさなみ。二六七 をすくろうすべにさなみ。二六八 はらあかさなみ。二六九 しりあかさなみ。二七〇 こさなみ。

第十三 木蠹蟲蛾科

一六〇

二七一 こまふうすば。二七二 ふたいろうすきば。二七三 さなみまだら。二七四 こまふまだら。

第二十五 糖蛾科

一七九

第一 擬蠶蛾亞科

一八〇

- 三二七 けんもんほほぐる。三二八 しもふりほほぐる。三二九 れほしもふりほほぐる。三三〇 うすすみほほぐる。三三一 きしたばほほぐる。三三二 さくらほほぐる。三三三 あきほほぐる。三三四 すもほほぐる。三三五 みどりほほぐる。三三六 こうすぐるきのかは。三三七 こけきのかは。

第二 粟夜盜蛾亞科

一八二

- 三三八 ひめうすぐるみつぼし。三三九 あはひまほし。三四〇 あかまびふたすぢ。三四一 きのかほにしき。三四二 よこいちもじ。三四三 へりふたほし。三四四 あかまびうはば。三四五 さびすぢうはば。三四六 わらいろうはば。三四七 ふちなみさびふたすぢ。三四八 こまびふたすぢ。三四九 みつぼしれづみ。三五〇 うんもんきべりしたば。三五一 さびいろきべりしたば。三五二 さびふたすぢ。三五三 わらいろうすぐるしたば。三五四 こしろへりきのかは。三五五 ふたすぢのこぎり。三五六 うちばのこぎり。三五七 みぎりのこぎり。三五八 あかふのこぎり。三五九 もくめうはば。三六〇 しるすぢうはば。

第二十一 蜀江錦蛾科

一七一

三〇二 こやくこうのにしき。

第二十二 梅毛蠶蛾科

一七二

- 三〇三 ひろねびうはば。三〇四 びろうごきすぢ。三〇五 ふたほしかれば。三〇六 かねこのは。三〇七 ひめかれこのは。三〇八 ぎんぼしあはば。三〇九 まつかはまたら。三一〇 きいろまたら。

第二十三 天社蛾科

一七四

- 三一 ころすぢもくめ。三二 ながぐるもくめ。三三 もくめもどき。三四 れほしもふりまなみ。三五 つまきまなみ。三六 ころほしさいなみ。三七 うるがた。三八 もんしろすぢ。三九 かねはふさば。四〇 こふさば。四一 うすぐるふさば。四二 さちまもくめ。

第二十四 擬糖蛾科

- 三二 三三 うめばちまき。三二四 せいかいなみ。三二五 つまじろすぢなみ。三二六 すぢなみほそば。

- 三六一 くらうはば。三六二 れほもくめうはば。三六三 おほくろくしうはば。三六四 やにいろうはば。三六五 みすぢくちば

第三 糖蛾亞科

一八八

- 三六六 うるこひさほし。三六七 みつぼししろしたば。三六八 やばすみつぼし。三六九 こもんみつぼし。三七〇 こみつぼしはいたば。三七一 へりさりくるみつぼし。三七二 こへりさりくるみつぼし。三七三 あかまびうすぐるしたば。三七四 しるやしきしたば。三七五 みざりきしたば。

第四 緑斑糖蛾亞科

一九〇

- 三七六 あなふかすり。三七七 あなふしろかすり。三七八 れほあなふかすり。三七九 こもんくろねび。三八〇 さびいろふたほし。三八一 しらふみつぼし。三八二 くもがくれ。三八三 まつかはみつぼし。三八四 くものすうはば。三八五 かべいろうはば。三八六 はらながみつぼし。三八七 なびもくめ。三八八 ひめほしもくめ。三八九 さびいろひさほし。三九〇 もくめさらき。三九一 くらたけうろこ。

第五 木理夜盜蛾亞科

一九四

- 三九二 あなじろみつぼし。三九三 くらばはい

目次

第二十五 糖蛾科

一七九

第一 擬蠶蛾亞科

一八〇

- 三二七 けんもんほほぐる。三二八 しもふりほほぐる。三二九 れほしもふりほほぐる。三三〇 うすすみほほぐる。三三一 きしたばほほぐる。三三二 さくらほほぐる。三三三 あきほほぐる。三三四 すもほほぐる。三三五 みどりほほぐる。三三六 こうすぐるきのかは。三三七 こけきのかは。

第二 粟夜盜蛾亞科

一八二

- 三三八 ひめうすぐるみつぼし。三三九 あはひまほし。三四〇 あかまびふたすぢ。三四一 きのかほにしき。三四二 よこいちもじ。三四三 へりふたほし。三四四 あかまびうはば。三四五 さびすぢうはば。三四六 わらいろうはば。三四七 ふちなみさびふたすぢ。三四八 こまびふたすぢ。三四九 みつぼしれづみ。三五〇 うんもんきべりしたば。三五一 さびいろきべりしたば。三五二 さびふたすぢ。三五三 わらいろうすぐるしたば。三五四 こしろへりきのかは。三五五 ふたすぢのこぎり。三五六 うちばのこぎり。三五七 みぎりのこぎり。三五八 あかふのこぎり。三五九 もくめうはば。三六〇 しるすぢうはば。

- みつぼし。三九四 かねただみつぼし。三九五 かねただもくめ。

第六 煙草栲葉蛾亞科

一九五

- 三九六 たばこかれは。三九七 うらまたら。

第七 銀紋糖蛾亞科

一九五

- 三九八 ぎんふたほし。三九九 ぎんぼしもどき。四〇〇 おほぎんふたほし。四〇一 おびぎんふたほし。四〇二 かねぎんふたほし。四〇三 かねぎんぼし。四〇四 つまきんうはば。四〇五 しやくごううはば。四〇六 をすふたおび。

第八 巴木葉蛾亞科

一九八

- 四〇七 すぢこのは。四〇八 こすぢこのは。四〇九 うすいろこのは。四一〇 さもろこのは。四一一 こもろこのは。

第九 姫糖蛾亞科

一九九

- 四一二 ひめしらくも。四一三 ひめおびしらくも。四一四 ひめそごるうこん。四一五 ひめへりふたほし。四一六 ひめしらふみつぼし。

第十 白斑糖蛾亞科

二〇〇

- 四一七 しらふうはば。

第十一 松皮糖蛾亞科

二〇〇

- 四一八 まつかはくろくも。

七

第十二 下美蛾亞科

二〇一

- 四一九 しろしたば。四二〇 べにしたば。四二一 ちにあかしたば。四二二 あかしたば。四二三 きしたば。四二四 みやまきしたば。四二五 くもがたきしたば。四二六 おほくもがたきしたば。四二七 こくもがたきしたば。四二八 こきしたば。四二九 もくめきしたば。四三〇 しらふしたば。四三一 ふくらすやめ。四三二 むくげのほ。四三三 こりんもんきまだら。四三四 うんもんきまだら。

第十三 肩黒蛾亞科

二〇五

- 四三五 かたくろひさほし。四三六 こかたくろひさほし。四三七 くろくろはば。四三八 つまぐるろおび。四三九 こつまぐるろおび。四四〇 きしたばもどき。

第十四 巴蛾亞科

二〇六

- 四四一 ねぼさも。四四二 きのぼさも。四四三 あかうらこも。四四四 やまごも。四四五 しろすぢも。

第十五 美糖蛾亞科

二〇八

- 四四六 へにへりうん。

第十六 紫帶糖蛾亞科

二〇八

- 四七五 しろすぢくろあや。四七六 まつかはくろすぢ。四七七 ほそばしもふり。四七八 はいろしもふり。四七九 まつかほしもふり。四八〇 つまほししもふり。四八一 もんしもふり。四八二 つまじろしもふり。四八三 へりしもふりしろすぢ。四八四 みどりしもふり。四八五 こみすぢしもふり。四八六 こすすいしもふり。四八七 うらぎんしもふり。四八八 なみがたしもふり。四八九 ねぼろしもふり。四九〇 くるすぢしもふり。四九一 ひめしましもふり。四九二 へりさりなみしもふり。四九三 へりさりみどりしもふり。

第五 緑尺蠖蛾亞科

二二八

- 四九四 なみがたみどり。四九五 しろすぢみどり。四九六 なみしろすぢみどり。四九七 こなみがたみどり。四九八 こしろすぢみどり。四九九 あかふちなみすぢみどり。五〇〇 なみすぢみどりつばめ。五〇一 しろすぢみどりつばめ。五〇二 むもんこみどりつばめ。五〇三 こしろすぢみどりつばめ。五〇四 ひめなみすぢみどり。五〇五 みどりさらさ。五〇六 だんだらみどり。五〇七 あかふちほしみどり。

第六 鏈尺蠖蛾亞科

二二二

目次

四四七 なびむらさき。

第七六 尺蠖蛾科

二〇八

第一 燕尺蠖蛾亞科

二〇九

- 四四八 きまだらつばめ。四四九 おほきまだらつばめ。四五〇 しろつばめ。四五二 くるすぢしろつばめ。四五三 みどりつばめ。

第二 朽葉尺蠖蛾亞科

二一〇

- 四五三 こがれくちば。四五四 ねぼろがれくちば。四五五 ふたすぢくちば。四五六 こころほしくちば。四五七 すそむらさき。四五八 べつこうまだら。四五九 つまさりくちば。四六〇 いわりくちば。四六一 ふちぐるきいろくちば。四六二 しまくちば。四六三 ふちぐるみどりくちば。四六四 かすりくちば。四六五 きいろくちば。四六六 こもんやまこくちば。四六七 さがりうはば。四六八 ちくさくちば。

第三 總鬚尺蠖蛾亞科

二二三

- 四六九 ねぼろひげ。四七〇 ふちぐるふさひげ。四七一 ふさひげもんしもふり。四七二 しもふりちば。

第四 霜降尺蠖蛾亞科

二二四

- 四七三 しろねびだんだら。四七四 みやまだら

- 五〇八 ひめきほしあかむらさき。五〇九 ひめへりあかむらさき。五一〇 ひめへりさざなみ。五一二 こみちんさなみ。五一三 ひめさびいろふたすぢ。五一四 あかすぢさなみ。五一五 ねぼろさなみ。五一六 きいろおびさなみ。五一七 こぐるまひさご。五一八 こすすぢさなみ。五一九 ひめしろさなみ。五二〇 みちんきすぢさなみ。五二一 きすぢしろたへさなみ。

第七 二尾朽葉尺蠖蛾亞科

二二三

- 五二二 ひめきべりくろさなみ。五二三 きんべりふたを。五二四 ひめふたをくちば。五二五 ふたをくちば。

第八 斜條尺蠖蛾亞科

二二四

- 五二六 さざなみしろば。五二七 こきすぢしろば。五二八 つまきくろしすぢ。五二九 ひめべにいちもじ。五三〇 ひめべにいちもじもどき。五三一 もんさなみ。五三二 おほもんさなみ。五三三 くるほしうすぢ。

第九 微點尺蠖蛾亞科

二二六

- 五三四 ふたすぢみちん。五三五 ほしみちん。五三六 へりさりみちん。五三七 きすぢみちん。五三八 つまぐるおびみちん。五三九 へりさり

くちば。五四〇 へりほしむぢん。

**第十 帶尺蠖蛾亞科** 二二七

五四一 しろほしきまだら。五四二 しろふくろば。五四三 かばいろおびみぢん。五四四 うはば。五八八 きいろあかすぢみぢん。

**第十一 斑尺蠖蛾亞科** 二二九

五四九 ねほまだら。五五〇 こまだら。五五一 さみだれ。五五二 さみだれもどき。五五三 きべりまだら。五五四 きすぢまだら。五五五 なみさみだれ。五五六 きはだこまだら。五五七 ゆふまだら。五五八 ねほまだらきしたば。五五九 まだらきしたば。五六〇 こきべりまだら。

**第十二 越年尺蠖蛾亞科** 二二二

五六一 くるふたすぢしもふり。五六二 くるひさすぢしもふり。

**第十三 波線尺蠖蛾亞科** 二二二

五六三 こへりふたほし。五六四 ひめけべりさなみ。五六五 をすしろすぢうすぢみ。五六六 さなみうすぢみぢり。五六七 へりしろほしきなみ。五六八 やまがたしろおびくるば。五六九

しろおびさなみ。五七〇 ひめやまがただんだら。五七一 しまおびさなみ。五七二 くるしまおびさなみ。五七三 しまおびさなみもどき。五七四 きまだらみぢんもどき。五七五 きまだらみぢん。五七六 しろすぢだんだら。五七七 びろうごうはば。五七八 こあみうはば。五七九 もどぐるさなみ。五八〇 きのかはなみしろすぢ。五八一 きあみうはば。五八二 こへりあみうはば。五八三 なかじろさなみ。五八四 びろうごあみうはば。五八五 つまぐるなみすぢ。五八六 だんだらきいろば。五八七 きもんすぢまたら。五八八 ふたほしくちばみぢん。五八九 こがねほしすかしば。五九〇 こがねまだら。五九一 いちもじするすぢ。五九二 こいちもじするすぢ。五九三 だんだらきんねすぢみ。

**第二十七 厚翅蛾科** 二二八

五九四 くるほしさがりば。五九五 すぢさがりば。五九六 くるふとがりば。五九七 つまほしさがりば。五九八 ひめへりくるふたすぢ。五九九 ひめにしき。六〇〇 うるこうすきしたば。六〇一 うすきしたば。六〇二 うるこうすきしたば。六〇三 こあやさがりば。六〇四 ひげおひもん。六〇五 うすすみしろほし。六〇六

六三九 かたきこの。六四〇 ねほほしこの。

**第二 擬地衣蛾亞科** 二四八

六四一 ふちべにをぐるま。六四二 まへりをぐるま。

**第三 鹿子薄翅蛾亞科** 二四八

六四三 つまじろひめまらさ。六四四 こみかこの。六四五 こみぞしろねび。六四六 かのこうすぢ。

**第四 姬斑花文蛾亞科** 二四九

六四七 ひめまだらまらさ。

**第五 花文蛾亞科** 二四九

六四八 きべりまらさ。六四九 ひめきべりまらさ。六五〇 おほきべりまらさ。

**第六 桑葉捲蟲蛾亞科** 二五〇

六五一 かのこうすぢね。六五二 ひめよすぢうすぢね。六五三 しろぐるよすぢうすぢね。六五四 しろぐるうすぢね。六五五 みかすぢうすぢね。六五六 さざなみうすぢね。六五七 きべりうすぢね。六五八 こきべりうすぢね。

**第七 綿葉捲蟲蛾亞科** 二五二

六五九 きあみまらさ。

**第二十八 車小蛾科** 二四五

六二九 ひめだんだらまらなみ。六三〇 つまぐるをぐるま。六三一 きべりしたべにをぐるま。六三二 ふたすぢちやいろをぐるま。六三三 あみねをぐるま。六三四 つまがしなをぐるま。六三五 ねびあかなをぐるま。六三六 すぢあかなをぐるま。

**第二十九 薄翅小蛾科** 二四六

**第一 姬鹿子蛾亞科** 二四七

六三七 ひめかのこ。六三八 きがしひめくるば

第八 藍蟻蠹蛾亞科 二五二

六六〇 きへりきらきもどぎ。六六一 ゆうぐも  
 まだら。六六二 こかばくろすぢ。六六三 きば  
 れこまだら。六六四 きまやなみうすば。六六五  
 さいなみうすば。六六六 きいろさなみうすば。  
 六六七 かばいろうすば。六六八 いつすぢきい  
 ろうすぢね。六六九 ひもすぢくるまうすば。六  
 七〇 うすぢろさなみうすば。六七二 へりほ  
 しうすぢみ。六七二 ひめべにうはば。六七三  
 ひめきすぢうすぢね。六七四 ひめかのこもどぎ。  
 六七五 きんすぢうすば。六七六 ひめもんきう  
 すば。

第三十 螟蠹蛾科 二五五

六七七 べにほそば。六七八 へりきんすぢほそ  
 ば。六七九 きんぶちさなみほそば。六八〇  
 ひめしろたへほそば。六八一 きんぶちけんしん  
 ほそば。六八二 きんぶちほそば。六八三 うす  
 ぢほそば。六八四 わらいろほそば。六八五  
 ひさほしわらほそば。

第三十一 綴蠹蛾科 二五八

六八六 つりひさほし。

第三十二 果蠹蛾科 二五八

六八七 なしのふたすぢほそば。六八八 なしの

こふたすぢほそば。六八九 ひめうんもんほそば。

第三十三 鳥羽蛾科 二五九

六九〇 ふちまめさりば。

第三十四 二十四鳥羽蛾科 二六〇

六九一 にじうしさりば。

第三十五 葉捲蠹蛾科 二六一

六九二 はいびひなかくば。六九三 みつねび  
 かくば。六九四 うんもんひめかくば。六九五  
 したかばかくば。六九六 きまだらふたすぢかく  
 ば。

第三十六 黒點葉捲蠹蛾科 二六三

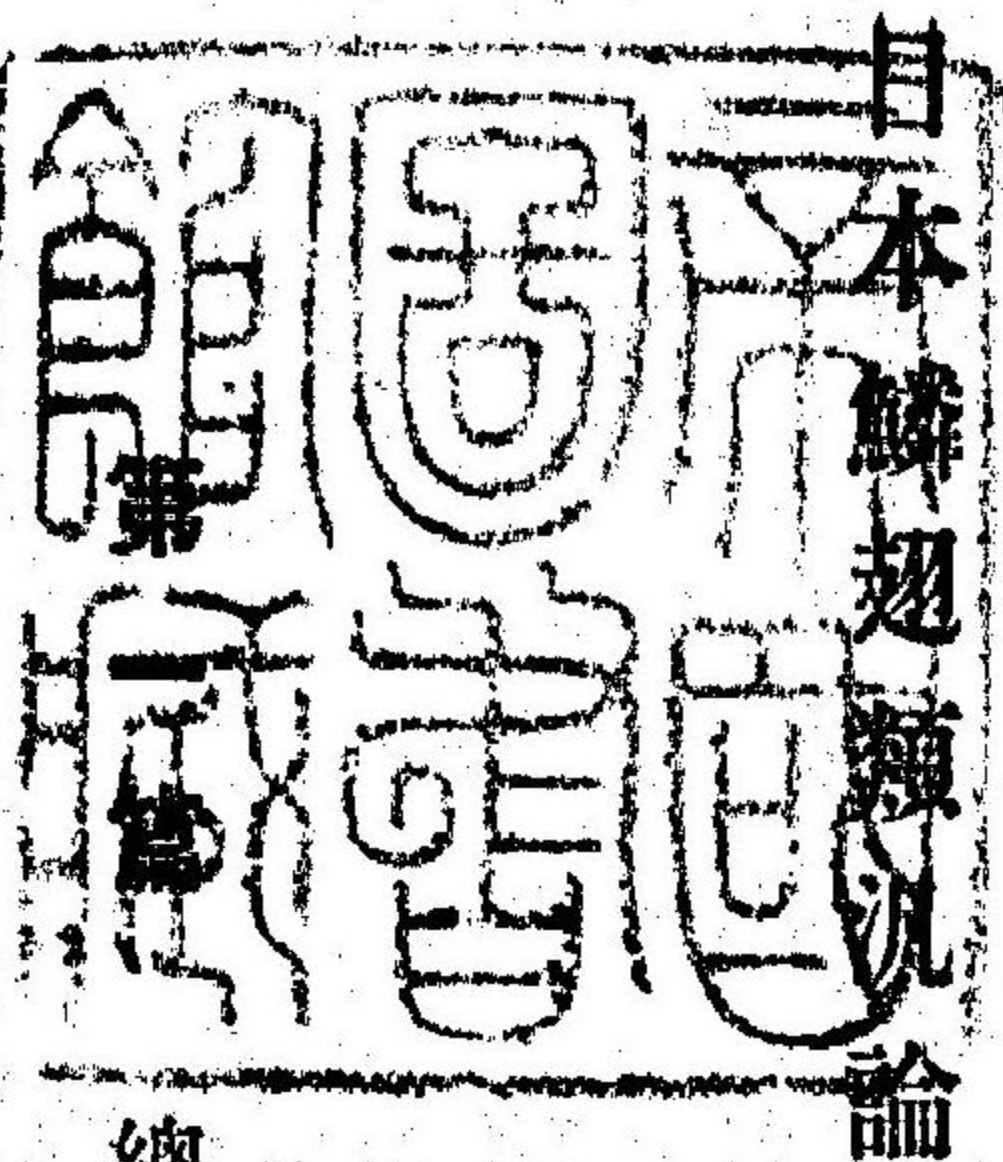
六九七 へりぐるこまふほそば。六九八 へりじ  
 ろこまふほそば。六九九 つまじろこまふほそば

第三十七 茶色細翅蛾科 二六四

七〇〇 ひめこまふちやほそば。

第三十八 穀蛾科 二六四

七〇一 しろすぢさかりほそば。七〇二 むぎほ  
 そば。七〇三 きんすぢひげなが。七〇四 こく  
 ほそば。七〇五 きめほそば。七〇六 もうせん  
 ほそば。七〇七 ひめきめほそば。



總論

長野菊次郎編述

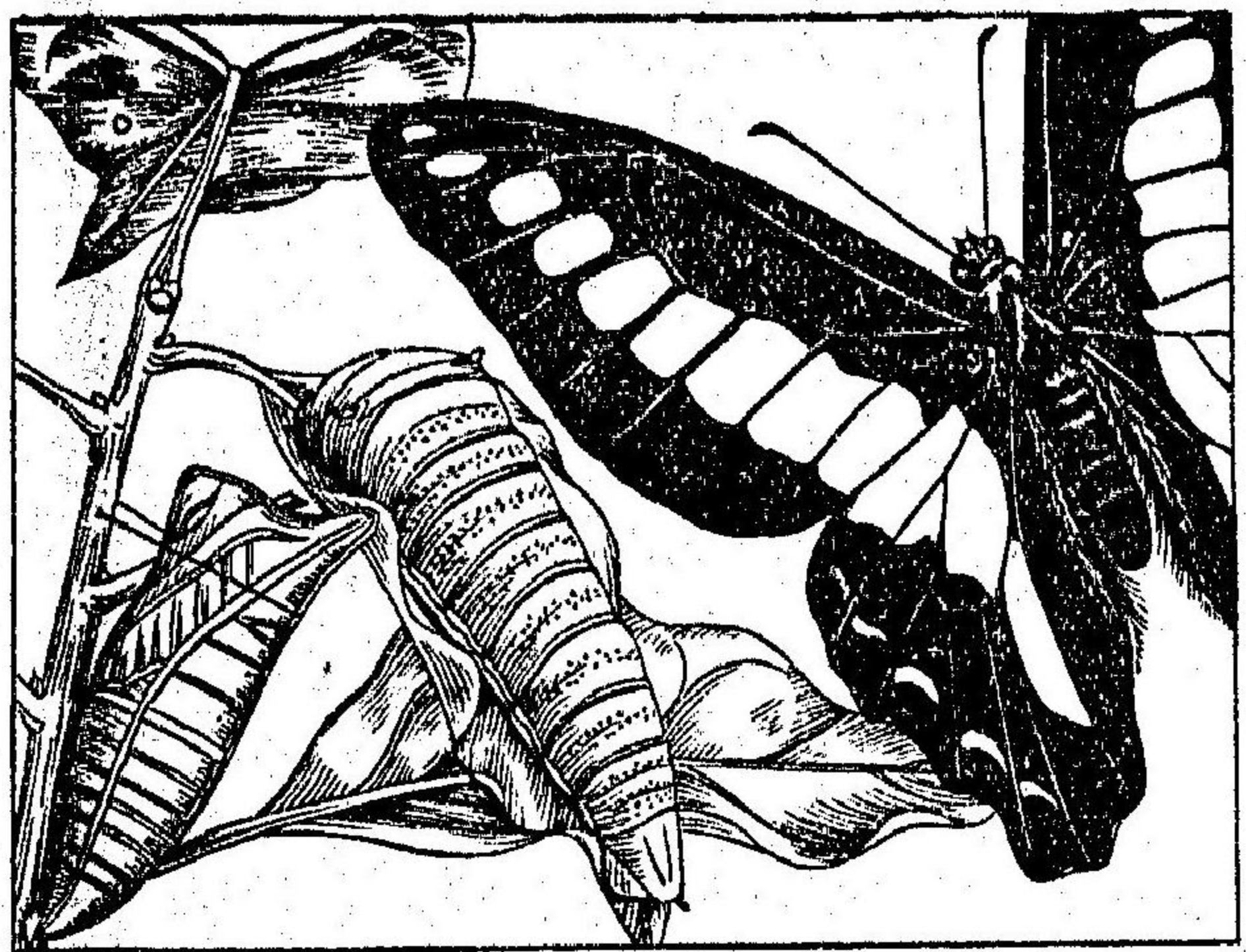
地球上ニ生活スル幾萬千ノ動物中、内部骨格ヲ有セズシテ、體軀若干ノ關節ヨリ成リ、明ニ頭、胸、  
 腹ノ三部ヲ區別スベクシテ、頭部ニ一對ノ觸角ヲ具ヘ、胸部ニ三對ノ脚ヲ有シ、氣管ニヨリテ大氣ヲ  
 呼吸スルモノヲ昆蟲ト稱ス。

昆蟲ノ分類ニツキテハ、學者ノ意見ニヨリテ多少ノ差異アリト雖モ、之ヲ要スルニ、唯之ヲ大區ニ分  
 ツト小區ニ分ツトノ二様ニ過ギズ。今日採用セラレタル分類法ニテ、最モ其ノ數ノ少キハぱつかーど  
 (Packard)氏ノ七分法ニシテ、最モ多キハこむすとつく (Comstock)氏ノ十九分法ナリ。然レドモ  
 鱗翅類ヲ一目ニ劃定セルコトハ諸學者ノ意見皆一致セルモノナリ。

鱗翅目ニ屬スルモノハ蝶及ビ蛾ノ類ニシテ、成蟲ハ吸吮ニ適スル口器(稀ニ之レヲ缺ク)ト、四枚ノ膜  
 質翅(稀ニ避債蠹蛾科或ハ尺蠖蛾科、毒蛾科ノ或種ノ如ク其ノ雌ニ翅ヲ缺クモノアリ)トヲ有シテ、其

二  
兩面ニ着色セル鱗ヲ存スルヲ以テ、容易ニ他ノ昆蟲ヨリ區別スルコトヲ得ベシ。コレ鱗翅目(Lepidoptera) 又ハ有舌目(Glossata)ノ稱アル所以ナリ。

一圖あなすちあげはノ變體ヲ示ス  
イ卵(ロ)幼蟲(ハ)蛹(ニ)成蟲



蝶蛾類ハ其色彩ノ美麗ナルニヨリ昆蟲界中ノ最高等ナルモノト信ズル人アレドモ、智力ノ点ニ於テハ膜翅目ノ下ニア  
ルベク、體軀ノ構造ニツキテハ甲翅目ニ、變體ノ如何ニツ  
キテハ双翅目ニ亞グモノナリ。  
變體ハ完全ニシテ、卵ヨリ孵化シタル後三様ノ全ク異リタ  
ル形態ヲ現ハスモノナリ。即チ最初ハ柔軟ナル皮膚ヲ有セ  
ル幼蟲(仔蟲)ニシテ、其形狀ニヨリ鳥蟲、イモムシ、ケムシ、アラクシ、チキ  
リムシ等ノ稱アリ、顎ヲ以テ食物ヲ咬嚼ス。次ハ蛹ノ時期ニシ  
テ、角質狀ノ外被ヲ有シ、移動又ハ食物ヲ攝取スベキ外部  
ノ器官ヲ有スルコトナシ。最後ハ成蟲即チ蝶蛾ニシテ、通  
常觸角、吻、脚及ビ翅ヲ備ヘテ飛翅シ、子孫繁殖ニ適應セ  
リ。此類ハ唯幼蟲ノ時期ニノミ生長スルモノニシテ、蛹及  
成蟲ノ時代ニハ決シテ其大サヲ増加スルコトナシ。

優美ナル蝶ノ容姿、鮮麗ナル蝶ノ裝飾、翩々トシテ空ニ舞ヒ、屏々トシテ花ニ戯ル、狀態ハ、恰モ自  
然ノ秘密ヲ囁グ天使ノ如ク、如何ニ自然ノ美ト妙トニ無頓着ナル人ト雖モ、必ズ其沒嗜味ノ頭腦ヨリ  
醒起セラル、ナラン。然レバ昆蟲類中最モ人ノ注意ヲ惹クハ蝶類ニシテ、孰レノ國ニ於テモ、是ガ研  
究ハ殆ンド他ノ昆蟲ニ先ンゼリ。獨リ蛾類ニ至リテハ其形狀ノ粗大ナル、或ハ微小ナル、其色彩ノ暗  
濁ナル、或ハ其習性ノ夜行ナル、人ノ注意ヲ惹クコト比較的少ナシ。然レドモ西山金兔ヲ吞ミテ暮色  
蒼然漸ク遠キヨリ追ラントスル頃、つきみさう、まつよいぐさノ開ケル河碛塘堤等ニ逍遙シテ、活潑ナ  
ル蛾ガ空ヲ掠メテ群リ來リ、一往一來、花ヲ訪フ有様ヲ一見セバ、如何ニ科學ニ興味ヲ有セザル人  
ト雖モ自ラ夜ノ女神ノ消息ヲ理會スベシ。然レバ蝶ハ昆蟲界ノ畫ノ代表者ニシテ、蛾ハ實ニ夜ノ代表  
者タリ。特ニ蝶蛾ガ幼蟲ヨリ蛹ニ、蛹ヨリ成蟲ニ化生スル順序ハ、蛟龍雲ヲ得テ終ニ池中ノモノニア  
ラザルノ比ニアラズ、クババ蛇化シテ木乃伊トナリ終ニ天使ニ變スルノ類ニシテ、彼ノすひんくすノ故事  
ヨリモ一層面白キ謎ヲ事實ニ現ハスモノナリ。故ニ蝶蛾ノ研究タルヤ、美ト妙トノ間ニ彷徨シテ更ニ  
俗事ノ心意ヲ苦シムルコトナク、不平ノ念モ、不滿ノ情モ、全ク自然界ニ融和シテ興味ノ津々タルモ  
ノアリ、初メテ昆蟲學ニ志スモノ、先ヅ鱗翅類ヲ選ブコト實ニ所以アルナリ。

## 第二篇 形態篇



鱗翅類ノ變態ハ明ニ幼蟲(Larva)、蛹(Pupa)、成蟲(Imago)ノ三時期ヲ區別シ得ベキヲ以テ、其間ニ於ケル形態ニモ非常ノ相違アリ、今發育ノ順序ニ從ヒテ左ニ其大畧ヲ記述セン。

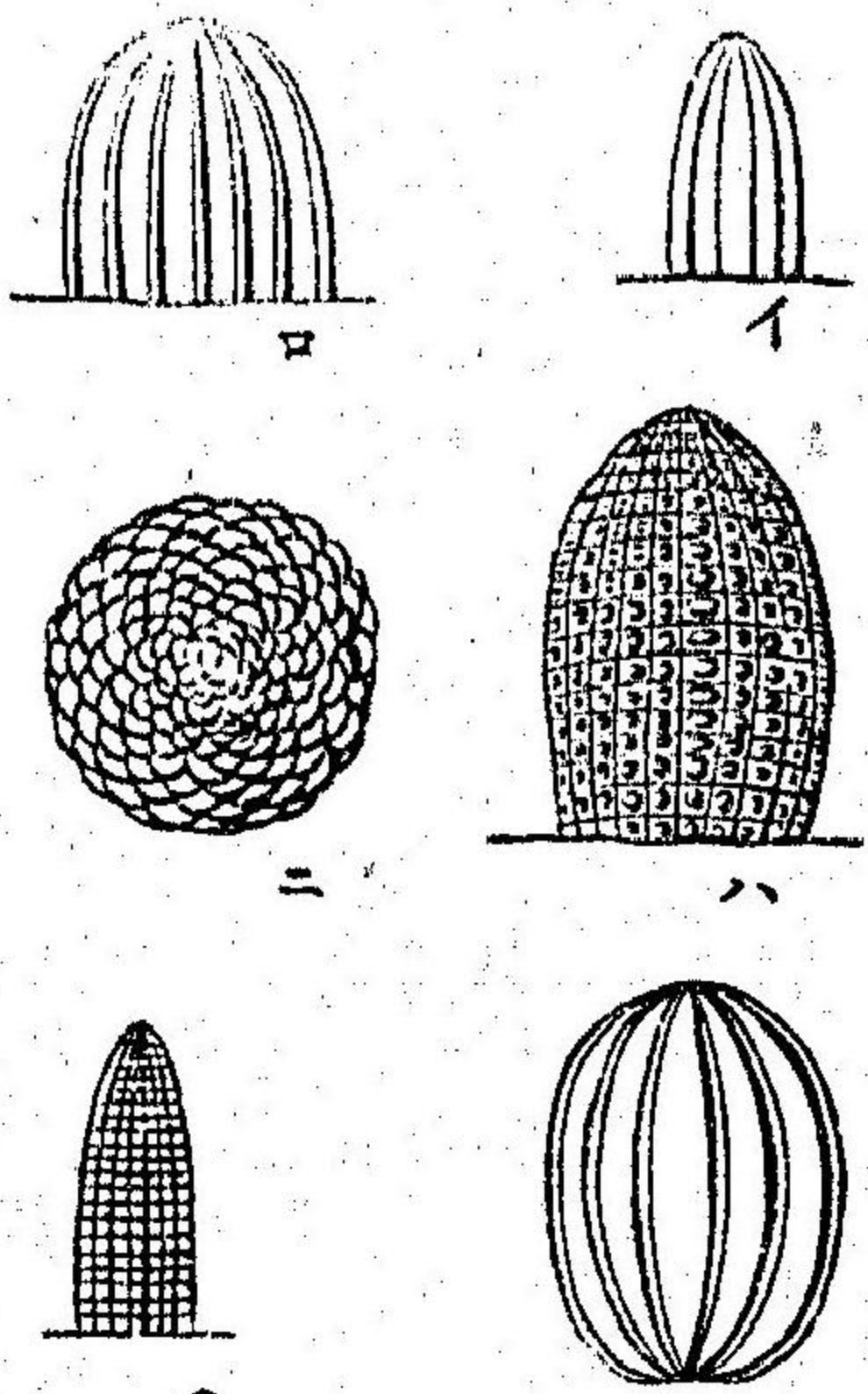
### 第一章 卵 Eggs

鱗翅目ノ卵ハ小キ體ヲ有シ、通常二種ノ皮膜ヲ以テ被ハル、其外面ニアルヲ卵殼(Egg-shell)又ハ卵鞘(Chorion)ト稱シ、内方ニアルヲ卵黃膜(Membrana Vitellina)ト稱ス。卵殼ハ硬キカイチン(Chitin)質ヨリ成リテ外部ヲ保護スルノ用ヲナシ、こるせる(Conchelt)氏等ノ意見ニヨレバ、卵巢内ノ卵室即チ卵管ノ皮膜(Epithelium)ヨリ生ジタルモノナリトイヘリ。卵黃膜ハ柔軟ナル薄膜ニシテ、内部ニ充チタル液體ヲ包被セリ。此液體中ニハ他日幼蟲トナルベキ胚ヲ有シテ之ガ發生ニ必要ナル滋養分ヲ含蓄セリ。

**形状** 卵は微小ナルニ關セズ種々ノ形状紋理ヲ有セルヲ以テ、低度ノ顯微鏡ヲ以テ之ヲ驗スルニ甚ダ興味アルモノリ。其形状ニハあげはのてふ、おほすかしば、ももすずめ、まつかはまだら(松毛蟲)等ノ如キ球狀アリ、或ハあかたてはノ如ク直立橢圓形、又ハまつかはくろすぢ(桑枝尺蠖)ノ如ク橢圓狀ヲナスアリ、こむらさきノ如キハ半球狀ニシテ、つまきてふ、もんしろてふノ如キハ彈丸狀ナリ又につこうしろてふ、はなせゝり等ハ饅頭狀ヲ呈シ、をすふたをび(稻青蟲)ハ頭巾狀ヲ呈セリ。其他

圓筒狀ヲナスコトひろをびうは(梅毛蟲)ノ如キアリ、桶狀ヲナスコトいしがきてふノ如キアリ、稀ニハもんきてふノ如ク柄狀部ヲ有セルアリテ、其上面ノ如キモ凹狀ヲナスアリ、或ハ截形ヲナスアリ其表面ハ平滑ナルモノアレドモ、彫刻的紋理ヲ有スルモノ多ク、かいこノ如キハ多少六角形ヲナセリ。蓋シ卵管皮膜細胞ノ痕跡ナラントイヘリ。につこうしろてふ、しじみてふ、ふちぐろあをつばめ等ノ

第二圖 卵の形状數種



- (イ) つまきてふ
- (ロ) こむらさき
- (ハ) あさぎまだら
- (ニ) つこうしろてふ
- (ホ) あかたては
- (ヘ)もんしろてふ

如キハ許多ノ隆起ヲ有シテ菊花狀紋理ヲ現ハシ、るりしじみノ如キハ龜甲紋理ヲ有スルノミナラズ毛狀突起ヲモ有セリ。又上端ノ中央ヨリ地球ノ子午線ノ如ク下方ニ走レル溝ヲ有スルコトあかたては、つまきてふ、こむらさき等ノ如キアリ。而シテ此等ノ線ノ間ハ通常圓ク隆起シテ更ニ細キ横線ヲ有シ、殆ンド緯線的ニ之ヲ分割セルモノ多シ、ひをぞしてふ、あさぎまだら等ノ如キ是ナリ。凡ソ近縁ノ種屬ハ一般ニ殆ンド一定ノ形ヲ有シ、特ニ酷似ノ形態ヲ有スルモノニ於テ然リトス。

色彩モ亦種々ニシテ、いちもじせゝり、はなせゝり等ハ褐色ヲ呈シ、やまごにしき(山繭)、つゞりの

にしき(樟蠶)、あをにしき等ハ灰色又ハ灰褐色ニシテ、まつかはまだら、ももすいめ、くろくもすいめ、まつかはくろすいめ等ハ綠色ヲ呈シ、もんしろてふ、つまきてふ等ハ黄色ニシテ、あげはのてふ屬ノ多數、たほすかしは、めんがたすいめ等は淡黄色ヲ呈シ、もんきてふハ赤色ニシテ、あさぎまだら、ひかげてふ、わらいろほそば(二化性螟蟲)等ハ白色ヲ呈セリ。然レドモ帶緑或ハ緑白ノモノ最モ多シトス。其他、點或ハ線、又ハ網狀其他ノ紋理ヲ有スルアリ、例ヘバあかたては、こむらさき等ハ綠色ニ白條ヲ有シ、糖蛾科ノ或種ハ赤環ヲ有シ、かれこのはノ如キハ綠紋ヲ有セリ。然レドモ産卵ノ際ト時日ヲ經タル後トハ多少其色ヲ異ニシ、特ニ孵化ノ際ニハ其色ヲ變ズルヲ常トス。

**産卵** 蝶蛾ノ雌ガ卵ヲ産スルニハ、未來ノ幼蟲ガ容易ニ食物ヲ索メ得ベキ場所ヲ選ブコト必要ナレバ、其嗜食植物ノ枝葉、莖幹等ニ置クコト最モ多シ。然レドモ稀ニ他ノ場所ニ産スルコトアリ、をすぐろさいなみ(赤楊毛蟲)ノ如キ即チ是ナリ。凡ソ嗜食植物ノ葉面ニ産スルモノハ、表面ヨリ裏面ニ置クコト多シ、然レドモ表面ニモ全ク置カザルニアラズ、もんしろてふニテ之ヲ檢セシニ、大略表一、裏三ノ割合トナリタルコトアリ、然レドモ是等ハ場所ノ關係、事情等ニヨリテ必シモ同一ノ比例ヲ保ツモノニアラズ。卵ヲ産附スルニハ、一所ニ一粒ツ、産下シテ粒ト粒トノ間ガ多少隔離セルモノト、又一ヶ所ニ多數ヲ群集的ニ産附シテ粒ト粒トノ間ガ互ニ密接セルモノトアリ、甲ハ多數ノ蝶類及ビ天蛾類等ニテ見ル所ニシテ、乙ハ多數ノ蛾類ニテ見ル所ナリ。又乙ノ場合ニ於ケル群集的ニモ種々アリ

例ヘバしらふみつぼし(豌豆夜盜蠶蛾)ノ如ク平面的ニ産附スルアリ、ひをどしてふノ如ク塊狀ヲナスアリ、きたてはノ如ク累積スルアリ、をすぐろしらたへもどぎ(桑毛蟲)、こしらたへ(桑金毛蟲)ノ如キハ塊狀的ニシテ之ヲ被フニ毛ヲ以テシ、ひろをびうはノ如キハ枝極ヲ圍繞シテ之ヲ産附シ、をすぐろさいなみノ如キハ不規則ナル塊狀ヲ呈シテ之ヲ被フニ母體ヨリ脱出シタル毛ヲ以テセリ。其他多少環狀的ニ産下スルアリ、或ハ直線的ナルアリ、或ハ數條ニ並列セシムルモノモアルナリ。

**卵數** 一蛾ノ有スル卵數ハ種類ニヨリテ異ルモノニシテ、一粒ツ、産下スル者ハ比較的其數少ク群集的ニ産下スルモノハ比較的多キガ如シ。今一二ノ例ヲ舉レバ、ももすいめ 第三圖 ひろをびうはノ卵塊 六七十個、くちばすいめ百七八十箇ノ如キ、あをにしき四百内外、まつかは までら四五百、かひこ六七百、をすぐろさいなみ千二百餘箇等ナルガ如シ。



第三圖 ひろをびうはノ卵塊

**發育** 受精シタル卵は産下後數日ヲ經テ一般ニ少シク扁平トナリテ其色ヲ變ジ、受精セザル卵ハ收縮シテ發育セザルヲ常トス。然レドモ稀ニ受精セザル卵ノ發育シテ幼蟲ニ化生スルコトアリ、是レ即チ密蜂等ニ見ルガ如キ單爲生殖(Pathogenesis)ニシテ、小蛾類ノ或屬、稀ニ大蛾中ニモ此例アリ、家蠶ノ如キモ往々此ノ現象ヲ現ハスコトアリ。卵中ニ含有セル胚ノ漸次發育シテ終ニ孵化スルニ至ルマデノ時間ハ、卵ノ産下ニシタル時ニヨリ、又ハ幼蟲ガ食物ヲ搜索スベキ時季ニヨリテ異レリ、即夏ニ於テハ其發育甚ダ速ナレドモ、秋及冬ニ於テハ緩慢ナリトス、時季ノ高温ト低温トモ亦孵化ノ時間

ニ多少ノ關係ヲ及ボスコトハ、溫度ノ用法如何ニヨリテ蠶卵孵化ノ時日ヲ左右スルコトヲ得ルニ徴シテモ知ルベシ。卵ノ産下セラレタル年ニ孵化シテ食物ヲ要スベキモノハ、發生ノ時日ニ、短キハ大抵四五日ヨリ、長キハ三十日内外ヲ要ス。然レドモ其他ハ皆卵ノ状態ニテ越冬スルモノナレバ、此等ハ發生ノ時間ニ數月ヲ要スルモノナリ。斯クテ孵化ノ時季來ルトキハ、卵ハ大抵其色ヲ變ジ、卵中ニ多少卷縮シテ横リタル仔蟲ハ卵鞘ヲ破リテ出ヅルモノナリ。越冬シタル卵ノ孵化スル時季ハ、大抵嗜食植物ノ嫩芽ノ發育スル時季ト一致スルモノ多シ。是レ口器ノ充分堅牢ナラザル仔蟲ニ對シテハ、柔軟ナル葉芽ノ最モ其食物ニ適スレバナリ。仔蟲ノ孵化スルヤ其卵殼ヲ食フモノ多シ、例ヘバあをすぢあげは、いちもじてふ、もゝすずめ其他多數ノ幼蟲ニ於ケルガ如シ。

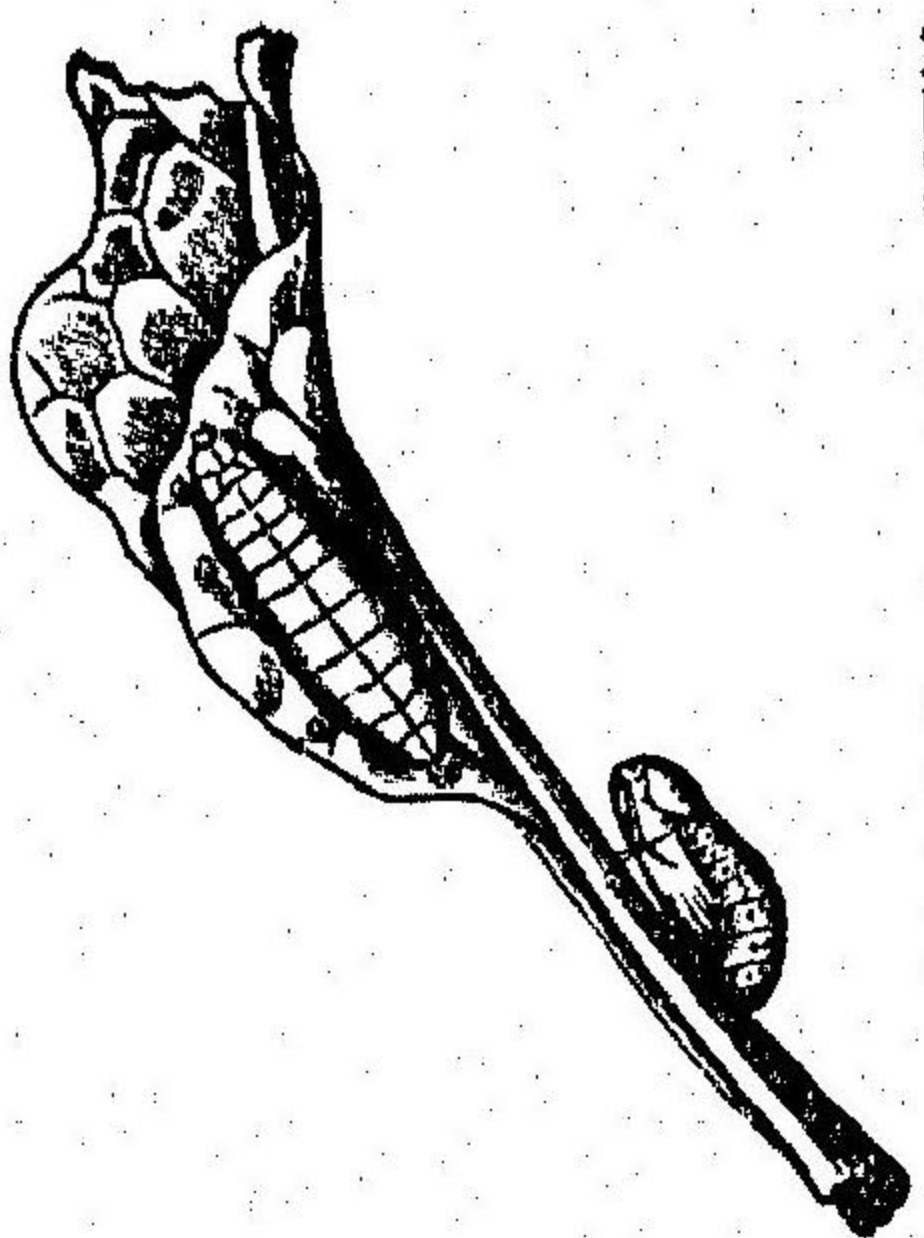
### 第二章 幼蟲 Larva or Caterpillar

**形狀** 幼蟲ノ形ハ下面ノ路ボ平ナル長キ圓筒狀ヲ呈シ、全體殆ンド同一ノ厚ミヲ有スルヲ常トスレドモ、往々兩端ニ至ルニ從ヒ其厚ミヲ減ジテ恰モ紡錘狀ヲ呈スルアリ、例ヘバひかげてふ、じやのめてふ等ノ如シ。又うちむらさき、るりしぐみ、其他しぐみてふ類ノ幼蟲ハ收縮シテ貝殼狀ヲ呈シ、せみやどりくろばノ如キハ略橢圓狀ニシテ蛆ノ状態ヲ呈シ、しもふりぢぢれば(桑棘尺蠖)ノ如キハ背部起伏シ、葉質ニ孔ヲ穿ツはほりむしノ如キハ全ク扁平ナルヲ常トス。

**體軀** 體ハ頭部ト胸部トニ分レ、頭部ハ七關節ノ癒合シテ一塊トナレルモノナリト云ヒ、胸部ハ十三節ヨリ成リテ、前方三節ハ胸部ニ當リ、後方十節ハ腹部ニ當ル。然レドモ各種ノ幼蟲ニ於テ腹部ノ後方二三節ハ殆ンド相癒合スルコト多ク、特ニ第九節ハ甚ダ小ナルヲ以テ、通常腹部ヲ九節ニ算スル人多シ。便宜上著者モ亦是ニ從ヘリ。

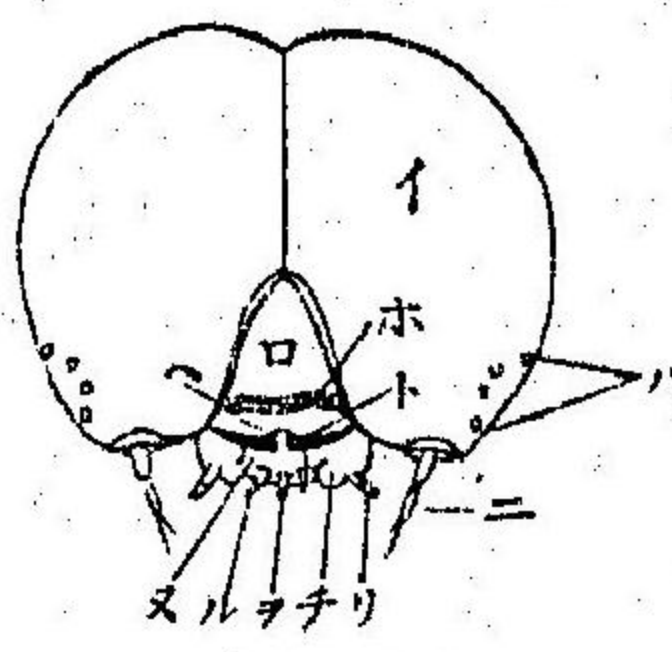
**頭部** 頭部ハ顯著ナル部分ニシテ、かいちん質(かいちん質 Chitin)トハ真皮細胞ノ分泌ニヨリテ生

第四圖 ベにしぐみの幼蟲及ヒ蛹



ジタルモノニシテ、蟲體ノ脱皮トイフハ即チ此部分ヲ脱キ棄ツルコトヲ謂フナリ。かいちんノ名ハおーぢーる Orléan 氏ニヨリテ命ゼラレタルガ、らつせーにゆ Lassaigne 氏ハ之ヲえんともりん Entomolineト呼ベリ。其化學分子式ニツキテハ種々ノ説アリテ、 $C_8H_{15}NO_6$ 或ハ $C_8H_{15}NO_{10}$ トスル人モアレドモ、最近ノ研究ニヨリ $C_8H_{15}NO_{10}$ ナリトナリ)ニテ形成セラレ、其大小形狀ニハ種々アリ、稀ニハ收縮シテ甚ダ小ナルコトアレドモ、通常胸部關節ヨリハ明ニ之ヲ區別スベシ。其形ハ球狀ヲ呈スルヲ常トスレドモ、往々もゝすぢめ、おほしもふりすぢめ等ノ如ク三角狀ヲ呈スルアリ、こむらさき、ごまだらてふ、いしがきてふ等ノ如ク二個ノ角狀突起ヲ有スルアリ、或ハ側部ニ二個ノ隆起ヲ有スルコト尺蠖ノ或種ニ見ルガ如ク、其他扁平又ハ截形ヲナスモノアリ。頭部ヲ形成

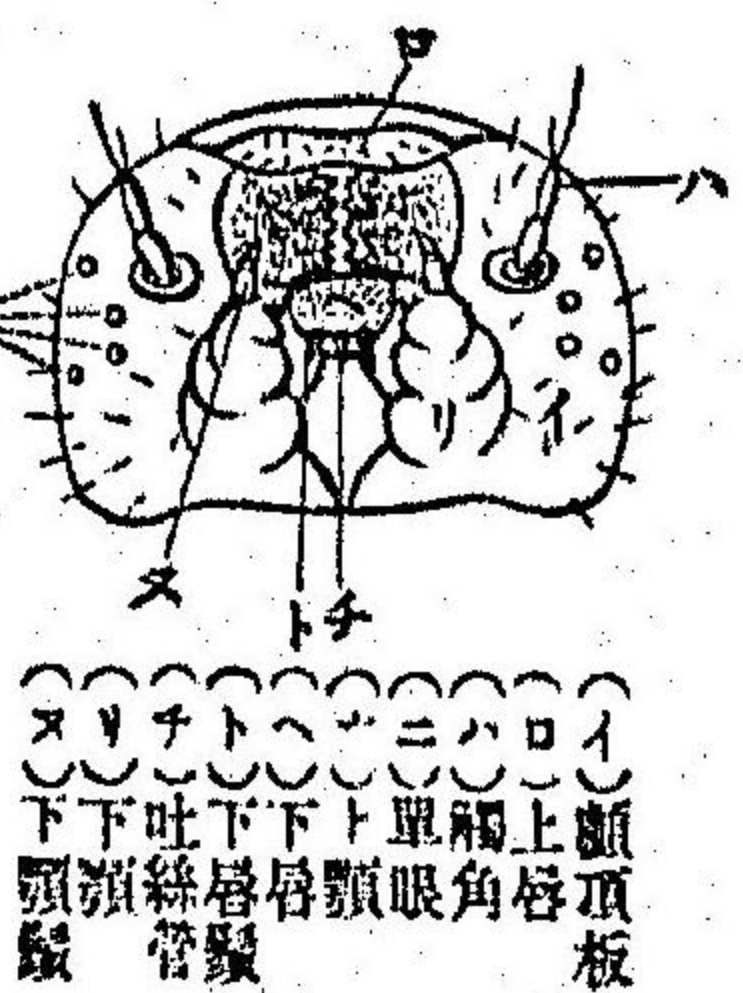
セルかいちん板ハ三個ニシテ、兩側ニ位スル半球狀ノ大板ヲ顛頂板(Parietal Plate)或ハ顛顛板ト稱シ、其前方ニアル小形ノ三角形板ヲ前頭板(Frontal plate)或ハ額板(Clypeus)又ハ顛頂開板(Interparietal plate)ト稱ス。顛頂板ノ前端兩側ニハ各通例六個ノ單眼(Ocellus)ヲ有シ鈎狀ニ配列セリ。其下部前方ニ觸角(Antennae)ヲ有ス。觸角ハ三或ハ四箇ノ關節ヨリ成リ、基部ノ一節ハ大ニシテ自由ニ伸縮スベク、其ノ先端ニハ通常二本ノ粗毛及ビ數多ノ小突起ヲ有シテ外界ノ刺戟ニ感ズ。幼蟲ガ食物ヲ搜索スル時ナドニ注目スレバ、絶エズ之ヲ振動スルヲ見ルベシ。口器ハ四種ノ器官ヨリナルモノニシテ、其第一ヲ上唇(Labrum)ト云ヒ、前頭板ノ前端ニ位シテ略腎臟形ヲナセリ。上唇ノ下方ニ當リ左右兩側ヨリ出デタルかいちん板ヲ上顎(Mandibles)或ハ大顎ト云ヒ、其形略長方形ニシテ、左右嚙ミ合フ部分ニハ數箇ノ鋸齒狀突起ヲ有ス、上顎ノ下方兩側ヨリ突出スルヲ下顎(Maxillae)又ハ小顎ト稱シ、二乃至四節ヲ有スル圓錐狀突起ト感觸小突起ヲ存スル球狀突起トヲ有ス、前者ヲ稱シテ下顎鬚(Maxillary palpus)ト云フ。下唇(Labium)ハ口孔ノ下部ヨリ突出シタル膜狀器官ニシテ左右二片ノ癒合ヨリ成リ、二關節ヨリ成レル下唇鬚(Labial palpi)ヲ有ス。又下唇ノ先端中央ヨリ略圓錐狀ヲ呈セル管ヲ出セリ、之ヲ吐絲管(Spinnet)ト云フ。蓋シ此管ハ細孔ヲ有シ、此孔ヲ通シテ絹絲ヲ續出スルモノナリ。頭部ノ色ハ胸部ト同色ノモノナキニアラ



第五圖 幼蟲ノ頭部ヲ示ス(拡大)

ネドモ多クハ濃淡ノ度ヲ異ニスルカ又ハ全ク其色ヲ異ニセルモノ多シ、例ヘバめんがたすすめ、きいろすすめノ頭部ハ胸部ヨリモ一層濃キ綠色ヲ呈シ、しもふりすすめ、あづまにしき等ノ頭部ハ胸部ヨリモ多少淡色ヲ呈セリ。其他多數ノ幼蟲ハ黒褐、赤褐等ノ暗色ヲ呈シテ胸部ノ色ト異ニスルヲ常トス。又其色彩ハ頭部全ク一樣ニシテ紋理ヲ有セザルコトあげはのてふ、くろあげは、あづまにしき、やま

第六圖 幼蟲ノ頭部ヲ腹面ヨリ見ル(拡大)



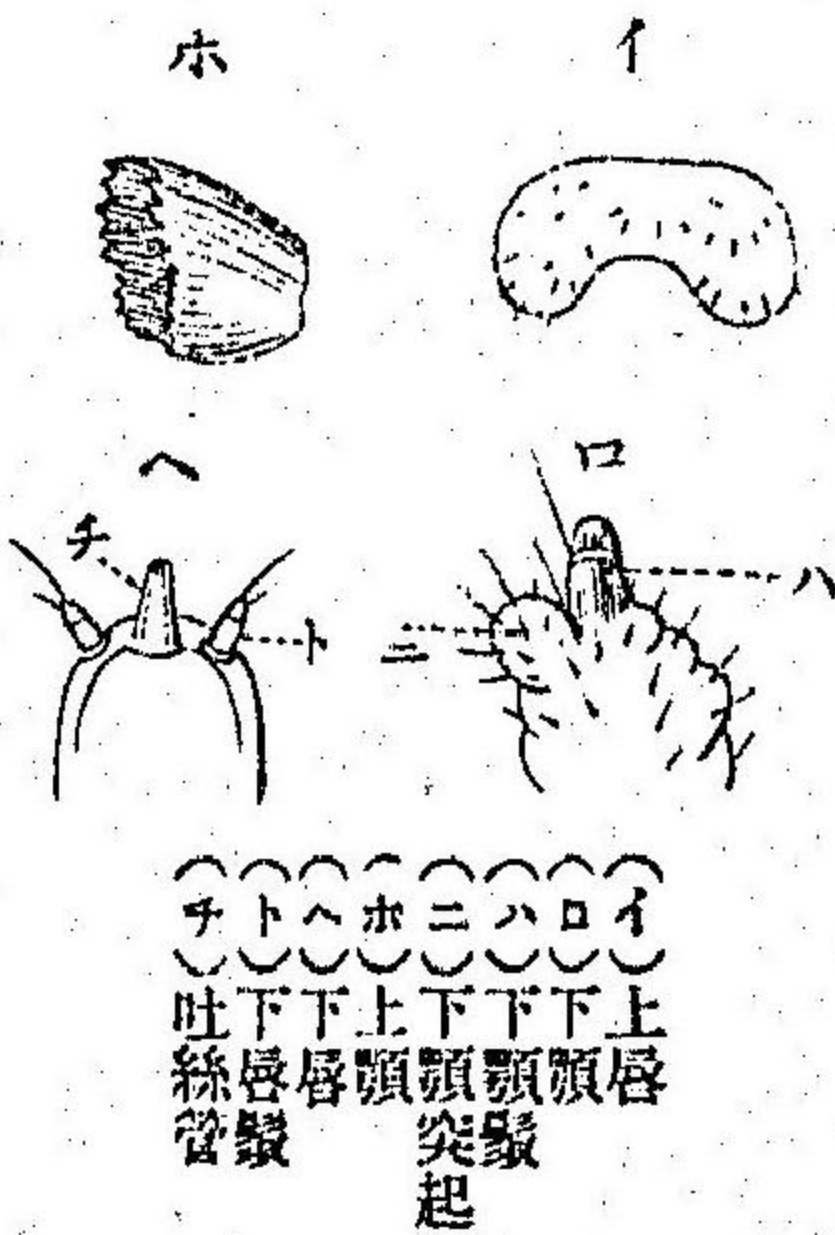
とにしき等ノ如キアリ、或ハたすすめノ幼蟲ノ如ク斑紋ヲ有スルアリ、又えびがらすすめ、ももすすめ、かれこのは等ノ如ク一箇或ハ二三箇ノ縦線ヲ顛頂板ニ有スルモノアリ、びろうとすすめ、しよくこうのにしきノ如ク網狀紋ヲ有スルアリ。頭部ノ面ハ平滑ナルモノ多シト雖モ粗糙ナルコト亦少カラズ、往々微細ノ顆粒ヲ有スルコトくちばすすめ、ももすすめ等ノ如キアリ。

胸部

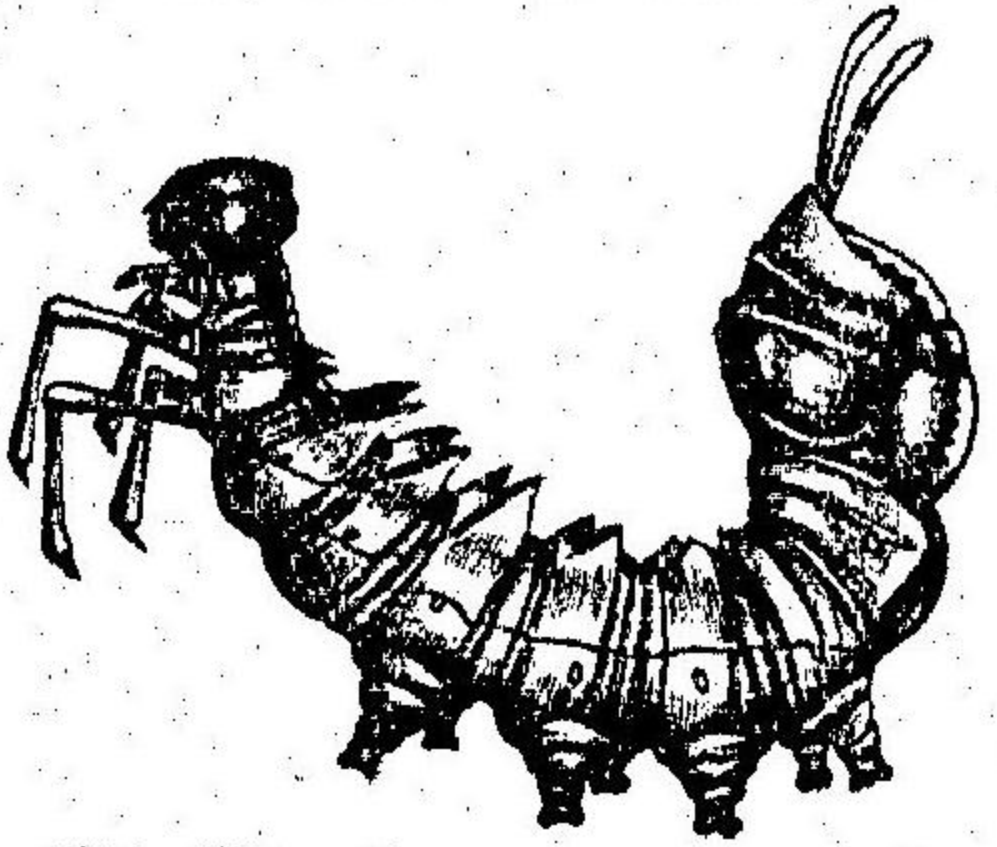
胸部即チ胸、腹部ハ柔軟ニシテ往々褶皺アル皮膚ヲ以テ被ハレ頗ル移動ニ適セリ。一節ノ褶皺數ハ種ニヨリテ一定セルモノナリ。胸部ノ第一節ヲ前胸(Prothorax)ト云ヒ、第二節ヲ中胸(Mesothorax)ト云ヒ、第三節ヲ後胸(Metathorax)ト云フ。頭部ニ接スル第一節ハ往々かいちん質ノ角狀板ヲ以テ被ハル、コトアリ、之ヲ硬皮板ト云フ。此三關節ニハ各一對ノ脚ヲ有セリ。脚ハ三箇ノ圓筒狀關節ヨリ成リ、多少角質板ニテ被ハレ、基部ハ肥厚ニシテ一端ニ至ルニ從ヒテ

漸次尖リ其尖端ニ爪ヲ有セリ。此等ノ脚ハ真正脚ニシテ成蟲ノ脚ニ相當シ、一ニ之ヲ胸脚ト呼ブ。但シ、小蛾類ノ或屬ニハ之ヲ缺クモノアリ、又しやちほこむしハ非常ニ長キ胸脚ヲ有セリ。腹部ノ最終節ハ之ヲ尾節(Clasters)ト稱シ、往々肛門ノ上部ニ三角形或ハ新月 第七圖 幼蟲ノ口器ヲ示ス(廓大)

狀ノ贅肉ヲ有スルコトアリ、之ヲ尾褶ト云フ。蓋シ多數ノ種ニテハ角質ヲ呈セリ。天蛾類、野蠶蛾類等ニテ之ヲ見ルベシ。胴部ノ第二、第三及ビ後部一節ヲ除ノ外各關節ニハ兩側ニ小キ孔ヲ備フ之ヲ氣孔(Spiracles)ト云フ。其數九對アリテ最初ト最後ノモノハ他ヨリ大ナルヲ常トス、角質ノ縁ヲ有シ、體內ノ氣管ニ接續シテ



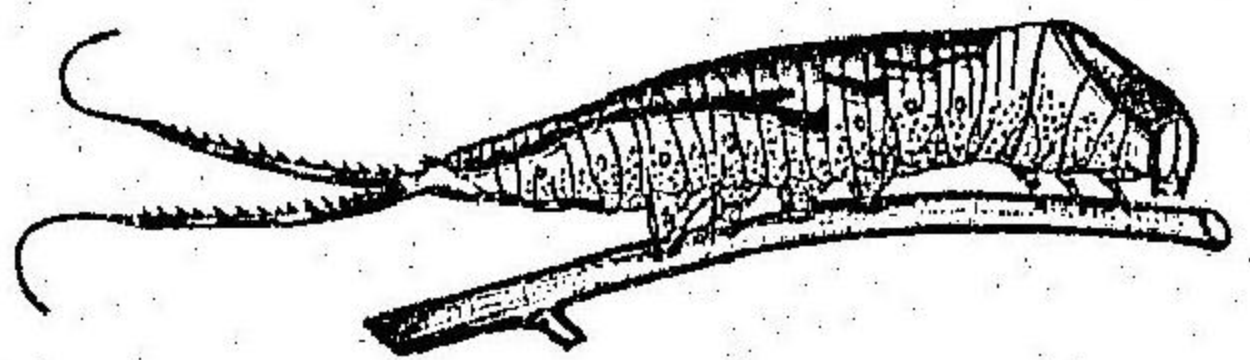
圖八第 しじこほちやし



空氣ヲ呼吸スル門戸ナリ。此等ノ氣孔ハ往々氣孔紋ト名ヅクル圓斑上ニ存スルコトアリ。腹部ニハ通常第六ヨリ第九節ノ間及ビ尾節ニ一對ノ脚ヲ有ス、之ヲ偽脚(Falset legs or prolegs)或ハ腹脚ト稱ス。腹脚ハ肥厚ナル肉質ニシテ、關節ヲ有セズト雖モ皺ヲ有スルヲ以テ、側面ヨリ見ルトキハ二關節ヨリ成レルガ如シ。其先端粗糙ニシテ能ク動キ、内方ニ曲リタル鉤ヲ具備シテ攀緣ニ適ス、或ハ其ノ先端平滑ニシテ他物ヲ攀ツルニ適セザルモノモアリ。但シ外方ニ曲レル小鉤ノ連續シタル、或ハ殆ンド連續セル環ヲ具備セリ。攀緣ニ適セル腹脚

ヲ有セルモノハ大形ノ蝶蛾類ニ多シ。但シ樹幹ニ蝕入スルくもがたかうもり、ごまふうすばノ幼蟲ノ如キハ例外ナリ。小蛾類ノ幼蟲ニハ攀緣脚ヲ有スルモノ一モアルコトナシ。天社蛾科及ビ鉤翅蛾科ニ屬スルモノ、幼蟲ハ尾脚ヲ有セズ、コレ最後關節ハ長キ柔カナル突起或ハ尖端ヲ以テ終レバナリ。例へばくろすぢもくめ、ながぐろもくめノ幼蟲及ビしやちほこむしノ如キハ二箇ノ突起トナリ、くろすぢかぎばノ幼蟲ノ如キハ一箇ノ尖端ヲ以テ終レリ。尺蠖蛾科ノ幼蟲ハ通常第九節ニ唯偽脚ノ一對ヲ有スルノミ。然レドモ或屬ニハ第八節ニモ亦一對ヲ有スルコトアリ、又いらむしハ殆ンド偽脚ヲ缺キ、糖蛾類ノ或屬ニハ全ク偽脚ヲ缺クカ或ハ六節又ハ時ニ七節ニ痕跡ヲ有スルコトアリ。此他ノ幼蟲ニテ前方ノ偽足ハ小ニシテ後方ノモノヨリ不發育ナルモノ多シ、ともるこのはノ如キハ全ク前方一對ヲ缺ケリ、避債蟲科ノ幼蟲ハ鞘中ニ住ミ、しじみてふ屬、せみやざりくろば等ノ幼蟲ノ偽脚ハ甚ダ短シ。凡ソ足ノ全數ヲ有スル幼蟲ハ匍匐性ヲ有スルモノニテ、大形蝶蛾ノ幼蟲ハ靜ニ匍行シ、小蛾類ノ幼蟲ノ運動ハ通常甚ダ速ナリ。而シテ後者ハ前後ニ走ルコトヲ得。尺蠖類ノ進行ハ甚ダ奇異ナリ、即チ其眞脚ニヨリテ確ト自身ヲ支へ、然ル後偽脚及尾脚ヲ引キ寄せ、其體ヲシテ殆ンド弧形ヲナサシメ、其後偽脚及ビ尾脚ニヨリテ自身ヲ固持シ、體ヲ前方ニ伸長セシメ、反覆之ヲ行フモノナリ。べにしばば屬、やまごともる屬等ノ幼蟲ノ運動法モ亦尺蠖ニ類似セリ。故ニ之ヲ擬尺蠖

圖九第 蟲幼ノめくもぢすろく



ト名ヅクルコトアリ。

幼蟲ノ形狀ニハ種々アリテ往々特殊ナル形態ヲ有セリ、天社蛾科ニ屬スルモノ、中ニハ背上ニ規則正シキ隆肉ヲ生ズルアリ、即チしやちほこむしノ如キハ二列ノ隆肉ヲ有セリ。又どげしやくどりむしハ背ノ中央ニ一列ノ隆肉ヲ有シ、しろすぢみどりノ幼蟲ノ如キハ二列ノ棘狀突起ヲ有シ、もくめきしむ



第十圖 幼蟲ノばざからするく

ばノ幼蟲ナルまめのとげむしノ如キハ背線上ニ數個ノ棘狀突起ヲ有セリ。其他背線ノ左右ニ一對ノ顆狀突起ヲ一箇所又ハ數箇所ニ有スルコトあづまにしきノ幼蟲ノ如キアリ、殆ンド毎關節ニ三對ノ顆粒突起ヲ有スルコト楞蠶ノ如キモノアリ、又後部ノ一關節ニ金字塔形ノ突起ヲ有スルコトたほもくめうはゞノ幼蟲ノ如キアリ、尾端ニ二個ノ短突起ヲ有スルハじやのめてふノ幼蟲ニ於テ見ルベク、二本ノ長突起ヲ有スルハくろすぢもくめノ幼蟲ニテ知ルベク、一本ノ長突起アルハくろすぢかぎばノ幼蟲ノ如シ。

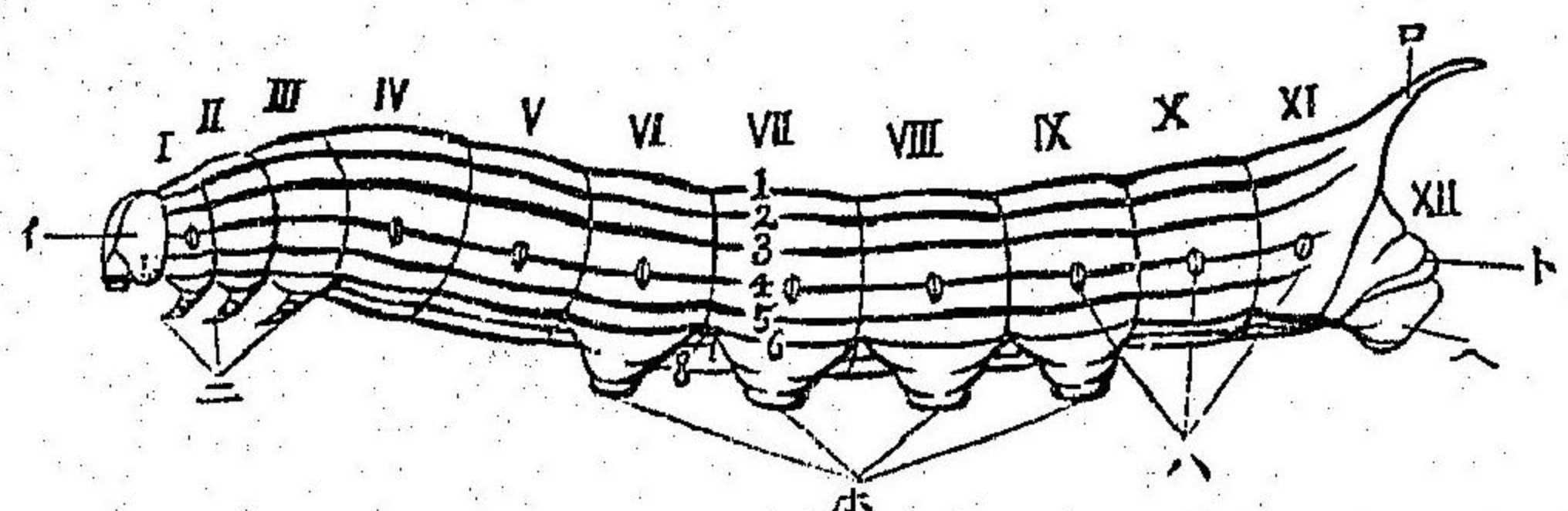
又たてはてふ類ハ又枝アル硬針ヲ縱ニ備へ、天蛾類ノ幼蟲ハ第十一節ニ通常後方ニ彎曲セル尾角ヲ有シ、往々小顆粒又ハ粗毛ヲ有セリ。又幼蟲ノ側部下方ニハ肉狀線絲 (Fleshy filaments) ヲ有スルモノアリ。

幼蟲ノ皮膚ハ裸體ナルアリ、又ハ毛ヲ有スルアリ、裸體ニモ亦夜盜蟲ノ如ク全ク平滑ナルアリ、又ハうちすすめ、もくすいめ、くちばすいめ等ノ如ク微細ノ顆粒ヲ有シテ粗糙ナルアリ、或ハ規則正シク

配列セラレタル疣狀突起ヲ有シテ各疣ニ微毛ヲ有スルアリ。有毛幼蟲ニモ種々アリ、即チうめけむしノ如ク柔ナル毛ヲ生ズルアリ、或ハかれこのはノ幼蟲ノ如ク短キ毛ヲ密ニ生ズルアリ、又あかへりしゐたへノ幼蟲ノ如ク總ノ如キ粗毛ヲ密生スルアリ、又大ナル疣上ニ毛ヲ有シテ星芒狀ニ配列セラル、コトたすぐろしろたへもどぎノ幼蟲ノ如キアリ、又にしきあかしたばノ幼蟲ノ如ク硬ク長キ毛ヲ有シテ背上ノ星芒狀配列ハ特ニ長ク見ユルモアリ、其他ノ幼蟲ニテハまつけむしノ如ク毛ヲ生ズル上ニ毛束ヲモ有スルアリ、或ハすぎけむし、つのがむし等ノ如ク兩側或ハ背上ニ毛總ヲ有スルアリ。凡ソ毛ニハ脆クシテ折レ易キモノト、柔カニシテ撓ミ易キモノトアリ、稀ニハ披針狀ノモノアリ、又有毛幼蟲ニハ甚ダ細キ鬚毛 (bristles) アリテ小孔ヲ有シ、之ヨリ么微ノ塵粉ヲ發射スルコトアリ、此毛及ビ此塵粉ハ人ノ皮膚ニ觸レテ激シキ痒衝ヲ起サシム、毒蛾科ノ幼蟲ノ如キ是ナリ。

**幼蟲ノ色彩及ビ紋理** 幼蟲ノ色彩ニハ單純ノモノナキニアラネドモ、多クハ多少ノ色ヲ混ジテ種々ノ斑點條理ヲ表ハセリ。條理ハ之ヲ縱線(或ハ條ト云フ以下同ジ)、斜線、橫線ノ三種ニ分チ、斑點ハ之ヲ點紋、斑紋ノ二種トナス。縱線トハ頭部ヨリ尾部ニ走レル線ニシテ、背ノ中央ヲ走レルヲ背線 (Dorsal line) (1) ト云ヒ、其次ニ横ハレルヲ亞背線 (Subdorsal line) (2) ト云ヒ、氣門ヲ連接セルヲ氣門線 (Spiracular line) (4) ト云フ。氣門線ト亞背線トノ間ニアルヲ氣門上線 (Supra spiracular line) (3) 又ハ側線 (Lateral line) ト云フ。氣門線ノ下ニ走レルヲ氣門下線 (Subspiracular line) (5) ト稱シ、又其下

ニアルヲ基線(Basal line)(6)ト云フ。腹面ノ正中ヲ走レルヲ腹線(Ventral line)(8)ト云フ、其左右上方ニ横ハルヲ上腹線(7)ト云フ。上腹線ハ脚ヲ連綴スルコトアリ、又ハ脚ノ内方ニ横ハルコトモアリ。然レドモ上述ノ縦線ハ一ノ幼蟲ニテ悉ク具備セルモノニアラズ、又往々二線相合シテ帶狀ヲナスコトアリ、斯ル場合ニハ便宜其名ヲ選ブベシ。例ヘバ亞背線ト側線ト相合シテ條ヲ形成スル時ニハ亞背條ト稱スルコトアリ、又ハ側條ト呼ブコトモアリ。其他背線ハ時ニ二重ナルコトアリ、或ハ狭キ線ニテ其全長ヲ二分セラル、コトアリ、斜線或ハ斜條ニハ前方下部ヨリ斜ニ後方背部ニ向ヘルアリ、前方背部ヨリ斜ニ後方下部ニ走レルアリ、且其數ハ種類ニヨリテ一定セザレドモ、天蛾類ノ如キハ第四節稀ニ第三節ヨリ第十一節ニ亘リテ七條ヲ有スルヲ常トス。往々背上ニテ相結合シテ角ヲ形成スルコトアリ、又ハ亞背線或ハ側線ト連結セルコトモアリ。横線或ハ横條ヲ有スル幼蟲ハ比較的少シ、さあげはノ幼蟲ハ赤點アル黒色ノ横條ヲ有シ、くじやくてふノ幼蟲ハ各節ニ三箇ノ白色横帶ヲ有シ、せすぢすぢノ幼蟲ノ前端ニハ黄色ノ點紋横帶

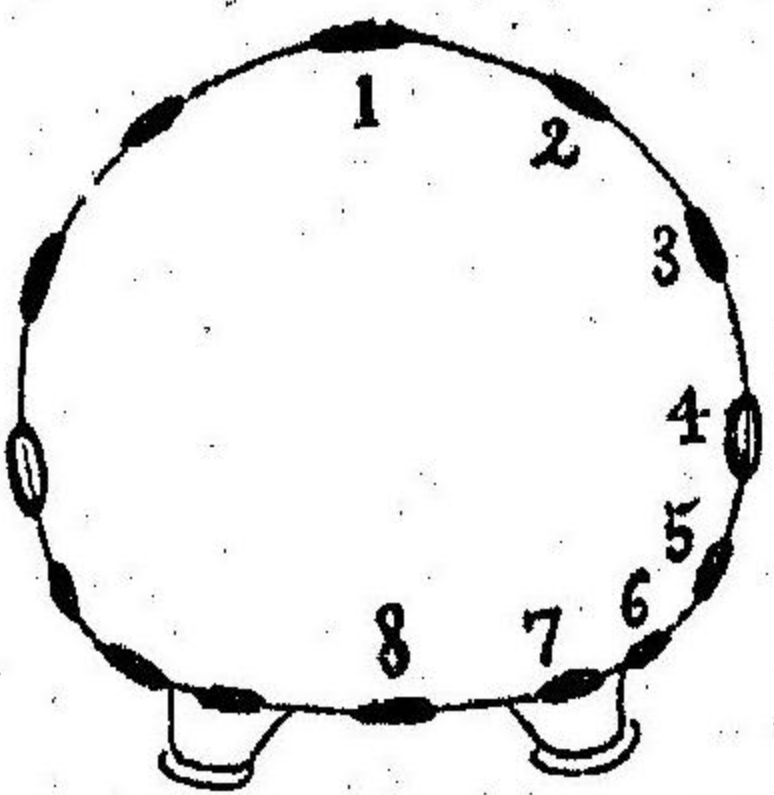


第十一圖 幼蟲ノ外  
貌ヲ示ス模型圖

- (I-III)胸部
- (IV-XII)腹部
- (1)背線
- (2)亞背線
- (3)氣門上線
- (4)氣門下線
- (5)基線
- (6)上腹線
- (7)上腹線
- (8)腹線
- (1)頭部
- (2)尾角
- (3)氣門
- (4)胸脚
- (5)腹脚
- (6)腹脚中ノ尾脚
- (7)尾脚

ヲ有セリ。點紋ニハ各節ニ規則正シク配列セルアリ、又不規則ナルアリ、即チ全體ヲ通ジテ不規則ニ點紋ヲ散布セルハ尺蠖類中往々之ヲ見ルベク、各節ニ均列セル顆粒狀點紋ヲ有セルハうちすぢめ、ももすぢめ等ノ如シ。斑紋ニハ種々アリテ、圓形ノモノ多シト雖モ。或ハ橢圓形、或ハ新月形、或ハ殆ンド長方形ニ類スルモノアリ。又圓紋ノ中央ニ色ヲ異ニセル小圓紋アルトキハ之ヲ眼形紋ト云フ。其他種々ノ形狀ヲ呈セル斑紋ハ類似シタル形ヲ選ビテ之ヲ表ハスベシ、例ヘバX形紋、V字斑、く字形

第十二圖 幼蟲體面ノ縱走線ノ位置ヲ横  
断面ニ於テ示ス模型圖



- (1)背線
- (2)亞背線
- (3)氣門上線
- (4)氣門下線
- (5)氣門下線
- (6)基線
- (7)上腹線
- (8)腹線

斑紋等ノ如シ

蛻皮

幼蟲ノ外皮ハ内部ノ生長ト共ニ擴張セザルヲ以テ、既ニ體ヲ容ル、コト能ハザルニ至レバ之ヲ脱却セザル可カラズ、此現象ヲ蛻皮ト名ヅク。蛻皮ハ多少一定ノ期間ニ行ハル、モノニシテ短キハ一二日、長キハ十日以上ヲ有ス。然レモ眼齡ニヨリテ其時日ヲ異ニシ、氣候ノ如何ニヨリテモ多少ノ伸縮ヲ來タスモノニシ

テ、都テ溫暖ナルトキハ時日ヲ短縮ス。非常ニ長キ期日ヲ要スルモノハ、幼蟲ニテ越冬スルモノニ於テ然リトス。蛻皮ノ回数モ種々ニシテ、少キハ僅ニ二回ノモノアリトイヒ、三回ナルハせすぢすぢめニテ、豌豆ノ夜盜蟲ハ四回ナリ。又ももすぢめハ五回ニシテ、をすぢろうこんノ幼蟲ナル茶毛蟲ハ六回ナリ。最モ多キハはらあかしらたヘニシテ七回ニ及ブト雖モ多數ハ四回或ハ五回ナルヲ常トス。幼

蟲ガ卵ヨリ孵化シテ第一回ノ蛻皮ヲ畢ルマデヲ第一齡ト稱シ、以下第二齡、第三齡ト算ス。故ニ四回ノ蛻皮ヲナスモノハ第五齡ヲ有スルモノナリ。幼蟲ガ蛻皮セントスル際ハ全ク食餌ヲ取ラズ、僞脚及尾脚ニテ確カニ自身ヲ支へ、多少體ノ前方ヲ擡ゲ、恰モ病氣ノ状態ヲ呈ス、之ヲ眠ルト稱ス。臆テ蛻皮ヲ始ムルヤ、舊キ皮膚ハ乾キテ收縮シ、新ニシテ大ナル頭部ハ舊キ頭部ノ後方ニ表ハレテ、終ニ舊皮ハ頭ノ後方背上ニテ分裂シ、新ナル皮膚ヲ被リタル幼蟲ハ漸次舊衣ヨリ脱出ス。舊頭ノ空殼ハ新ラシキ頭ノ口ニ附着シテ擦リ落サル、マデハ暫時遺存セリ。往々脱却シタル胴部ノ舊皮ヲ食フコトアリ、例ヘバあざぎまたら、たほすかしば、はらあかしらたへ等ノ幼蟲ノ如シ。但シ、蛻皮シテヨリ新ニ食餌ヲ索ムルマデハ多少ノ時間ヲ要スルモノナリ。有毛及有刺ノ幼蟲ニテハ、毛刺ハ舊皮ト共ニ脱却セラレテ、新ナル毛刺ハ柔軟ナル状態ニテ體ニ密接シツ、其下ニ横ハレリ。斯クテ漸次硬固トナリ、全ク舊皮ヲ脱シタル後乾燥ス。其他都テノ部分モ皆體ヲ包ミタリシ舊皮ヨリ脱出スルモノナリ。或ハ腸ノ内面及氣管ノ内面サヘモ舊皮ト共ニ脱却スルモノナリトイヘリ、もゝすゝめノ第三、四回蛻皮ノ際氣門ノ内部ニ白絲狀ノモノアルハ、多分氣管ノ内面ノ脱スルモノナラン。幼蟲ノ色彩、紋理及ヒ或ル場合ニハ其形サヘ蛻皮後ニ著ルシキ變化ヲ來タスコトアリ、例ヘバ最初鳥糞ニ擬シタルあげはのてふノ幼蟲ガ後ニハ綠色ニ變ジ、初メ綠色ヲ呈セルせずすめノ幼蟲ガ後ニ紫黑色ニ變ズル、又孵化ノ當初ニハ蠟ナリシ家蠶ガ第一回ノ蛻皮ニテ其毛ヲ失フガ如キ、又いぼたむしハ俗ニ七本角ト稱シテ初

メニハ前方ニ四本、後方ニ三本ノ細角ヲ有スレドモ、四回ノ蛻皮ニヨリテ全ク之ヲ失フガ如シ。又糖蛾科ノ幼蟲ハ最初ノ時期ニハ不完全ナル僞脚ノ第一對ヲ有スルヲ以テ、其行進ノ法稍尺蠖ニ類スト雖モ、二回蛻皮ノ後ハ十分發育シタル僞脚ヲ具フルニ至ル。

**幼蟲ノ内景** 幼蟲内部ノ解剖ハ筋肉系統(Muscular system)脂肪體(Fat body)血管系(Circulatory)呼吸系(Respiratory)消化系(Digestive)神経系(Nervous)生殖器官(sexual organs)等トス。

**筋肉系** 幼蟲ノ各部ヲ動かカスベキ筋肉ハ非常ニ多キモノナルガ、高等動物ノ筋肉トハ其趣ヲ異ニシ、殆ンド無色ニシテ透明ニ、或ハ黄白色ヲ呈シテ甚ダ柔軟ニ膠様ヲ呈セリ。之ヲあるこほる或ハ他ノ固定液中ニ投ジテ之ヲ固定シ、顯微鏡ニテ實驗スルトキハ、無數ノ縦走セル線ニヨリテ成リ、殆ンド脊推動物ノ隨意筋即チ横紋筋ノ觀アリ。其筋ハ一般ニ微細ノ纖維ヨリ成リテ、脊推動物ノ如キ腿鞘ニヨリテ包マル、コトナク、唯薄キ筋膜ニヨリテ圍繞セラル、ノミ。然レドモ體ノ附屬器官ヲ動かカス所ノ筋ハ、附着點ニ腿ヲ有セリ。上述ノ如ク筋ハ柔軟ニ見ユレドモ、其實甚ダ強靱ナルモノニシテ、又其數ノ非常ニ多ク、らいをねつと(Lyonet)氏ハ或ル螟蛉ニ三千九百九十三箇アルコトヲ驗出セリ。而シテ其大部分ハ内部ノ機關ニ屬シ、移動ヲ助クル爲メニハ千以上ノ筋アリト言ヘリ。

**脂肪體** 體腔ノ所々ニ存在シテ各器官ノ間ニ填充シ、諸器官ノ位置ヲ支持スルコト猶吾人ノ體内ニ於ケル結締組織ノ如キモノ之ヲ脂肪體ト云フ。白色或ハ黄白色ノ柔軟ナル組織ニシテ、多角形ヲナ



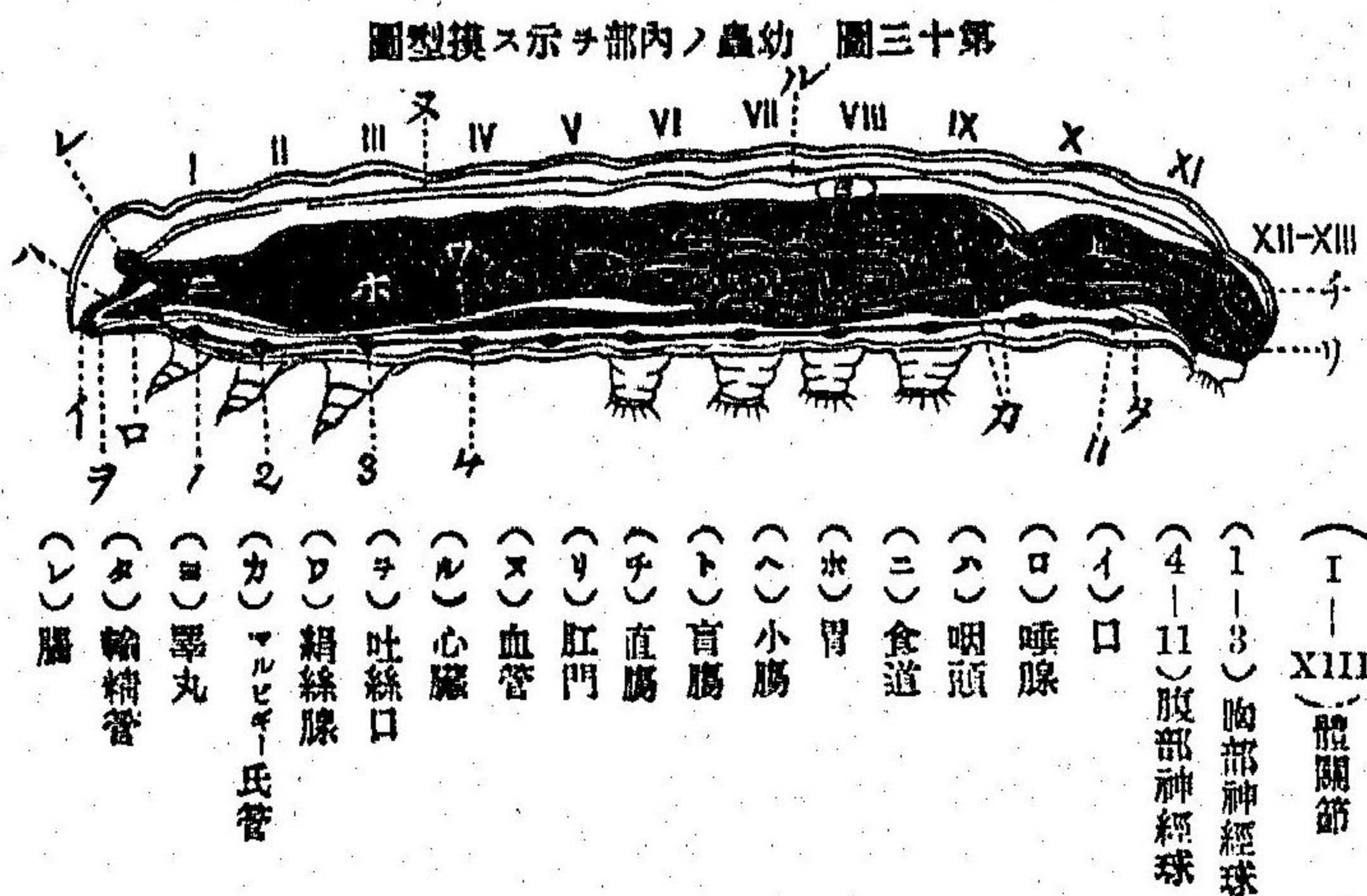
シタル數多ノ細胞ノ集合シテ成レルモノナリ。脂肪體ハ蝶蛾ノ如何ナル時期ニモ存在スルモノニテ、幼蟲ヨリ成蟲ニ至ルマデ殆ンド同一ノ構造ヲ有スルモノナリ。然ルニ家蠶、野蠶等ノ如キハ幼蟲時代ノミ食ヲ取リテ、蛹、成蟲ノ時期ニハ全ク食物ヲ取ラザルモノナルガ故ニ、成蟲時代ニ要スベキ營養物質ハ皆幼蟲時代ニ貯蓄セザル可カラズ、脂肪體即チ是ナリ。故ニ幼蟲ノ末期ヨリ蛹ノ初期ニハ多量ニ存スレドモ、漸次其量ヲ減ジテ、交尾産卵ノ後ニ至レバ著シク其量ヲ減スルコト、猶吾人が食物ヲ攝取スルコト能ハザル場合ニ體內ノ脂肪ノ消費セラル、ガ如シ。

**血管系** 幼蟲ノ體ノ内部ノ器官ニテ占領セラレザル體腔ノ全部ハ、皆血液ヲ以テ充滿セリ。即チ消化器ノ周圍、筋肉ノ間隙等、皆此液體ニテ充タサル、モノナリ。此等ノ状態ハ高等動物ト非常ニ異ル所ニシテ、素ヨリ整然タル動靜脈管ヲ有スルコトナシ。然レドモ背線ノ下、消化器ノ上方ニ横ハル所ノ一管アリテ、頭、胸、腹ノ三部ヲ通ジテ尾端ニ達セリ。之ヲ血管ト稱シ、腹部ニ當レル部分ヲ心臟ト名ツク。心臟ハ互ニ交通シタル數室ヨリ成リテ、各室ニ小孔ヲ有シ、瓣ヲ備ヘタリ。今之ニ附着セル羽狀筋ノ作用ニヨリテ心臟收縮スルトキハ、血液ノ搏動ハ心臟ヲ通ジテ血液ヲ前方動脈管ニ送り、漸次流レテ身體諸部ニ運行ス。然レモ靜脈管ト稱スベキモノナキヲ以テ、不潔ノ血液ハ組織ノ中ヲ通過シテ體ノ諸部ヨリ何所トモナク集リ來リ、漸次心臟ノ方ニ移行シ、羽狀筋ノ收縮ニヨリテ心臟擴張スルトキハ、瓣ヲ開キテ其内ニ流入スルモノナリ。心臟ノ搏動數ハ大抵一定セリト雖モ、種類、眠齡、

動作ノ如何ニヨリテ多少ノ遲速アリ。生長シタル幼蟲ヲ靜ニ保チ、背ノ正中線ヲ注視スレバ、皮膚ヲ透シ明ニ心臟搏動ノ状態ヲ察シ、血液運行ノ順序ヲモ知ルコトヲ得ベシ。血液ハ無色或ハ淡黃、淡綠等ノ透明液ニシテ、多少ノ粘力ヲ有シ、球狀ノ淡色ナル血球ヲ含ミ、決シテ高等動物ノ如ク赤血球ヲ有スルコトナシ。

**呼吸系** 幼蟲ノ呼吸器ハ體內ニアル氣管ニシテ、氣門ニヨリテ外部ニ通ゼリ。氣門ハ兩尖橢圓形ヲナセル小サキ輪ニシテ、第二、第三及ビ第十二節ヲ除クノ外各節ニ一對ヲ有シ、都合九對アリ。氣門ノ周圍ハかいちん質ノ輪ニシテ、輪ノ内部ニハ二枚ノ板アリ、かいちん輪ノ内側ヨリ出デ、中央ニテ相接シテ縦ニ狭キ罅隙ヲ殘ス。此二枚ノ板ハ横ニ並列シタル小毛ノ數層ニ重リタルモノヨリ成リ、空氣中ニ混ゼル塵埃ヲ濾過スル用ヲナス。主ナル氣管ハ體ノ兩側部ヲ縱走シテ氣管枝ヲ分支シ、氣管枝ハ無數ニ細分シテ體內ニ存スル各器官ニ分布シ、普ク空氣ヲ供給シテ呼吸ノ作用ヲ營ムモノナリ。

**消化系** 消化管ハ口ヨリ肛門ニ走レル一條ノ長キ管ニシテ、口腔ニハ唾腺ノ開口スルアリ、唾腺ハ一對ノ腺ニシテ、消化ヲ助ケンガ爲メニ唾液ヲ分泌スルモノナリ。然レドモ成蟲ノ繭ヲ破リテ外ニ出ツル際ニ當リ、其一端ヲ濕ホシテ繭ノ絲ヲ押し開クニ便ニスルコトアリ。咽頭及ビ食道ハ共ニ短クシテ漸次擴張シ、遂ニ胃トナル。胃ハ最モ大ナル部分ヲ占メ、其内部ヨリ胃液ヲ分泌ス。胃ハ消化液ヲ分泌スルト共ニ養分ノ吸收ヲナス。胃ヲ過ギテ小腸アリ、次ニ盲腸ノ膨起セルアリテ直腸ニ連接シ、



圖三十第 幼蟲体内ノ各部ヲ示ス模範圖

五百四十一みりぐらむニ至リ、體重ノ五分ノ二以上ニ及ブ。

肛門ニテ終ル。小腸ノ内面ニハまるびぎ一氏 (Malpighian) 管ノ開口スルアリ、管ハ細長ニシテ彎曲セル紐狀ノ腺ニシテ、若干ニ分支シ、胃ノ前方ニ走り、再ビ後方ニ回轉シテ盲腸ノ兩側ニテ非常ニ屈曲シ、其末端ハ直腸ニ附着ス。蓋シ此ノ管ハ血液中ヨリ老廢物排泄ノ作用ヲ營ムモノナリ。

**絹絲腺** 絹絲腺ハ消食管ノ左右兩側ニ位シ、半透明ノ紐狀器官ニシテ、分泌管ノ簡單ナル構造ヲ有シ、科族ニヨリテ其大サヲ異ニセリ。其内部ヨリハ絲質粘液ヲ分泌シ。吐絲口ヨリ出デ、空氣ニ觸ル、トキハ凝固シテ細織ナル絹絲トナリ、繭ヲ營ミテ自體ヲ保護スルノ用ニ供スルモノナリ。昆蟲中最モ絲腺ノ發達セルモノハ家蠶ニシテ、是ニ亞グハ野蠶類ナリ。家蠶ノ幼時ニハ其發育微々タルモノナレドモ、十分生長スルトキハ其長サ體ノ五倍ニ達シ、其重サ

**神経系**

腦ハ左右ノ二部ヨリ成リテ、食道ノ上ニ位スルヲ以テ食道上神經球ト稱シ、是ヨリ體ノ後部ニ走レル神經ハ消食管ノ下部ヲ走りテ各關節ニ各一箇ノ球狀部ヲ有ス、之ヲ神經球ト名ツク。即チ胸部ニ三箇、腹部ニ八個ニシテ、最終ノモノハ二球合一セリ。神經球ヨリハ神經絲ヲ分支シテ體ノ各部ニ分布セシム。

**生殖器**

幼蟲ノ生殖器ハ甚ダ簡單ナルモノニシテ、初メハ雌雄殆ンド同形ヲ呈シ、第八關節ノ背部心臟ノ兩側ニ位シテ柔軟ナル囊狀ヲナシ、雄ニテハ睪丸 (Testis) ニシテ、雌ニアリテハ卵巢 (Ovary) ナリ。各一對ノ導管ヲ有シ、雄ニテハ輸精管 (Vas deferens) ト云ヒ、雌ニテハ輸卵管 (Oviduct) ト云フ然レドモ幼蟲時代ニテハ體外ニ開口セズ。

**習性**

幼蟲ノ食物ハ毛髮、羽毛、羊毛等ノ動物質ヲ食スルモノ、或ハ少數ノ寄生的生活ヲ營メルセみやどりくろばノ如キモノ、或ハ動物ノ生産物ナル脂肪又ハ蜜蜂及ビ丸蜂ノ巢ニ於ケル蠟等ヲ食トセル或ル小蛾類等ヲ除クノ外、全ク植物質ヨリ成レリト云フベシ。然レモ或ル糖蛾類、尺蠖蛾類ニハ、已ノ同類トモ思ハシキ他ノ幼蟲ヲ食スルコトアリトイヘリ。又或ル、幼蟲ハ植物質汁液ヲ体内ニ充タセル、例ヘバ蚜蟲、貝殼蟲等ヲ食フモノアリ、ごいしうらば、かいがらむし蛾等ノ如シ。故ニ食物上ヨリ幼蟲ヲ別テバ、動物質ヲ食フモノト、植物質ヲ食フモノトノ二類トナル。或ハ雜食性ノモノアルヤモ保シ難シ。

一般ニ幼蟲ハ、専ラ植物ノ津汁ヲ吸收スルモノナレバ、其不消化ナル部分ハ、通常乾キタル小球狀ヲ呈シテ多量ニ肛門ヨリ脱出ス、之ヲ糞塊(Excrement)ト名ヅク。植物ヲ食スル幼蟲ニテモ、其嚙食スル部ヲ異ニスルモノ多シ、大多數ノ種類ハ葉ヲ嗜食スルモノナレドモ、或ハ花ヲ嚙ムアリ、又ふぢまめどりバノ、幼蟲及くはのしんむしノ如ク芽ヲ食フアリ、わたのりんむしノ如キハ果實ヲ害シ、麥蛾ノ幼蟲ノ如キハ種子ヲ損ス。又木幹ノ内部或ハ皮部、木質部及根等ニ棲ミテ之ヲ嚙食スルコトアリ、即チ硝子蛾、木蠹蛾科ノ幼蟲ハ樹木ノ皮部及ビ木質部ヲ蝕ヒテ是ニ棲ミ、螟蟲蛾科ハ草木ノ莖ヲ食ヒテ是ニ棲ム。夜盜蟲ノ類ハ地上或ハ地中ニ棲ミテ栽培シタル植物ノ根ヲ嚙食スルニヨリ往々大害ヲ起スコトアリ、故ニ是等ヲきりむし又ハねきりむしト呼ブ。植物ノ葉ノ肉質ノミヲ食フモノハ小蛾類中ニ見ルベキモノニシテ、葉肉ノ柔ナル部分ノミヲ食ヒテ其脈ヲ残スニヨリ、是等ノ害ヲ受ケタル葉ハ網狀ヲ呈シテ殘留ス。又葉ノ表皮ニ孔ヲ穿チテ上くちくら(Cuticula)層ト下くちくら層トノ間ニ棲ミ、葉綠素ヲ含メル部分ヲ食フモノヲはほりむしト云フ、之ガ害ヲ受ケタル植物ハ葉ニ彫刻的紋理ヲ表ハスモノナリ。又避債蟲ノ如キハ鞘内ニ棲息シテ、其葉ヲ食フニ當リテハ其頭ヲ鞘ヨリ突き出シテ之ヲ貪食シ其體ノ後半ハ鞘内ニ止ムルモノナリ。

幼蟲ガ多量ノ食物ヲ食ヒテ速ニ生長スルコトハ人ノ能ク知レル所ナルガ、つるいぶろ(Fouvelot)氏ガ亞米利加野蠶(Tela polyphemus)ニツキテ試験セル所ニヨレバ、此幼蟲ノ孵化シタル際ニハ僅ニ一ぐれいん(一厘七毛強)ノ二十分ノ一ニ過ギズ、然ルニ十日ヲ經レバ一ぐれいんノ二分ノ一トナルヲ以テ即チ最初ノ重サノ十倍トナリ、二十日ヲ經レバ三ぐれいんトナリテ其六十倍トナリ、三十日ニハ三十一ぐれいんトナリテ六百二十倍、四十日ニハ九十九ぐれいんトナリテ千八百倍、五十六日即チ十分生長シタルトキハ二百〇七ぐれいんトナリテ四千一百四十倍トナルナリ。又幼蟲ノ三十日間ニ要スル食量ハ殆ンド九十ぐれいんナレドモ、五十六日間即チ十分ノ生長ヲ遂グルマデニハ榭葉ノ百二十葉ヲ費シテ、其重サ一磅ノ四分ノ三ニ當ル。此他半たんすノ水ヲモ要ストイヘリ。然レバ唯一疋ノ野蠶ガ要スル食物ノ全量ハ、幼蟲ノ最初ノ重サノ八萬六千倍ニ相當セリ。此他ノ幼蟲ニテモ一々精査シナバ意外ノ結果ヲ得ルナラン。

蝶蛾類ノ幼蟲ハ殆ンド陸棲ノモノナレドモ、外國ニハ水棲ノモノアリ。即チ車小蛾科ニ隸スルあせんつろぶす屬(Acentropus)、又花文蛾亞科ニ屬スルモノ、及ビ梅毛蟲蛾科ニ近キゆいぶてろちでー(Euple rotidae)ニ隸スルはるすつら屬(Palustra)ノモノナリ。本邦ニモ水棲ノモノアレドモ、其屬種ヲ明言スルコト能ハズ、大ニ注意スベキモノナリ。

幼蟲中ニハ單獨ニ棲息スルモノト、群集的ニ棲息スルモノトアリ。前者ハ大形ノモノニ多ク、後者ハ小形ノモノニ多シ。又大形ノ鱗翅類ノ大多數ハ被覆物ヲ有セズ。全ク裸體ノマ、ニ棲ムモノ多ケレドモ或ハ網ヲ張ルアリ或ハ協同的ニ綴リタル葉ノ間ニ棲ムモアリ、或ハ嗜食植物ノ葉ニテ被ヒタル袋狀

ノ鞘中ニ棲ムモアリ。裸體ニテ棲息セル大形種中特ニ糖蛾類ノ中ニハ、日中ハ地中ニ、或ハ被護物アル地上ニ、或ハ植物ノ下ニ、又ハ乾キタル葉苔ノ下、又ハ樹皮ノ小罅内等ニ潛ミ、唯夜間ノミ食物ヲ求ムル爲メニ出デ來ルアリ。團體ニテ棲息スル多數ノ幼蟲ハ、裸出ノマ、カ、或ハ普通ノ網ヲ作ルカノ其一ニ居ル、此等ノ幼蟲ハ食ヲ搜ムルトキハ分離スレドモ、休止スルトキ又ハ蛻皮セントスル場合ニハ一所ニ集合ス。

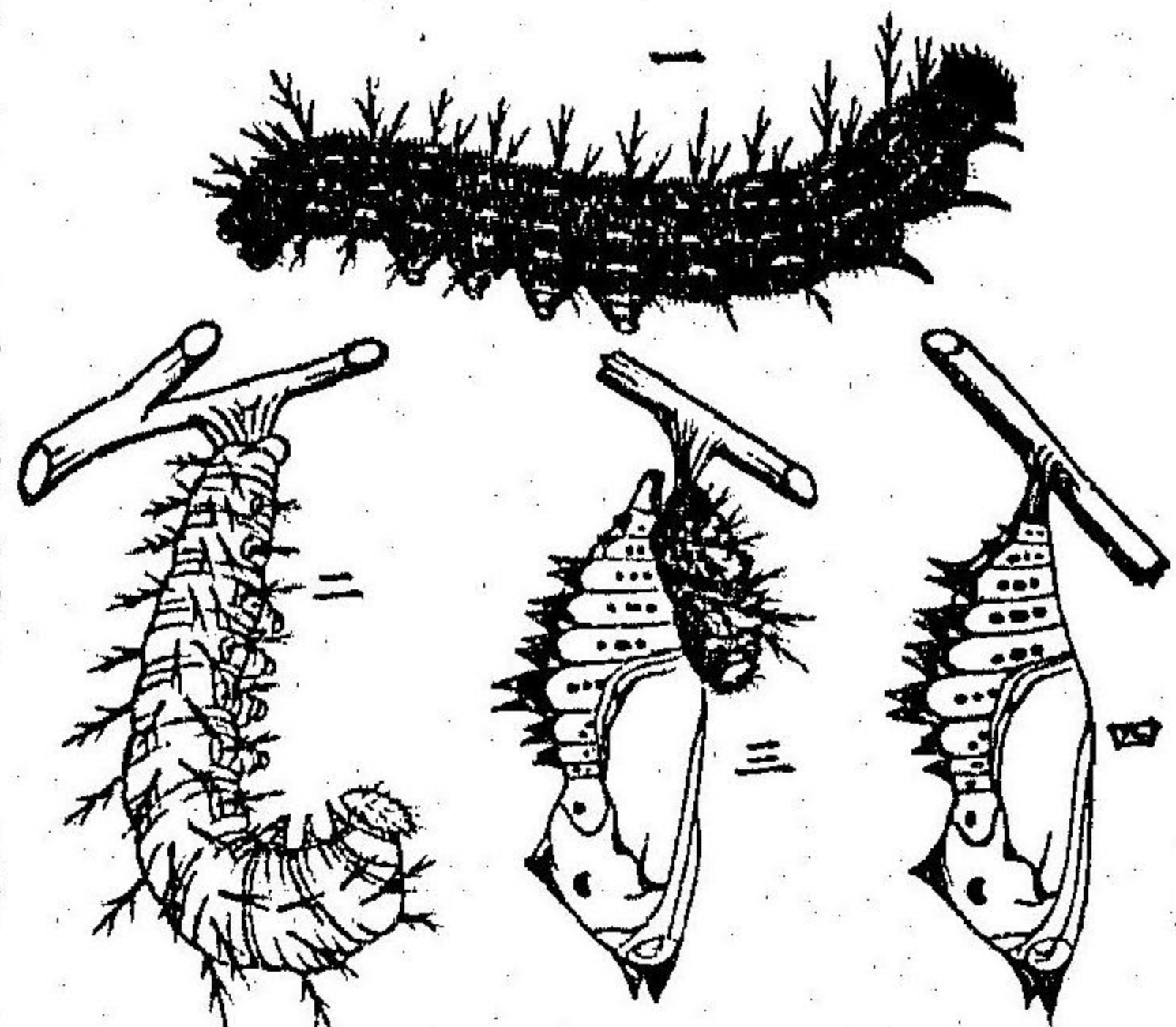
幼蟲ノ時期ノ長サハ種類ニヨリテ異同アレドモ、大抵一月乃至三月ナルヲ常トス。唯幼蟲ノ状態ニテ越冬スルモノニハ八月九月ヲ要スルモノアリ、然レドモ穀蛾類中ニハ蛹化前僅カ數日ヲ要スルアリ、又大形ノ種ニテモ温暖ナル時季ニハ、せすぢすぢノ僅カ十一二日、たほすかしばノ十九日、くろあげハノ二十日間ニテ蛹化スル如ク、短時日ニテ蛹化ス。是ニ反シ硝子蛾科又ハ木蠹蛾科ノ種ニハ幼蟲ノマ、ニテ二三年ヲ經過スルモノアリト云ヘリ。幼蟲ノ生長ハ溫度ト關係ヲ有スルモノニシテ、温暖ナル時ハ速ニ、寒冷ナルキハ遅緩ナルコトかひこの春蠶ト夏蠶トニ於テ之ヲ證スベシ。幼蟲ノマ、ニテ越冬スルモノ、中ニハ、甚幼稚ニシテ未ダ一回ノ蛻皮ダニナサルモノアリ、斯ル場合ニ於ケル硝子蛾科ノ幼蟲ノ如キハ眞ノ冬眠ヲ始ムル餘程以前ヨリ食ヲ索メズシテ、冬ノ來ル數月前ヨリ全ク斷食ノマ、ニ存スルコト、著シキ事實ナリ。此他小蛾類ニテ十分生長ノ後越冬スルモノ、中ニハ、夏期中食物ヲ要セズシテ生活スルモノアリトイヘリ。然レモ大多數ノ幼蟲ハ十分成長ノ後越冬スルモノニシテ

秋ノ終リマデ食ヲ索ムルモノナリ。多數ノ糖蛾類ノ幼蟲ハ可ナリ温ナル氣候ノ間ハ多分冬ニテモ食ヲ取ルナルベク、而シテ其嗜食植物ガ春ヲ待チテ生長ヲ始ムルヤ否ヤ、直ニ再ビ其食事ヲ始ムルモノナリ。此等ノ幼蟲ノ多數ハ再ビ食事ヲ始ムル前ニ蛻皮シ、其他ハ食事ヲ始ムルヤ直ニ蛻皮ス、いらむしノ如キハ秋ノ末既ニ繭ヲ營メルニ關セズ、幼蟲ノマ、ニテ越冬シ、翌春ニ至リテ始メテ蛹化スルモノナリ。多數ノ種類例ヘバくろあげノ幼蟲ノ如キハ冬ニテモ一團トナリテ生活シ、網ノ中ニ冬ヲ經過ス。然レドモ春ニ至レバ散布シテ其後單獨ノ生活ヲナスモノナリ。

### 變態

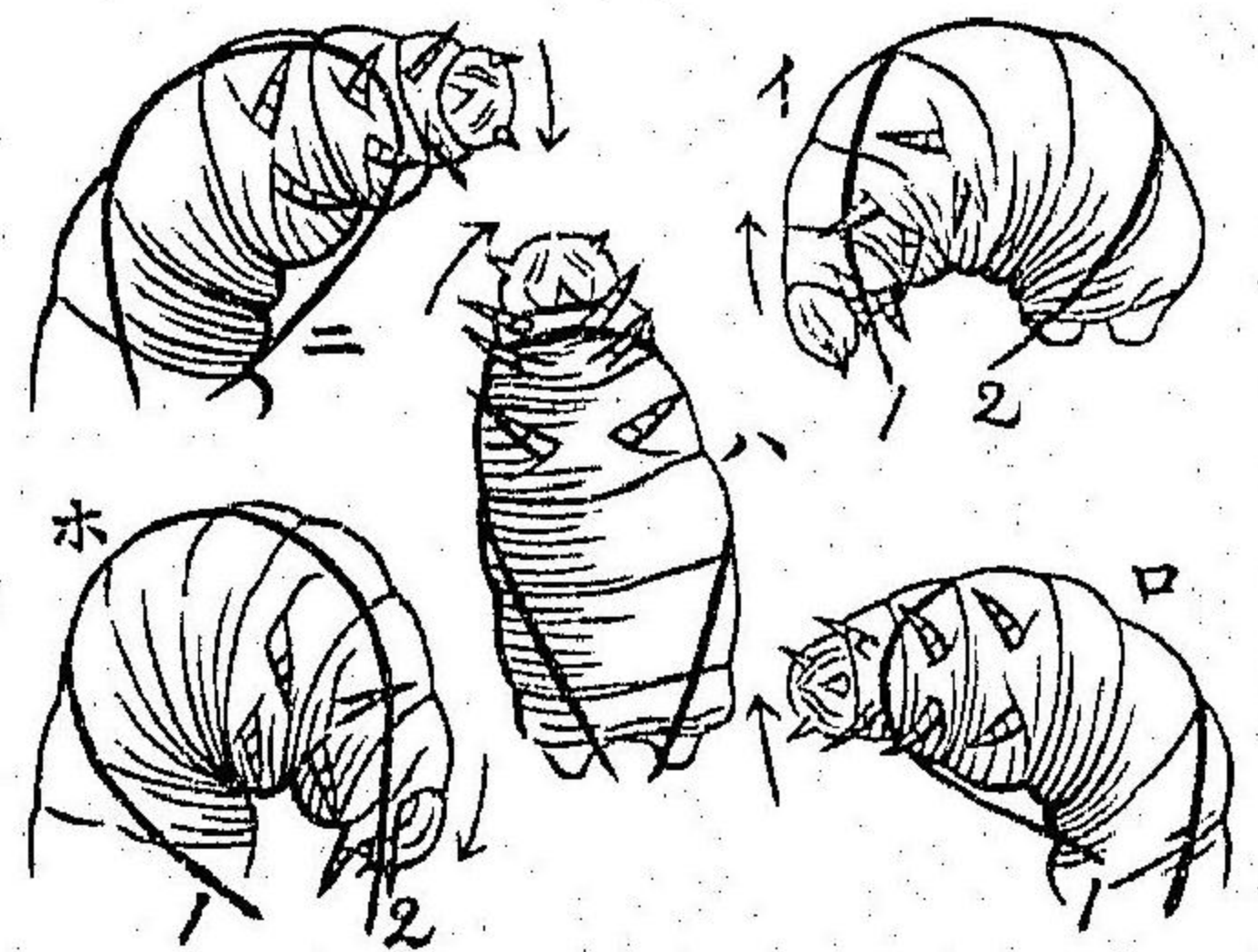
幼蟲十分ノ大サニ生長スルキハ、食餌ヲ索メズシテ静止ノ状態ヲ保チ、最後ノ蛻皮ヲナス、所謂蛹化是ナリ。往々蛻皮ニ先チテ其色ヲ變ズルモノアリ、蛹化ヲナスニハ甚ダ種々ナル状態ヲ呈スルモノニシテ多數ノ蝶類ノ幼蟲例ヘバひをどして屬、ごまだらて屬、へうもんで屬、ひかげト屬ノ如キ、又蛾類中ニテふぢまめどりばノ如キ、小蛾類ノ或種ハ尾端ニテ植物ノ枝樞又ハ他ノ物體ニ自體ヲ固着シテ空中ニ懸垂シ、然ル後蛹化ス、之ヲ懸蛹ト云フ。之ガ蛹化ノ一般ノ状態ヲ述ベンニ先ツ十分生長シタル幼蟲ハ、枝樞ノ一部ニ絹絲ヲ網狀的ニ績ギテ足場様ノモノヲ作り、腹部ノ末節ニ存スル微細ノ鈎狀突起ヲ以テ是ニ懸リ、倒ニ體ヲ保チテ最後ノ蛻皮ノ準備ヲナス。單ニ考フレバ蛻皮ノ際蛹ハ正シク墜落セザル可カラザル状態ニアルガ如シト雖モ、其實甚ダ安全ナルモノナリ。即チ表皮ハ前方背部ヨリ裂ケテ漸次蛹ノ頭胸ヲ見ハスト雖モ、表皮ノ一部ハ腹部ノ下面ノ一節ニ結合シテ

容易ニ離ル、コトナシ、此際腹部ノ尾端ヲ表皮ヨリ脱ギ出シテ新ニ其先端ノ小鉤ニヨリテ再び足場様  
第十四圖 ひをさしてふノ幼蟲及ヒ其繭 化ノ順序ヲ示ス



着セシメタル後、腹脚ニテ他物ヲ支ヘツ、體ノ前端ヲ左右ニ動カシテ  
絹絲ヲ支持物ノ一端ヨリ一端ニ運ブコト數十回ニ及ビテ體ヲ支フルニ  
足ルベキ一條ノ環絲ヲ形成シ、然ル後體ヲ環絲ノ内方ニ入レ、安全ニ  
支フベキ準備成リタル後最後ノ蛻皮ヲナスコトハ、尙懸蛹ノ場合ト大

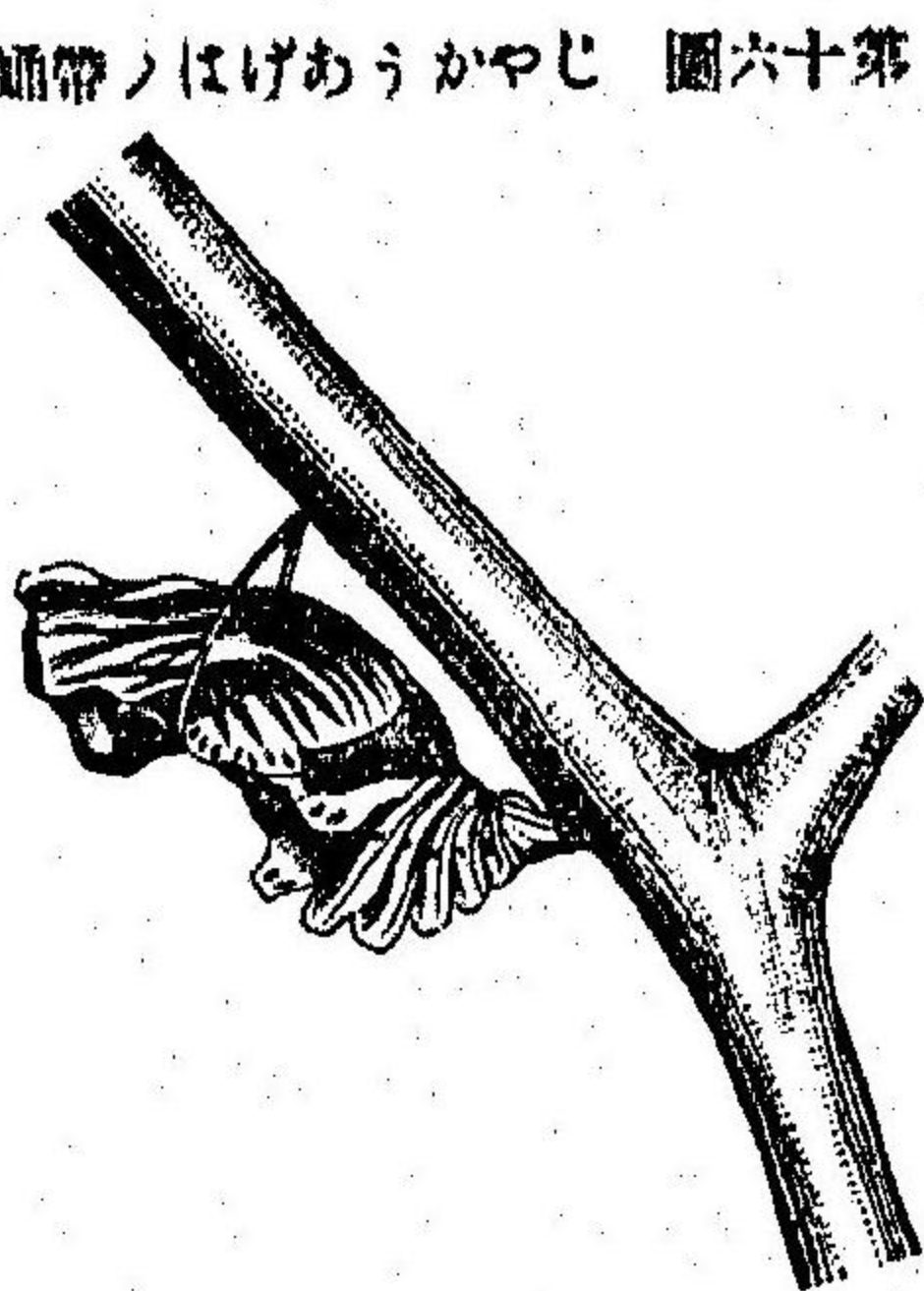
ノ絹網ニ縋リ然ル後腹部ト表皮トノ縁ヲ絶ツモノナリ。尙挿圖  
ニツキテ其大略ヲ了知スベシ。其他蝶類例ヘバあげはのてふ屬  
もんしろてふ屬、きてふ屬、しゅみてふ屬等ハ絹絲ノ紐ニテ自  
體ヲ支ヘ、植物或ハ他ノ物體ニ附着シテ蛹化ス之ヲ帶蛹ト云フ。  
其一般ノ順序ヲ述ベンニ、十分 第十五圖  
生長シタル幼蟲ハ體ヲ固着スベ  
キ植物或ハ物體ノ一部ニ絹絲ヲ  
績ギテ、其尾節ノ鉤狀突起ヲ支  
フルト尙懸蛹ノ場合ニ於ケルガ  
如シ。斯ク體ノ尾部ヲ他物ニ固



あ、い、ろ、ハ、ノ幼蟲ノ環絲ヲ績  
カサ、ヲ示ス(テツケル  
ソノ氏ヨリ繪寫)

同小異ナリ。

蛾類中ニテ天蛾類ノ多數、しよくこうのにしきノ幼蟲、夜盜蟲ノ如ク土中ニ降リテ蛹化スルモノ、又  
ハ硝子蛾科、木蠹蛾科、蝙蝠蛾科、螟蟲蛾科等ノ幼蟲ノ如ク植物ノ莖幹中ニテ蛹化スルモノハ、裸躰



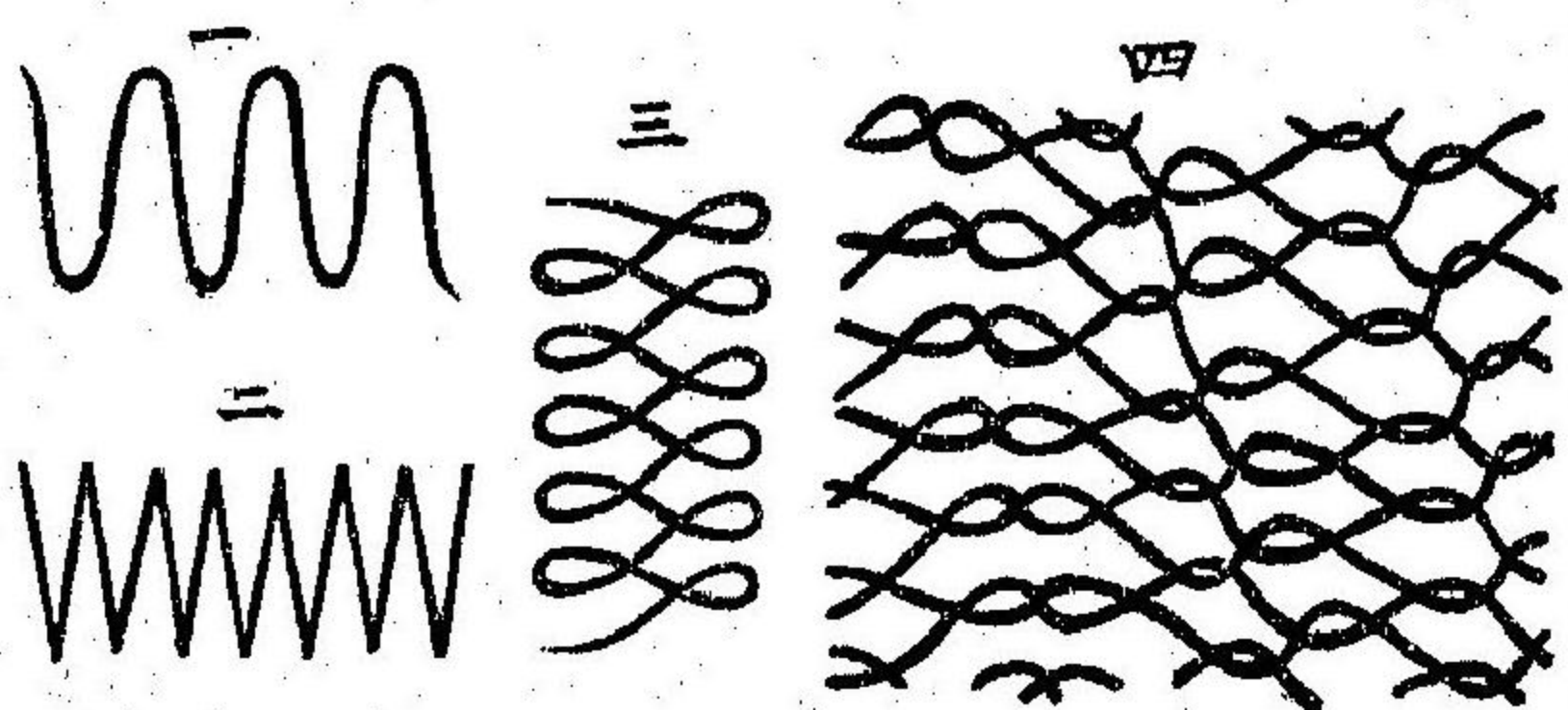
第六十圖 蛾ノはげあうかやじ

ニシテ他物ヲ支持スルコトナシ。此等ノ幼蟲ガ蛹化ノ次第ヲ天蛾  
類ニツキテ述ベンニ、幼蟲十分生育スルヤ嗜食植物ノ莖幹ヲ下リ  
テ地面ニ達シ、膨軟ナル土壤ヲ選ビ、頭部ヲ下ニシ、此所ニ小穴  
ヲ穿ツ、然レドモ地下幾何ナラザルニ大ナル障害物アルトキハ、  
此處ヲ避ケテ地面ニ匍ヒ出デ、再び他ノ場所ヲ求ム、應テ地下數  
寸ノ位置ニ適當ナル小房ヲ設ケ、此處ニ閑居シテ後若干ノ時日ヲ

經テ其舊皮ヲ脱スレバ、遂ニ蛹ニ化スルナリ。樹木ノ内部ノ硬キ部ヲ嚙食スル幼蟲ハ、蛾ガ脱出スル  
ニ妨ゲザル様其通路ヲ設ク、即チ通常蛹ノ存在セル場所ヨリ外部ニ墜道ヲ形成シテ門戸ノミ植物ノ最  
外皮ニテ閉セリ。保護ノ爲メニ繭ヲ績グモノハ殆ンド蛾類ニ屬スルモノニシテ、此等ノ中ニハ單ニ絹  
絲ノミニテ績グコトやまとたから(家蠶)やまとにしき(野蠶)からにしき(柞蠶)あづまにしき等  
ノ如キアリ、又葉片、木片等ヲ混ズルコトはしもふりほ、ぐろ(桑白毛蟲)あやにしき(楊蠶)等  
ノ如キアリ、又幼蟲ノ粗毛ヲ混生スルコトまつかはまたたら、かれこのは、をすぐろうこん(茶毛蟲)

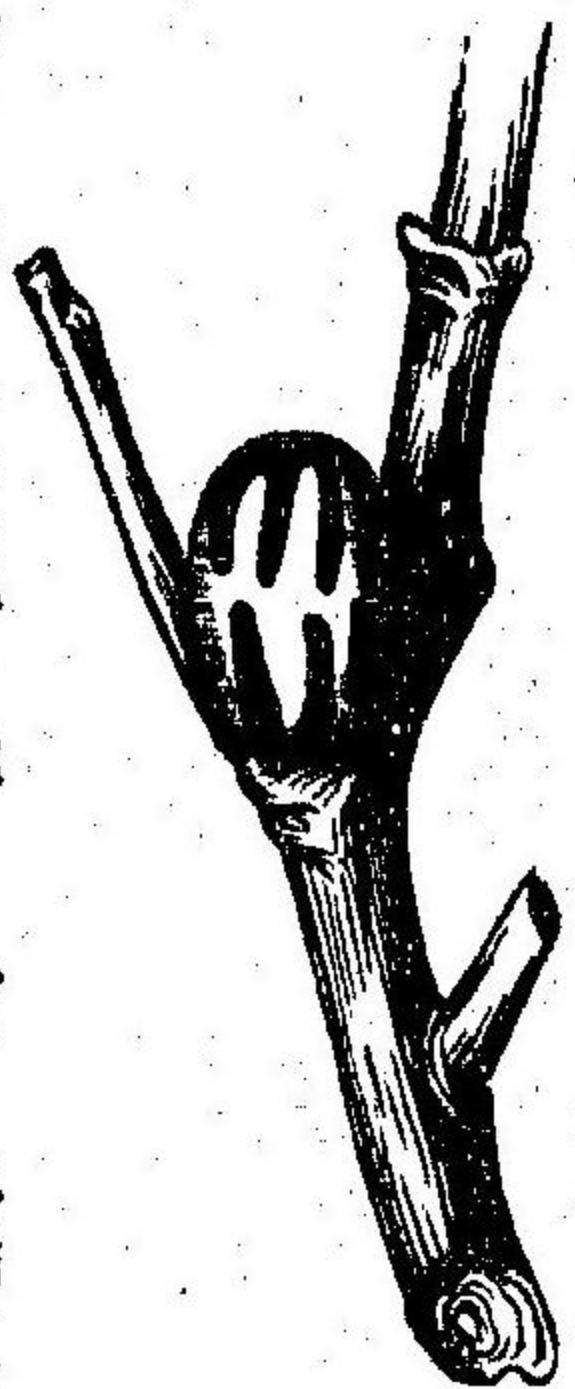
等ノ如キアリ、又土中ニテ蛹化スルモノ、内ニ土砂ヲ綴リテ異様ノ繭ヲ形成スルアリ、天蛾類中ノ或種又ハふくらすずめノ如ク葉片ヲ綴リテ實ニ不完全ナル粗繭ヲ營ムモノアリ。繭ヲ綴グ方法ハ種々ナレドモ、皆體ノ前部ヲ前後左右ニ動かシテ絹絲ヲ山形、波形、齒形又ハ連續 第十七圖 絹絲ノ運ビ方ヲ示ス  
 一、二(サツケルソン氏原圖)  
 四(米國昆蟲雜誌ヨリ)

8 字形等ニ連ビ、外層最初ニ成リテ内層後ニ成ルモノナリ。繭ハ種類ニヨリテ其硬サヲ異ニスルモノニシテ、こがねまるば(イラムシ)ノ繭ハ最モ硬ク又木質ヲ混ゼルなかぐろもくめノ繭ノ如キハ甚ダ硬クシテ堅牢ナリ。絹絲ノミヨリ成リテ厚キモノハ革狀ヲ呈シテ強靱ナリ、又つりのにしき(樟蠶)ノ如キハ網目狀ノ繭ヲ作ル。然レドモ亦滑カニシテ薄キモノ少カラズ。繭ハ大抵容易ニ見出し難キ場所或ハ保護セラレタル場所ニ績グコト普通ニシテ或ルモノハ樹木ノ罅隙ニ、或ハ地中ニ、或ハ苔ノ下ニ、或ハ物體ノ一隅等ニ附着シテ、其外部ハ往々周圍ノ物質ト區別スルコト甚ダ困難ナルモノアリ。特ニ樹幹ニ固着セルモノハ樹皮或ハ地衣等ヲ以テ被ハレ、宛然樹皮自然ノ狀態ヲ呈スルモノ少カラズ。



繭ノ形ハ普通橢圓狀又ハ卵狀ヲ呈スレドモ、或ハあやにしき、かれこのはノ如ク紡錘狀ヲ呈スルアリしるをびはたるノ如ク短艇狀ヲ呈スルアリ、つみみのむしノ如ク扁平瓢形

第十八圖 こがねまるばノ繭



ナルアリ、或ハ梨子狀、或ハ瓶子狀ヲ呈スルアリ、或ハ蓋狀ノモノニテ閉サル、コトこがねまるばノ如キアリ、繭ノ一方ノ開放セルコトあづまにしき(ヤマカマス)ノ如キアリ。避債蟲蛾科ニ屬スルモノハ幼蟲時代ヨリ既ニ木葉、葉片等ヲ蒐メテ一種ノ

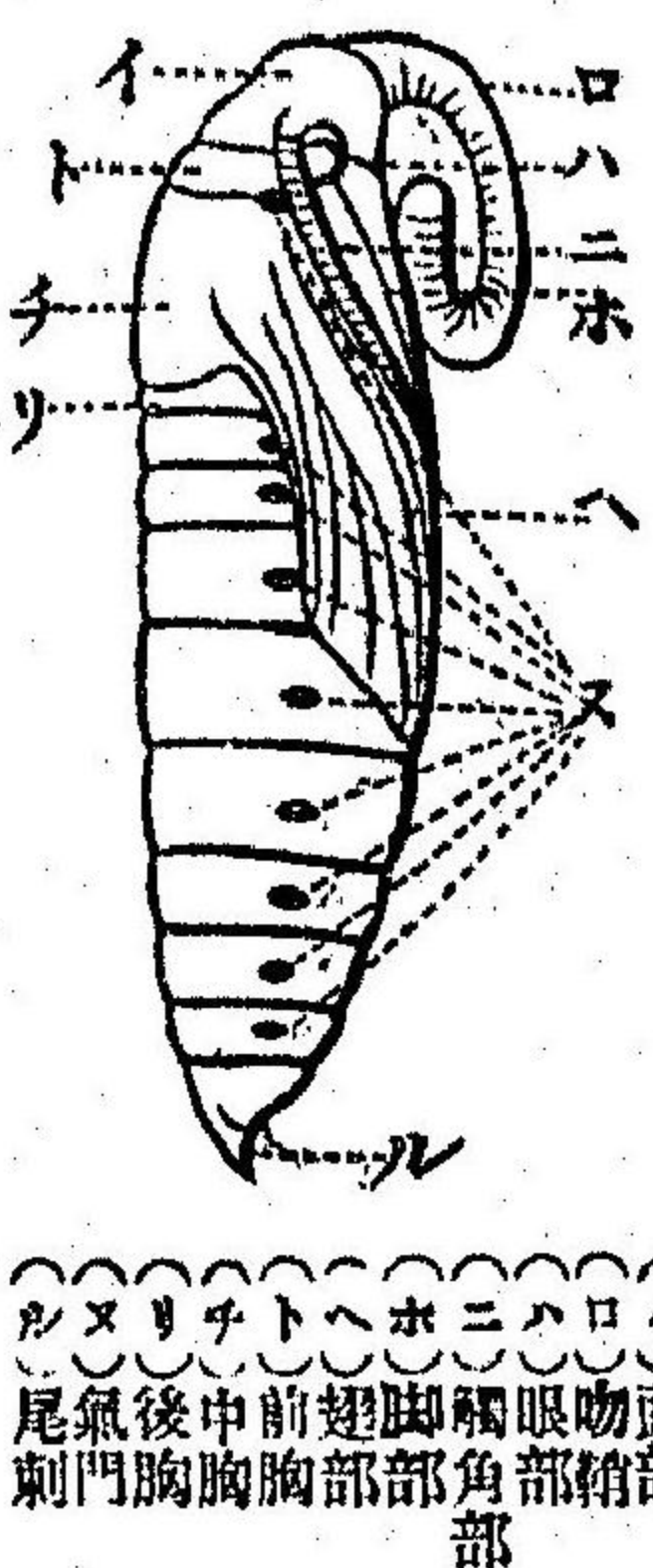
鞘ヲ作り、蛹化ニ先チテ鞘ノ上端ヲ結合シ、内側ニテ環狀トナリ、其後蛾ハ後端ヨリ脱出ス。蓋シ雄ナリ合同的ニ績ギタル葉ノ間ニ生活スル幼蟲ハ眞ノ繭ヲ營ムコト少ク、大抵生活シタリシ葉ノ間ニテ蛹化スルカ又ハ他ニ行キテ蛹化スルモノナリ。

幼蟲ガ最後ノ蛻皮ヲ畢リテ蛹ニ變ズルニハ、幼蟲ノ皮膚ガ頸ノ背部ニテ裂クルマデ前部關節ノ膨脹スルヲ要ス、然ル後蛹ノ連續シタル運動ニヨリ之ヲ脱却スルモノナリ。蛹ハ蛻皮ノ最初ニハ往々蒼白色ヲ呈ス、然レドモ忽チ其固有ノ色ヲ現ハシテ鞏固トナル。

### 第三章 蛹 Pupa or Chrysalis.

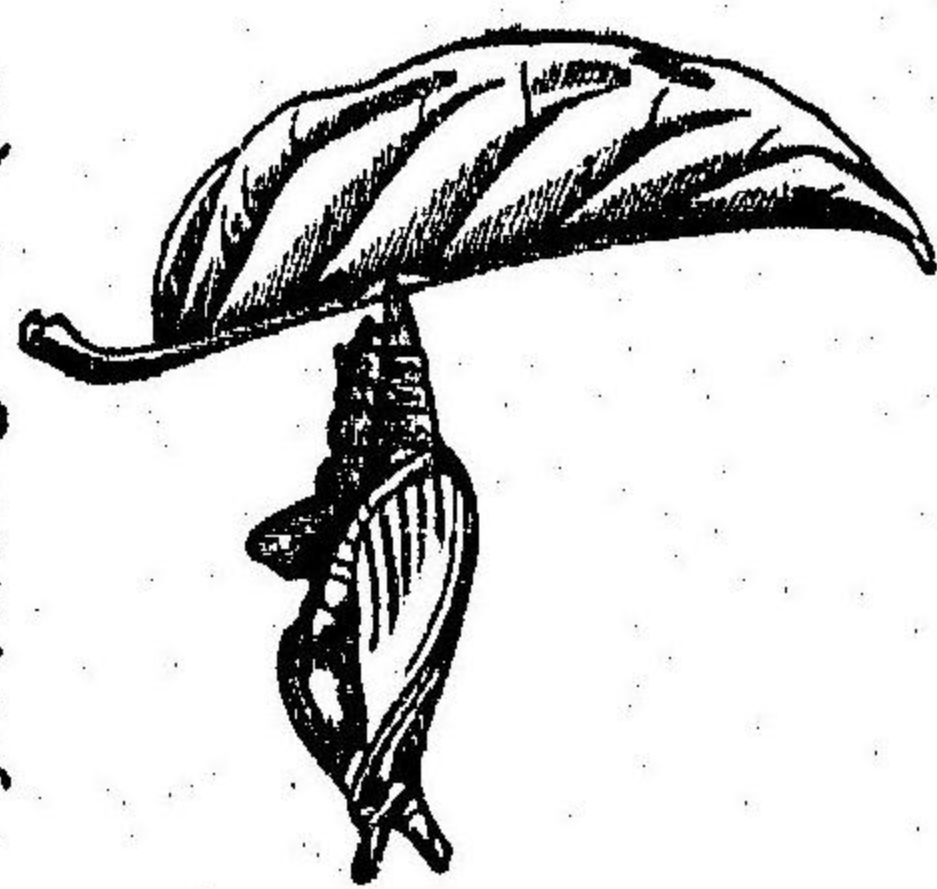
形及ビ色 蛹ノ形ハ通常圓筒狀ニシテ、後部ハ漸次或ハ頓ニ狭小トナリ、かいちん質ノ環節及ビ被鞘ヲ以テ外部ヲ被ヒ、種類ニヨリテ其硬度ヲ異ニセリ。頭部、胸部及ビ腹部ノ三部ニ分レ、未來ノ蝶蛾ニテ見ルベキ分離ノ部分ハ蛹ニテ之ヲ見ルヲ得ベシ。

頭部ハ前方ニ位シテ少シク膨起シ、其各側ニ複眼ヲ見ルベシ。複眼ノ上部ノ兩側ヨリ腹面ニ向ヒテ彎曲セル紐狀隆起アリ、是レ即チ觸角ニシテ、雌雄ニヨリ其大サヲ異ニシ、吻鞘ハ長キコトアリ、短キコトアリ、或ハ其末端ニ節狀突起ヲ有スルコトアリ、又體ヨリ分離セル管トナリテ胸ニ接シ、或ハ胸ヨリ離レテ往々捲旋スルコトえびからすめ、しもふりすめ等ノ如キアリ。



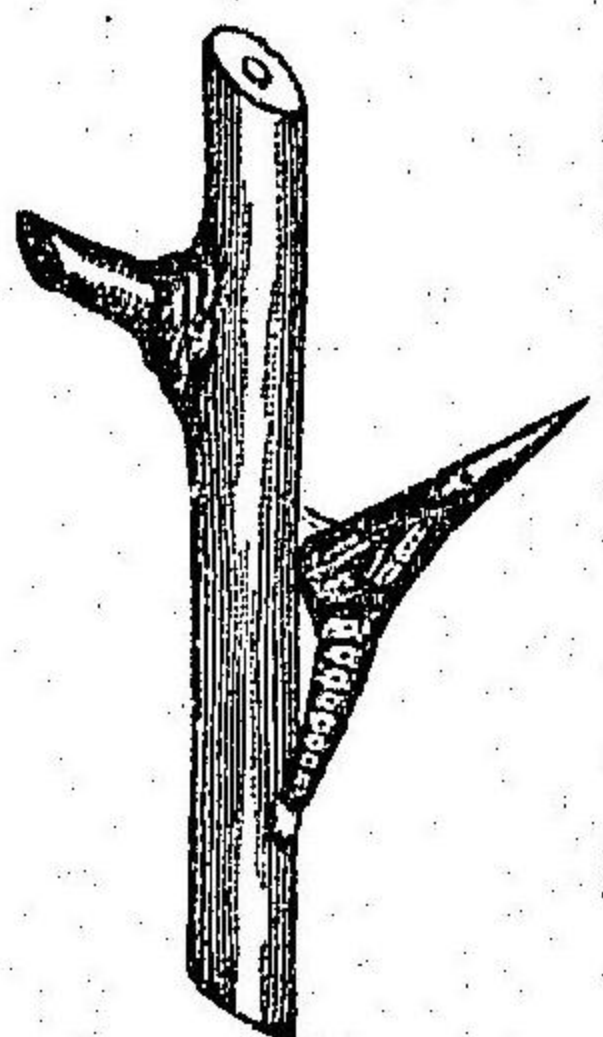
胸部ハ三關節ヨリ成リ、之ヲ前、中、後ノ三部ニ分ツ。前胸ハ狭クシテ略長方形ヲ呈シ、中胸ハ廣クシテ略五角形ヲナシ、後胸ハ最モ狭シ前脚及中脚ノ下部關節ハ頭側ノ前方下部ニ顯ハレ、其腿節及ヒ後脚ノ一對ハ隠レタリ。但シ、後脚ノ先端ハ他脚ノ後方ニ見ハル。前翅ノ鞘ハ中胸ノ側部ニ起リテ後方下部ニ走リ、觸角ニ接近シツ、先端ニテ相接セリ。但シ、觸角、舌吻、脚等ノ器官ノ長サノ如何ニヨリテ離レタルコトアリ。後翅ハ後胸ニ附着セリ、サレドモ唯其基部ノ一小部分ノミヲ見ルベシ。蓋シ、前翅ノ下ニ隠レタレバナリ。翅鞘ハ少クトモ殆ンド體軀ノ中央ニ至ルマデ展張スルコト通例ニシテ、常ニ後胸ヲ過ギテ顯著ナリ。往々體軀ノ末端ニ達スルコトアリ。脚鞘ハ長キコトアリ、又ハ短キコトアリテ往々體ヨリ離ル、コト小蛾ノ或種ニ見ルガ如シ。腹部ハ尾端ニ向ヒテ漸次或ハ急ニ狭小トナリ、其關節ハ九個ヲ數フベシ。即チ蝶蛾ノ腹部ニ相當スル

部分ナリ。腹部ノ第一關節ハ甚ダ狭クシテ、四五節ニ至ルニ從ヒテ次第ニ其廣サヲ増シ、尾節ニ至ルニ從ヒテ又漸次狭小トナレリ。通常最初ノ四節ハ下面翅鞘ニテ被ハル。尾節ハ下面ニ短キ縱溝ヲ有シ二個ノ小突起ヲ有ス。然レドモ雄ニ在リテハ唯一箇ナリ。尾節ハ圓狀ニテ終ルアリ、又鈍端ニヨリテ終ルアリ、又ハ刺ニヨリ、又懸垂突起ト呼ハレテ一個以上ノ鉤刺ヲ有セル突起ニヨリテ終リタルコトアリ。前胸ト中胸、及ビ最初ト最後ノ二節ヲ除キタル腹ノ全部ニ呼吸孔ヲ有セリ。抑蛹ノ時代ハ殆ン第二十圖 いらもじてふノ蛹



コト無ケレバ、消化器ノ口孔ヲ棘外ニ開クコトナク、獨リ外部ヨリ内部ニ向ヒテ開ケルハ氣孔ノミニシテ、唯呼吸作用ガ靜ニ行ハル、ノミナリ。蛹ノ形及被包ニハ種々ノ變化アリ、蝶類ノ多數ハ頭部ノ前方ニ二箇ノ銳キ突起ヲ有スルアリ、或ハ背ノ中央ニ斧狀又ハ鼻狀突起ヲ有スルコトいらもじてふノ如キアリ、又背部ニ銳針ヲ有スルコトひをぞしてふ屬ノ如キアリ、胸部ノ隆起セルコトつよきてふノ如キアリ。幼蟲時代ハ植物ノ内部ニ棲ミ蛹ノ時代モ亦之ニ過ゴスモノハ、腹部關節ノ上面ニ銳針或ハ鉤ノ横列ヲ有シ、羽化ノ際ニ當リ之ガ作用ニヨリテ自身ヲ前方ニ進マシムルモノナリ。腹部ノ尾節及懸垂突起ハ針或ハ鉤又ハ剛毛ヲ有ス。其數ニハ異同アリ。蛹ハ稀ニ柔ナル毛或ハ小塵ニテ被ハル、コトアリ。

蛹ノ色ハ蛾類ノ如ク繭中ニ在ルカ、又ハ他ノ安全ナル場所ニ身ヲ置クモノハ大抵褐色、暗褐色、黒褐色等ノ都テ暗色ヲ呈スルコト常ナレドモ、多數ノ蝶類ノ如ク、全ク體ヲ空中ニ曝ラスモノニ至リテハ保護上其周圍ノ色ト同色ナルカ又ハ他ニ擬スルヲ常トス。例ヘバあげはのてふノ綠枝上ニテ蛹化スルモノハ綠色ヲ呈シ、枯枝上ノモノハ褐色ヲ呈スルガ如キもんしろてふノ嗜食植物ヲ辭シ墻壁等ニテ蛹化スルトキハ暗褐色ヲ呈シむまだらてふ、あをすぢあげはノ如ク葉間ニ懸ルモノハ綠色ニシテ葉脈狀紋理ヲ呈スル其他樹枝ニ附着シテ褐色ヲ呈スルひをどしてふノ如キハ蓋シ枯葉ヲ擬セルモノナラン。又たては科ニハ金色或ハ銀色ヲ放テ爾著シキ點ヲ有スルアリ。余未ダ之ガ目的ヲ知ラズト雖モ或ハ露ヲ裝ヘルニハアラザルカ。



第二十一圖 つまきてふノ蛹

蛹ハ動搖移行セザレドモ、ごまだらてふ、ひをどしてふ等ノ如ク腹部關節ノ作用ニヨリテ跳躍スルアリ、めんがたすずめノ如キモ其腹部ヲ動かスコト盛ナリ、又前ニモ述べシ如ク、針、鈎等ヲ有スルモノハ、腹關節ヲ動かスニ連レテ漸次位置ヲ移スコトアリ、又小蛾類中ニハ明ニ脚ヲ用ヒテ移動スルコト毛翅目ノ蛹ニ髣髴タルモノアリ。

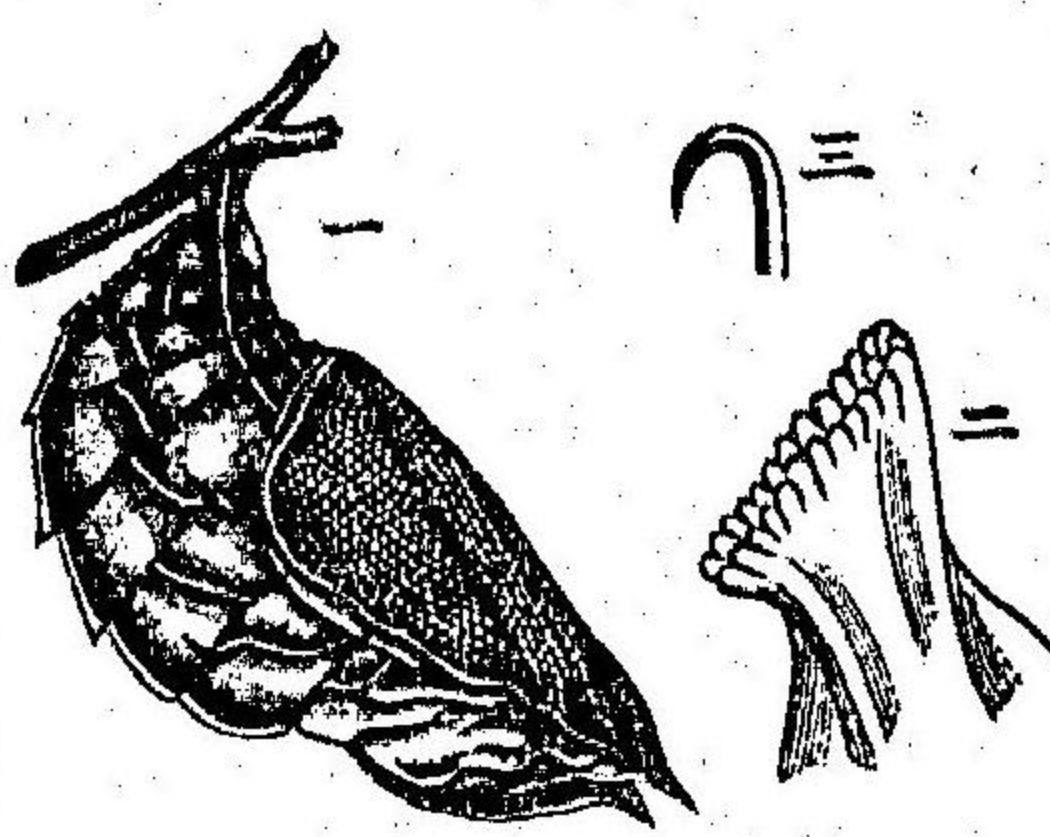
**蛹期ノ長短** 蛹時代ノ期限ハ種類ニヨリテ異ナリ、又氣候ノ寒暖ニヨリテ差アリ。幼蟲ノ孵化シタルト同シ年ニ蛹化スルモノハ大抵蛹期ニ二乃至五六週間ヲ要スレドモ、氣候温ナルトキハ僅カ一週

間内外ニテ羽化スル蝶類少カラズ。然レモ多數ノ鱗翅類ノ蛹ハ完全ナル發育ヲ遂グルニ一月以上ヲ要スルモノナリ。冬眠ノ蛹ハ六乃至九ヶ月ヲ要シ、外國ニテハ天蛾類ノ蛹ニテ往々二三年間蛾ニ變セザルモノアリト云ヘリ。又外國ニテ蛹期ノ長キ生活ニツキ最トモ著シキ例ハ、梅毛蟲蛾科ニ屬スル一種

第二十二圖 ちまたらてふノ蛹

*Eriogaster lanestris* ニシテ、若シ此幼蟲ヲ養ヒテ多數ノ繭ヲ營マシメ、

- (一) 之ヲ一定ノ場所ニ永ク保存スルトキハ、八年或ハ十年間毎年繭ヨリ幾分ノ成蟲ノ羽化シテ出ツルヲ見ルベシト云ヘリ。本邦ニテハ未ダ此ノ如キ例アルヲ聞カズ。
- (二) 成蟲ノ發育 蝶及蛾ノ羽化スル數日前ニハ、蛹ハ通例殆んど死シタル様トナリ、翅鞘ヲ透シテ見ラレタル色彩及ビ紋理等ヲ消失スルコト多シ。斯クテ蛹皮ハ背部ヨリ破裂シテ、成蟲ハ其體ノ前部ヲ脱出シ
- (三) 同時ニ其觸角、脚及ビ翅ヲ漸次鞘ノ外ニ曳キ出ダシ、其脚ノ助ニヨリテ遂ニ腹部ニ及ブ。脱化ノ當初ニ於テハ、脱キ捨テタル蛹鞘或ハ他物ニ縋リテ静止シ、翅ハ濡レテ下方ニ垂レ甚ダ小ニシテ柔軟ナレドモ、見ル間ニ發展シテ十分ノ大サトナリ、忽チニ強固ノ状態ニ變ズ。或ル外國ノ美麗ナル一種ノ蝶 *Chrystridia madagascariensis* ノ如キハ、日光ノ輝ケル所ニテ羽化スルトキハ一二時間ニテ十分ニ發育スレドモ、日蔭ノ場所ニテハ一日ヲ要シ、且其色澤鮮麗ナラズト云ヘリ。然レバ日光ハ翅ノ展張ニ多少



(大然自)ノモルセ垂懸ノ蛹  
(大麻)ノ端尾ノ端尾  
(大麻)ノ鉤小ノ端



ノ關係アルモノナラン。繭内ニ包マレタル蛹ニテハ、羽化ノ後繭ヨリ脱出セザル可カラズ。其中あづまにしきノ如ク既ニ繭ニ裂口ヲ有セルモノハ甚ダ容易ナレドモ、大多數ノ繭ノ如ク全ク裂口ヲ有セザルモノハ、之ヨリ脱出スル爲ニハ種々ノ方法ヲ取ラザル可カラズ。即チ家蠶ノ唾液ニヨリテ絹糸ヲ切斷シ、くろすぢもくめノ如キハ苛性加里ヲ含メル腐蝕液ヲ分泌シテ繭ヲ破リ、自身ノ腐蝕ヲ防グニハ蛹鞘ノ一部ヲ楯狀的ニ裝フトイヘリ。いらむしノ如キハ營繭ノ當時ニ既ニ内部ヨリ繭ノ上方ヲ環狀ニ嚙ミ切りテ蓋狀裝置ヲナセルニヨリ、羽化ノ際内部ヨリ之ヲ押セバ容易ニ脱出スルヲ得、地中ニ横ハレル蛹ハ地上ニ出ツベキ道ヲ作りテ脱出シ、植物ノ内部ニ竄入セル蛹、例ヘバ硝子蛾科及ビクモガたかうもりノ如ク其幼蟲ノ筒中ニ棲ムモノハ、關節ニ存セル鉤端ノ作用ニヨリ豫テ用意シタル廊下ヲ傳ヒテ前方ニ進ミ、外部ノ孔ヲ通シテ蛹ノ前部ヲ出シ、然ル後脱出ス。

#### 第四章 成 蟲 Imago

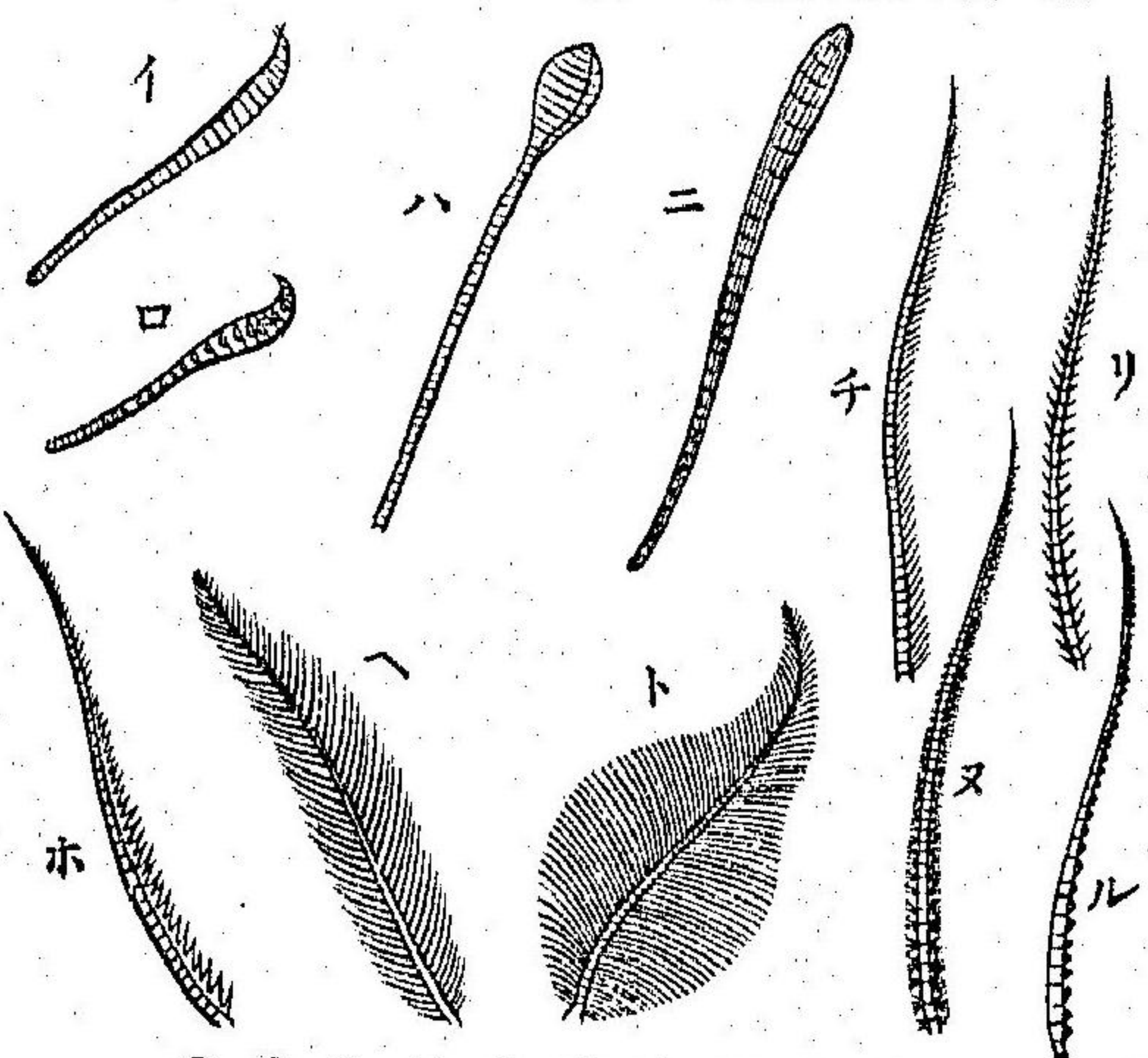
**外部ノ構造** 蝶蛾ノ體ハ頭(Head)、胸(Thorax)、腹(Abdomen)ノ三部ヨリ成レリ。

**頭部** 頭ハ狭キ膜狀ノ頸ヲ以テ胸部ノ前方ニ附着シ、之ヲ動かスコトヲ得ベシ。大ナルアリ、小ナルアリ、其形圓クシテ長サヨリモ其幅廣キヲ常トスレドモ、時ニ前頭ヨリ角狀突起ヲ生ズ。此突起ハ圓錐狀ヲ呈スルアリ、又平滑ニシテ截形ヲナスアリ、或ハ一、或ハ三箇ノ突起ヲ有スルアリ。但シ、

鱗ヲ以テ被ハル、ヲ常トス。凡ソ頭部ノ外被ハ毛或ハ鱗ヲ生ジ、隆起スルコトアリ、或ハ平滑ナルコトアリ、往々一箇又ハ數多ノ溝ヲ以テ分割セラル、コトアリ。七關節ノ癒合ヨリ成リ、かいちん質ヲ以テ硬化セリ。其上面ヲ頭頂(Vertex)或ハ顛頂(Bicranium)ト云ヒ、其前方ニアル部分ヲ額片(Olypeus)又ハ前頭ト云ヒ、後方ニ位スルヲ後頭(Occiput)ト云フ。複眼ハ二個ニシテ頭部ノ左右ニ位シ、球狀或ハ縱割球狀ヲ呈シテ前方ニ突出シ、數多ノ小面即チ小眼ヨリ構成セラル。故ニ表面網狀ヲ呈セリ。其表面ハ短毛ヲ以テ被ハル、コトアリ、或ハ裸體ナルコトアリ、若シ裸體ナルトキハ眼ノ境界ヲ被フニ屢粗剛ナル眉毛ヲ以テスルコトアリ。觸角ハ通常眼ニ近ク殆ンド額片ト頭頂トノ界ニ位シ、重ニ嗅覺器トシテ知ラル。四十乃至六十箇ノ小關節ヨリ成ルヲ常トシ、稀ニ二十節ヨリ少キコトアリ、又百節以上ナルコトアリ。其長サハ種々ニシテ體長ノ三分ノ一乃至四分ノ三アルヲ常トスレドモ、或ハ是ヨリ長キコトアリ、又ハ短キコトアリ。例ヘバ蝙蝠蛾科ニテハ六分ノ一以下ニシテ、穀蛾屬ニテハ六倍アルガ如シ。其形狀モ種々ニシテ、是等ハ分類上重大ノ價值ヲ有スルモノナルヲ以テ、各種ノ名ヲ命ズルコト必要ナリ。全體同ジ大サニシテ絲ノ如キヲ絲狀(Ribbon)ト云ヒ、先端ニ至ルニ從ヒ漸次尖リタルヲ剛毛狀(Scitiform)ト云フ。先端ニ至ルニ從ヒ漸次肥大トナリテ棍棒狀ヲ呈スルハ棍棒狀(Clavate)ニシテ、棍棒狀ニハ往々其先端鉤ノ如ク曲レルアリ。先端頓ニ肥大トナリテ通常多少圓ク或ハ平ナルモノヲ節狀(Capitate)ト云ヒ、中央肥大ニシテ先端ニ至ルニ從ヒ漸次尖レルモノヲ紡錘狀(Fusiform)ト

云フ。又其各關節ノ形ニハ圓筒狀ヲナセルアリ、或ハ一方圓クシテ他方平ナルコトアリ、或ハ二角又ハ三角ヲ有スルコトアリ。觸角ノ基部第一關節ヲ基節(Basal joint)ト稱シ、通常次節ヨリモ長ク肥大ナルヲ常トス(但シ蝶類、天蛾科ヲ除ク)。殺蛾ノ或種ニテハ其基節部擴張シテ靜止スルトキ多少眼ヲ蓋フ所ノ鱗トナルコトアリ、之ヲ眼帽(Eye cap)ト名ヅク。觸角ノ各節ハ蝶類、避債蛾蟲科ニテハ其長サ幅ヨリモ長ク、多數ノ小蛾類ニ於テハ先端ニ至ルニ從ヒ多少此狀ヲ呈セリ。其他ノ種類ニテハ長サヨリモ其幅超過シ、往々先端ニ至ルニ從ヒ其長サヲ減ゼリ。關節ノ一側或ハ兩側ニハ顯著ナル突起ヲ生ズルコトアリ、此突起ハ昆蟲ノ意志ニ從ヒテ自在ニ起伏シ、或ハ軸ニ對シテ平ニ横ヘ得ベシ。觸角ノ下側ニ在ル此等ノ突起ヲ鰓狀ト呼ブ。然レドモ此等ノ突起ハ屢其兩側面ニ生ジテ、其構造ニモ種々アレバ其名ニモ種々アリ、短クシテ鈍キ突起ヲ有スル觸角ヲ齒狀ト云ヒ、突起ノ長サ幅ヨリモ長クシテ尖リタルトキハ鋸齒狀(Dentate)ト云フ。櫛齒ノ如ク規則正シキトキハ之ヲ櫛齒狀(Pectinate)

圖三十二第 各種ノ角觸ノ示メ(ルベ氏原圖)

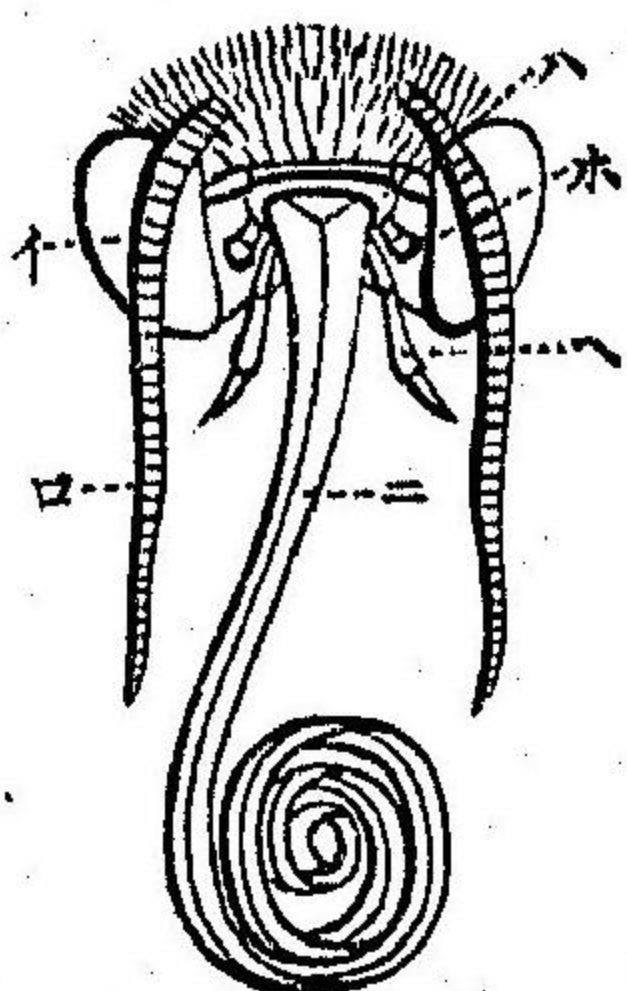


- (イ) 紡錘狀
- (ロ) 同上
- (ハ) 節狀
- (ニ) 棍棒狀
- (ホ) 鋸齒狀
- (ト) 櫛齒狀
- (チ) 羽毛狀
- (リ) 剛毛狀
- (ヌ) 總狀
- (ル) 齒牙狀

ト云ヒ、若シ此絲狀突起甚ダ長クシテ弱キトキハ之ヲ羽狀(Plumose)ト云フ。觸角ノ各節ハ各側ニ唯一箇ノ絲毛ヲ有スルヲ常トスレドモ、往々同關節ニ二箇ノ櫛齒ヲ有スルコトアリ、或ハ兩端ニ於テ次節ノ櫛齒ト密着スルコトアリテ單ナル齒ヲ形成スルコトアリ、然レドモ全長ヲ通シテ之ヲ分別スベシ。此等ノ附屬物ハ觸角ノ基部ヨリ上方ニ至ルニ從ヒ漸々其長サヲ増加シ、先端ニ近ツクニ從ヒ再ビ漸次減少セリ。觸角ハ往々毛又ハ接着或ハ突起セル鱗ヨリ成レル特別ノ包被ヲ有スルコトアリ。若シ細毛ヲ以テ被ハル、トキハ之ヲ微毛狀(Ciliate)ト呼ビ、剛毛ナルトキハ之ヲ剛毛狀(Bristly)ト云フ。時ニハ觸角ノ各節ノ一端ニ唯一本ノ毛ヲ生ズルアリ、或ハ長クシテ種々ニ配列セラル、コトアリ、或ハ總狀(Oleifer)ヲナスコトアリ。然レドモ此等ノ毛ハ大抵微小ナルヲ以テ廓大鏡ヲ用キルニアラザレハ之ヲ驗スルコト能ハズ。上述ノ關節突起ニモ亦屢前述ノ包被ヲ有スルコトアリテ、櫛齒狀觸角ハ通常其兩側ニ長毛或ハ短毛ヲ有セリ。時ニハ各櫛齒毛ノ先端ガ次節ノ同部分ニ觸接スルコトアリ。鱗翅類ノ雌雄ハ此附屬物ノ如何ニヨリテ區別セラル、コト多シ。蓋シ、其突起茸毛ハ獨リ雄ニノミ生ズルカ又ハ雄ノ方雌ヨリモ能ク發育スルカノ二點ニ歸ス。觸角ノ基節ハ往々毛ノ著シキ總ヲ有スルコトアリ或ハ基部肥大ニシテ絨毛ニテ被ハレ、上半ハ裸躰ナルコトアリ。凡ソ蝶蛾ノ靜止スルトキハ、觸角ハ體ト同ジ方向ニ横フルカ又ハ前方ニ伸張スルモノナリ。觸角ノ後ニ往々鱗ヲ以テ被ハレタル二箇ノ扁平ナル小キ球狀隆起ヲ見ルコトアリ、之ヲ單眼トス。口器ハ顔面ノ下側ニアリテ、其上部ニハ微小ナ

ル三角形ノ上唇アリ、其側ニ少シク突起シタル大顎アリテ、此等ノ下方ニ吻(Proboscis)アリ、吻ハ舌(Tongue)トモ稱シ、左右小顎ノ延長密接シテ生ジタルモノニシテ、各小顎ハ溝ヲ有セルニヨリ、之ガ結合ニヨリテ管ヲ形成シ、以テ液汁ヲ吸吮スルノ用ニ供ス。但シ、全ク癒合スルコトナク、若シ之ヲ使用セザルトキハ卷縮シテ口邊ニ保ツ。一般ニ此類ノ舌吻ハ花ヨリ蜜汁ヲ、或ハ他ヨリ津液ヲ吸吮スルニ適セルモノナルガ、往々其尖端ニ針ヲ有セルモノアリ、此等ハ成熟シタル果物ノ組織ヲ傷ツケテ

第二十四圖 成蟲ノ頭部(ラング氏原圖)



其液汁ヲ吸フニ適セリ、ともるこのは、こすぢこのは等ノ如シ。吻ハ時ニ天蛾類ノ如ク甚ダ強ク發育シテ、之ヲ伸長スルトキハ體ヨリ長キコト少カラズ、外國種ニハ其長サ畧一尺ニ近キモノアリトイヘリ。併シ成蟲時代ニ食ヲ取ラザルモノハ之ヲ缺クカ、又ハ發育不完全ナリ。蠶蛾科、野蠶蛾科、穀蛾科等ノ如キ是ナリ。其他往々二箇ノ短クシテ柔ナル絲ヨリ成レルコトアリ、或ハ角狀ニテ卷キタルモノアリ。吻ノ基部ニハ二箇ノ小器アリ、之ヲ顎鬚(Maxillary Palpus)又ハ顎鬚ト云フ。顎鬚ハ大形ノ種類ニテハ全ク之ヲ缺クカ、或ハ全ク口ノ他ノ部分ノ下ニ置レタリ然レドモ多數ノ小蛾類ニハ現存セリ

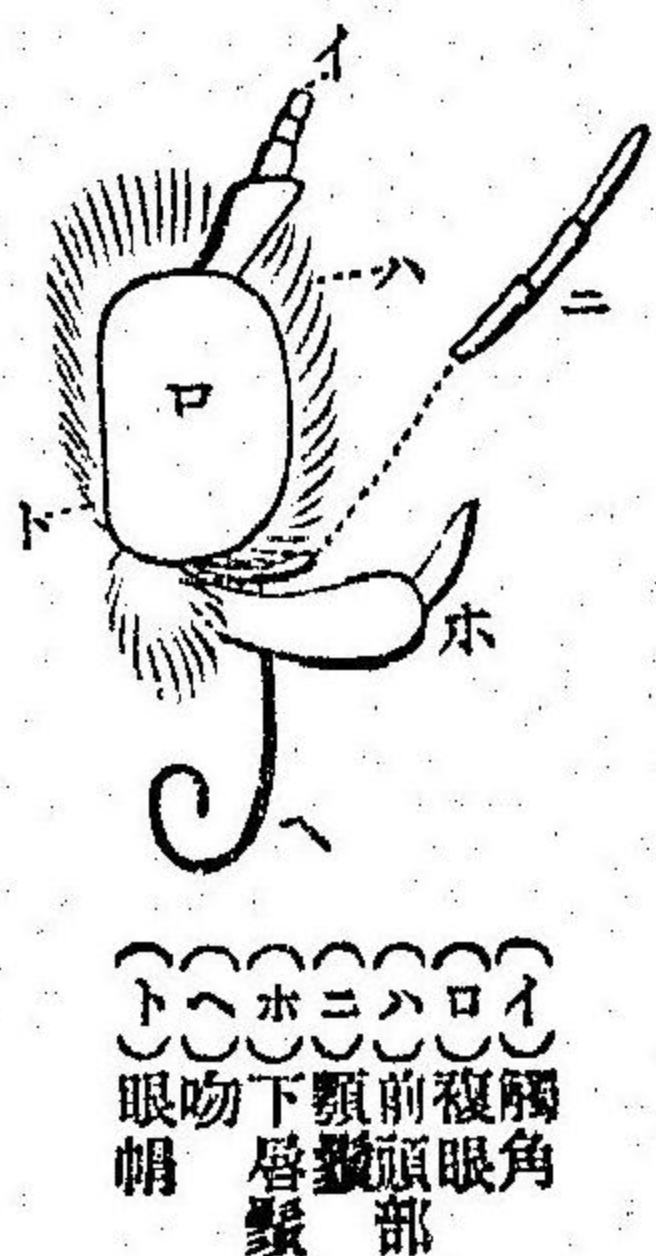
顎鬚ハ通常二箇ノ關節ヨリ成リテ、吻ノ上部或ハ其附近ニ短絲ノ觀ヲ呈ス。穀蛾類ノ僅少ノ種類ニハ五六節ヨリ成ルモノアリテ、其形モ特別ナリ。口ノ下部ニハ下唇アリ、通常心臟形ヲナシ、二箇ノ唇科等ノ如キ是ナリ。其他往々二箇ノ短クシテ柔ナル絲ヨリ成レルコトアリ、或ハ角狀ニテ卷キタルモノアリ。吻ノ基部ニハ二箇ノ小器アリ、之ヲ顎鬚(Maxillary Palpus)又ハ顎鬚ト云フ。顎鬚ハ大形ノ種類ニテハ全ク之ヲ缺クカ、或ハ全ク口ノ他ノ部分ノ下ニ置レタリ然レドモ多數ノ小蛾類ニハ現存セリ

palpus)ヲ有ス。唇鬚ハ種類ニヨリテ大小長短ヲ異ニシ、往々頭及ビ胸部ヨリ長キコトアレドモ、甚ダ微小ナルコトモ亦少カラズ。兩側ニテ吻ニ密接シ、顔面ノ鱗ニ附着セルヲ以テ、通常之ヲ

除去スルニ非ザレバ口部ノ諸器ヲ驗スルコト能ハズ。其前端ハ多少頭部ヨリ遙ニ突出シテ、時ニハ鎌ノ如ク上方ニ曲レルコトアリ、時ニハ水平ニ前方ニ突出スルコトアリ、或ハ下方ニ曲リ、或ハ下ニ垂ル、コトアリ。皆三關節ヨリ成レドモ、始メノ二關節ハ通常密ニ毛或ハ鱗ヲ以テ其下面ヲ被ハレ、往々前面ノ一隅ニ於テ顯著ナリ。又此鱗毛ハ往々下側ニ壓迫セラレテ

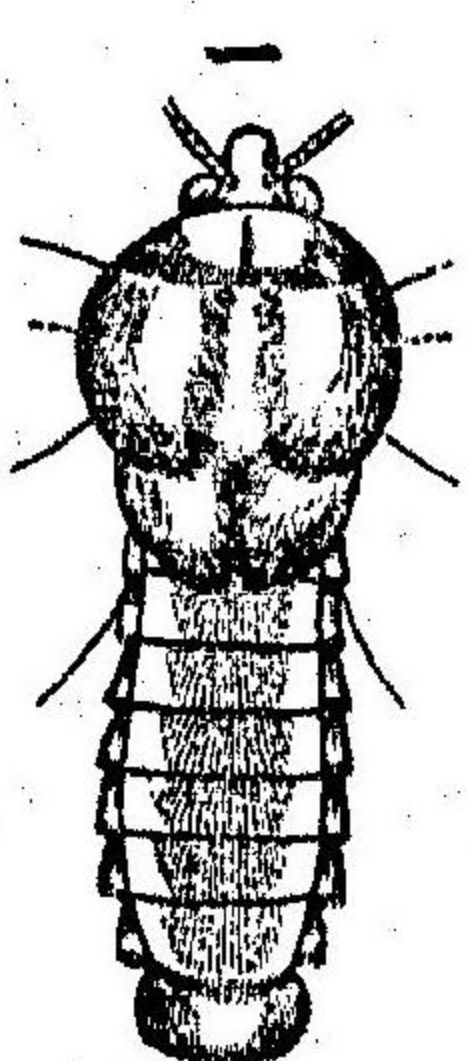
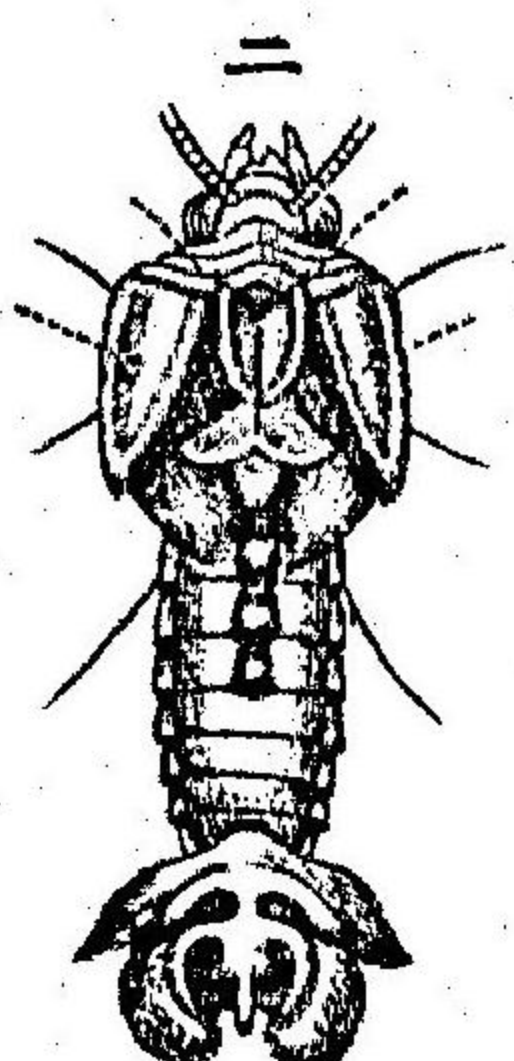
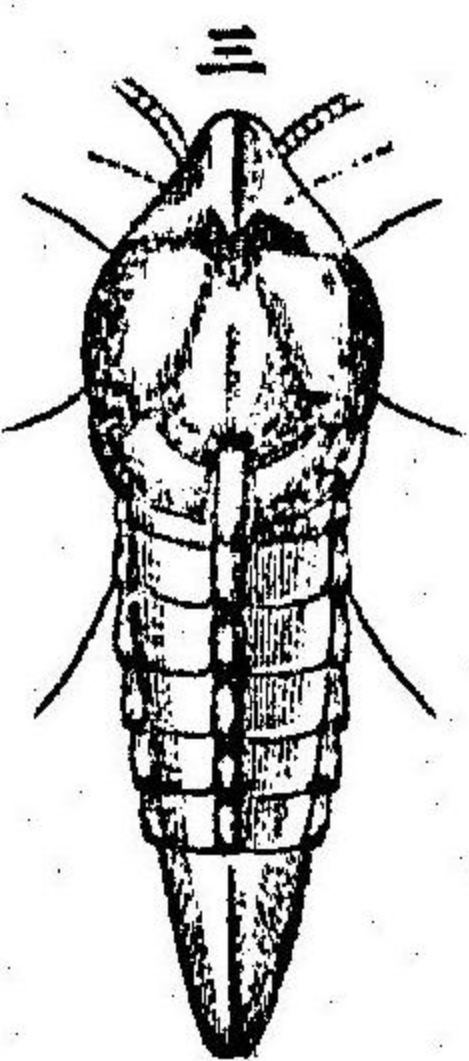
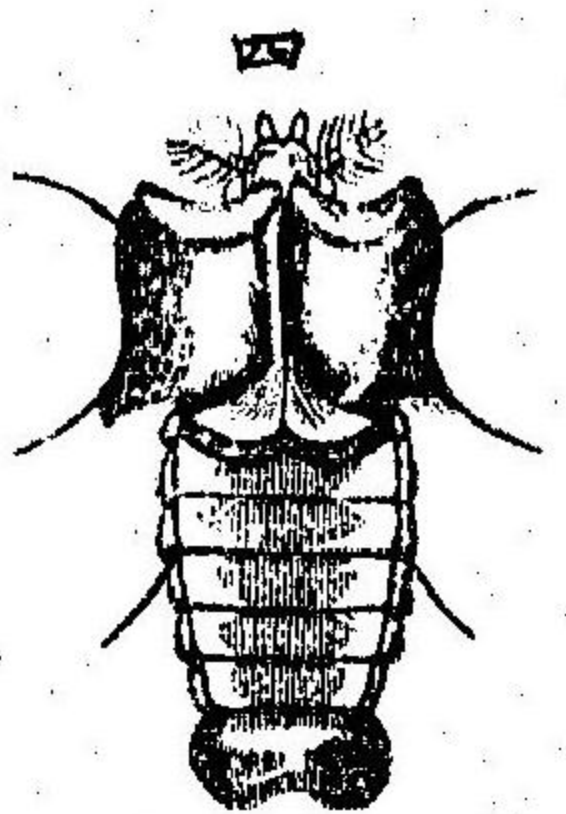
第二十五圖 成蟲ノ頭部側面(マツカド氏原圖)

吻狀ヲ呈スルコトアリ、時ニ上面ニ於テモ同様ノ狀態ヲ呈スルコトアリ、末節ハ中關節ヲ被ヘル毛ノ爲メニ被ハル、コトアレドモ、裸體ナルコト多ク、其形ニ棍棒狀(Club-shaped)、球狀(Rounded)絲狀(Thread like)針狀(Finely-pointed)等アリ。唇鬚ノ末端二節ノ



長サヲ比較スルトキハ甚ダ差異アリ、又蝶蛾類中例ヘバはなせりノ如キハ、其生活ノ間ニ唇鬚ノ一方或ハ兩方ヲ失フコトアリ。蓋シ或ル粘質ヲ有セル花ニ膠着セラレタルトキ、其ヨリ脱セント争フ際ニ、脱落シ易キ此機關ヲ失ヒタルナルベシ。此事實ハ天蛾科、糖蛾科等ニテモ往々認ムル所ニシテ、此等ノ蛾ガ又時ニ捲縮セル吻ノ一部ヲ失ヘルコトアルモ、亦全ク此ト同一ノ理由ナリ。

胸部 重ニ全體ノ基礎ヲ形成スル部分ニシテ、前方ハ頭ニ接シ、後方ハ腹ニ連リ、前胸、中胸、後



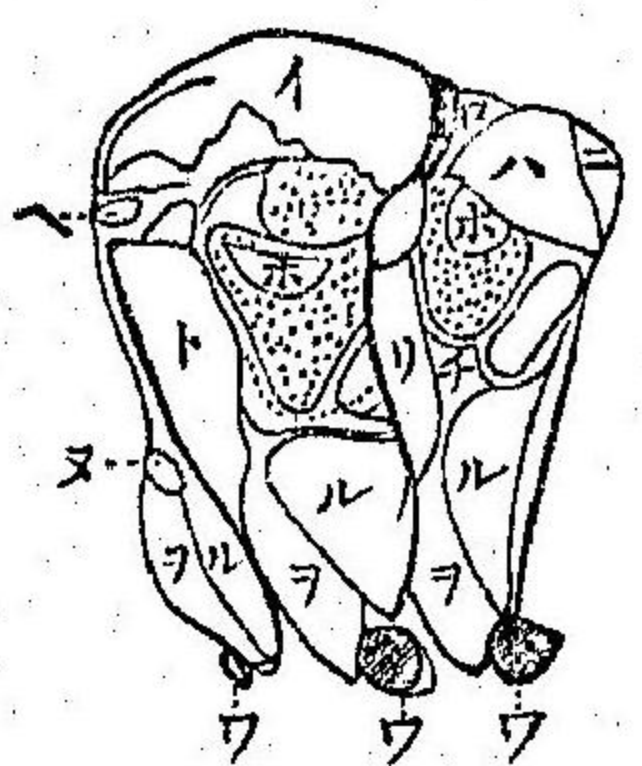
第二十六圖 成蟲ノ各部形ヲ示ス(ルベ)原氏圖

胸ノ三部ヨリ成リテ、幼蟲ノ胸部第一、第二、第三關節ニ相當シ、各部ニ各一對ノ脚ヲ有ス。卵形或ハ方形ニシテ、或ハ長サヨリモ其ノ幅廣キコトアリ、全ク平滑ナルアリ、或ハ前角即チ肩部ノ圓キアリ、鈍キアリ、長方形ナルアリ、又突出シテ多少凸起セルアリ、又屢胸ノ襟部ノ後方ニ毛或ハ鱗ノ總ヲ有スルコトアリ。特ニ糖蛾類ニテハ平滑ナルカ、又ハ昂起セルカ、又ハ縱溝ニヨリテ分別セラレ、時ニ尖レルコトアリ、斯ノ如キ場合ニハ屢冠毛ヲ形成ス。又胸部ノ終ニ截形、或ハ分レタル總ヲ有スルアリ、或ハ背部ニ襪狀突起ヲ有セルコトアリ。第二十六圖ヲ見ルベシ。

前胸ハ上方ヨリ見レバ中胸ニ比シテ狭小ノ觀アレドモ、下面ニ至ルニ從ヒ漸次其廣サヲ増シ、一對ノ脚ヲ有セリ、之ヲ前脚ト云フ。通常其上面ニ翅基鱗片(Patagium)ト名ヅクル著シキ被片ノ一對ヲ有ス。此等ハ多クノ場合、特ニ糖蛾ニ於テハ唯狹キ基部ニヨリテ附着セルノミニシテ、著シク動カスコトヲ得。是ニ反シ蝙蝠蛾科ニ於テハ動クコトナク、單ニ彎曲シタル状態トナリテ存スルノミ。翅基鱗片ハ

一ニ被片(Tegulae)ト云ヒ、大古代(Palaesozoic)ニ出現シタル昆蟲ノ前胸ニ於ケル翅狀附屬物ト同一ノ關係アルモノニシテ、某學者ハ全ク真正ノ翅ト同一ノ價值アルモノト信ゼリ。蓋シ甲翅類ノ翅鞘(Elytra)ニ相當スルモノナリ。

中胸ハ甚ダ大ニ、特ニ其上面ニ於テ著シク、背片ハ多少隆起シテ廣キ部分ヲ占メ、其前方ノ大部分ハ中胸楯板(Scutum)ニシテ後方小部分ハ中胸菱形板(Scutellum)ヨリ成ル。楯板ノ前方ニ前楯板(Praescutum)ト呼バレタル小片アリ、通常小ニシテ楯板ノ前方ニ隠ル、ト雖モ、蝙蝠蛾科ニテハ大ニシテ水平的ナリ。蓋シ、前胸トノ區域ノ要點ナリ。菱形板ハ不正斜長方形ニシテ、後縁ハ通常腹或ハ後胸ノ基部ノ前方ニ横ハル一片ノ如キ觀アリ。蓋シ其側部特ニ著シケレバナリ。發育シタルモノニ於テハ、中胸菱形板突出シテ、其下ニ後菱形板(Post-scutellum)ト呼ブ小片ヲ見ルベシ。中胸ハ前翅ノ一對ヲ荷フノミナラス、一對ノ被片ヲ負ヘリ。發育シタルモノニテハ此被片大形ヲ呈シ、中胸ノ前方ニ附着シテ翅ト體トノ關節セル部ヨリ後方ニ擴ガレリ。之ヲ肩胛片(Scapulae)ト云フ。往々翅基鱗片(Patagium)ト誤認セラル、コトアリ。中胸ノ下側ニハ大ニシテ突出セル脚ノ基節ヲ見ルベク、又各側ニ於テ胸片(Sternum)、二箇ノ肋片、上側胸片(Episternum)、上側片



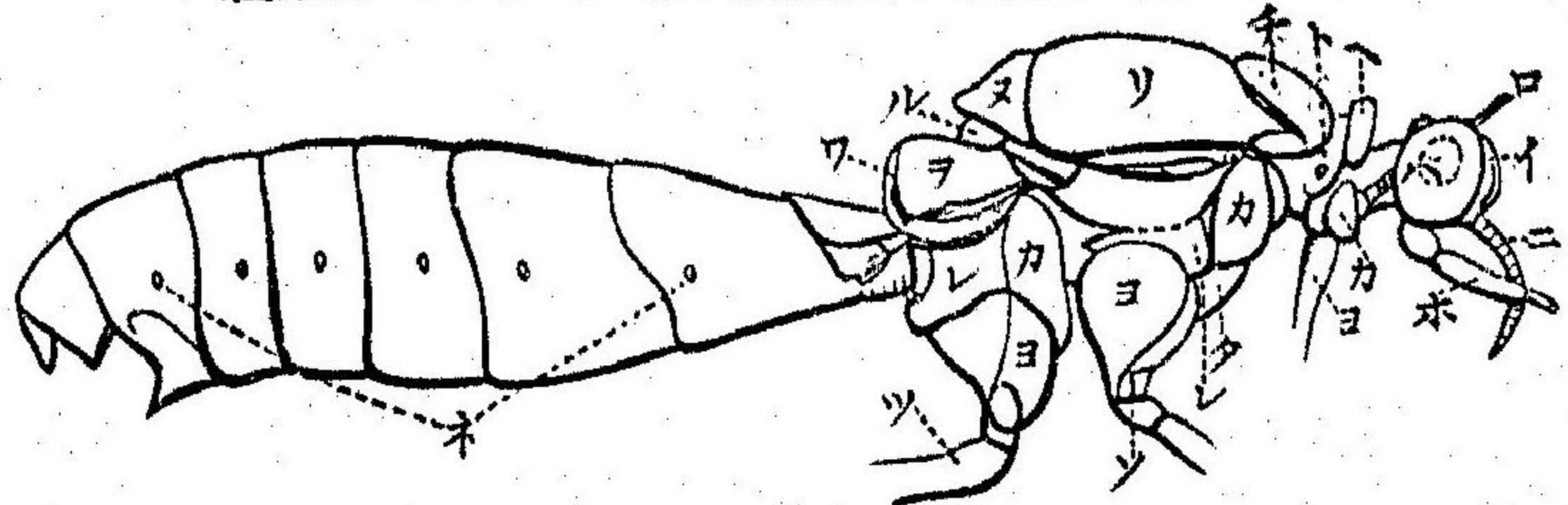
第二十七圖 野蠶蛾科ノ一種ノ胸部  
(メックカード氏原圖)  
 (一)中胸楯板(ロ)中胸菱形板(ハ)後胸楯板(ニ)後胸菱形板(ホ)翅ノ挿入セル位置(ニ)被片ノ附着ニ近キ補片(ト)中胸ノ上側胸片(チ)同上ノ上側胸片(リ)後胸ノ上側胸片(ル)前基節(テ)基節(ヲ)關節(ニ)黒太線ハ前中後胸部ノ界ヲ示ス

(Epimeron)等ヲ見ルベシ。後胸(Metathorax)ハ中胸ニ比スレバ小ニシテ、後背片ハ後胸楯板ト後胸菱

形板トヨリ成リ、兩側ニハ中胸ト畧同様ノ側片ヲ見ルベシ。

翅 翅ハ二枚ノ大ナル前翅ト二枚ノ比較的小ナル後翅トヨリ成リ、前翅ハ中胸ニ、後翅ハ後胸ニ附着セリ。透明ノ二層ノ膜ヨリ構成セラレ、無數ノ血管ヲ散布シ、空氣ヲ通過セシムベキ氣管即チ翅脈ト名ヅクル角質ノ管ニヨリテ保持セラル。リーチ(Iteoh)氏ハ之ヲ翅骨(Pterygostia)ト名ヅケタリ。其兩面ハ着色セル鱗及ビ往々毛狀鱗ヲ以テ被ハル、ヲ以テ、美麗ナル色澤、種々ナル紋理ヲ現ハシテ不透明ナルヲ常トス。然レドモたほすかしばノ如ク蛹ヨリ羽化スル瞬間ニハ鱗ヲ有スレドモ直ニ之ヲ失フニヨリ全ク透明トナルモノアリ、又すきばほうじやく、くろすかしば等ノ如ク其ノ中央部ノミ透明ナルアリ、又やまとにしき、あづまにしき等ノ如ク翅上ニ存スル圓紋ノミガ透明ナルモノモアリ。翅ノ形ハ通常畧三角形ヲ呈スルヲ以テ、三縁ヲ區別スベシ。即チ前方ノ縁ヲ前縁(Costal margin)(第三十圖ハハ)ト云フ。前翅ニテハ頭部ニ最

(圖原氏一ダツカス)ス示ヲ造構部外ノ體蟲成 圖八十二第



- (イ) 頭部
- (ロ) 觸角
- (ハ) 複眼
- (ニ) 吻
- (ホ) 下唇鬚
- (ヘ) 前背片
- (ト) 前胸氣孔
- (チ) 被片
- (リ) 中胸楯板
- (ヌ) 中胸菱形板
- (ル) 後菱形板
- (レ) 後胸楯板
- (ワ) 後胸菱形板
- (カ) 側胸片
- (ヨ) 基節
- (タ) 中胸片
- (レ) 上側片
- (ソ) 轉節
- (ツ) 腿節
- (子) 氣孔

モ近キ部ナリ。是レニ對セル他縁ヲ内縁 (Inner margin) (ハト) (ハチ)ト名ヅケ、前縁ト内縁トノ間ヲ外縁 (Outer or hind margin) (ハト) (ハチ)ト云フ。又翅ノ胸部ニ附着セル上方ニ生ズル角ヲ肩角 (Humeral angle)ト云フ、前縁ト外縁トノ連結ニヨリテ成レルヲ前角 (Anterior angle) 又ハ翅尖 (Apex) (ハ)ト云ヒ、外縁ト内縁トニヨリテ成レルヲ内角 (Inner angle) 又ハ後角 (Hind angle) (ト)ト云ヒ、後翅ニテハ之ヲ臀角 (Anal angle) (チ)ト名ヅク。

翅ノ形ハ縁ノ長サノ如何ニ關シ、前縁ハ前翅中最モ長キモノタリ。翅ノ廣サハ外、内縁ノ長サノ如何ニ關シ、若シ外縁短キトキハ狭キ翅ヲ形成シ、一層短クシテ一層斜ナルトキハ、益狭小トナリテ鈍キ後角ヲ形成ス。往々後角ノ一直線トナレルコトアリ、或ル蠶蛾類ノ如キハ、内縁漸次外縁ニ移行シテ殆ンド其境界ヲ區別スルコト能ハザルアリ。後翅ノ廣サハ重ニ内縁ノ長サニ關セリ。蓋シ、内縁ハ通常腹部ト殆ンド其長サヲ同ジクセリト雖モ、廣キ翅ヲ有セル種類例ヘバ多數ノ蝶類、蠶蛾類、多數ノ尺蠖蛾科等ニテハ之ヨリ超過セリ。是ニ反シ天蛾科、硝子蛾科、緋鹿子蛾科等ノ内縁ハ腹部ノ長サニ及バサルコト遠シ。又或ル種ノ内縁ハ甚ダ短クシテ、唯腹部ノ第一關節ト其長サヲ均シクスルコトアリ、此ノ如キ場合ニハ、通常外縁トノ區別不十分ニシテ、爲メニ通常三角形ヲ呈スベキモノガ長卵形或ハ披針形ニ變ズルコトアリ。

前翅ハ往々縁脈ノ著シク彎曲セルニヨリテ基部ニ近ク擴張セルコトアリ、或ハ後翅ノ外縁ガ著シク中

央ヲ越ヘテ彎曲セルコトアリ。斯ノ如キ場合ニハ翅ハ多少長方形ヲ呈スルモノナリ。鳥羽蛾ニテハ前翅二片ニ分レ、後翅三片ニ分裂セリ。又二十四鳥羽蛾ニテハ各翅皆六片ニ分裂セリ。前翅ノ前縁ハ少シク彎曲セルコト通常ニシテ、或ハ殆ンド一直線ナルコトアリ、又ハ稀ニ中央ニテ上方ニ曲ルコトアリ、或ハはまきむしノ蛾ノ如ク凹メルアリ。後翅ノ前縁モ亦少シク彎曲セルコト通例ナレド、稀ニひめほうじやくノ如ク凹凸ヲ有スルアリ。内縁ハ兩翅共ニ外方又ハ内方ニ彎曲スルカ又ハ殆ンド一直線のナルコト多シ。前翅内縁ノ特ニ彎曲セルハ巴木葉蛾科ニテ見ルガ如シ。外縁ハ最モ變化多キ部ニシテ、特ニ後翅ニハ燕尾狀ノ突出ヲ有スルコトアリテ、之ヲ尾樣突出部ト云フ。今外縁ニツキ注目スベキ通例ノ形ヲ左ニ記サン。

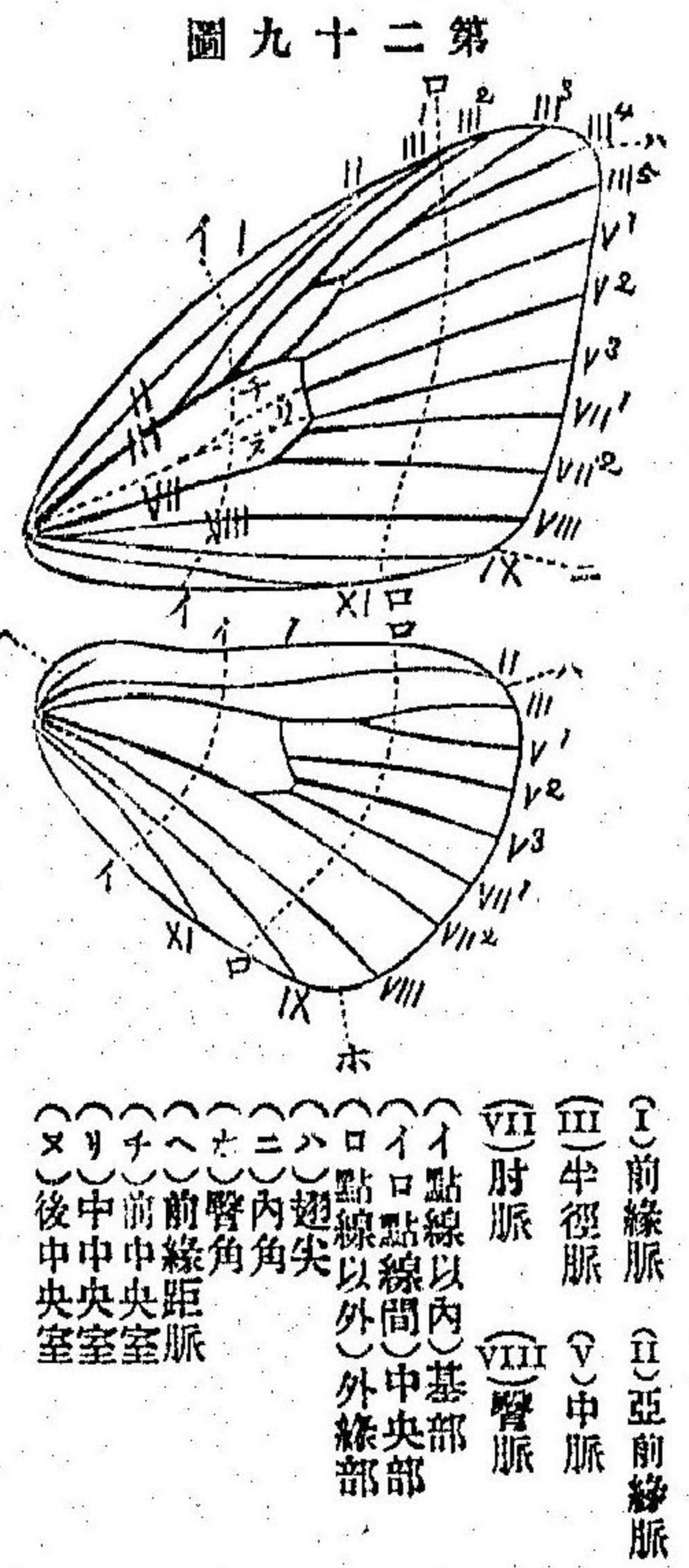
- (一)、直線 翅尖ヨリ内縁角マデ殆ンド一直線ナルモノ。
- (二)、弧線 外方或ハ内方ニ彎曲スルモノ。
- (三)、鋸齒縁 角ヲナシテ内外ニ出入セルモノ。
- (四)、缺刻縁 鋸齒縁一層深キ切レ込ミアルモノニシテ、缺刻非常ニ深キトキハ鳥羽蛾ノ如ク翅片分離セルカ如キ觀ヲ呈ス。
- (五)、齒牙縁 小キ圓形ノ切レ込ヲ有シ、翅脈ノ端ニ於テ銳角ヲ形成セルモノ。
- (六)、波形縁 緩ナル灣曲ヲ以テ出入セルモノ。

(七)、連弧縁 翅脈ノ間ニ銳角ヲ以テ内方ニ相會シ、外部ニ圓キ突出ヲナセルモノ。

此他精密ニ縁ヲ形容セント欲セバ、大小、緩急、強弱等ノ文字ヲ附加スベシ。

**翅脈**

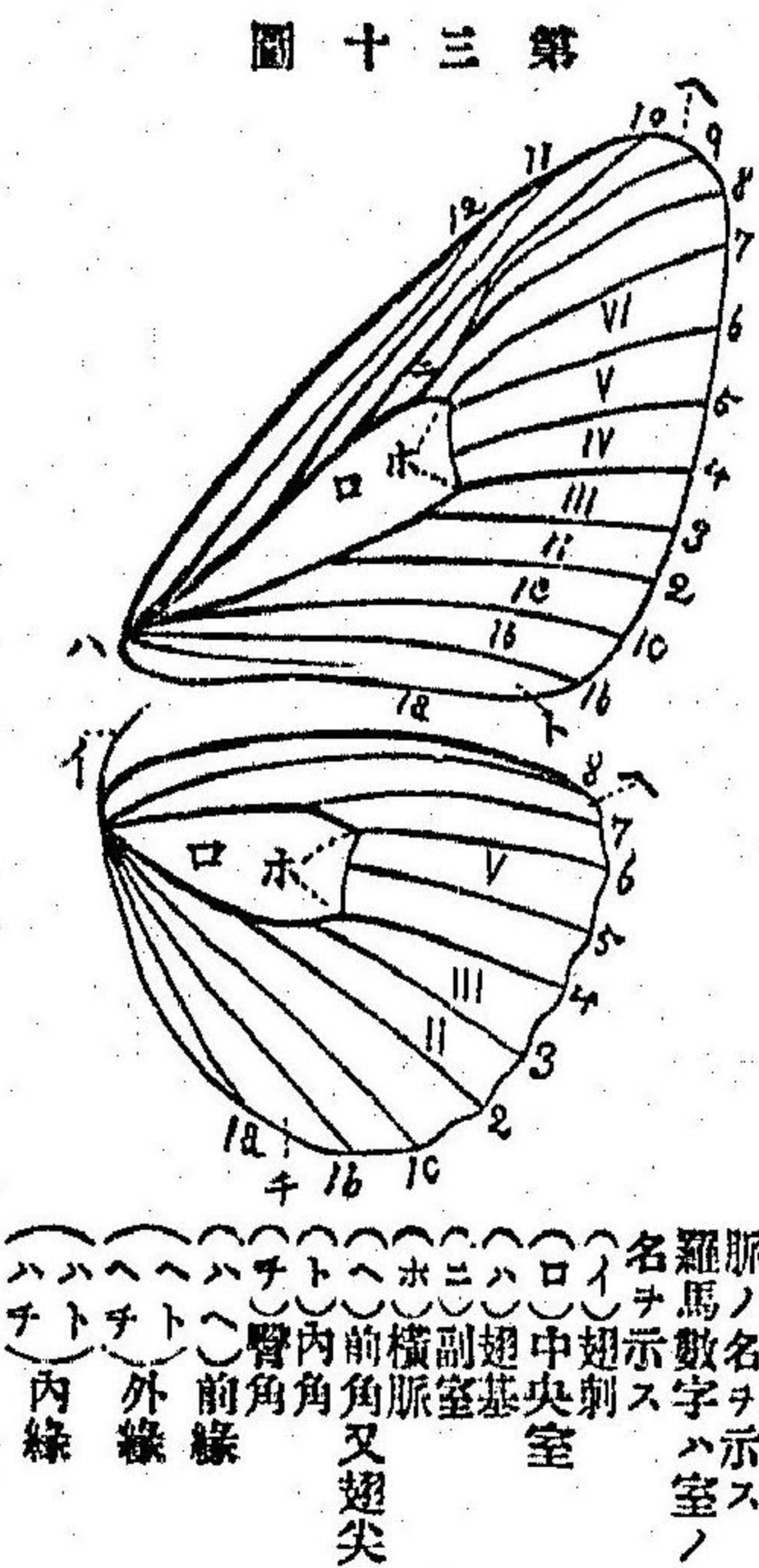
翅脈ノ配列ハ蝶蛾ノ研究上最モ必要ナルモノニシテ、獨リ分類上ノ一特徴トナルノミナラズ精密ニ翅ノ特別ナル部分ヲ示スニモ必要ナルモノナリ。脈ニハ翅基ヨリ出テ、獨立セルモノト分枝セルモノトアリ、都ベテ基部ヨリ發セザルモノハ之ヲ枝脈トイフ。脈ノ名稱及ビ之ガ數ヘ方ニツキテハ、國ニヨリ、人ニヨリテ多少ノ差異アリ、昆蟲ノ翅脈ニツキ双翅、膜翅、鱗翅ノ三目ヲ比較研究シテ關係上名稱ノ統一ヲ計リタルハ、こむすく(Comstock)氏ナリ。氏ノ



圖九十二第

定ムル所ニヨレバ第二十九圖ノ如ク翅基ヨリ發シテ前縁ヲナセルヲ前縁脈(Costal vein)ト稱シテ之ヲ第一脈トシ次ニ横ハルヲ亞前縁脈(Sub-costal V.)ト呼ビテ第二脈ニ算シ、其ニ單獨ナリ。其次ニ横ハルヲ半徑脈(Radius)ト呼ビテ之ヲ第三脈ニ數ヘ、通常前翅ニ於テ五枝脈ヲ發シ、後翅ニテハ單獨ナリ。第四脈ハ鱗翅類ニ缺乏シテ、第五脈ニ當ルヲ中脈(Median V.)ト云ヒ、前後翅共ニ二分セリ。中脈ハ蝶及ビ多數ノ蛾類ニ於テ其基部ヲ缺ケリ。第六脈モ亦之ヲ缺キ、第七脈ニ當ルヲ肘脈(Cubitus)ト稱シ、前後

翅共ニ二分セリ。第八脈以下ハ之ヲ臂脈(Arm V.)ト稱シテ皆翅基ヨリ發シ、通常第十一脈マデヲ算スルコト多シ。前ニ述ブル所ハ翅ノ前方ヨリ數フル法式ニシテ、佛蘭西、英吉利式亦是ニ據ルト雖モ最モ簡便ニシテ了解シ易ク、從來普ク行ハレタルハ獨逸式ニシテ、後方ヨリ前方ニ數フル法ナリ。即チ第三十圖ニ示スガ如ク臂脈ヲ第一脈トシテ、是ニa b cノ三脈ヲ區別シ(或ハdヲ加フルコトアリ)是ヨリ漸次上方ニ數ヘテ亞前緣脈ヲ第十二脈トシ、前緣脈ハ之ヲ數ニ加ヘズ。後翅ハ臂脈ニa b cヲ



第三十圖

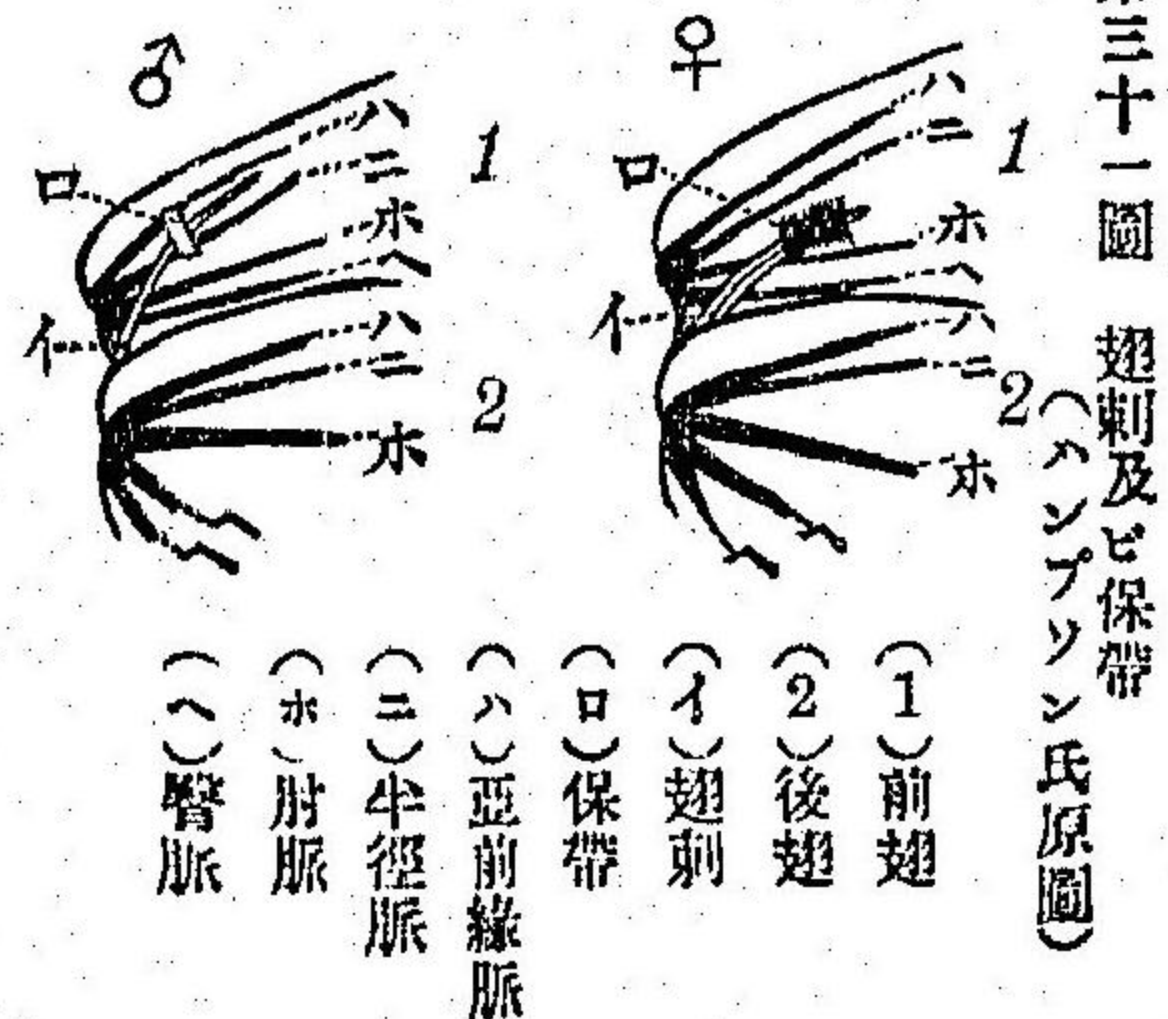
附スルコト前翅ニ同ジケレドモ、其脈數少キヲ以テ亞前緣脈ハ第八脈ニ當ル。故ニ此法ニヨレバ、前翅ニ十二脈ヲ算スルコト通常ナリ然レドモ蝙蝠蛾科ノ後翅ハ殆ンド前翅ト同一翅脈ヲ有セリ。此書モ亦分類ヲ記スルニ當リ便宜上獨逸式ニヨレリ。又往々後翅ノ基部ノ前方ニ短キ距狀脈ヲ存スルコトアリ、之ヲ超前緣脈(Prepectal V.)又ハ前緣距脈ト名ヅク。多數ノ蝶類ニ於テ見ルガ如シ。又脈ト脈トヲ連接セル短脈ヲ橫脈(Discoellular)ト云フ。橫脈ニハ一直線ナルアリ、又角ヲナスコトアリ、又其位置ニヨリテ之ヲ上橫脈、中橫脈、下橫脈ノ名アリ。脈ニヨリ圍マレタル積ヲ室ト名ヅク、室ノ數ハ一箇ナルコトアリ

又二箇ナルコトアリ、最も多キハ六箇ニシテ、小蛾類ニテ之ヲ見ルベシ。半徑脈ト中脈トニヨリテ圍マレタル場所ヲ中央室(Discoidal cell)ト云ヒ、之ト外緣トノ間ノ場所ヲ室外部(Disc)ト云フ。若シ橫脈完全ニ存スルハ中央室ガ圍繞セラレタリト云ヒ、若シ橫脈缺損スルカ或ハ不完全ナルハ中央室開放セリト云ヒ、又ハ圍繞不完全ト云フ。若シ中央室ガ一二ノ小脈ニヨリテ縱ニ分割セラル、トキハ前中、後中央室ノ稱アリ。若シ中央室ノ部分ガ支脈ニヨリテ分割セラル、ハ、即二脈ガ共ニ走リテ一橫脈ト結合スル際ニハ副室ヲ生ズ。副室橫脈ノ前ニ横ハルハ之ヲ嵌入室(Intrusive cell)ト稱シ、分割脈ハ基部ニテ結合ス。若シ中央室ヲ過ギ脈ノ結合又ハ交叉ニヨリテ生ズルハ之ヲ附屬室(Appendicular cell)ト云フ。緣部ニ生ズル室ハ其下ニ横ハル所ノ脈ニヨリテ之ガ名ヲ命ス、例ヘバaトbトノ間ニ在ルヲa室ト呼ビ、7ト8トノ間ハ7室ト稱スルガ如シ。若シ翅ノ發育不完全ナルハ、往々或脈ヲ缺キテ翅脈ニ變化ヲ生ズ。蝶類ニテハ殆ンド中央室ヲ分割セル小脈ヲ認ムルコトナシ。但シ、蛹ヨリ脱出シタル初期未ダ翅ノ十分發展セザル際ニノミ其痕跡ヲ見ルベシ。又狹キ翅ヲ有スル穀蛾類ノ翅脈ハ甚ダ簡單ニシテ、中央室ハ不明瞭ナルカ或ハ消滅セリ。而シテ唯小數ノ脈ヲ存シ、其ノ或ルモノニ枝ヲ生ズルアリ。

翅刺及ビ垂翅

鱗翅類ノ飛翔ノ生理ニツキテハ未ダ詳細ニ知ルコト能ハザレドモ、兩側ニ於ケル前後兩翅ガ互ニ適應シテ相働クベキコトハ、最も必要ナルコトナラン。然レバ前翅ガ後翅ノ若干部

ヲ覆フハ、蓋シ之ガ爲メニシテ、此等ノ両面ノ緊着ニヨリテ一緒ニ働クコトヲ得ベシ。此例ハ殆ンド蝶類ノ全部及ビ梅毛蟲蛾科等ノ或ル種ニテ見ル所ニシテ、斯カル場合ニハ後翅ハ常ニ大ナル肩部ヲ有セリ。然レモ大多數ノ蛾ニハ此肩部ヲ缺キ、是レニ代フルニ後翅ノ基部ニ於テ前方外部ニ突出セル一箇或ハ一箇以上ノ剛毛ヲ有セリ。此剛毛ハ中脈ト前縁トノ間ノ短キ脈ガ壓縮セラレテ彈力アル剛毛ト變ジタルモノニシテ、前翅ノ下面ノ小サキ膜質即チ直立セル原鱗ノ總ノ下ヲ通レリ。此剛毛ヲ翅刺(Premium)ト云ヒ、之ヲ保持スル構造ヲ保帶(Retinaulum)ト云フ。或ル天蛾類ニハ完全ナル翅刺及ビ保帶ト共ニ又非常ニ發育シタル肩部ヲ有スルモノアリ。翅刺ト保帶トハ雌雄ニヨリテ其構造ト位置トヲ異ニシ、強キ飛翔力ヲ有セル蛾ハ恰好ノ保持スベキ器管ヲ有セリ。多數ノ蛾ニ於テハ保帶ガ雄ニテハ前縁脈ヨリ下リ、雌ニアリテハ中脈ヨリ上レリ。此等ハ動作ノ如何ニヨリテ、構造上ニ於ケル雌雄ノ差異ノ顯著ナル事實ナリ。稀ニ翅刺ハ雄ニ存スレドモ雌ニ之ヲ缺クモノアリ、此ノ如キ場合ニハ雌ハ飛翔ニ不適當ナルモノナリ。小蛾類ヲ除クノ外雄ノ翅刺ハ一本ヨリナリテ雌ノモノヨリ長ク、雌ノ翅刺ハ二箇或ハ多數ノ剛毛ヨリナレリ。是又雌雄ヲ區別スベキ一要點タリ。此ノ如ク翅刺ハ少數ノ種類ヲ除クノ外、殆ンド蛾類ノ専有ニシテ、蝶類中翅刺ヲ有ス



第三十一圖 翅刺及ビ保帶 (ハンブソン氏原圖)

ルモノハ僅ニ濠洲産ノ拵花蝶屬ノ或種ノミナレバ、鱗翅類ヲ蝶蛾ニ區別スルニ重大ナル性質ノ一トシテ思考セラル、モノナリ。蛾類中僅少ノ種ニハ後翅ノ基部ガ前翅ト適合セズシテ翅刺ヲ有セザルモノアリ、此等ノ種ニハ小ニシテ多少遊離セル小片ヲ前翅ノ基部ニ有シテ、不完全ニ兩翅ノ連絡ヲ保ツコトヲ得、之ヲ垂翅(Jugum)ト名ヅク。蓋シ、こむすこつ(Comstock)氏ノ命ゼシ所ナリ。往々垂翅ガ前後ノ兩翅ニ存スルコトアリ、蓋シ、垂翅ヲ有セル蛾ノ前後翅ハくもがたかよりもりノ如ク、其形畧相同ジ、然レバ此等ノ蛾ハ翅ヲ二對トシテ使用スル代リニ、四箇ノ分離セル翅トシテ使用スルモノニハアラザルカノ疑ナキ能ハズ。

**翅ノ面積** 鱗翅類ノ翅ハ便利上之ヲ三面ニ區別ス。第一ヲ基部(Basal area)(第廿九圖イルイル)

ト名ヅケ、翅ノ體ニ附着セル方畧ボ三分ノ一ヲ領ス。第二ヲ中央部(Central area)(同上圖イロロイ)ト云ヒ、基部ノ境ヨリ中央室ノ末端ニ至ル。第三ヲ外縁部(Marginal area)(同圖ロハニロ)ト云ヒ、中央室ノ末端ヨリ外縁ニ至ル。此等ノ面ハ往々横線ニヨリテ區別セラレテ、其面ノ廣サノ一定セルコトアリ、斯ル際ニハ基部甚ダ狭クシテ、外縁部甚ダ廣キヲ見ルベシ。又中央部及ビ外縁部ハ内縁部ヨリモ前縁部ニ於テ廣キヲ常トス。(第三十四圖ヲ参照セヨ)

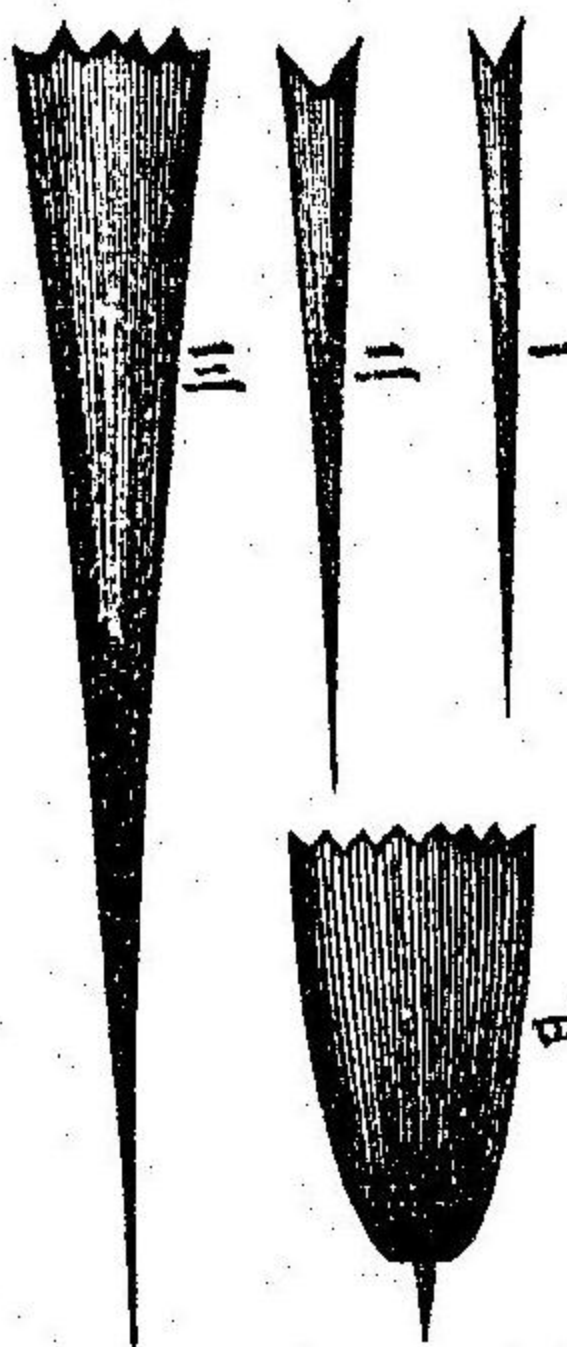
**鱗** 蝶蛾ノ彩色及ビ紋理ハ鱗ノ色澤、排列ノ如何ニ關セリ。硝子蛾科ノ如キハ、翅ノ大部分ニ於テ鱗ヲ缺キタレバ、殆ンド無色ニシテ透明ナリ。たほすかしばノ如キハ、羽化ノ瞬間ニハ淡褐白色ノ鱗



ヲ有スレドモ、直ニ之ヲ失フヲ以テ透明トナル。鱗ハ肉眼ニテハ微塵ノ觀ヲ呈スレドモ、顯微鏡下ニ照セバ精巧ノ形狀ヲ有シ、家蠶ノ兩翅ニハ其數四十萬ヨリ少カラズト云ヒ、或ル種ノ如キハ一百五十萬ノ大數ヲ有セリト云フ。鱗ハ微ナル薄片ニシテ、二層或ハ多分三層ノ甚ダ薄キ膜ヨリ成リ、短柄ニ

第三十三圖 ちほしもふりすすめノ鱗

- (一)後翅ノ基部ニ生ズルモノ
- (二)體ニ生ズルモノ
- (三)同上
- (四)前翅ノ中央ニ生ズルモノ



ヨリテ翅膜ノ突起ニ於ケル凹所ニ嵌入シ、其排列ノ狀恰モ屋瓦ノ順次重疊セルガ如ク、通常一ノ方向ニ於テ平ニ横ハリ、其先端ハ縁ノ方ニ向ヘリ。然レドモ翅ノ或ル部分ニ於テハ眞直ニ生ジ、或ハ互ニ反對シテ少シク隆起シタル部ヲ形成スルコトアリ。其形ハ種類ノ異ナルト、其ノ生ズル場所トニヨリテ異同アリ。即チ比較的廣キモノアリ、甚ダ狭キモノアリ、又ハ殆ンド線狀

ヲ呈スルアリテ、遊離セル一端ハ通常鋸齒ノ縁又ハ缺刻縁ヲ有スレドモ、或ハ全線ナルモノアリ。鱗ハ獨リ翅面ニ附着スルノミナラズ、縁邊ノ或部ニ生ズルコトアリ、之ヲ縁鱗或ハ纖毛鱗ト云フ。小形蝶蛾ノ縁鱗ハ往々微毛ヨリ成レリ。

鱗ノ色ハ其内部ニ含メル色素ノ如何ニヨリ、又ハ鱗面ノ細溝ニ關シ、後者ニ於テハ光ノ干涉ニヨリテ金性色ヲ出現ス。小蛾類ノ透明鱗ニ於テハ、一みりめーとるニ殆ンド三百乃至五百ノ細溝ヲ有シ、蛭蝶科ニ屬スル一種 Morpho ノ金性色不透明鱗ニハ一千四百ノ細線ヲ有ストイヘリ。或鱗ハ鱗膜ガ色素

ニテ彩色セラル、コトアリ、或ルモノハ空氣ヲ含ミテ耀光性白色ヲ呈スルアリ。通常鱗ノ表面即チ外ニ表ハレタル面ハ、翅ニ密着セル下面ト異ナレリ。蓋シ、規則正シキ小溝ヲ有スルハ、即チ下面ナリ。鱗ハ通常翅面ニ一重ニ櫛比スルコト普通ナレドモ、稀ニ二重ニ排列セルコトアリ、斯カル場合ニハ下層ハ白色ナルヲ常トス。鱗ハ元來毛ノ變化シタルモノナルガ、毛ヨリ鱗ニ變化スル順序ハ、鱗ト毛トノ兩様ヲ有セル蝶蛾ニツキテ驗スベシ。

**特殊鱗** 蝶類ノ雄ニハ其形狀トイヒ一種特別ナル鱗ヲ有スルモノアリ、例ヘバあさぎまだらニ於テハ後翅ノ臀角ニ近ク存シテ灰褐色ヲ呈シ、豹紋蝶屬ノ多數ハ前翅ノ翅脈ニ沿ヒテ黑色ヲ呈シ、一列乃至數列ナルコトハ其種ニヨリテ異レリ。此鱗ハ不規則ニ翅上ニ撒布セラレ、或ハ甚ダ錯雜セル一定ノ構造ヲ形成セルコトアリ、初メ羽毛鱗(Pinnules)ト呼ハレシガ、すかつたー(Snyder)氏之ヲ特殊鱗(Antroconia)ト改メタリ。特殊鱗ノ作用ニツキテハ未ダ明了ナラズト雖モ、一種ノ香氣ヲ發スルモノナラント信ゼラル。とーます(Thomas)氏ノ說ニヨレバ、此鱗ハ中空ニシテ、其基部ニ於テ一種ノ腺ニ連續シ、此腺ヨリ分泌スル物質ハ鱗ヲ透シテ飛散スルナラント。凡ソ鱗翅類ノ全部ヲ通ジテ、雌ヲ索ムルモノハ雄ナリ、然ラバ特殊鱗即チ發香鱗ガ若シ一方ニノミ發育スルモノトスレバ、雄ヨリモ寧ロ雌ニ存スルコト適當ナラン。然ルニ事實ハ此理ニ反對ナルニヨリ、特殊鱗ノ作用ハ雌雄淘汰ノ上ヨリ雌ヲ誘引スルモノナリト想像スルコト至當ナラン。すかつたー氏ハ特殊鱗ヲ有セル部ガ往々美麗ナ

ルコトニ留意シタリ。然レモ一般ニ鱗翅類ノ雄ノ此記章ハ、吾人ノ目ニハ他ノ美麗ナル部ニ對シテ甚ダ劣リテ見ユルモノナリ。

**翅ノ色澤紋理** 蝶蛾ノ彩色及ビ紋理ハ蛹時代ノ終ニ於テ既ニ形成セラレタルモノニシテ、羽化前々々蛹皮ヲ透シテ其色理ヲ見ルベキモノアリ。色澤ニハ種々ノ差別アリテ殆ンド千種千様ノ看ヲ呈スルヲ以テ、完全ニ之ヲ形容センコト甚ダ困難ナリ、今其標準大畧ヲ左ニ列記スベシ。

**光澤** 翅ヨリ反射スル色ハ或ル變化ヲ受ケテ一種ノ艶ヲ生ズ、之ヲ光澤ト云フ。ふちぐろあをつばめ、こむらさきノ雄ニ於テ見ルガ如シ。之ニ反シ、光澤ナキヲ無艶ト云フ。蛾類ノ多數是ナリ。

光澤ニハ左ノ數種アリ。

金性光澤 純金性ノ光澤ヲ有スルモノニシテ、つまきんうはい、こがねぎんふたほし等ノ光澤ノ如シ。

玻璃光澤 玻璃水晶等ノ光澤ヲ有スルモノニシテ、硝子蛾科ニテ見ルガ如シ。

脂肪光澤 微細ナル毛狀鱗ノ密接ニヨリテ生ズルモノ多シ、即チたほしもふりすすめノ後翅ニ於テ見ルガ如シ。

光澤ハ又其強弱ノ度ニヨリテ榮光、耀光、閃光等ノ文字ヲ用フルコトアリ。

**闡明** 翅ガ全ク光線ヲ通過セシムルトキハ之ヲ透明ト云ヒ、充分ナラザルヲ半透明ト云ヒ、全ク

光ヲ通過セザルヲ闇ト云フ。大多數ノ蝶蛾ノ翅ハ闇ナルモノナリ。

**色彩** 蝶蛾ノ翅ノ色彩ハ、鱗ノ如何ニヨリテ生ズルモノナルコト既ニ前ニ述ベタルガ如シ然レドモ是又到底精密ニ形容スベキニアラズ

- 一、白 雪白 乳白 灰白
- 二、赤 鮮紅 緋紅 朱紅 肉紅 桃紅 薔薇紅
- 三、黃 橙黃 琥珀 檸檬 硫黃 蠟黃 黄土 卵黃 藁黃
- 四、綠 鮮綠 翠綠 橄欖綠 孔雀綠 綠青 草綠
- 五、青 青藍 藍色 天青 碧色 灰碧
- 六、紫 堇紫 葡萄 藤花
- 七、褐 栗色 煤色 草色 煉瓦 鶯色
- 八、暗 鼠色 灰色 黝色
- 九、黑

此他淡或ハ濃ヲ冠シテ其度ヲ示シ、又他色ヲ帶ビタルトキハ其色ヲ冠スベシ。例ヘバ帶黃綠色、或ハ單ニ黃綠色等ニシテ、都ベテ下ニアルガ主ニシテ、上ニアルガ客ナリ。

**條理** 條理ヲ左ノ數種ニ分ツ

甲、幅ノ如何ニヨリ

- 一、線 (Line) 最も狭キ條理ニシテ若シ點ノ連續セルキハ之ヲ點線 (Dotted line) ト名ヅク。
- 二、條 (Stripe) 線ヨリ比較的廣キモノ。
- 三、帶 (Band) 條ノ一層廣キモノ。
- 四、廣帶 (Belt) 帶ノ一層廣キモノ。

乙、走レル方向ニヨリ

- 一、縦線 (或ハ條帶) (Longitudinal line) 基部ヨリ外縁ニ向ヒテ走レルモノ。
- 二、横線 (Transverse line) 前縁ヨリ内縁ニ向ヒテ走レルモノヲ云ヒ、若シ前縁ヨリ僅カノ長サヲ有スルキハ之ヲ前縁線ト云フ。
- 三、斜線 (Oblique l.) 斜ニ走レルモノ。

丙、位置ニヨリ

- 一、基部線 (Basal line) 基部ニハ前縁ヨリ發シテ内縁ニ達セザル一箇或ハ一箇以上ノ横線ヲ見ルコト多シ、之ヲ半横線ト云フ。
- 二、前横線 (Transverse anterior line) 殆ンド基部ト中央部トノ境界ニアルモノ。
- 三、中央線 (Central l.) 中央部ヲ走レル横線ヲ中央線ト云フ。往々中央部ニ不明瞭ナル線ヲ認ム

ルトキハ之ヲ中影線ト云フ。

- 四、後横線 (或ハ外彎曲線) (Transverse posterior l.) 殆ンド中央部ト外縁部トノ境界ニアルモノ。
- 五、外縁線 (Terminal l.) 外縁ニ沿ヒタル線ヲ云フ。
- 六、亞外縁線 (Subterminal l.) 外縁線ヨリ少シク隔リテ内方ニアルモノヲ云フ。

丁、形狀ニヨリ

- 一、真直線 (Straight l.) 殆ンド直線的ニ走レルモノ。
- 二、彎曲線 (Curved l.) 屈曲セルモノ
- 三、弧線 (Arched l.) 一回彎曲セル横線ニシテ主ニ翅ノ中央ヲ過グルモノナリ。
- 四、波狀線 (Waved l.) 短キ彎曲ノ内外ニ生ゼルモノ。
- 五、齒牙線 (Dentated l.) 彎曲ガ銳角ニテ形成セラレタルモノ。
- 六、缺刻線 (Sinuated l.) 齒牙線ノ切レ込ノ一層深ク大ナルモノ。

斑紋 斑紋ニモ種々ノ差別アリ。

- 一、微點 么微ナル點ニシテしもふりすめ、くろすすめノ如キヲ灰白色ノ微點滿布セリト云フ。
- 二、細點 (Dot) 細點ニハ圓形ナルモノト、多少短線的ナルモノトアリ、尺蠖類ノ多數ニ於テ之ヲ見ルベシ。

三、環狀紋或ハ圓形紋 (Orbicular) 圓形ヲナスモノ。  
 四、眼形紋 (Eye spot) 種々ノ色ニテ圓マレタル圓紋ヲ眼形紋ト名ヅク。此紋ハ通常其中心ニ淡色ノ點紋ヲ有ス、之ヲ瞳子點ト呼ブ。若シ此等二箇ヲ有スルトキハ重瞳子點 (Bipupilled eye) ト呼ブ。

五、橢圓紋 (Elliptic shaped) 橢圓形ヲ呈スルモノ。

六、腎形紋 (Reniform) 腎臟ノ形ヲ呈スルモノニシテ糖蛾類等ニ固有ノ紋ナリ。

七、新月形紋 (Crescent shaped) 新月形ヲ呈スルモノナリ。

八、三角形紋 (Triangular) 畧三角形ヲ呈スルモノ、翅尖ニ近ク此紋多シ。

九、方形紋 (Quadrangular) 畧方形ヲ呈スルモノニシテ、少シク長キトキハ長方形紋ト名ヅク。

一〇、楔形紋或ハ栓形紋 (Claniform) 楔形又ハ栓形ヲ呈スルモノニシテ、糖蛾類ニ固有ノ紋ナリ。

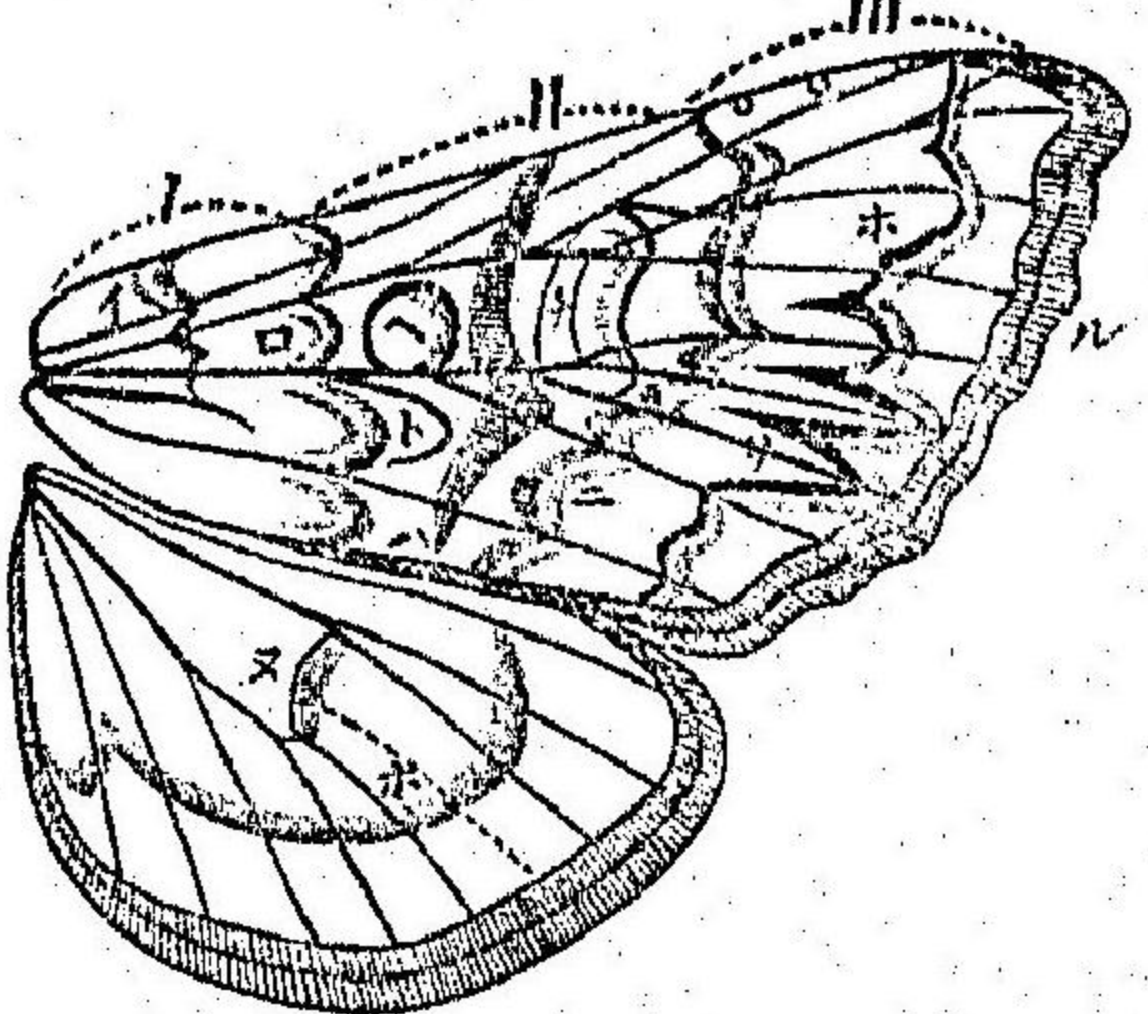
一一、室點 (Discal dot) 此點ハ室ノ外端ニ存スル圓點ニシテ、天蛾類ノ多數ニ於テ著シキモノナリ。

此他特別ノ斑紋ニツキテハ適宜ノ名稱ヲ附スベシ。例ヘバ瓢形紋、巴形紋、菱形紋等ノ如シ。

線條斑紋ノ名稱ハ畧上述ノ如シ、然ルニ特ニ注意スベキハ、多數ノ糖蛾類ノ前翅ニ配列セラレタル紋理ニアルヲ以テ、前述ノ名稱ヲ應用シテ其形狀ヲ記スベシ。第三十三圖ニ示スガ如ク、此類ハ通常暗

黒色ナルカ、或ハ一乃至二箇ノ暗黒線ニヨリテ界セラレタル三箇ノ横線ヲ有セリ。第一線ハ基部ニアリテ前縁ヨリ起リ、其一端中脈ニ達セリ、之ヲ半線 (Half line) 或ハ半徑線ト云フ。第二、第三ハ關係

第三十三圖



翅面ノ紋理及ビ斑ヲ示スヘルガ氏原圖  
 (I) 基部  
 (II) 中央部  
 (III) 外縁部  
 (IV) 前横線  
 (V) 中横線  
 (VI) 後横線  
 (VII) 亞外縁線  
 (VIII) 楔形紋  
 (IX) 腎形紋  
 (X) 新月形紋  
 線ノ間ニ中央部ヲ夾メリ。又往々此兩線ノ間ニ中影線 (Median shade) ト呼バレタル少シク幅廣キ線ヲ有スルコトアリ、第三線ト外縁トノ間ニ多少外縁ニ並行シテ波狀、或ハ齒狀、又ハ直ナル他ノ淡色線アリ、之ヲ亞外縁線ト云フ。時ニハ齒ノ先端強ク屈折シ、或ル場所ニ於テ外縁ニ接スルコトアリ、此線ト第三彎曲線トノ間ハ通例淡色ナリ。又此部分ニ往々長ク尖リタル黒紋

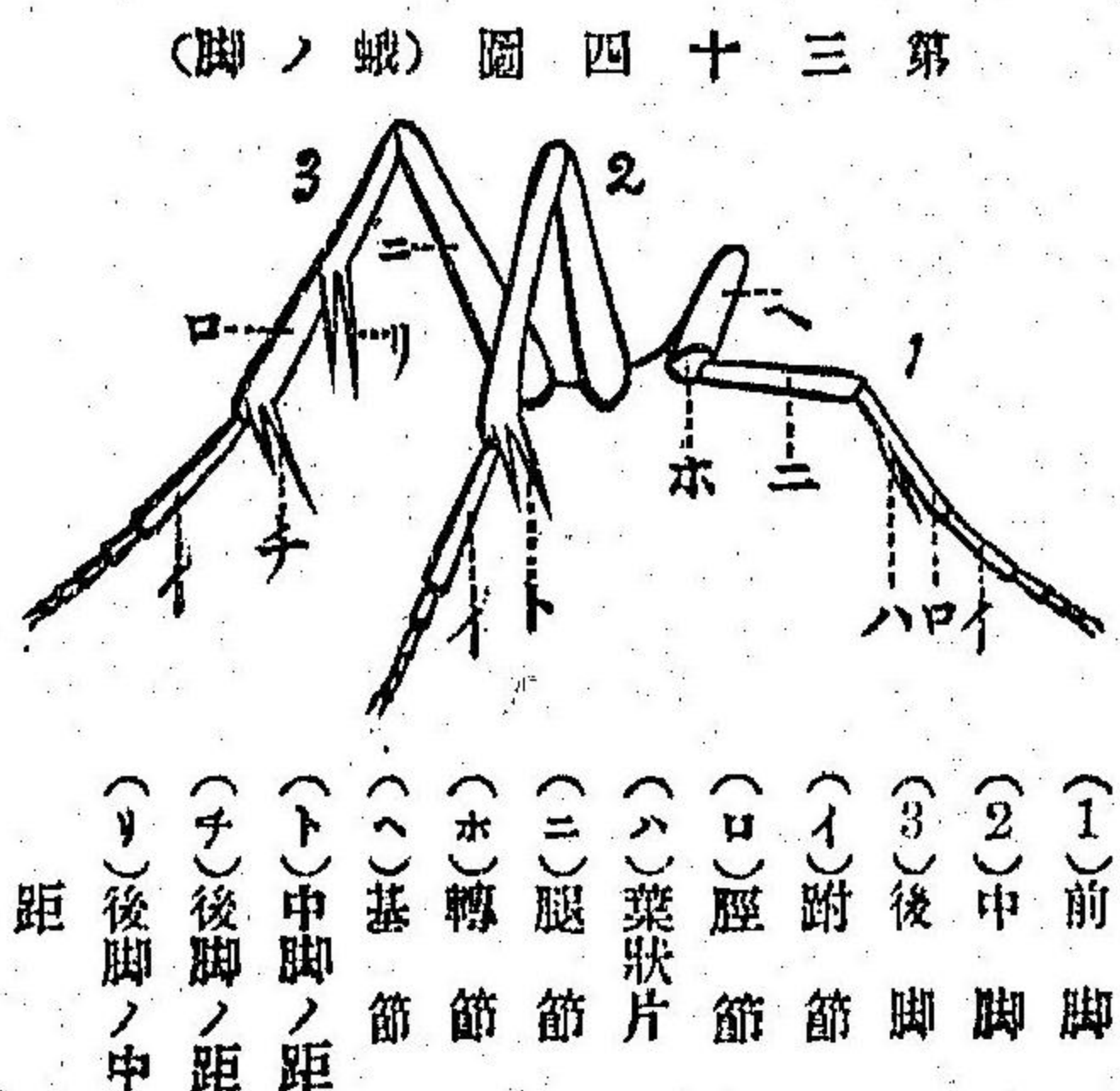
上之ヲ前横線及ビ後横線ト云ヒ、共ニ彎曲セリ。此二線ノ間ニ中央部ヲ夾メリ。又往々此兩線ノ間ニ中影線 (Median shade) ト呼バレタル少シク幅廣キ線ヲ有スルコトアリ、第三線ト外縁トノ間ニ多少外縁ニ並行シテ波狀、或ハ齒狀、又ハ直ナル他ノ淡色線アリ、之ヲ亞外縁線ト云フ。時ニハ齒ノ先端強ク屈折シ、或ル場所ニ於テ外縁ニ接スルコトアリ、此線ト第三彎曲線トノ間ハ通例淡色ナリ。又此部分ニ往々長ク尖リタル黒紋

ヲ見ルコトアリ。蓋シ、脈ノ後方ニアリテ亞外縁線中ニ存ジ、基部ニ於テ尖レリ。之ヲ箭形紋 (Dorsate spot) ト名ヅク。中央部ニハ三個ノ紋アリ、就中基部ニ近ヅキテ中央室ニ存スルモノヲ環狀紋ト云ヒ、中央室ノ先端ニアル大ナル腎形紋ト云フ。又往々環狀紋ノ後部ニ於テ楔形ヲ呈セル楔形紋ヲ有スルコトアリ。環狀及ビ腎形ノ兩紋ハ往々暗色ナル部分ニテ連接セラル、コトアリ、或ハ著シク限ラレタル方形ノ黒紋アリテ、其一端ヲ環狀紋ニ接スルコトアリ、之ヲ菱形紋 (Pyramidal stigma) ト云フ。此等ノ

紋理ハ往々缺クルコトアレドモ、糖蛾類ノ根本ノ紋理トシテ内横線 (Inner line)、外彎曲線 (Elbowed L.) 亞外縁線、及ビ環狀紋、腎形紋ヲ有スルヲ通例トス。

後翅及ビ翅ノ裏面ハ、蝶類ニ於テハ往々前翅ノ表面ノ如ク美麗ニ彩色セラル、コトアレドモ、多數ノ蛾類ニテハ後翅及ビ翅ノ裏面ハ彩色著シカラズ。凡ソ此等ノ精査ハ往々種名ノ決定上必要アルニ關セズ、殆ンド單純ナル灰色ヲ呈スルモノ多シ。

脚 脚ハ前、中、後胸ノ各部ニ各一對ヲ生ジ、三部分ヨリ成ル、腿節、脛節及ビ跗節是ナリ。腿節 (Femur) ハ基部ニテ少環ト結合セリ、之ヲ轉節 (Trochanter) ト云フ。轉節ハ又基部 (Coxa) ニ連接シ、基節ハ又胸片ニ關節セリ。脛節 (Tibia) ハ腿節ノ先端ニ接シ、跗節又其次ニ接セリ。腿節及ビ脛節ハ各一關節ヨリ成レドモ、跗節 (Tarsus) ハ五箇ノ可動關節ヨリ成リ、其第一關節ハ他關節ヨリ長シ、又其末節ノ先端ニ通常二箇ノ爪ヲ有セリ。脚ノ各部ノ長サハ其差種々ナレドモ、前脚ニテハ脛節非常ニ短クシテ、跗節ハ腿節ヨリ長ク、中脚ニテハ三部ノ長サ畧相均シク、後脚ニテハ腿節、跗節、畧同長ニシテ脛節最モ長キヲ常トス。然レドモ此等ノ例ニ適合セザルモノ亦少カラズ。特ニ



第三十四圖 (脚ノ蠅)

前脚ノ脛節ノ長サハ甚ダ差異アルモノナリ。腿節ハ後方肥厚トナルコト多シ。然レドモ亦他ノ特性ヲ表ハスコトアリ。前脚ノ脛節ニハ往々狭キ線狀ノ附屬物ヲ有スルコトアリ、之ヲ葉狀片ト云フ。其長サハ種々ニシテ内側ノ中部或ハ上方ニ位シ、多少外方ニ突出セリ (第三十四圖ハ)。往々又其先端ニ爪狀附屬物ヲ有スルコトアリ、之ヲ刺ト名ヅク。中、後兩脚ノ脛節ノ先端ニハ通常二箇ノ棘狀附屬物ヲ有ス、之ヲ距 (Spur) ト名ヅク。特ニ後脚ノ脛節ニハ他ニ一對ノ距ヲ有スルヲ常トス、之ヲ中距ト名ヅク。但シ、其位置ハ中央ヨリ下方ナルコト普通ナレドモ、多少兩端ニ偏スルコトアリ、又其長サハ一様ナラサレドモ、内方ノモノハ外方ノモノヨリ長キヲ常トス。蝶類及ビ糖蛾類ノ多數ニハ、各脚或ハ中、後二脚ノ脛節ニ、小ニシテ平行シタル刺ノ一列又ハ數列ヲ有スルコトアリ。跗節ノ基部ニハ甚ダ短少ナル粗毛ヲ叢生スルコトアリ。但シ、其先端ニハ長キモノヲ有ス。爪ハ單簡ナルコトアリ、或ハ小鋸齒ヲ有スルコトアリ、時トシテハ其間ニ異形ノ附屬物ヲ有スルコトアリ。凡ソ跗節ハ裸出スルコト常ナレドモ、腿、脛兩節ハ多少毛ヲ以テ被ハル、ヲ常トス。往々腿節ノ背部ニ毛被ヲ有シテ總狀又ハ旗狀ヲ呈スルコトアリ。多數ノ蝶類ノ前脚ハ不完全ナレドモ、或ハ雄ノミ不完全ナルコトアリ。此ノ如キ場合ニハ脚ハ寧ロ小ニシテ、跗節ハ通常爪ノ代リニ一本ノ角狀鉤ニテ終ルカ、又ハ全ク關節ヲ有セザルカ、又ハ不完全ナル等ナリ。蓋シ、跗節ガ往々脛節ト結合シテ、密ニ毛ヲ生ジテ刷子狀ヲ呈セル脚トナリ、又ハ前脚ガ甚ダ小サキ三節ノ附屬物ニ減少スル場合ニ於テ然リトス。雄ノ後脚ハ蝙蝠

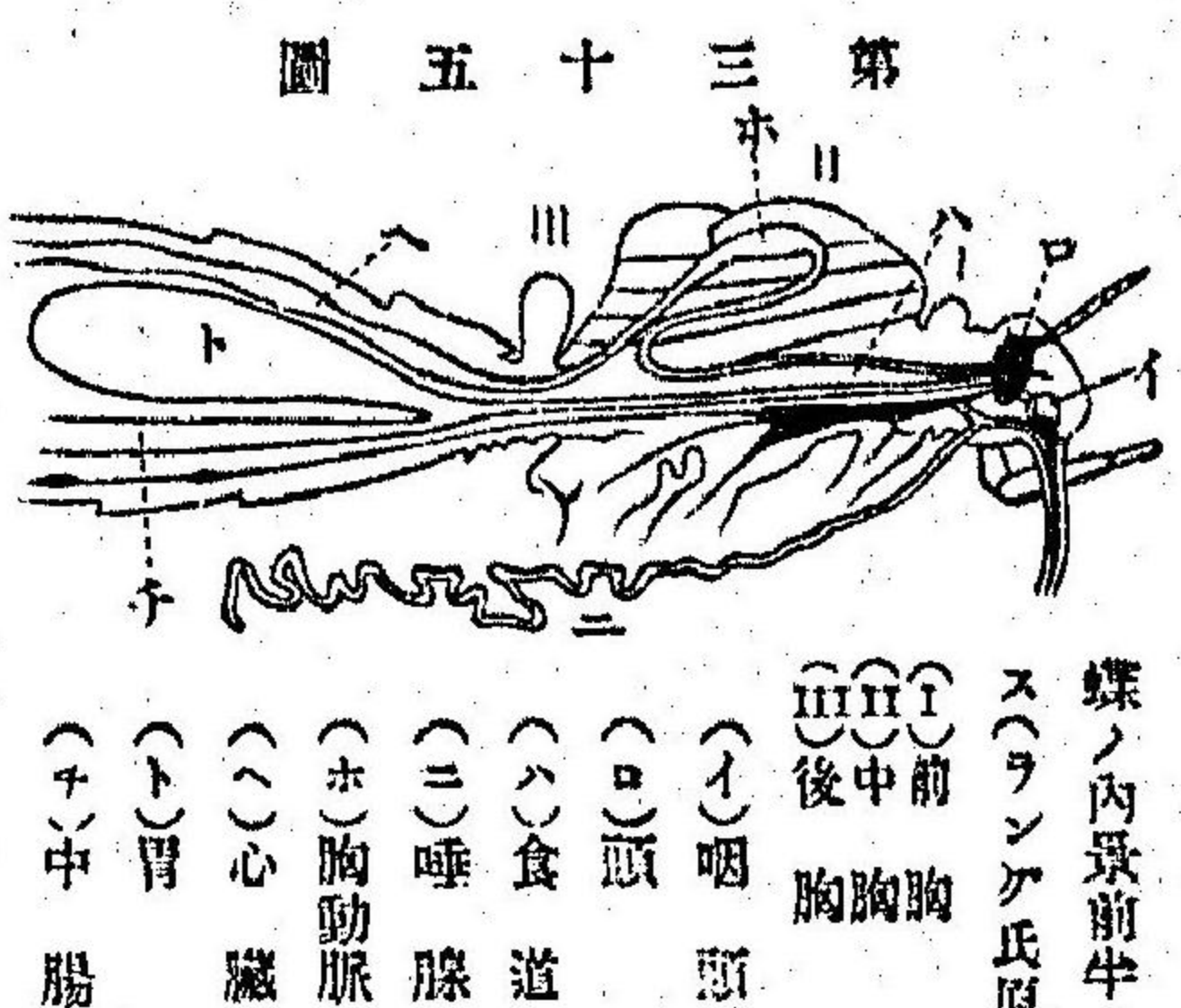
蛾科及ビ尺蠖蛾科ノ或種ニテ短縮セリ。

**腹部** 腹部ハ通常圓筒狀又ハ圓錐狀ヲ呈シ、其長サ及ビ厚サニハ異同アリテ、或ハ後翅ノ臀角ニ達セザルモノアリ、或ハ之ヨリ非常ニ長キコトアリ、又胸部ノ如ク屢背面ニ總毛ヲ生ズルコトアリテ特ニ第一關節ニ甚シク、往々體ノ先端マデ擴張セルコトアリ。又或種ニテハ腹部ノ側部及ビ先端ニモ同一ノ總毛ヲ生ズルアリテ、尾端ニアルヲ尾總(Anal tuft)ト云フ。九個ノ可動關節ヨリ成ルコト當然ナレドモ、最初ノ二關節ノ癒合ト、亦屢最後ノ二節ノ結合トニヨリテ其數ヲ減ゼルコト多シ、特ニ雌雄ニヨリテ其數ヲ異ニセリ。即チ雌ニ於テハ背上ニテ明ニ七關節ヲ認ムベキモ、下面ニ於テハ僅ニ六節ヲ數フベキノミ。何トナレバ第一腹關節ハ下面ニ於テ全ク膜狀トナリテ、第二節ノ下板ト後脚ノ基部トノ間ニ隱レタレバナリ。雄ノ關節ハ明ニ雌ヨリモ一箇多シ。關節ノ配列ハ各關節ノ後縁其次節ノ基部ヲ蓋ヒ、尙各關節ハ側部ニ於テ結合セル二個ノ板ヨリ成リ、最後關節ニハ肛門及ビ生殖孔ヲ開ケリ。雄ノ生殖器ハ二箇ノ小サキ褶ニテ圍マレ、雌ノ輸卵管ハ時ニ著シキ産卵器ニ生長セルコトアリ。腹部ハ全體ニ毛或ハ鱗ヲ以テ厚ク被ハル、ヲ以テ、其體ノ構造ヲ驗センニハ此等ヲ艾除セザル可カラズ。

**成蟲ノ内景** 成蟲ノ内部系統ハ幼蟲ノ有セルモノト大同小異ノ點多ケレモ、消食器ハ少シク變ジ、生殖器ハ非常ニ變化セルヲ以テ、此二系ニツキテノミ畧述スベシ。

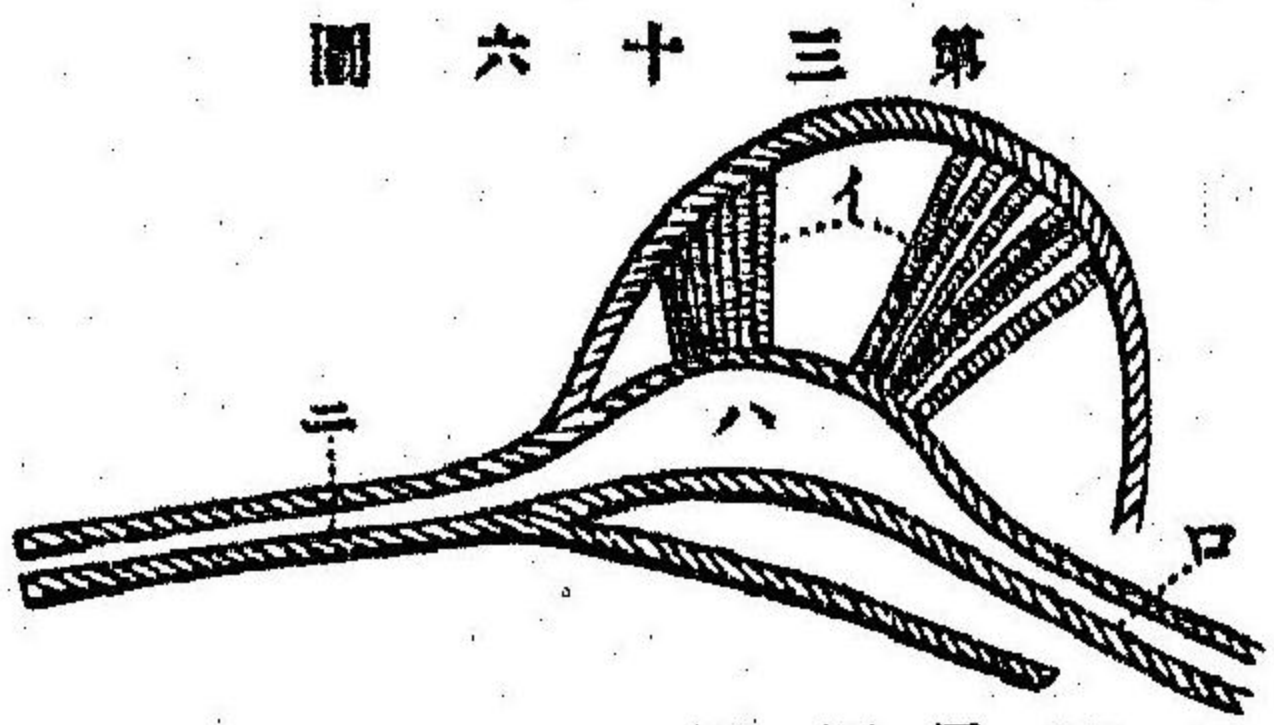
**消食系**

成蟲ノ食物ハ液體ノミナレバ更ニ咬嚼ノ器官ヲ有スルコトナク、唯吻ヲ通ジテ流動物ヲ吸取スルノミ。乃チ吻管ヲ通ジテ食物ハ口腔即チ咽頭ニ入レバ、此内ニ唾腺ノ開口セルアリテ細長ナル食道ニ通ジ、其後ニ胃ト稱スル大嚢ヲ有ス。此嚢ハ唯食物ヲ貯ル處ニシテ、實際ノ胃ノ作用ヲナスモノニアラズ、故ニ之ヲ吸收胃ト稱ス。其レヨリ小腸及ビ直腸ヲ經テ肛門ニ至リ、外界ニ開ク。腸ノ後端ニまるびぎ一氏腺アルコト幼蟲ニ均シ。蝶蛾ガ液體ヲ吸入スル装置ハ第三十五圖ニ示スガ如ク、口腔即チ咽頭ノ壁ヨリ若干ノ筋束ヲ生ジテ頭部ノ背壁ニ附着セシメ、若シ吻ノ先端液體中ニアルトキ是等ノ筋束收縮スレバ、口腔ハ爲メニ開張シテ真空ヲ生ゼントスルニヨリ、液體ハ外氣ノ壓力ニヨリテ口腔内ニ進入スルモノナリ。



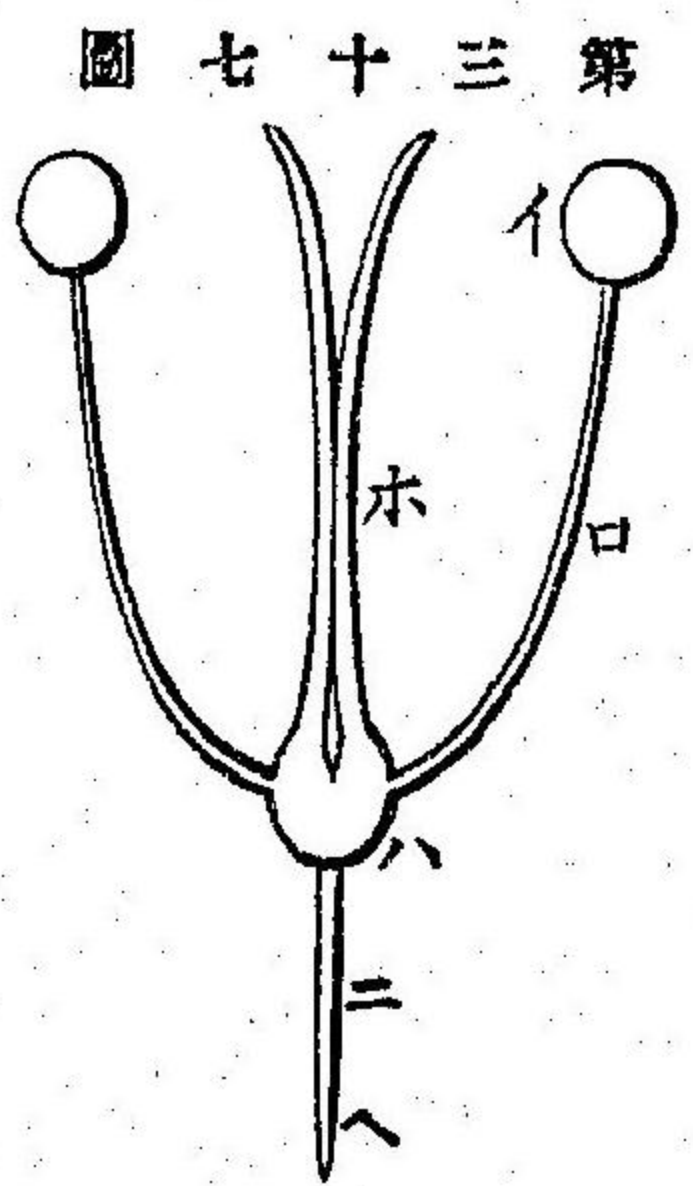
蝶ノ内景前半ヲ示ス(ラング氏原圖)

**生殖器** 雄ノ生殖器ハ體ノ後部ニ存セル左右ノ睪丸ト、一對ノ輸精管(Vas deferens)ト、貯精囊(Seminal vesicle)ノ附屬腺(Accessory gland)ノ射精管(Ductus ejaculatorius)及ビ陰莖(Penis)トヨリ成ル。睪丸ハ多少ノ細管ヨリ成リテ第八關節ノ背部ニ位シ、之ヨリ一箇ノ細管ヲ發ス、之ヲ輸精管ト云フ。輸精管ノ左右相合スル場所ニ貯精囊アリ、貯精囊ヨリ出ズル細管ハ數回彎曲シテ後方ニ走り、終ニ陰莖ニ終ル、之ヲ射精管ト云フ。貯精囊ノ一端ヨリ出ヅル他ノ一對ノ細管



液汁吸取ノ裝  
置ヲ示ス模型  
圖(ホアス氏  
原圖)  
(イ)筋  
(ロ)食道  
(ハ)口腔  
(ニ)吸管

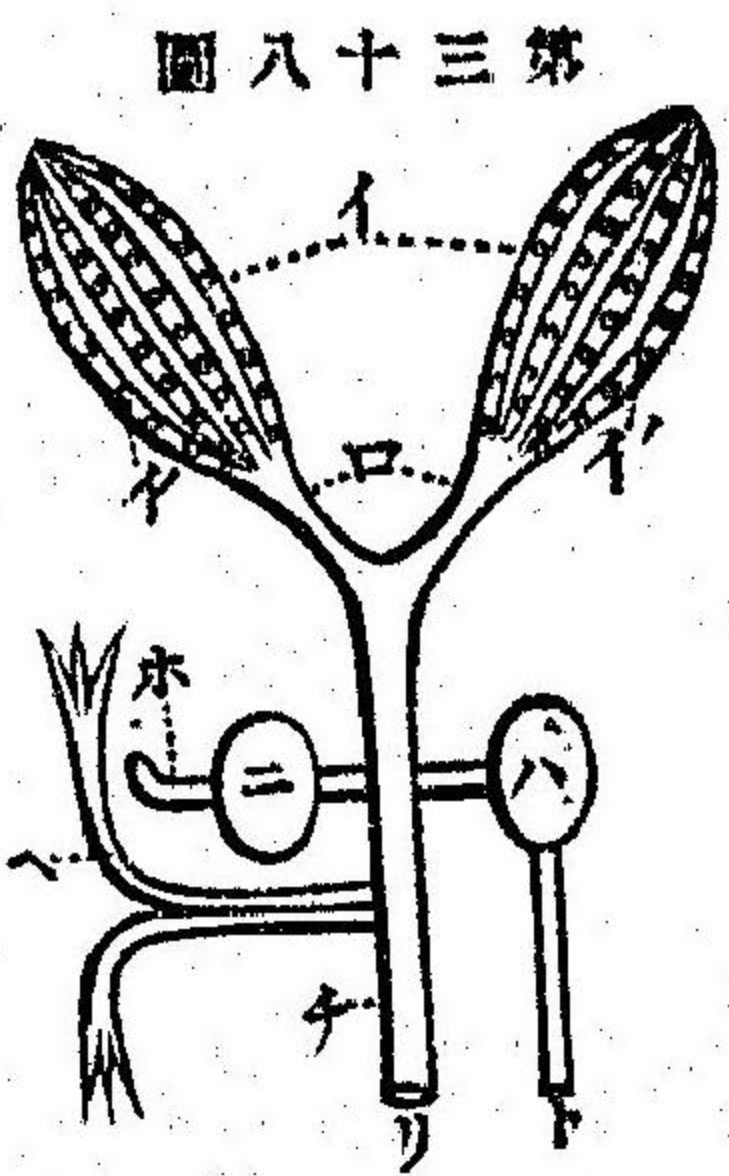
ヲ附屬腺ト稱シ、粘液分泌ノ作用ヲ成スモノナリ。雌ノ生殖器モ體ノ後部ニ位シテ、卵巢(Ovary)ト、輸卵管(Oviduct)、受精囊(Receptaculum seminis)、交尾囊(Copulatory pouch)、附屬腺(Accessory gland)、及ビ陰道(Vagina)ノ六部ヨリ成ル。卵巢ハ左右各四箇ノ細管ヨリ成リ、之ヲ卵管(Ovarian tubes)ト云フ。卵管ハ後方結合シテ輸卵管ヲ生ジ、兩輸卵管ハ又合併シテ一管トナリ、陰道ヲ形成ス。陰道ノ外界ニ開ク所ハ、之ヲ産卵孔ト名ヅク。陰道ノ腹面ニハ橢圓形ノ小囊アリ、之ヲ交尾囊ト云ヒ、細管ニヨリテ陰道ニ連リ、外部ニ開クニ小孔ヲ以テス、之ヲ交尾孔ト云フ。又陰道ノ背面ニアル小囊ヲ貯精囊ト云ヒ、細管ニテ陰道ニ連ル陰道ノ中央ニハ尙多枝ヲ有セル一對ノ細管アリ、即附屬腺ナリ。今交尾ニヨリ雌蛾ガ雄蛾ノ射出シタル精液ヲ受精囊ニ受クレバ、精液ハ漸次貯精囊ニ移行シテ卵管ヨリ順次産下スル卵球ニ精蟲ヲ附スルノ用ヲナス。斯クテ受精シタル卵子ハ附屬腺ヨリ分泌スル護膜質粘液ノ包被ヲ得、産出後直ニ他物ニ附着スル事ヲ得。



雄ノ生殖器ヲ  
示ス模型圖  
(イ)卵丸  
(ロ)輸卵管  
(ハ)貯精囊  
(ニ)射精管  
(ホ)附屬腺  
(ヘ)陰莖

### 成蟲ノ飛翔

蝶蛾ノ飛翔ノ性質ハ、翅ノ強サト構造トニ關係セリ。即チ大ナル蝶類ハ大抵靜ニ翔リ、小蝶並ニ尺蠖蛾類又ハ多數ノ蠶蛾類及ビ小蛾類等ハ一層烈シク動搖シ、天蛾類、糖蛾類ハ突貫的ナリ。又或ルモノハ眞直ニ飛ビ、或ルモノハ回旋シテ舞ヒ、或ハ翩々トシテ翔リ、或ハ屏々トシテ戯ル。飛翔ノ度ニハ急速ナルアリ、緩慢ナルアリ、忽



雌ノ生殖器ヲ示ス模  
型圖  
(イ)卵巢(イ)卵管  
(ロ)輸卵管  
(ハ)交尾囊  
(ニ)受精囊  
(ホ)附屬腺  
(ト)交尾孔  
(チ)陰道  
(リ)産卵孔

飛翔スルコト甚ダ困難ニ、或ハ全ク飛翔セザルモノサヘアリ。靜止セル時ノ翅ノ位置ニハ種々アリテ、大多數ノ蝶類及ビ尺蠖蛾類ハ兩翅ノ表面互ニ觸ル、程眞直ニ其翅ヲ立テ、蠶蛾類及ビ尺蠖蛾類ノ或ルモノハ平ニ其翅ヲ擴ゲテ、後翅ハ前翅ニテ少シク覆ハル。又蛾ノ最多數ハ前翅ヲ體ニ密接セシメテ之ヲ横へ、全ク後翅ヲ被覆シ、或ハ後翅ノ前縁ガ前翅ノ外ニ超出スルコトアリ、後翅ハ重ニ積マルヲ常トス。然レモ前翅ハ多少兩側ニ勾配アル屋根狀ヲナスカ、又ハ殆ンド同ジ半面ニ兩翅ヲ擴グルカ、又ハ互ニ重リタル内縁ヲ以テ共ニ平面ニ壓シ付ケラル、事アリ、或ハ體ノ周圍ニ積マリテ殆ンド卷キツキタル觀ヲ呈スルコトアリ。其休止スルヤ、體ノ表面ヲ平ニ保ツコト常ナレドモ、或ハ胸腹ヲ昂起ス

ルコトアリ。觸角ハ往々翅ノ下ニ横ヘテ體ニ逆ニ後方ニ伸バシ、蝶ヲ除クノ外前方ニ伸張スルコト稀ナリ。

### 成蟲ノ動作

蝶蛾ニハ晝飛性ノモノト、夜飛性ノモノトアリ。就中蝶類ハ皆晝飛性ノモノニシテ、大抵朝露ノ漸ク乾クヲ待チテ草叢樹間ヲ出デ、飄々トシテ空ニ舞ヒ、日没或ハ日没前ニ至リテ已ガ休止ノ場所ヲ索ムルモノナリ。蛾類中ニテモ稍子蛾科、緋鹿子蛾科、避債蟲蛾科、少數ノ天蛾科例ヘバたほすかしば、すきはほうじやく等、及ビ尺蠖蛾類中ノさみだれ、ゆうまだら、小蛾類中ノ多數モ亦此類ナリ。此等ハ多少活潑ニ日光ノ輝ケル中ニ飛翔シテ花ヲ尋ネ、蜜ヲ吸ヒ、或ハ種々ノ動作ヲナス。然レドモ曇天又ハ雨天ノ節ハ飛ブコト稀ニシテ、隠レ場ニ潜ムモノナリ、夜間飛翔ノ性ヲ有スルモノハ蛾類ノ大多數ニシテ、小蛾類ハ黄昏ニ向ヒ活潑ニ動作シテ其飛翔ヲ擅ニシ、多數ノ天蛾類及ビ糖蛾類ハ日既ニ没シテ黄昏漸ク兆サントスル頃花ノ周圍ニ去來シ、暗黒トナルニ從ヒ漸次其形ヲ隠ク。蠶蛾類及ビ尺蠖蛾類ノ多數ハ黄昏過ギテ暗黒ヲ催スニ及ビ始メテ出現ス。此等ハ其隠レ家ヲ索メシガ爲メニ天明ニ至ルマデ飛翔シ、黎明ヲ好ムモノハ短時間再ビ現ハル、モノナリ。多數ノ夜間的種類モ、其ノ休止ノ場所ヨリ移動スルニハ日中之ヲ行フコトアリ。然レドモ此等ハ急速ニ且不规则ニ飛ビテ、成ルベク速ニ新ラシキ隠レ場ヲ索ム、日中移動スルモノハ特ニ尺蠖蛾類ニツキテ觀ルベシ。蓋シ、コハ隠レ場ヲ索ムルニアラズシテ容易ク驚キ立ツヲ以テナリ。之ニ反シ、蠶蛾類及ビ糖蛾類ノ熟

睡ハ實ニ甚シキモノニシテ、往々針ヲ以テ貫カル、モ醒ムルナキコトサヘアリ。

### 成蟲ノ食物

蝶蛾ノ食物ハ花ノ蜜汁ナルカ、或ハ草木ヨリ流出スル津液或ハ稀ニ腐敗物或ハ排泄物質等ニシテ、單ニ吻ヲ通ジテ液體ヲ吸收スルノミ。往々濕リタル土地ヨリ水ヲ吸收スルコトアリ、稀ニとも是このはノ如ク吻ノ先端ヲ以テ果實ノ外皮ヲ穿チ、其液汁ヲ吸收スルアリ。多數ノ種類ハ靜止シテ食物ヲ味フ、然レモ天蛾類及ビ多數ノ糖蛾類ハ飛翔シツ、花上ヲ徘徊ス。此等ハ往々粘着質ノ爲メ或ハ食蟲植物ノ爲メニ捕ヘラル、コトアリ、又既ニ述べタルガ如ク、花ニ其吻ヲ膠着シタルトキ之ヲ脱セント争ヒテ、其吻ノ一部ヲ失フコト少カラズ。多數ノ蛾特ニ蠶蛾及ビ穀蛾等ノ如ク、其吻全ク缺乏セルカ又ハ發育甚ダ不完全ナルモノハ、殆ンド養分ヲ要セズ、唯僅少ノ時間生活スルノミ。然レドモ吻ヲ有セザル蛾類ニテ往々糖分ヲ含メル樹木ヲ訪フコトアリ、此等ハ多分周圍ノ香氣ニヨリテ誘引セラル、モノナラン。

### 成蟲ノ生活期

蝶蛾ノ生活期ハ種々ニシテ、多數ノ種類ハ交尾後或ハ産卵後直ニ死スルコト前節既ニ之ヲ述べタリ。或ル場合ニ避債蟲科ノ多數ノ雄ハ交尾ノ好機ヲ有セズトモ僅ニ數時間生活スルノミナルコトアリ、然レドモ數日或ハ數週間生活スルコト通常ニシテ、一般ニ生活期長キモノハ交尾又久シク連續シ、稀ニハ交尾後甚ダ久シク生活スルモノアリ。夏或ハ秋ニ蛹ヨリ羽化シタルモノニハ、往々長ク生活シテ冬ヲ越シ、翌春ニ至リテ新ナル生活ヲ營ムアリ、例ヘバ蝶類中ニテちんきてふ、あ



かたては、ひをどしてふ、てんぐてふ、るりしゝみ等ノ如キハ秋ニ於テ既ニ越冬スベキ適當ノ場所ニ潜伏ス。蛾類ニテはうじやく、ふくらすすめ、くろくもうはば、やにいろはばノ如キ又然リ。又穀蛾科中ニハ六月乃至八月ニ出現シテ、翌年ノ四五月ニ至ルマデ生活スルモノアリ。斯クノ如ク越年スル蝶蛾ノ大多數ハ、春ニ至ルマデ卵ヲ産スルコトナク、多クハ春又ハ夏ニ至リテ交尾シテ初メテ産卵スルモノトス。

### 種、變種、畸形

生物學上ヨリ種ノ定義ヲ下スコトハ甚ダ困難ナルモノナレドモ、一對ノ雌雄ニヨリテ産出セラレタル子ハ其親ト同種ナルコトハ誰モ疑ハザル所ナリ。即チあげはのてふノ雌雄ガ交尾シテ卵ヲ産シ、之ガ孵化シ生長シテ終ニ成蟲トナレバ、是亦あげはのてふニシテ。決シテきあげは、くろあげは等ノ生ズルコトナシ。故ニ後者ハ前者ニ對シテ全ク前種タルナリ。然レドモ同種ノ雌ノ産スル子ハ、如何ナル場合ニモ必ズ親ト形状、色彩、紋理等ヲ同ジクスルモノニアラズシテ、種々ノ事情例ヘバ寒暖ノ如何、食物ノ差異及ビ其多少、又ハ光線ノ如何等ニヨリテ、往々形状ヲ異ニスルモノヲ生ズルコトアリ、之ヲ變種ト云フ。變種ニシテ若シ其ノ形状ノ非常ニ原種ト異ナルトキハ、殆ンド別種ノ觀ヲ呈スルコトアリ。是レ同一ノ蝶蛾ニ數多ノ名稱ヲ有スルコトアル所以ニシテ、之レガ眞僞ヲ決センニハ飼育ノ結果ニヨルコト最モ完全ナリ。彼ノ松毛蟲ノ成蟲ナルまつかはまだらニハ、色彩、斑紋ヲ異ニセルモノ種々アルニヨリ、ばつとらー(Butler)氏ハスーパーランズ(Superans)、すべくたびり

ナ(Spectabilis)、せぐれがたー(Segregata)ノ種名ヲ附シタリ。然レドモ是等ハ全ク同種ニシテ別種ニアラザルコトハ、飼育ニヨリテ直ニ決定スベシ。又しらふうはばニモ同氏ガあかちな(Achatina)、びくた(Pica)、ふもろ(Fumosa)、ふろろ(Fuliginosa)等ノ種名ヲ附シタレドモ、是亦同種ナリ。故ニ唯成蟲ノ大小、形状、色彩、紋理等ノ少シク異ナレルガ爲メニ別種ト決定スルコトハ甚ダ早計ニ過ギルモノニシテ、若シ飼育ガ完全ニ行ハル、カ、又ハ十分ノ觀察ノ遂ゲラレタル曉ニハ、今日別種トナレルモノモ漸次合併ノ必要ヲ生ジテ學名ノ減少ヲ來タスヤ疑ヲ容レザルナリ。特ニ冬季ニ採集シタル多數ノ糖蛾類ノ標本ヲ配列スルトキハ、全ク別種ト認メタル種ト種トノ間ニ聯絡ヲ生ジテ、其紋理變遷ノ次第ヲ示スコト、恰モあさりがひノ紋理ノ變化ヲ見ルガ如キ感ヲ生ズルニ至ル。故ニ種ヲ決セントスル場合ニハ、例令飼育ノ結果ヲ俟タザルモ、多數ノ標本ヲ比較スルコト最モ必要ナリ。若シ變種ガ偶然ニ多數ノ模範的原種中僅ニ一二頭ヲ生ズルトキハ、之ヲ畸形ト云ヒ、若シ國ニヨリ、又ハ高地ト低地等ノ差ニヨリテ一定ノ變化ヲ現ハストキハ、之ヲ地方的變種ト名ヅク。

### 孳殖

多數ノ鱗翅類ハ一年ニ唯一回ノ發育ヲ遂グルモノニシテ、蛹ニテ越冬シタルモノハ、通常三四月ヨリ七月ニ涉リテ羽化シ、幼蟲ニテ冬眠シタルモノハ、五月ヨリ八月ニ至リ、成蟲ニテ越年シ、春季ニ産卵シタルモノハ、夏末ヨリ秋ニ至リテ成蟲トナル。然レドモ多クノ種類ニテハ、一年ニ二回其ノ生活ヲ反覆スルアリ、例ヘバ幼蟲ニテ越冬シタル稻ノ二化性螟蟲ハ、五月中央ニ蛹トナリ、六月

ニ成蟲トナリテ産卵シ、七月ニ孵化シテ幼蟲トナリ、八月初旬ニ蛹トナリ、其下旬ニ復成蟲トナリテ産卵シ、九月ニ孵化シタル幼蟲ハ、越冬シテ翌年ニ至ル。又稻ノ三化性螟蟲ノ如キハ、三回ノ發生ヲ反覆スルモノナリ。即チ越冬シタル幼蟲ハ、五月ニ成蟲トナリテ産卵シ、六月ニ幼蟲トナリ、六月末ニ蛹化シテ、七月ニ復成蟲トナリ、産卵シテ其月ニ復幼蟲トナリ、八月上旬ニ蛹トナリテ、中旬ニハ既ニ第三回ノ成蟲ヲ見ルニ至ル。斯クテ九月ニ産卵シ、復モ孵化シテ生ジタル幼蟲ハ、越年シテ翌年ニ至ルモノナリ。然レドモ其發生ノ回数ハ必ズシモ一定セルニアラズシテ、若シ適當ノ好時季ニ遭遇スレバ、一年一回ノ繁殖ヲナスモノニテモ二回ノ發生ヲナシ、二回ノモノハ三回トナルコトアリ。是ニ反シ、時候甚ダ不順ナル時ハ往々其回数ヲ減ズ、めんがたすめノ如キハ年二回ノ發生ヲナスコト通例ナレドモ、往々一回ナルコトアリ、又土地ノ高低、緯度ノ寒暖ノ差ニヨリテモ變動ヲ生ズルモノナレバ、九州ニテ年二回ノ發生ヲナスモノガ、北海道ニテ一回トナリ、山上一回ノモノガ、平地ニテ二回ナルコトアリ。但シ、回数ノ如何ニ關セズ、成蟲及ビ幼蟲ヲ同時ニ見ルコトハ少ナカラザルナリ。

**氣候變形** 氣候ノ如何ニヨリテ成蟲ノ大小、形狀及ビ色彩ニ異同ヲ生ズルヲ氣候變形ト云フ。此例ハ通常一年二回以上ノ發生ヲナスモノニ見ルベキ現象ニシテ、春夏ノ二形、春夏秋ノ三形、又ハ此間ニ多少ノ異形ヲ生ジテ四形、五形ヲ現ハスコトアリ、故ニ最初ハ此等ヲ別種ト認メテ異名ヲ命ジタルコトサヘアリキ。此等ノ現象タル、通常温度高キ時季ニ出ヅルモノハ大ニシテ、比較的溫度低キ時

季ニ出ヅルモノハ小ナルヲ例トス。きあげは、あげはのてふ、べにしゝみ、ひめあかたては、きたては等ハ此例ニシテ、春生ノモノハ夏生ノモノヨリモ小ナリ。然レドモ家蠶ノ如キハ春生ノモノヨリ夏生ノモノ小ナルヲ常トス。蓋シ、人爲的ノモノニツキテハ前例ト同一ノ理由ニテ解スベキニアラズ、又春生ノモノハ色彩淡薄ニシテ、夏生ノモノハ濃厚ナルヲ常トス。例ヘバあげはのてふ、べにしゝみ、すぢくろてふ等ノ如シ。然レドモ茶毛蟲ノ成蟲ナルをすぐろうこんノ雄ハ、第一回發生ノモノハ殆ンド黒褐色ナルニ關セズ、第二回發生ノモノハ殆ンド雌ノ色ト同ジク黄色ヲ呈スルガ如シ。又つまぐろきてふノ如キ、春生ノモノハ外縁一直線ヲナシテ翅尖畧直角ヲ形成セルニ關セズ、夏生ノモノハ翅尖圓ミヲ帶ベリ。殊ニきてふノ變化ノ如キハ實ニ甚シキモノニシテ、其翅端ニ存スル黒斑ハ、時季ニヨリ、温暖ニヨリ、緯度ニヨリテ其濃淡ヲ異ニスルモノナリ。以上述ブル所ハ重ニ溫度ノ關係ニヨルモノナレバ、高山ト平地、寒國ト暖國トノ關係ガ、春生ト夏生トノ同一關係ヲ現ハスコトモ亦少カラザルナリ。

### 蝶蛾ノ雌雄

蝶蛾ノ雌雄ハ、往々其外貌ニ於テ相類似シテ殆ンド區別ス可カラザルモノアリト雖モ、多少異ナル所アルモノナリ。即チ雌ハ雄ヨリモ大ニシテ腹部肥厚セルヲ常トシ、其色彩ハ雄ノ如ク燦爛タルモノ少クシテ、寧ろ潜伏ニ恰好ナル色彩ヲ有セリ、特ニ著シキ現象ハ、擬態即チ保護的類似ナリ。此現象タルヤ、蝶蛾ガ鳥或ハ他ノ敵ノ攻撃ニ對シテ特別ニ其被害ヲ免ガル、モノニシテ、

無論一方ニ備フレバ他方ニモ備フルモノナレドモ、常ニ雌ノ方ニ最モ完全ニ現ハル、モノナリ。此他雌雄ノ差別ハ、前ニモ既ニ述ベタレバ、今ヤ一括シテ之ヲ左ニ列記スベシ。

- 一、雄ハ雌ヨリモ牀軀ノ瘦小ナルコト。
  - 二、雄ノ觸角ハ雌ノ觸角ヨリモ一層發達セルコト。
  - 三、雄ト雌トハ其色彩ヲ異ニセルコト。
  - 四、雄ノ腹部關節數ハ雌ヨリモ一個多キコト。
  - 五、雄ニハ特殊鱗ヲ有スルコトアリ、雌ニハ有セズ。
  - 六、雄ノ前脚ハ雌ノ前脚ヨリ不完全ナルコトアリ。
  - 七、雄ニハ翅ヲ有セザルモノ無ケレドモ、雌ニハ稀ニ翅ヲ有セザルモノアリ。
  - 八、雄ノ翅刺ハ一本アレドモ、雌ニハ多數アリ。
  - 九、雄ニハ一種ノ香氣ヲ發スルコトトじやこうあげはノ如キアリ。
- 前述ノ如ク、雌雄ニハ區別ノ要點多々アルヲ以テ、一對ノ蝶蛾ヲ并ベテ之ガ雌雄ヲ決スルコトハ甚ダ容易ニ、一頭ニテモ格別ノ困難ヲ感セズト雖モ、雌ト雄トノ色彩ヲ異ニスルコト甚シキモノ、或ハ雌ノ翅ヲ有セザルモノ、如キニ至リテハ、往々別種ノ觀ヲ呈シテ之ガ配偶ヲ決スルコト甚ダ困難ナルモノナリ。ぶらいあー(Pyer)氏ノ如キスラ、初メハめすぐろひやうもんノ雌雄ヲ以テ全ク別種ト認メ

テ、其雌ヲめらにもす屬ノ一種 *Melanitis apt* シタリ。

**雌雄ノ數** 雌雄ノ數ハ畧同一ナルベキコト當然ナレドモ、實際ニ於テハ多少ノ差異アルモノナリ。ペーテス(Bates)氏ハ言ヘリ、上あまぞん地方ニ産スル百種ニ近キ蝶ノ雌雄ノ割合ハ、雌一ニ對シテ雄百ニ當レリト。又えらわるん(Edwards)氏ノ實驗ニヨレバ、北米ニテ鳳蝶屬ハ雌一ニ雄四ノ割合ニ當レリ。又とらいめん(Triem)氏ハ南米ニテ十九種ノ蝶ハ、皆雄ノ數ノ超過セルコトヲ發見シ、殊ニ其中ノ一種ハ雌一ト雄五十ノ割合ニ當リタレドモ、其他ノ種ニツキテハ、六年間ノ採集ニ雄ハ多數ヲ得タルニ關セズ、雌ハ僅ニ五頭ノミナリキト云ヘリ。又めーらー(Maillard)氏ノ言ニヨレバ、ぼるぼん(Borbon)島ニ於ケル鳳蝶ノ一種ハ、雌一ニ雄二十ノ割合ニ當レリト。此他稀ニ雌ノ數ノ雄ニ超過セルコトアレドモ、蝶ニ於テハ概シテ雄數ノ雌數ニ超過セルヲ知ル可シ。蛾モ亦雄數ノ超過セルコト多ク、或ル蛾ノ雄ガ非常ノ多數ヲ以テ一雌蛾ノ周圍ニ群集スルコトハ往々認ムル所ニシテ、すてーんこん(Shinton)氏ノ報告ニヨレバ、或蛾ノ一雌ノ周圍ニ、十二乃至二十頭ノ雄ノ群飛セルコトアリキト。又かれこのは蛾、野蠶蛾ノ一種ノ雌ヲ籠ニ入レテ外ニ露ハセシニ、多數ノ雄蛾集リ來リ、之ヲ室内ニ禁錮セシニ、烟突ヲサヘ傳ヒテ進入シタリト、又だーぶるでー(Doubleday)氏ハ、是ニツキテ一日間ニ兩種ノ雄ガ五十乃至百頭來リシコトヲ見タリト云ヘリ。べるれーくす(Vernaux)氏ハ小箱ノ内ニ蠶蛾類ノ一雌ヲ入レテ之ヲ衣囊内ニ挾ミシニ、殆ンド二百頭ノ雄蛾ハ其後ヨリ追躡シ來リテ、遂ニ家内ニ侵入シタリト

ナリ。然レドモ、此等ノ事實ガ直ニ雌雄數ノ割合ヲ決定スベキニアラズ、何トナレバ雌雄ハ其習性事情ヲ異ニスルコトアレバナリ。即チ雄ハ活潑ニ飛翔シテ花卉間ニ翩々タルニ反シ、雌ハ比較的活潑ニシテ、往々羽ヲ有セザルアリ、且雌ヲ索ムルハ常ニ雄ニシテ、雌ハ比較的靜止的ナルコト、且保護色ハ雄ヨリ雌ニ完全ナルコト多ク、羽化ノ時期ニモ多少ノ差異アリテ、一般ニ雄ハ雌ニ先ツモノナレバナリ。又たほしもふりすめノ如キ、雌ハ多數ニ採集セラレテモ、雄ハ未ダ一頭モ採集セラレザル如キハ、大ニ前例ニ反スルモノナリ。之ヲ要スルニ、雌雄ノ數ヲ決センニハ、卵ヨリ飼育シテ其成蟲ノ數ヲ比較スルニ加クハナシ。家蠶ニツキ之ヲ驗スレバ、往々雌ノ雄ニ超過スルコトアリ、又あやにしきニツキテハ雄多キコトアリ、或ハ畧同一ナルコトアリト云ヘリ。然レドモ多數者ノ實驗ハ、平均雌數ノ超過スルヲ示セリ。其理由ニツキテハ種々アランモ、家蠶ノ如キハ幼蟲ノ際疾病ニ侵サル、コト雄ヨリ雌ニ多シト云ヒ、繭内ニテ斃ル、コトモ亦然リト云ヘリ。又雌ノ幼蟲ハ雄ヨリ大ナルコト常ナレバ、鳥類等ノ爲メニ發見セラル、ハ雄ヨリ雌ニ多ク、寄生蜂ノ害ヲ受クルモ亦同一ナリト云ヘル事實ナドハ、幾分カ其解釋ヲ與フルモノナリ。然レドモ本邦ニテハ未ダ此等ノ實驗報告ヲ知ラズ、大ニ注意スベキ點ナリトス。

### 雌雄多形

蝶蛾ハ雌雄ニヨリテ其色彩ヲ異ニセルモノアルノミナラズ、往々雌ニ二形或ハ多形ヲ現ハスコトアリ。例ヘバもんきてふノ雄ハ皆黄色ナレドモ、雌ニハ黄色ニシテ雄ニ似タルモノト、帶

黄白色ニシテ一見雄ト異ルモノトノ二様アリ。又ふちぐろあをつばめノ雄ハ孔雀綠ノ美色ヲ呈シテ黑色綠ヲ有セルモノナルガ、雌ニハ全ク暗褐色ニシテ斑紋ヲ有セザルモノト、少シク基部ニ紫色ヲ加フルモノト、紫色一層増加シテ中央ノ大部ヲ占ムルモノト、又更ニ赤橙色ノ斑紋ヲ加フモノト、一層著シキ赤橙色斑ヲ有スルモノト殆ンド五形アリテ、是等ハ同時ニ飼育セルモノヨリ此五形ヲ得ルコトアリ、又同一時季ニ此五形ヲ得ルコトアルヲ以テ、前述ノ氣候變形トハ全ク異ナルモノナリ。

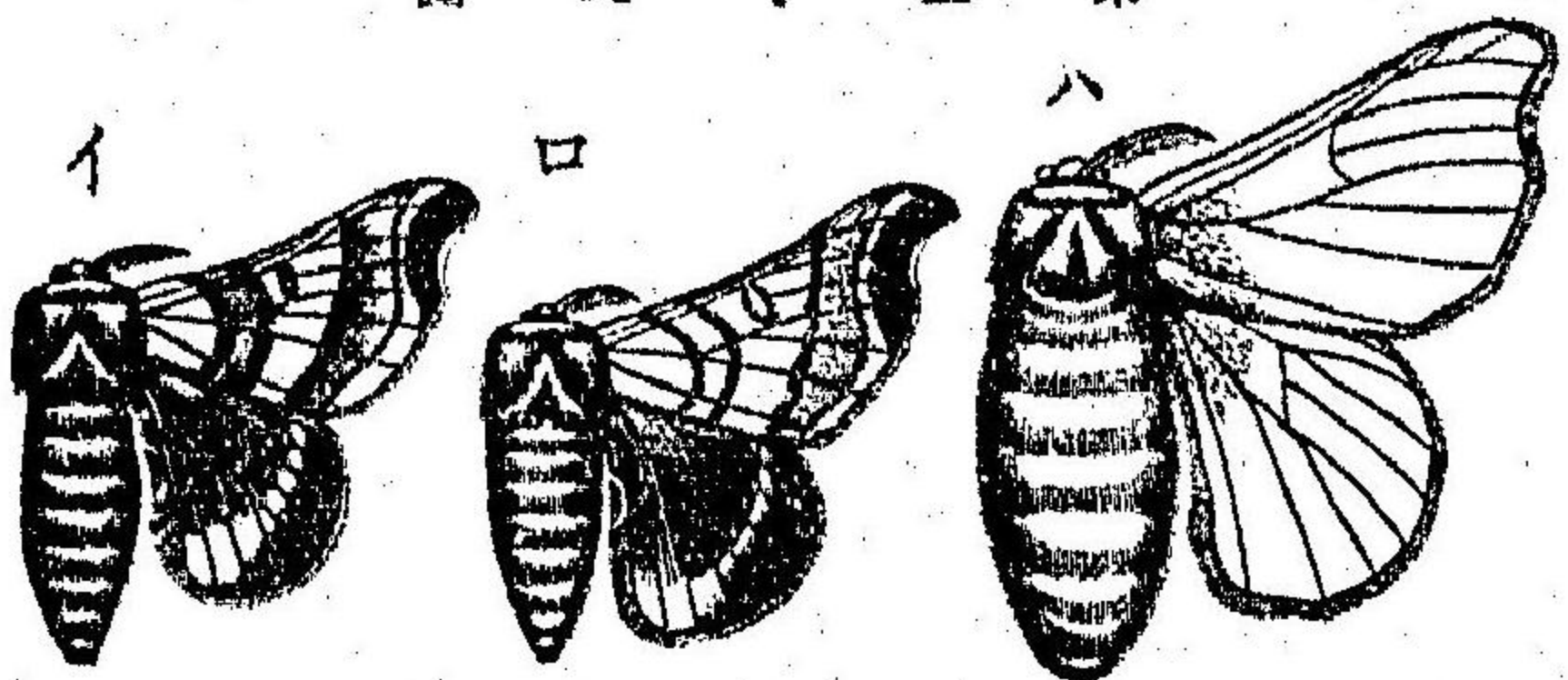
### 交尾

蝶ハ日中飛翔シツ、交尾シ、蛾ハ靜止シテ交尾スルコト通常ニシテ、交尾セル蝶蛾ハ往々吾人ノ目ニ觸ル、モノナリ。雌ハ腹部大ナルニヨリ飛翔ニ不適當ナルモノ多ク、或ハみのむし、無翅尺蠖ノ如ク全ク翅ヲ有セザルモノサヘアルヲ以テ、雌ヲ索ムルハ重ニ雄ニシテ、雄ハ遠距離ニアル未通雌ヲ見出スニ特別ノ力ヲ有スルモノナリ。故ニ野蠶蛾類等ヲ飼育スルニ當リ、蛹ヨリ雌ノ羽化スルトキハ、野生ノ雄ハ何所トモナク飛ビ來リテ飼育室ニ闖入スルノミナラズ、飼育箱ノ外面ニ群集スルコト少カラズ。故ニ此等ノ雄ヲ得ント欲スル時ニ當リ、衣囊ニ入ル、ニ未ダ交尾セザル雌蛾ヲ以テシテ此等ノ蛾ノ出現スベキ場所ニ至ルトキハ、雄ハ人ノ周圍ニ集リ來リテ往々其衣囊内ニ入ラント試ミルコトサヘアリ。其理由ニツキテハ未ダ十分ノ説明ヲ知ラズト雖モ、多分雌ハ一種ノ臭氣ヲ發シテ雄ヲ誘引スルモノナラン。斯クテ交尾ヲ遂グルヤ否ヤ、其誘引全ク止ミテ、雄ハ直ニ飛散スルニヨリテ之ヲ觀レバ、其臭氣ト思ハル、モノモ、交尾後ハ全ク其分泌ヲ廢スルモノナラン。之ヲ應用シテ成蟲

ヲ採集スル方法ヲ招集法トイヒ、やまごにしき、あづまにしき等ニ試ムルニ、其効果驚クベキモノアリ。交尾ノ時間ハ種類ニヨリテ一樣ナラズ、時ニハ數秒ニテ畢ルコトアリ、時ニハ數時間ヲ要スルコトアリ。雌ハ大抵交尾ノ後直ニ産卵ヲ始ム。然レドモ糖蛾類及ビ或ル蝶類、天蛾科ノ或種等ニテ秋季ニ現ハル、モノハ、冬眠ノ後マデ産卵スルコトナシ。多數ノ種類ニテハ雄ハ交尾ノ後直ニ死シ、雌ハ産卵ノ後直ニ死スルモノナリ。交尾セザル雌ニヨリテ産セラレタル卵ハ一般ニ孵化スルコトナシ。然レドモ穀蛾科ノ一屬 *Solenobia* ニテハ、其雌蛾ハ翅ヲ有セズシテ鞘中ニ住シ、受精セザル卵ヨリハ雌蟲ヲ生ジ、受精シタル卵ヨリハ雄蟲ノミヲ生ズ、然シテ第一ノ現象即チ受精ニテ雌蟲ヲ生ズル場合ハ比較的多クレドモ、第二ノ場合ハ稀ニ起ルモノナリトイヘリ。是即チ單爲生殖ニシテ、此他家蠶ニテモ往々此現象ヲ生ズルコトアリ。又濠洲 (*Australia*) ニ産スル一種ニハ、卵ヲ産セズシテ幼蟲ヲ胎生スルコト恰モ蚜蟲ニ類スルモノアリトイヘリ。

**雜種** 蝶蛾ノ交尾ハ通常同種間ニ行ハル、モノニシテ、異種間ニ行ハル、モノニアラザレドモ、非常ニ近縁ナル異種ノ間ニハ、稀ニ交尾ノ行ハレテ雜種ヲ生ズ。米國ニテハ異屬ノ蛾ヲサヘ交尾セシメタルコトアリ、やまごたから (カヒコ) トやまごたからもごき (クハゴ) トハ同一種ナルカ又ハ別種ナルカハ人ニヨリテ意見ヲ異ニスル所ナレドモ、其形態上ニ、殆ンド別種ニ値スベキ變化ヲ生ズルコトハ事實ナリ。今此兩種ノ交尾ニヨリテ生ジタル幼蟲ハ其動作家蠶ノ靜肅ナルニ似ズ甚ダ亂雜ナルモノ

第三十圖



やまごたからト  
やまごたからト  
ごきトノ雜種  
(イ)やまごたから  
らもごき  
(ロ)雜種  
(ハ)やまごたから

ニシテ、是ガ蛹化シ羽化シタル成蟲ハ、やまごたからノ如ク白色ナラズ、又やまごたからもごきの如ク暗褐ナラズ、殆ンド兩種ノ色彩ヲ折半シタル觀アリ。凡ソ雜種ハ多ク幼蟲時代ニ斃ル、モノナルニ關セズ、やまごたからトやまごたからもごきトノ雜種ハ比較的容易ニ成育スルヲ見レバ、其最モ近縁ナルコト固ヨリ疑フベクモアラズ、大ニ家蠶ノ原種ガくわごナルコトヲ確ムル一證トモ云フベキモノナリ。

**雌雄混形** 前述ノ如ク、雌雄ハ外形上ニ於テ異ナレルノミナラズ、元來蝶蛾ハ雌雄異躰ノ動物ナレバ、其生殖器ニ於テ全ク異ナレルコト論ヲ俟タズ、然レドモ稀ニ一箇躰ニ兩性ノ形態ヲ混ジテ、體ノ一半ハ翅、脚、觸角等ニ於テ雄形ヲ現ハシ、一半ハ雌形ヲ現ハスコトアリ、是等ノ現象ヲ稱シテ雌雄混形ト云フ。又他ノ場合ニ有リテ、蝶蛾ノ他ノ部分ガ多少雌雄ノ色及ビ構造ヲ混合セラルコトアリ。然レドモ上述ノ如キ現象ハ甚ダ稀ナル事實ナレバ、

萬一斯クノ如キ蝶蛾ヲ採集スル人アラバ、其標本ノ新鮮ナル間ニ之ヲ解剖シテ其生殖器ヲ驗スルコト必要ナリ。但シ、爰ニ附言セザルベカラザルハ、雌雄同躰ノ本義ナリ。雌雄同體トハ雌雄ノ性が正シ

ク別レザル動物ニ限ラレタルモノナレバ、若シ蝶蛾ノ雌雄同形ノモノニシテ假ニ雌雄ノ生殖器ヲ具フ  
ルモノアリトモ、之ヲ眞ノ雌雄同體トハ云フベカラズ、不完全雌雄同體トモ命ズベキコト至當ナリ。  
外國ニテハをすぐろさゝなみ或ハあげはノ一種ニ此畸形ニ現シタルモノアリシカドモ、生殖器ハ雄ニ  
アラザレバ雌ニシテ、決シテ雌雄同體的ノモノニハアラザリキト謂ヘリ。

### 第三篇 通論

本篇ニ於テハ、鱗翅類ノ全時期ヲ通ジテ起ル現象ト、他界トノ關係即チ人類、植物又ハ他ノ動物トノ  
關係ニツキテ畧述セン。

#### 第一章 生存上ニ於ケル彩色及ビ裝置

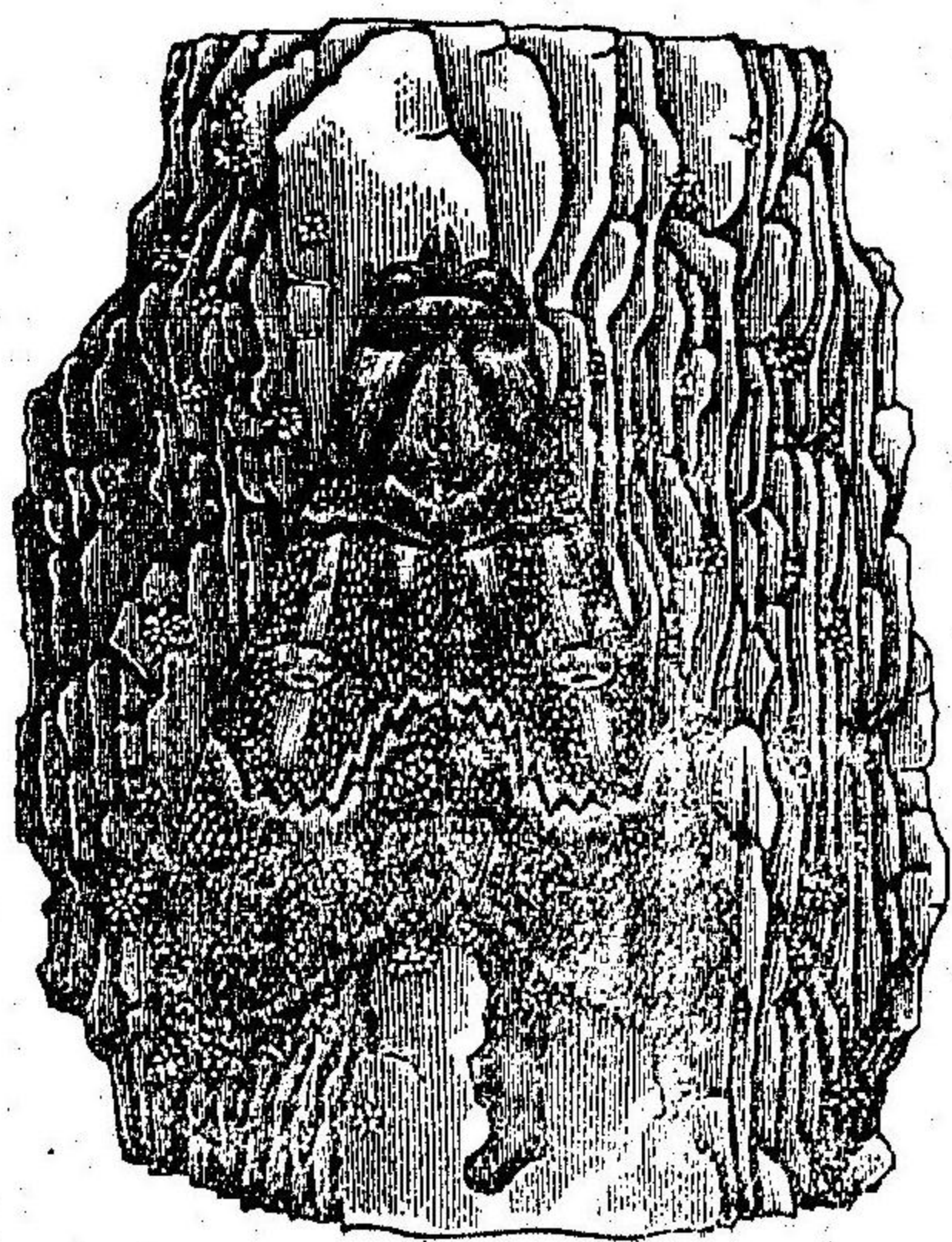
鱗翅類ガ他動物ニ對シテ自身ヲ保護スルニツキテハ、種々ノ彩色ヲ現ハシ、或ハ種々ノ裝置ヲ有ス。  
皆自然淘汰ノ結果トシテ發達セルモノナリ。

**彩色** 鱗翅類ハ幼蟲及ビ成蟲ノ時代ヲ通ジテ動物質ヲ食スルモノ甚ダ稀ナルニヨリ、其彩色ハ他  
ノ昆蟲ニ於ケルガ如ク攻撃ノ爲メニアラザルナリ、今之ヲ四種ニ分ツ。

**保護色** 蝶蛾ニテ卵ヲ綠葉、綠枝面ニ生スルモノニハ綠色又ハ黃綠ヲ呈スルモノ多ク、樹幹、枝

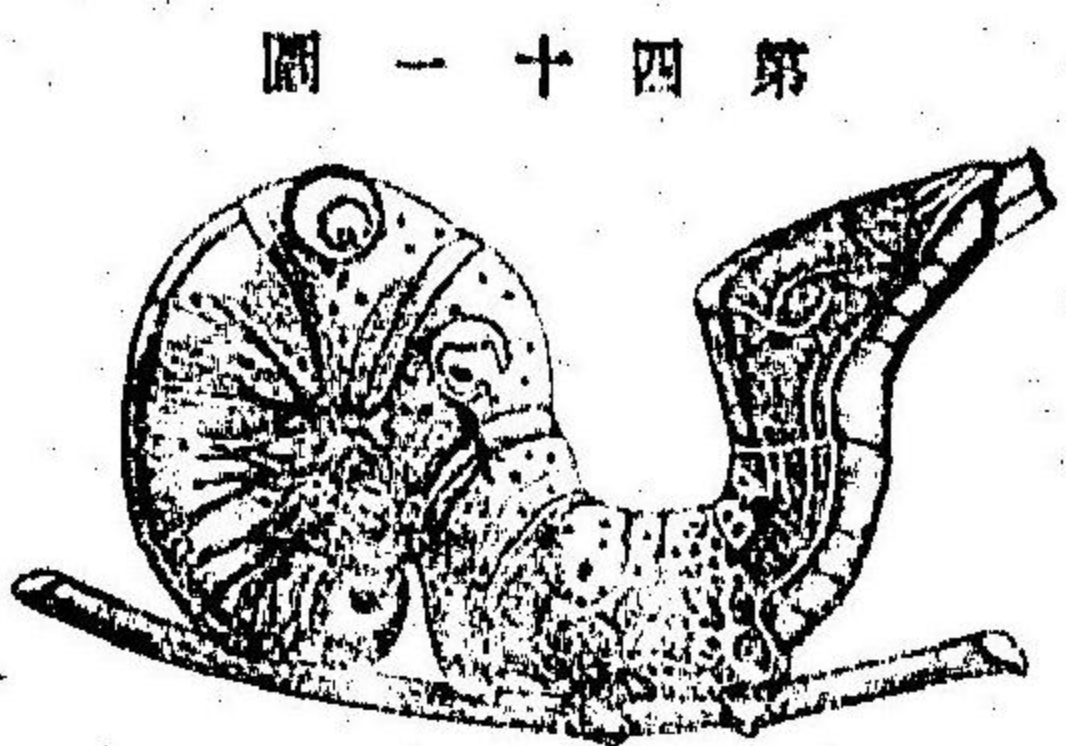
樞等ニ附スルモノニハ褐色ノモノ多シ。又幼蟲ニモ晝ニ出ヅルモノニハ綠色ノモノ多クシテ、躰ノ側  
部ヲ走レル側斜ハ往々背上ニテ相合シテ、葉ノ中央ニ靜止スル時ハ其斜條ノ葉脈ニ擬フモノアリ、又  
桑ノ枝尺蠖ガ暗灰色ヲ呈シテ桑樹ニ附着シ、時ニ躰ノ疲勞ヲ減ゼン爲メニ已レノ續ギタル絹糸ニテ躰  
ヲ支ヘテ桑枝トノ角度ヲ保テル狀ハ、一見枯枝ト認ム  
ルノ外ナシ。其他尺蠖類ニハ綠色ヲ呈シテ綠枝ト誤マ  
ルモノ多シ。是ニ反シ夜間出沒スル夜盜蟲ノ如キハ、  
暗黒ナル色彩ヲ有スルヲ常トス。蛹ニモ懸蛹、帶蛹ノ  
モノニハ綠色ノモノ多ク、特ニあをすぢあげはノ蛹ノ  
線條ハ殆ンド樟葉ノ葉脈ニ一致シ、こむらさき、こま  
だらてふノ蛹ノ綠色扁平ニシテ葉脈狀斜線ヲ有セル等  
ハ、蛹ノ條下ヲ參照スベシ。繭ニ於テモ綠葉ノ間ニ績  
グあづまにしき(ヤマカマス)、やまとにしき(山繭)等

第四十圖 ふくらすぢめノ樹皮ニ靜止セル繭



ノ鮮綠或ハ黃綠色ナル、枝樞或ハ枯葉ノ間ニ績グまつかはまだら(松毛蟲)、あやにしき(樗蠶)等ノ暗  
色ヲ帶ベルモ亦此例ナリ。又峽蝶類ノ翅ノ表面ハ頗ル美麗ナルニ反シ、其裏面ハ暗濁ナルニヨリ、翅  
表ヲ合ハセテ靜止スルトキハ、全ク枯葉、樹皮等ノ觀ヲ呈シ、ふくらすぢめきしたば、べにししたば類

ハ後翅ノ鮮麗ナルニ反シ前翅木皮狀ヲ呈スルニヨリ、前翅後翅ヲ蔽ヘバ全ク木皮ノ觀ヲ呈ス。特ニこのはてふノ枯葉ニ似タル能ク人ノ知ル所ナリ。ともるこのはノ如キモ、後翅ハ濃黃色ニ巴形黑紋ヲ有シテ顯著ナレドモ、前翅ハ暗黃褐綠色ヲ帯ビテ恰モ枯葉ノ觀ヲ呈スルニヨリ、翅ヲ合セテ樹間ニ止マルトキハ殆ンド見出スコト能ハザルナリ。



第十四圖

擬態 蜂又ハ蛇ノ如キハ他ノ動物ノ嫌畏スルモノナルヲ以テ、多少蜂蛇等ニ類似ノ状態ヲ呈スレバ他動物ノ防害ヲ免ル、コトヲ得ベシ。天蛾科ニ於ケルたはすかしば、すがばほうじやく、硝子蛾科ノ各種ハ透明ナル翅ヲ具シテ蜂ニ擬シ、前方關節ニ眼形紋ヲ有スル天蛾科ノ幼蟲、又ハともるこのはノ幼蟲ノ如キハ殆ンド蛇ノ状態ニ、又あげはのてふ、くろあげはノ幼蟲ノ如キハ鳥糞ヲ擬シテ他動物ニ食フベキモノニアラザルコトヲ示スアリ、此等ヲ擬態ト云フ。

警戒色 蝱<sup>クムシ</sup>及ビ惡臭ヲ發スル鳥<sup>イモシ</sup>蠅ノ如キ、或ハ惡臭ヲ發スル蛾類ノ如キハ他ノ動物ノ食フヲ欲セザルモノナルニヨリ、保護色ト反對ニ其紋理ヲ鮮明ニシテ一見誤認セラル、ノ憂ヲ防グ必要アリ、是等ヲ警戒色ト稱ス。即チ蝱<sup>クムシ</sup>ノ中ニつのけむし、ふさけむし、いらむし等ガ鮮麗ナル紋條或ハ彩色アル長毛ヲ有スルガ如キ、鳳蝶科ノ鳥蠅ニ顯著ナル紋理ヲ有スルコトきあげは、じやかうあげは等ノ

如キ、又螢蛾科ニ屬スルモノ、如キハ黑色ニ白帶ヲ有シ、又燦然タル金性彩色ヲ有スル等是ナリ。

雌雄洵汰色

雄ト雌ト色彩ヲ異ニセルモノハ、雄ノ方鮮麗ナルヲ常トス。即チこむらさきてふノ雄ハ艶媚タル鮮紫ノ金性光ヲ放チ、しゝみてふノ如キモ雌雄其色ヲ異ニシテ雄ハ雌ヨリモ美ナリ。又めすぐろへうもんノ如キハ雄ハ橙黃色ナルニ反シ、雌ハ黑色ニ青色、白色等ヲ混ゼリ。蛾類ニ至リテハ其性ノ夜行ナルモノ多キニヨリ、鮮麗ノモノ少シ。唯にすぐろさいなみ、たすぐろうこん等ノ如ク、雌雄其色ヲ異ニスルモノハめすぐろへうもんニ反シ、暗黒ナルハ常ニ雄ナリトス。

保護的裝置

幼蟲ニ毛茸或ハ又枝アル突起等ヲ有スルハ全ク自身保護ノ爲メニシテ、往々毒毛ヲ有スルカ如キハ更ラニ有効ナルモノナリ。鳥類ノ幼蟲ヲ啄ムヲ見ルニ、根切蟲等ノ如ク裸體ノモノニ多クシテ有毛ノ者ニ少キハ、之レガ適證トスベシ。又鳳蝶科ノ幼蟲ノ如キハ胸部ノ前端ヨリ肉角ヲ突出シテ惡臭ヲ放チ、加害ノ動物ヲシテ三舍ヲ避ケシム。成蟲ニシテ臭氣ヲ放ツハ螢蛾科ノ各種ノ如シ。

第二章 分布

動物ノ分布ニヨリテ地球ヲ大別スレバ、舊北洲(Palaearctic Region)、新北洲(Nearctic R.)、東洋洲(Oriental R.)、えらたびや洲(Ethiopian R.)、新熱帶洲(Neotropical R.)、濠太良利亞洲(Australian R.)ノ六大

區トナル。日本ノ地タルヤ、北ハ北緯五十餘度ヨリ、南ハ回歸線ニ至ル間ニ介在セル點々タル陸島ノ連續セルモノナレバ、寒、温、熱ノ各帶ニ跨リテ非常ニ動物ノ種類ニ富ミ、之ヲ彼ノ六大洲ニ配布スレバ、九州以北ノ地ハ舊北洲區域ニ屬シテ、琉球、臺灣ノ地ハ東洋洲區域ニ隸セリ。故ニ舊日本即チ九州、四國、本島、北海道ノ地ハ亞細亞ノ北部、亞非利加ノ北端、歐羅巴全洲ニ關係ヲ有シ、新日本即チ琉球、臺灣ノ地ハ南清、印度、馬來諸島ニ聯絡ヲ保チテ、鱗翅類ニ至リテモ亦此範圍ヲ脱セザルナリ。然レドモ動物分布ノ區域タル、固ヨリ人爲的ニ境界ヲ定ムルガ如ク一線ヲ以テ分明ニ其東西ヲ分ツベキニアラズ、特ニ飛翔的習性ヲ有セル鱗翅類ノ如クニ至リテハ、其區ノ境ニ當レル地ニテハ彼此相混ジテ殆ンド間界ノ觀ヲ呈スルアリ。故ニ本邦ニ於テ北海道及ビ本島ノ高地ニ限り産スルモノハ殆ンド舊北洲ニ屬スベキモノト斷定スベク、即チひめひをぞし、こへうもん、こひをぞし、えぞいちもじ、たほいちもじ、くさべりうらぎんへうもん、いぶきすゞめ等此例ニシテ、此等ハ皆歐洲トモ共通ナリ。又舊日本ニ産シテ歐洲ト共通ノモノニハもんしろてふ、すぢぐろてふ、やまきてふ、ひをぞしてふ、ひめあかたては、ほうじやく、まつかはまだら等アリ、故ニ此等モ又全然舊北洲ニ産スベキモノナルコトヲ知ル。又しろをびあげは、かばまだら、すぢぐろかばまだら、あをたてはもごき、りうきうむらさき、たほあやにしき等ハ東洋洲區ニ屬スルモノニシテ九州以北ニ産スルヲ聞カズ、ながさきあげは、いつぼんせすぢすゞめハ東洋洲區ノモノニシテ九州ノ地ニモ來リ、もんきあげはハ本島マ

デモ侵入セリ。兩區ヲ通ジテ分布セルモノ、一ニハあかたてはアリ、又舊北洲ハ新北洲ト多少ノ連鎖ヲ有スルモノナルニヨリ、北米ト關係ヲ有スルモノ少カラズ、然レドモ日本ノ植物ガ北米東部ノ植物ト非常ニ親密ナル關係ヲ有スルガ如クニ、其關係深カラズ。即チきあげは、くじやくてふ、きべりたては等ハ獨リ日本ト北米トニ産スルノミナラズ歐洲ニモ産スルモノナレバ、新、舊北洲共通ノモノナリ。又えびがらすすめノ如キハ殆ンド世界共通ノモノナリ。此他日本ノ特産トシテ知ラレタルモノニハ數多アリテやまごにしきノ如キハ其一ナレドモ、調査ノ密ナルニ從ヒテ漸次其分布ヲ廣クルナルベク、又交通ノ盛ナルニ從ヒ、或ハ鳥類保護ノ獎勵セラル、ニ從ヒ、其他種々ノ事情ニヨリテ分布ニ影響ヲ及ボスコトモ少カラザルナリ。即チ彼ノをすぐろさゞなみノ如キハ舊北洲ノモノニシテ、日本ニモ、歐洲ニモ共通ノモノナリシガ、今日ハ北米ニ移行シテ其原產地ニ於ケルヨリモ非常ノ繁殖、非常ノ損害ヲ及ボセリ。又英國ニテハえぞしろてふ漸々減少ノ傾キアリ、斯ハ禽鳥保護法ノ周密ナル結果ナラント云ヘリ。其他あやにしきノ如キハ東洋洲ノ原産ニシテ、殆ンド十九世紀ノ半ニハ歐洲ニ移サレ、千八百六十一年ニ北米ニ移サレタリト云ヘリ。然レバ蝶蛾ノ分布ニツキ知ラント欲セバ、各地ノ調査ヲ精密ニスルト同時ニ歴史上ノ事實ヲモ參酌セザル可カラザルナリ。日本ニ於ケル蝶蛾ノ分布ハ今日多少明瞭トナリタルモ、蛾ニ至リテハ未ダ夜ノ世界ナルヲ免レズ、向後大ニ之ガ調査ヲ要スベキモノナリ。



## 第三章 鱗翅類ノ効用

鱗翅類中人ニ對シテ最モ直接ノ効用ヲ與フルモノハ家蠶ナリ、是其繭ヨリ絹糸ヲ績グベキヲ以テナリ。家蠶ノ原産地ハ支那ニシテ、支那ニテハ少クモ西曆紀元前二千二百年即チ今ヨリ四千餘年前ヨリ蠶ヲ飼育シタリト云ヘリ。我邦ニテモ太古蠶業ノ行ハレタルコトハ傳説ニヨリテ知ル所ナルガ、之ガ盛ニナリシハ蓋シ神功皇后ノ征韓以後ナリ。絹絲ノ歐洲ニ入りシハ紀元前五世記希臘ガペルしヤト戰爭シタル時代ニシテ、初メテ蠶卵ヲ歐洲ニ輸入セシハ紀元五百五十五年羅馬帝じやすちにあん(Justinian)治世ノ時、二人ノ耶蘇教傳導師ガ中空ノ杖ノ内ニ之レヲ匿シテこんすたんちのーぶるニ齎シタルニ原因セリ。爾來絹絲ノ需用増加スルニ從ヒ西班牙、葡萄牙、伊太利等ニ傳播シタリ。然レドモ北方ニ於テハ唯珍奇ノモノトシテ戯ニ之ヲ飼養シタルニ過ギザリシガ、十六紀ノ末ヘんりー四世(Henry IV)治世ノ時、佛國ノ蠶業次第ニ隆盛ニ赴キ、千七百年代ニ及ビテ獨逸ニマデ傳播シタリ。此他絹絲ヲ績グベキモノハ野蠶、柞蠶等ニシテ、野蠶ハ我國ノ原産ニ係リ、今ヨリ千有餘年前安倍眞貞ノ著シタル大同類聚方中既ニ之ヲ記載シタルハ、遠ク上古ヨリシラレタルコトヲ證スベク、降テ中御門天皇ノ御世(今ヨリ百八九十年前)八丈島ノ土民ハ八丈絹ヲ山繭ノ絲ヨリ製出セリト云ヘリ。家蠶ニ比スレバ絹絲粗大ニシテ色澤等モ亦及バザルコト遠シト雖モ、堅牢ナル絹布ヲ織ルニ適セリ。柞蠶ハ支那ノ原産ニ

シテ、同國ニテハ漢時代ヨリ既ニ知ラレ、我國ニ輸入セシハ明治十一年ナリ。野蠶ハ髣髴タル絹絲ヲ採ルベシ。柞蠶ハ印度、支那、日本ニ産シ、容易ニ飼育セラルト雖モ。繭甚ダ小ニシテ績グニモ困難ナレバ、未ダ盛ニ飼養セラル、コトヲ聞カズ。樟蠶即チ栗蠶ハ其幼蟲ノ老熟セルモノヲ醋酸中ニ投ジ、其絲腺ヲ抽出シテ之レヨリ釣魚ニ用フルてぐすヲ製スベシ。又繭ヲ紡績シテ衣服ノ資ニ供スルコトアリ、あうすたらりあノ蠻人中ニハ鱗翅類ノ幼蟲、蛹、成蟲等ヲ貴重ナル食物ノ一トシテ數フルコトアリト云ヘドモ、日本ニテハ僅ニ家蠶ノ蛹ガ一部ノ人ニヨリテ食物ニ供セラル、ト、樹幹ヲ蠶蝕スル幼蟲例ヘバくもがたかうもりノ幼蟲即チくさぎのしんくひ、又しよくこうのにしきの幼蟲即チいばたむしが藥餌ノ効アリトテ一部ノ人ニ用ヒラル、ニ過ギザルナリ。植物ニ對シテ直接ニ、人ニ對シテ往々間接ノ効果ヲ與フルハ、蝶蛾ノ或種ガ花粉媒助ニ與リテカアルコトニシテ、花ノ構造及ビ其開花ノ時刻ノ如何ニヨリテハ、必ズ蝶蛾ノ力ヲ借ラザルベカラザルアリ、即チ百合類ガ重ニ鳳蝶類ヲ俟ツガ如ク、月見草、待霄草ガ天蛾類ヲ俟ツガ如キ、其他夜中ニ開ク花ガ殆ンド蛾類ノ力ヲ借ル等はナリ。

## 第四章 有害ノ鱗翅類

鱗翅類ガ他ニ害ヲ及ボスハ殆ンド幼蟲時期ニシテ、成蟲時期ニハ僅少ノ種類ヲ除クノ外(成蟲ノ食物

ノ條參照) 全ク無害トイフベシ。幼蟲ノ食物ハ幼蟲ノ習性ノ條下ニ述ベタルガ如ク、動物質ヲ食スルモノ無キニアラザレドモ、大多數ハ植物質ヲ食フヲ以テ、之ガ發生盛ナルトキハ田圃、庭園、森林等ニ莫大ノ損害ヲ及ボスコト少カラズ。幼蟲ノ植物ヲ損フヤ、或ハ根切蟲ノ如ク根ヲ害シ、或ハ木蠹蟲ノ如ク幹ヲ穿チ、或ハ蠅蟲ノ如ク莖ニ入り、或ハ多數ノ幼蟲ノ如ク葉ヲ害シテ遂ニ植物ヲ枯死セシムルコト少カラザレドモ、蕃殖力弱キカ又ハ多數ニ生育セザル限リハ非常ノ害ヲ醸スコトナシ。然レドモ蕃殖力ノ盛ナルモノ、或ハ氣候ノ關係等ガ幼蟲ノ生育ニ適當ナル時ハ、非常ノ損害ヲ及ボスモノナリ。扱其損害タルヤ、一時季ニテ畢ルアリ、又各時季ニ連續スルアリ、或ハ數年ニ渉ルアリ。然レドモ一年非常ノ損害ヲ受ケタリトテ年々必ズシモ同一或ハ同一以上ノ損害ヲ被ムルモノニアラズ、往々損害ヲ受ケタル翌年ニハ不意ニ害蟲ノ減少ヲ見ルコト少カラズ。是レ一害蟲ノ蕃殖スルト同時ニ、之ヲ斃ス所ノ敵蟲モ亦繁殖シ、或ハ細菌、黴菌等ノ爲メニ斃サレ、又ハ其食物ニ欠乏ヲ來ス等其重ナル原因ナラン。一千八百六十三年ヨリ一千八百六十五年マデノ間ニ一種ノ葉捲蟲 (*Grapholita pinicolana*) ノ幼蟲ハ、あるぶす山ノ谿原ナル上えんげーでん (*Upper Engadine*) ノ落葉松林ノ全部ニ蔓延シテ、千八百六十五年ノ七月ニハ全ク其葉ヲ喰ヒ盡シタリキ。然レバ若シ此幼蟲ガ翌年モ亦斯ル損害ヲ繼續セシニハ由々シキ大事ニ及ブベカリシガ、幸ニ此幼蟲ノ多數ハ殆ンド疾病ニ侵サレテ蛹化ニ先チテ斃レ、或ハ蛹ニ化シタル後ニ死シテ、羽化シタルモノハ甚ダ僅少ナリキ。然レバ翌年ハ其幼蟲ヲ見ルコト甚

ダ少ク、被害從テ輕カリシヲ知ルニ足ラン。蓋シ幼蟲多キニ過ギテ食物ノ缺乏スルコトモ之ガ滅亡ノ一原因ナラン。自然界ノ平均實ニ妙ニシテ、天ノ配劑亦巧ナラズヤ。本邦ニテモ明治三十五年吉野ノ杉林ニ杉毛蟲無數ニ發生シテ莫大ノ損害ヲ及セシガ、翌年ハ格別ノ損害ヲ被ルコトナカリキ。是レ人為的驅除ノ効少カラズト雖モ、大部分ハ寄生蜂、寄生蠅、細菌、鳥類等ノ天然ノ害敵ト、氣候ノ如何等ニヨリテ斃サレタルモノナリ。

本邦ニ於テ農作物ヲ害スル鱗翅類中其被害ノ大ナルハ、稻ヲ害スルニ化性螟蟲、三化性螟蟲ニシテ、年々ノ損失ハ三千万圓ニ値スベシ。其他稻ニハいちもじせり。いねのあをむし等ノ害蟲アリ、桑ニハさんけむし、くわけむし、えだしやくどり、あをはまき、くわのしんむし等アリ、粟ニあはのよこむしアリ、草綿ニわたはまき、わたのりんむしアリ、煙草ニたばこのあをむしアリ、茶ニちやけむし、ちやのみむしアリ、藍ニあゐのすむしアリ、菜菔、蕪菁等ニハたいこんのねきりむし、もんしろてふノ幼蟲アリ、松ニまつけむし、杉ニすぎけむし、梅にうめけむし、櫻ニさくらけむし、黄揚ニつげはまき等アリテ、數ヘ來レバ多數ノ植物殆レド鱗翅類ノ害ヲ被ラザルハナシ。

## 第五章 鱗翅類ノ敵

鱗翅類ノ敵ハ甚ダ多キヲ以テ、之ガ爲メニ斃サル、モノ亦少カラズ、多數ノ食蟲鳥類特ニ鳴禽類ガ幼

蟲及び成蟲ヲ斃ス數ハ莫大ナルモノニシテ、英國ガ歐洲大陸ノ各國ヨリ昆蟲ノ爲メニ穀物ヲ害セラル、コト少キ所以ハ、禽鳥保護ノ道十分ニ行ハレテ、他國ヨリ比較的小鳥ノ夥多ナル結果ニ歸セザル可カラズ。龍動ノ公園ニ遊ベル小鳥ガ、飛ビ來リテ人ノ手掌ニ止マルコトヲ知ラバ思ヒ半バニ過ギン。是ニ反シテ伊太利ノ如ク年々非常ノ損害ヲ受クルハ、其事情全ク是ニ反スレバナリ。本邦ニ於テモ近年俄ニ蟲害ノ聲ヲ昂メタルハ、其原因一ニシテ足ラザル可シト雖モ、禽鳥ヲ亂獲シタル結果最モ大ナリト謂ハザルベカラズ。抑モ鳥類中ニハ殆ンド植物質ノミヲ嚙ムモノアレドモ、此等モ雛ノ時代ニ於テ消化器ノ未ダ十分發育セザル時期ニ於テハ、動物質重ニ蜘蛛、昆蟲等ヲ以テ養ハル、モノナリ（但シ鳩鴿類ハ其雛ヲ養フニ鳩乳トテ穀粒ノ消化サレタル半流動體ヲ以テス）。然レバ農夫及ビ園藝家ニ及ボス鳥類ノ損害ハ此方法ニヨリテ優ニ恢復セラル、モノナリ。但シ、諸鳥ニヨリテ啄マル、幼蟲ハ重ニ尺蠖、地蠶及ビ螟蛉ノ如ク刺毛ヲ有セザルモノ多シ。然レドモ有毛ノ幼蟲モ全ク取ラレザルニアラズ。成蟲モ亦鳥類ノ食トナルコト少カラズ。此他鱗翅類ヲ害スルモノハ甚ダ多ク、蜘蛛、蜻蛉ノ如キハ其成蟲ヲ食ヒ、大形ノ肉食甲蟲ハ其幼蟲ヲ食ス。加之、多數ノ寄生蜂及ビ寄生蠅アリテ、之ヲ斃スコト一層甚シ。寄生蜂及ビ寄生蠅ノ如キハ産卵器ヲ以テ卵内、幼蟲内或ハ蛹内ニ其卵ヲ産下シ、或ハ其皮膚ニ附着セシメ、或ハ成蟲ニサヘ産卵スルコトアリ、稀ニ蠶蛆蠅ノ如ク桑葉ニ産セル卵ガ、葉ト共ニ食ハレテ体内ニ入ルコトアリ。斯クテ寄生蟲ノ卵孵化シテ幼蟲生スルニ當リ、外部ニ産附セラ

レタルモノハ寄主ノ皮ヲ穿テ内部ニ入り、内部ニ産下セラレタルモノハ直ニ寄主体内ノ脂肪質ヲ食ヒ始ム。然レドモ寄主ノ生活スベキ要所ヲ避クルヲ以テ、幼蟲ハ蛹トナルマデ生活スルカ又ハ蛹ニ化シテ後死スモノナリ。斯クテ寄生蟲ハ寄主ノ空虚ナル皮膚内ニテ蛹ニ化スルコトアリ、或ハ之ヨリ脱出シテ、其周圍ニ小サキ繭ヲ績グコトアリ。凡ソ此等ノ寄生蟲ハ、一頭ノ寄主内ニ唯一卵ヲ産スルコトアリ、又ハ多數ヲ置クコトモアルナリ。

## 第六章 疾病

家蠶ガ微粒子病、たれこ病、白腫病等ニ罹ルガ如ク、他ノ蝶蛾ノ幼蟲ニモ亦種々ノ疾病ヲ發シテ斃ル、コト少カラズ、其原因ハ微菌、細菌等ノ寄生ニ係ルモノ多ク、又ハ原生動物ニ起因スルコトアリテ成蟲ヨリモ幼蟲ニ多キハ、生活ノ状態ノ異ナレバナリ。幼蟲ガ此等ノ傳染的疾疾病ニ罹ルトキハ、其動作不活潑トナリテ體軀軟弱ニ化シ、種々ノ斑點ヲ生ジテ漸次腐敗ニ傾クカ、又ハ微菌ノ胞子ナル白粉ヲ以テ被ハル、コトアリ。此等ノ現象ハ往々氣候ノ變化ニヨリテ起リ、特ニ幼蟲ニ取リテ困難ノ時期ナル蛻皮ノ際ニ大打撃ヲ受ケテ其多數ガ撲滅セラル、コト少カラズ。松葉ヲ食食シテ森林ニ慘害ヲ逞シクセシ松毛蟲ガ、一朝微菌ノ發生ニ好期ヲ與ヘテ自然ノ配劑ノ爲メニ斃ル、コトハ往々各地ニ於テ目撃スル所ナリ。然レドモ家蠶、野蠶等ノ如キ有益昆蟲ヲ除クノ外、他ノ昆蟲ニ寄生スル病原生物

ニツキテハ本邦未ダ何等ノ研究ヲ聞カズ、此等ハ毒ヲ以テ毒ヲ制スル害蟲ノ天然驅除ニ應用スベキ巧妙ノ處方ナルニヨリ、吾人ノ大ニ注意研鑽スベキ點ナリトス。

### 第四篇 分類篇

世界ニ産スル鱗翅類ノ種ノ總數ハ、今日之ヲ知ルコト能ハザレドモ、學名ヲ有セルモノ、ミニテモ既ニ八萬以上アリトイヘバ、其大數ナルコトヲ知ルベシ。本邦産ノ種類ニツキ、蝶類ハ大略調査ヲ畢リテ、臺灣ヲ除キタル部分ニ産スルモノ百六七十種ヲ算スレドモ、蛾類ニ至リテハ未ダ詳細ノ調査ヲ經ズ、隨テ其概數ダモ明言スルコト能ハザレドモ、四千種以上ナルコトハ疑ヒナカルベシ。之ガ分類ニツキテハ、體軀ノ幾微ナル點ヲ解拆シテ其區別ノ要點ヲ闡明ニスルニアルヲ以テ、其困難ナルコト言フ可カラズ、且歐米ノ學者ガ下シタル定義ハ、往々邦産種ニ適合セザルモノアルヲ以テ、精細ノ研究ヲ經タル後ハ非常ノ變動ヲ起スベキコト勿論ナリ、況ンヤ歐米ノ學者間ニテモ其意見ハ千人千様ナルヲヤ。然レバ到底今日満足ナル配列ヲナス能ハザルニヨリ、今ハ暫ク舊慣ヲ墨守シテ之ヲ類別センノミ。

鱗翅類ヲ分チテ蝶ト蛾トノ二亞目トス。

#### 蝶亞目 Rhopalocera

觸角ハ先端節狀ヲナシ、或ハ漸次肥厚シテ棍棒狀ヲナシ、稀ニ紡錘狀ヲ呈スレドモ、絲狀或ハ櫛齒狀ヲナスコトナク、翅刺ヲ有セズ。

#### 蛾亞目 Heterocera

觸角ハ種々ニシテ、甚ダ稀ニ節狀又ハ棍棒狀ヲナスコトアリ、然レドモ斯ノ如キ場合ニハ翅刺ヲ有スルニヨリ區別スベシ。大多數ノ種ニハ翅刺ヲ有ス。今此書ニ用ヒタル科族ヲ配列スレバ左ノ如シ。

#### 蝶亞目 鳳蝶族 Papilionina

鳳蝶科 粉蝶科 斑蝶科 蛺蝶科 蛇目蝶科 天狗蝶科 小灰蝶科 弄蝶科

#### 蛾亞目 天蛾族 Sphingina

天蛾科 雜鹿子蛾科 硝子蛾科 緋鹿子蛾科 星鹿子蛾科 螢蛾科 擬鳳蛾科 錨紋蛾科

#### 蠶蛾族 Bombycina

小綠蛾科 地衣蛾科 燈蛾科 毒蛾科 木蠹蟲蛾科 蝙蝠蛾科 避債蟲蛾科 蟬寄生蛾科  
刺蟲蛾科 鈎翅蛾科 蠶蛾科 野蠶蛾科 蜀江錦蛾科 梅毛蟲蛾科 天社蛾科 擬糖蛾科

#### 糖蛾族 Noctuidina

糖蛾科

尺蠖蛾族 Geometrina

尺蠖蛾科

小蛾族 Pyralidina

- 厚翅蛾科 車小蛾科 薄翅蛾科 螟蟲蛾科 綴蟲蛾科 果蠹蟲蛾科 鳥羽蛾科 二十四鳥
- 羽蛾科 葉捲蟲蛾科 黑點葉捲蟲蛾科 茶色細翅蛾科 穀蛾科

### 蝶亞目 RHOPALOCERA

#### 第一 鳳蝶科 Papilionidae

大形ノ蝶ニシテ、通常後翅ニ尾様部アリ、三對ノ脚ハ完全ニ發育シテ、脚爪ハ分支セズ、前脚ノ脛節ニ葉狀片ヲ有シ、後脚ノ脛節ニ中距ヲ缺ケリ。前翅ノ7ト8トノ兩脈ハ柄ヲ有シ、後翅ハ前縁距脈ヲ有シ、1a脈ヲ缺ク。卵ハ球狀ニシテ平滑ナリ。幼蟲ハ多ク裸體ニシテ、稀ニ毛ヲ有ス、胸部ノ第一節ニ二箇ノ肉角ヲ有シ、危難ニ際シ之ヲ突出シテ惡臭ヲ放ツ。蛹ハ通常帶蛹ニシテ、尾端ニテ體ヲ他物ニ附着ス。

一、あびはのつゆ *Papilio xuthus* L.

翅ハ黄色ニシテ淡綠色ヲ帶ビ、黒紋黒條ヲ有ス。本邦最モ普通ノ種ニシテ、春生ハ小ニ、夏生ハ大ナ

リ。幼蟲ハ綠色ニシテ柑橘類、さんせう、いぬさんせう等ヲ食フ。

二、きあびは *Papilio machaon* L.

翅ハ黄色ニシテ黒色ノ條紋ヲ有シ、後翅ハ碧色及ビ赤色斑アリ、春生、夏生大小ヲ異ニス。幼蟲ハ鮮綠色ニ黒横帶ヲ有シ、赤斑ヲ點ズ、のだけ、はまぼうふう、とうき、にんじん等ノ繖形科植物ヲ食フ。

三、からすばあびは *Papilio banor* Cramer.

翅ハ黒クシテ青藍或ハ綠青色ノ微鱗ヲ滿布シ、金性光ヲ發ス。  
第四十二圖 くらあげはノ翅脈

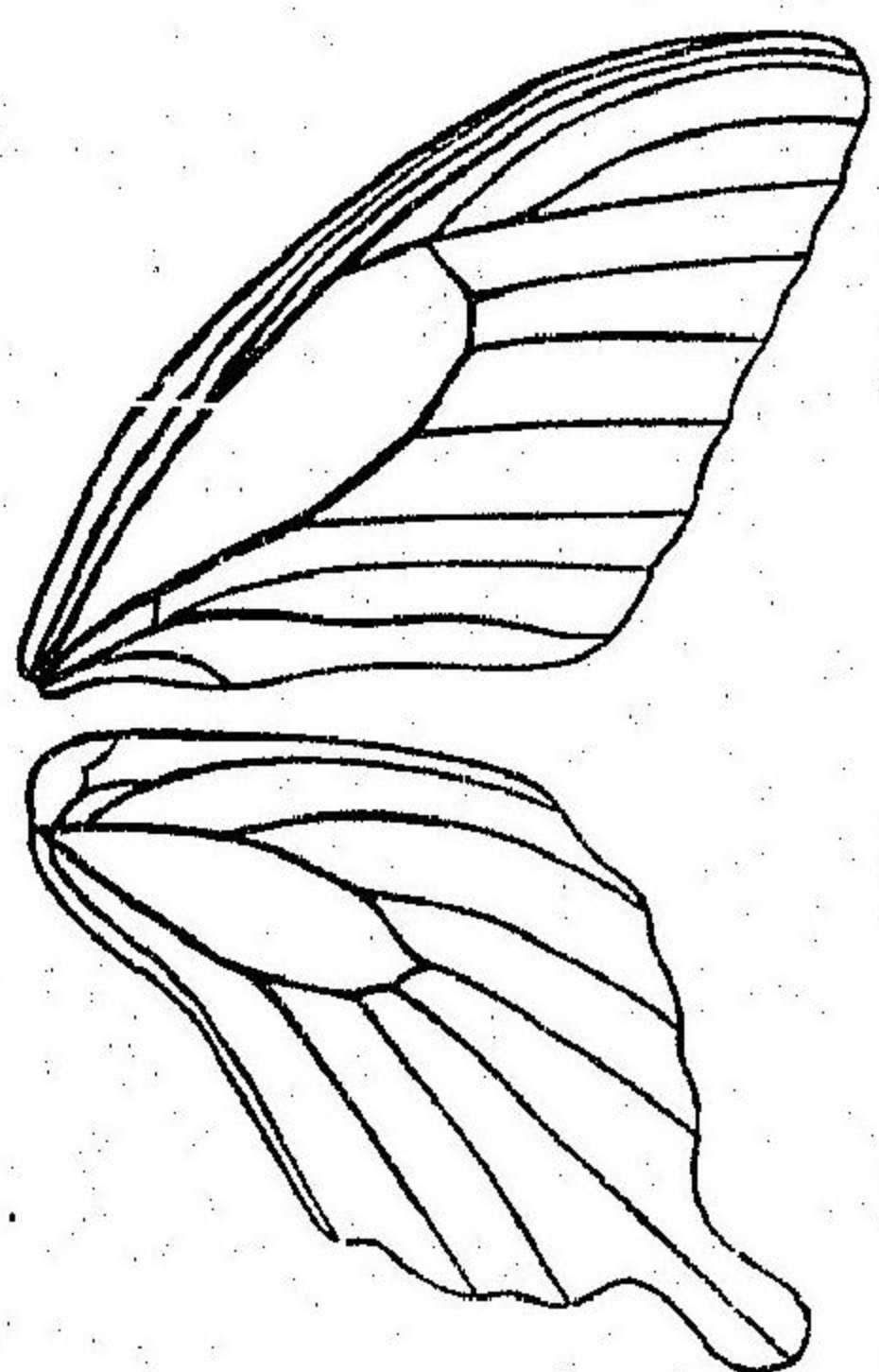
幼蟲ハあびはノ幼蟲ニ類シ、柑橘類ノ葉ヲ食フ。

此種ニ酷似セルモノニみやまからすばあびはト呼ブモノアリ  
 翅ノ裏面ニ灰白色ノ條理アルニヨリ *P. maack* Men トシテ之ヲ別種トスル人アレドモ、亦變種ナラント思考スル人少カラズ。

四、くらあげは *Papilio demetrius* Cramer

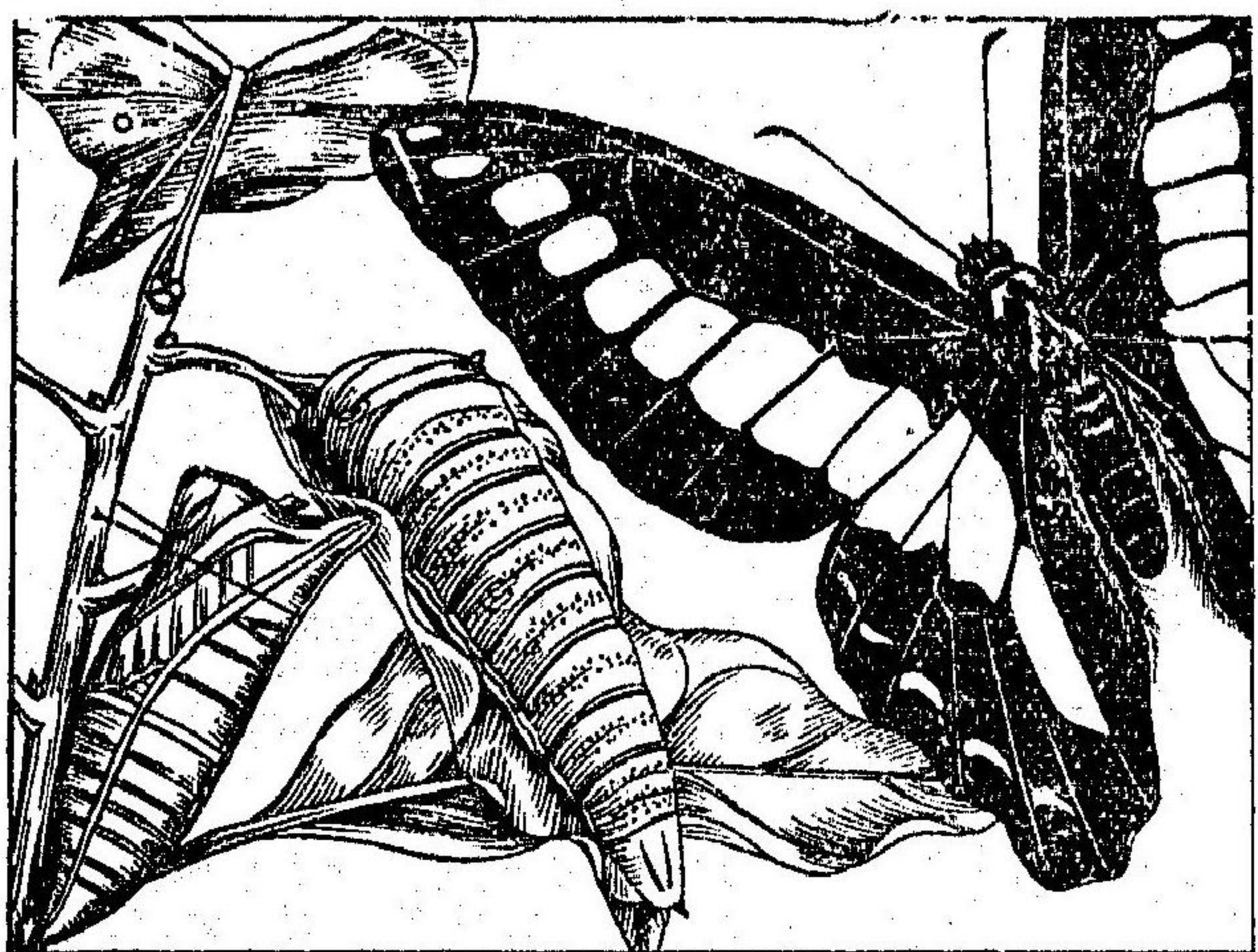
黒色ニシテ後翅ニ赤斑アレドモ、裏面ノ方分明ナリ。雄ノ後翅ノ前縁ニ淡黄色ノ弦月斑アリ、春生、夏生大小ヲ異ニス。幼蟲ハ濃綠色ニシテ柑橘類ノ葉ヲ食フ。

五、おながあびは *Papilio maclentus* Janson.



前種ニ比スレバ翅狭クシテ長キヲ異リトス。  
六、じやかうあびはヤミモウチン *Papilio aleinous* Klug.

體變ノはげあぢすなわ 圖三十四第  
蟲成(ニ)蛹(ハ)蟲幼(ロ)卵(イ)



雄ハ帶褐黒色ニシテ一種ノ香氣ヲ發スルニヨリ此名アリ雌ハ二層淡色ナリ。幼蟲ハ黑白相混ジテ二列ノ突起ヲ有シ、うまのすゞぐさ、ががいも、いけま等ヲ食フ。  
七、もんきあびは *Papilio helenus* L.  
くろあびはニ類シテ後翅ニ黄白色方形斑列ヲ有ス。幼蟲ハ綠色ニシテ柑橘類ノ葉ヲ食フ。  
八、しろをひあびは *Papilio polytes* L.  
雄ハ翅黒褐色ニシテ前翅ノ外縁ヨリ後翅ノ中央ニ亘リ黄白色ノ斑列アリ、雌ニハ二形アリテ一ハ雄ニ類シ、一ハ後翅ニ赤斑多シ。幼蟲ハ其香科植物ノ葉ヲ食フト云フ。琉球臺灣ニ産ス。  
九、ながさきあびは *Papilio memnon* L.  
雄ハ黒色ニシテ往々前翅ノ基部ニ新月形赤紋アリ、雌

ハ後翅ニ白色部多クシテ淡橙色斑ヲ有シ、基部ノ赤紋ハ通常顯著ナリ、通常尾様部ヲ缺ケドモ、琉球産ニハ之ヲ有スルアリ。幼蟲ハあびはにてふノ幼蟲ニ酷似シテ、柑橘類ノ葉ヲ食フ。

一〇、あをすぢあびはクロクスイ、ムラサキ、*Papilio sarpedon* L.

翅ハ黒クシテ淡青綠色ノ方斑列前後翅ヲ貫ケリ。幼蟲ハ濃綠色ニシテくす、いぬぐす等ノ葉ヲ食フ。

一一、みかごあびはミヤマキ、*Papilio mikado* Leech.

前種ニ似テ淡綠色ノ方斑ニ富メリ、鳳蝶科中最モ稀品ナリ

一二、あしたばあびは *Ornithoptera vandeopoli* Snell.

前翅ハ黒色ニシテ、後翅ハ鮮黄色ヲ呈シ、絹光ヲ放ツ、尾様部ヲ有セ

ズ。臺灣ニ産ス。

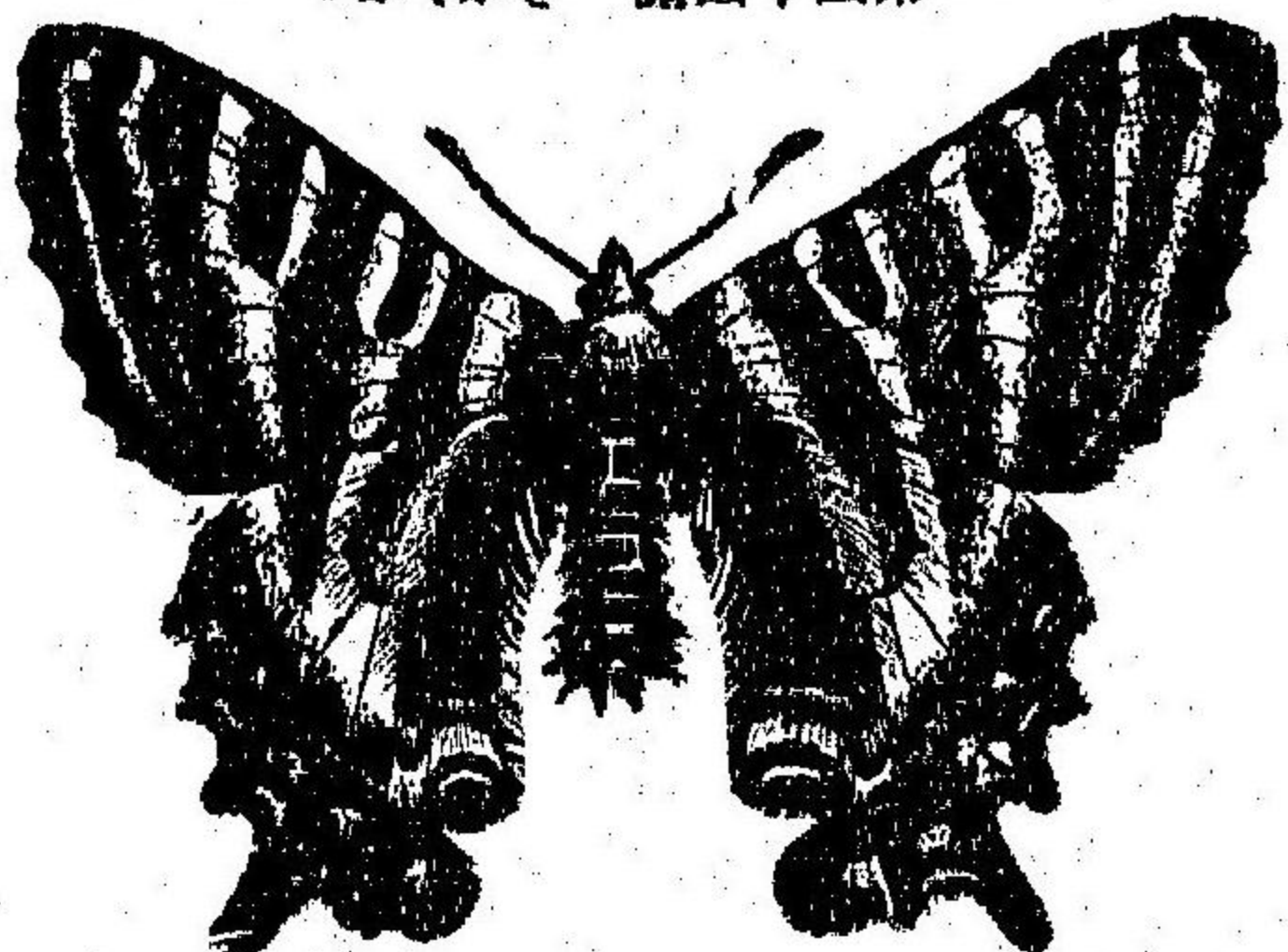
一三、あぶてふタメ、*Leodorha japonica* Leech.

翅黄色ニシテ黒條數箇ヲ有スルニヨリだんだらてふノ名アリ、後翅ニ碧色及ビ赤色斑アリ、此科中小形ノ種ナリ。幼蟲ハ黒色ニシテ毛ヲ生ジ、うすばらしいしん、かんあふひ等を食フ。

一四、ひめあぶてふ *Leodorha puziloi* Ersch.

前種ニ酷似スレドモ、小形ニシテ黒横條ハ比較的狭シ、特ニ幼蟲ノ各節ノ背部ニ白横帯ヲ有シ、氣門

ふてふぎ 圖四十四第



ノ濃黄色ヲ呈スル等ハ全然前種ヨリ區別スベキ要點ナリ。但シ食草ハ前種ニ同ジ。山形縣ニ産ス。

一五、につこうしろてふウスマメシロチフ *Parnassius cirrarius* Mots.  
翅ハ半透明ニシテ淡黄白色ヲ呈シ、脂肪光澤アリ、脈ハ黒シ、後翅ノ外縁圓クシテ尾部ヲ有セズ。幼蟲ハ黒色ニシチゑんごさく類ノ葉ヲ食フ。

### 第二 粉蝶科 Pieridae

中形ノ蝶ニシテ、複眼ハ球狀ヲ呈シ、觸角ハ基部ニ總毛ヲ有セズ、唇鬚ハ短クシテ毛ヲ生ジ、末節最も短クシテ尖レリ。脚ハ完全ニ發育シ、後脚ノ脛節ハ中距ヲ缺キ、脚爪ハ分支ス。前翅ノ7ト8、9、三脈ハ柄ヲ有スルカ或ハ合併シテ7ヲ缺クコトアリ、後翅ハ前縁距脈ヲ有スルコトアリ、又有セザルアリ。卵ハ多ク彈丸狀ヲ呈シテ線狀ヲ有ス。幼蟲ハ圓筒狀ニシテ短毛ヲ密生シ、帶蛹ヲ作ル。

一六、ひめしろてふ *Leucophasia sinapis* L.

孱弱ナル小形ノ白蝶ニシテ翅尖ニ黒斑アリ。幼蟲ハ背ニ黒條ヲ有シ、野生荳科植物ヲ食フ。

一七、えぞしろてふ *Aporia crataegi* L.

翅ハ白色ニシテ縁邊暗色ヲ帶ビ、翅脈黒シ。幼蟲ハ灰褐色ニシテ二箇ノ橙色線ヲ有シ、葦樹等ノ果樹ヲ害ス。

一八、もんしろてふ *Pieris rapae* L.

前翅ハ白色ニテ基部暗色ヲ帶ビ、翅尖ニ黒斑アリ。雄ハ中央ニ二黒紋ヲ有シ、雌ニハ淡クシテ往々缺如ス。後翅ハ多少黄色ヲ帶ビ、前縁ニ暗斑アリ。幼蟲ハ綠色ニシテ細毛ヲ有シ、あぶらな、だいこん、いぬがらし等ヲ食フ。

一九、すぢくろてふ *Pieris napi* L.

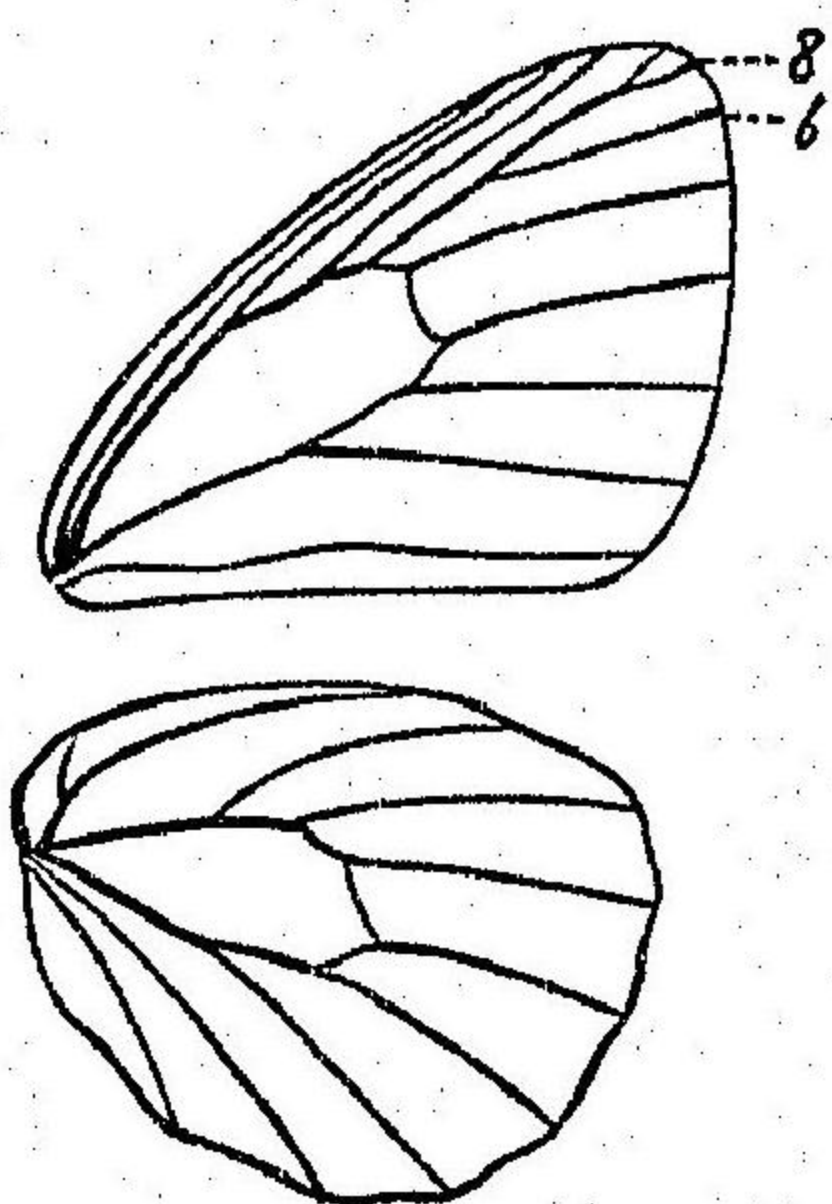
前種ノ翅脈多少黒ミテ帶ビタルモノト見ルベク、雌ハ前翅暗灰色ヲ帶ビテ翅脈ハ一層濃厚ナリ。幼蟲ハ暗綠色ニシテ野生十字科植物ヲ食フ。

二〇、つぎまつふ *Anthocharis scolymus* But.

前翅ノ翅尖ハ鈎狀ヲ呈シテ中央ニ黒斑ヲ有シ、雄ノ翅尖ハ橙黄色ヲ點シテ、雌ハ淡黄ナリ。後翅ノ裏面ニハ橄欖綠色ノ網狀斑アリ。幼蟲ハ綠色ニシテ野生十字科植物ヲ食フ。

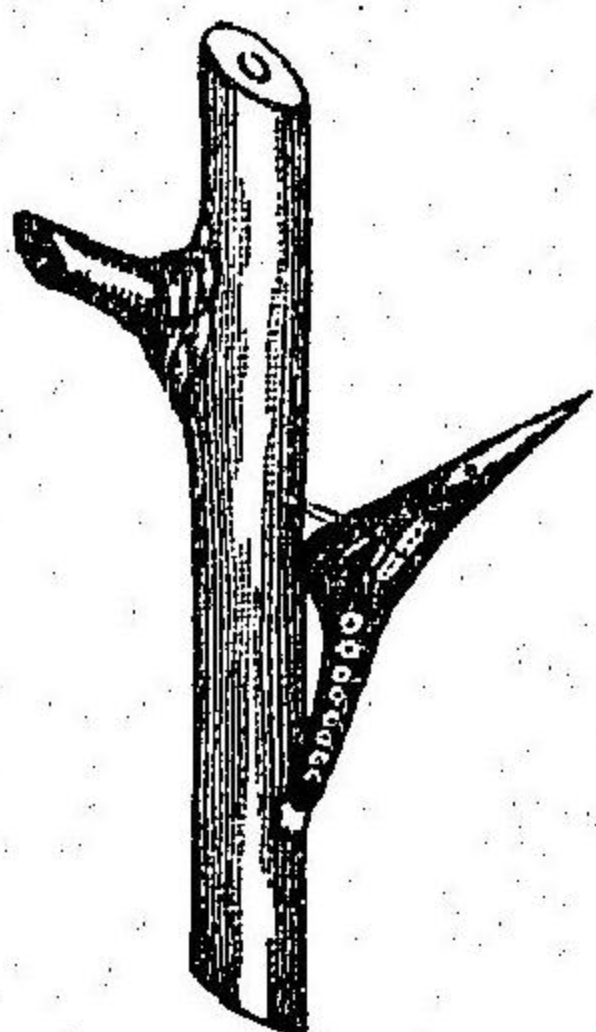
二一、もんまてふチヤキシタフ *Colias hyale* L. (第四十七圖)

ハ黄色ナレドモ、雌ハ黄色及ビ白色ノ二形ヲ有ス、共ニ前翅ノ中央ニ一黒紋ヲ有シ、外縁ハ黒色ニシテ翅ト同色ノ斑ヲ有シ、後翅ノ縁部モ黒色ニシテ、中央ニ橙色點アリ。幼蟲ハ暗綠色ニ白條ヲ有シ、



第四十五圖 すぢくろてふノ翅脈

野生ノ荳科植物ヲ食フ。成蟲ニテ越年スルニヨリたつねてふノ名アリ。  
 二二、みやまもんぢぢてふ *Colias palaeno* L.  
 前種ニ酷似シテ高山ニ産ス。幼蟲ハすのきヲ食フト云フ。  
 二三、やまおてふ *Gonepteryx rhamni* L.



前翅ノ翅尖ハ鋭尖ニシテ鉤状ヲ呈シ、雄ハ濃黄色、雌ハ淡黄色、共ニ兩翅ノ中央ニ橙色圓紋ヲ有ス。幼蟲ハ暗綠色ニシテ白條ヲ有シ、くろうめもどぎ類ノ葉ヲ食フ。

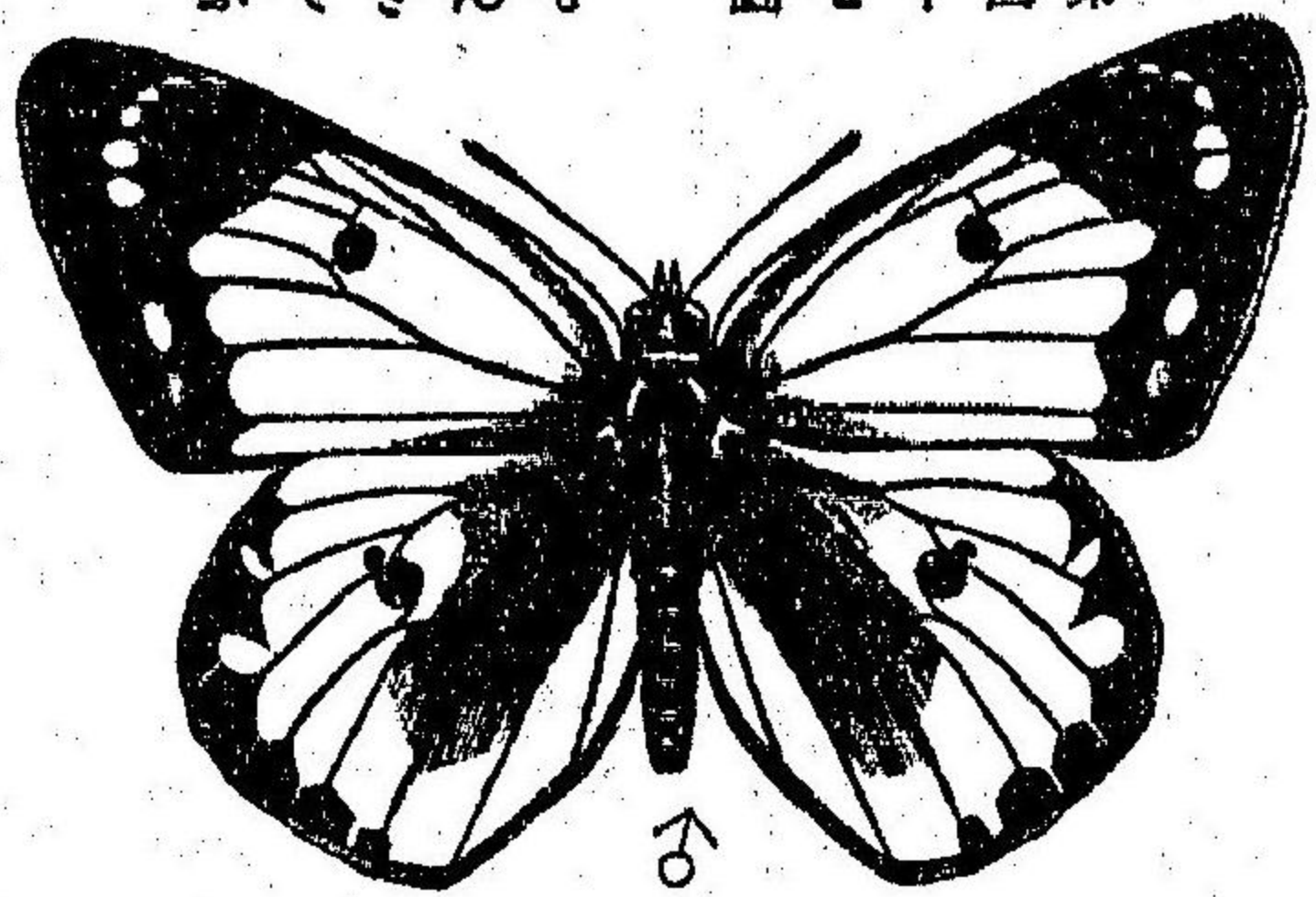
二四、おてふ *Terias hecale* L. (第四十八圖)

變化極メテ多ク、春生ノモノハ黄色ニシテ前翅尖ノ黒斑ハ甚ダ淡ク、往々無キコトアリ、夏生ノモノハ前翅ノ外縁部ニ著シキ黒條ヲ有ス。後翅モ亦黒縁ヲ有スルコトアリ。幼蟲ハ綠色ニシテめどはぎ、みやこぐさ、くさねむ等ノ野生荳科植物ヲ食フ。

二五、つまぐろおてふ *Terias laeta* Boisj.

濃黄色ニシテ前翅尖ヨリ外縁ニ亘リ黒帶ヲ有ス。春生ノモノハ前翅ノ外縁部ニ一直線ヲナシテ、翅尖略直角ヲ呈スレドモ、夏生ノモノハ翅尖圓ミヲ帯ビテ殆ンド別種ノ觀アリ。幼蟲ハ綠色ニシテめどはぎ、かはら

ふてきんも 圖七十四第



けつめい等ヲ食フ。

二六、つまぎにてふ *Hebomoia glaucippe* L.

此科中最モ大形種ニテ、翅ハ白色ヲ呈シ、前翅ノ翅尖ニ赤橙色ノ三角形大斑アリテ、黒點數箇ヲ含ミ、暗褐色ニテ圓マル。雄ノ後翅ニハ黒斑少ク、雌ニハ多シ。

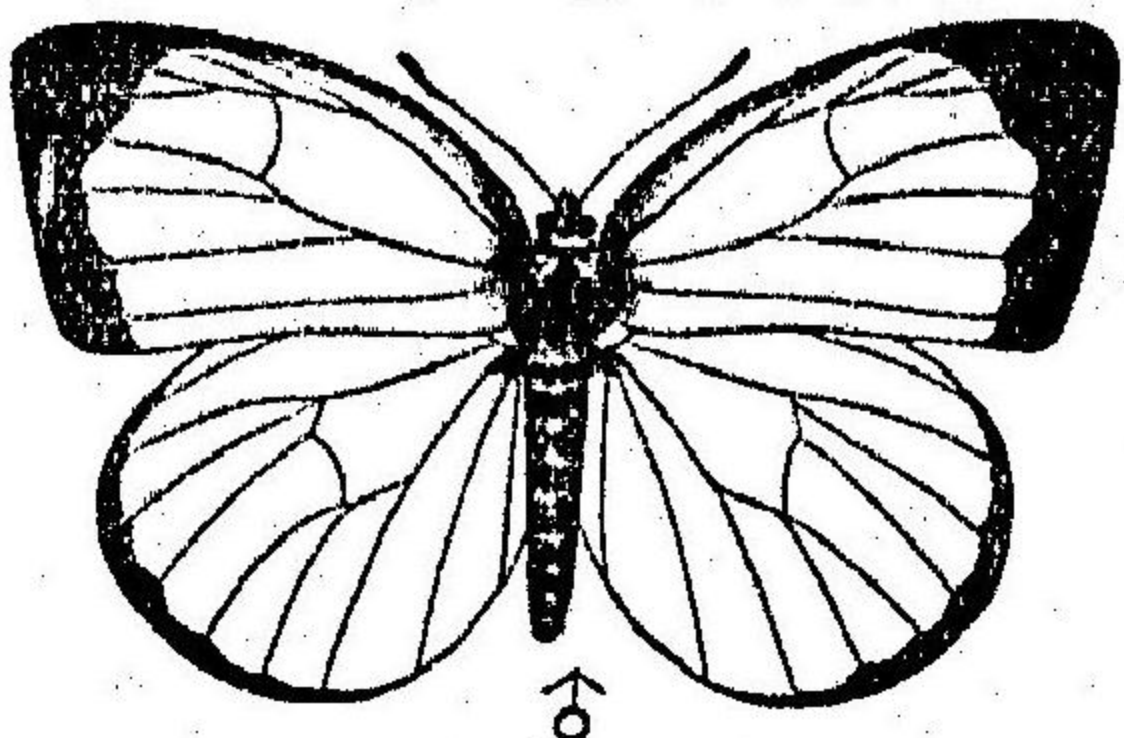
### 第三 斑蝶科 Danaidae

可ナリ大形ノ蝶ニシテ、前脚ハ雌雄共ニ退化シ、觸角ノ棍棒ハ漸次膨大セリ。前翅ノ脈ハ基部又狀ヲナシ、後翅ハ前縁脈ヲ有シ、兩翅共ニ室ハ開放セズ。卵ハ半橢圓狀ニシテ縦横細線ヲ有シ、幼蟲ハ裸體ニシテ一乃至三對ノ肉質長突起ヲ有シ、懸蛹トナル。

二七、あぢきおてふ *Danais tytia* Grey.

前翅ハ黒褐色ニシテ淡青白色大斑數箇ヲ有シ、外縁部ニ大小白斑列各一箇アリ。後翅ハ赤褐色ニシテ中央ヨリ基部ニ淡青白色大斑ヲ有シ、外縁部ニ白斑列アリ。幼蟲ハ淡青ニ淡黄紋ヲ有シ、前方ト後方トニ各二本ノ肉質突起ヲ有ス。かもめづるヲ食フ。

ふてき 圖八十四第





二八、かばまだらアゲテラフ *Danais chrysippus* L.

橙色ニシテ前翅ノ翅尖部ハ黒褐色ヲ呈シ、白斑列及ビ小白點數個アリ。後翅ノ縁部ハ黒褐色ニシテ白點列ヲ有シ、中央ニ黒褐斑數個アリテ特殊鱗叢ヲ有ス。幼蟲ハあだにノ葉ヲ食フ。琉球ニ産ス。

あさぎまだらノ翅脈

二九、すぢぐろかばまだら *Danais plexippus* L.

前種ニ似テ大形、翅脈ハ黒褐色ナリ、前翅ノ周縁及ビ翅尖部ハ黒褐色ニシテ方形白斑列及ビ白點數箇アリ。後翅ノ縁部モ黒褐色ニシテ白點列アリ。琉球ニ産ス。

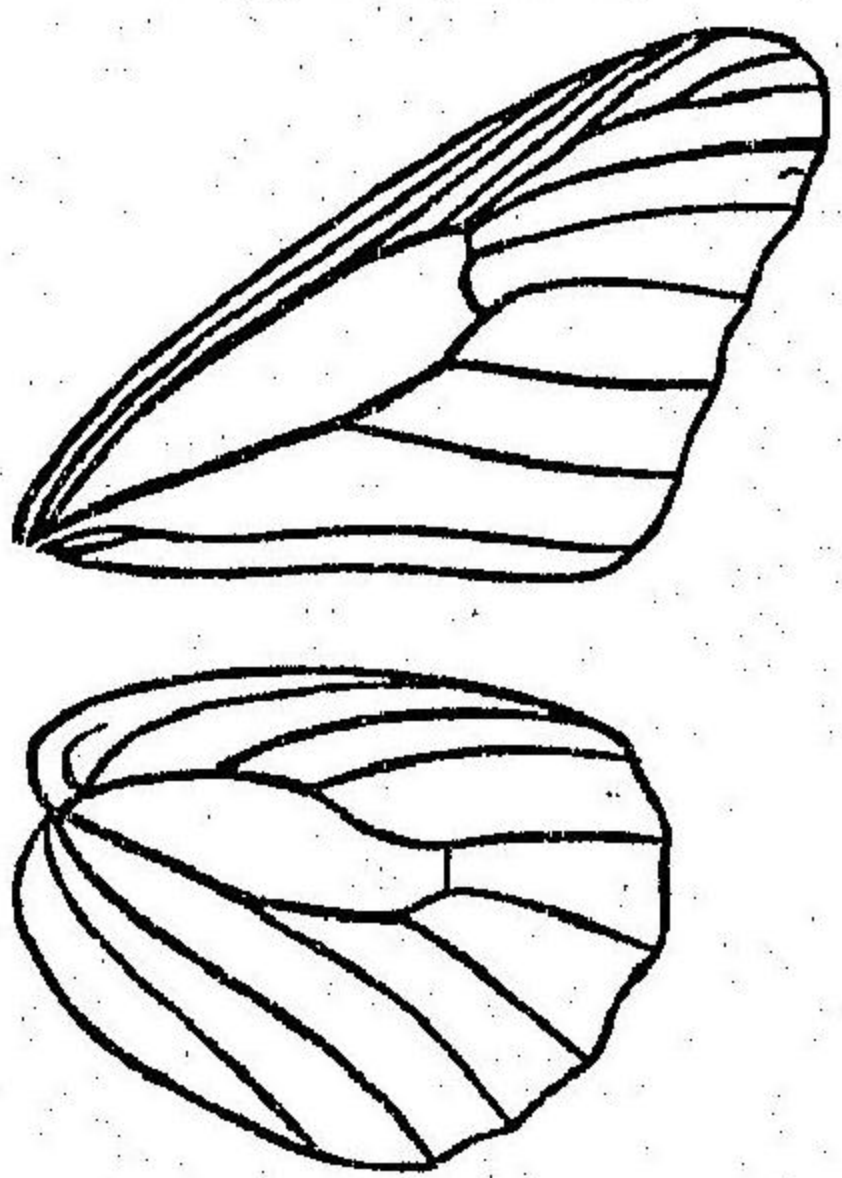
三〇、りうきうあさぎまだら *Redana vulgaris* But.

兩翅共ニ黒褐色ニシテ淡青色ノ短帯及ビ斑紋ヲ散布ス。

三一、おほごまだら *Hestia leucoroe* Frich.

邦産蝶類中最大種ナリ。翅ハ白色ニシテ基部少シク淡黄色ヲ帯ビ、翅脈ハ黒ク、黒色ノ波形帯及ビ黒斑點ヲ散布ス。展張五寸ニ近シ。

圖九十四第



### 第四 蛺蝶科 Nymphalidae

中形或ハ大形ノニ蝶シテ、艶麗ナル彩色ヲ有スルモノ多ク、前脚ハ雌雄共ニ退化シテ爪ヲ缺キ、移行

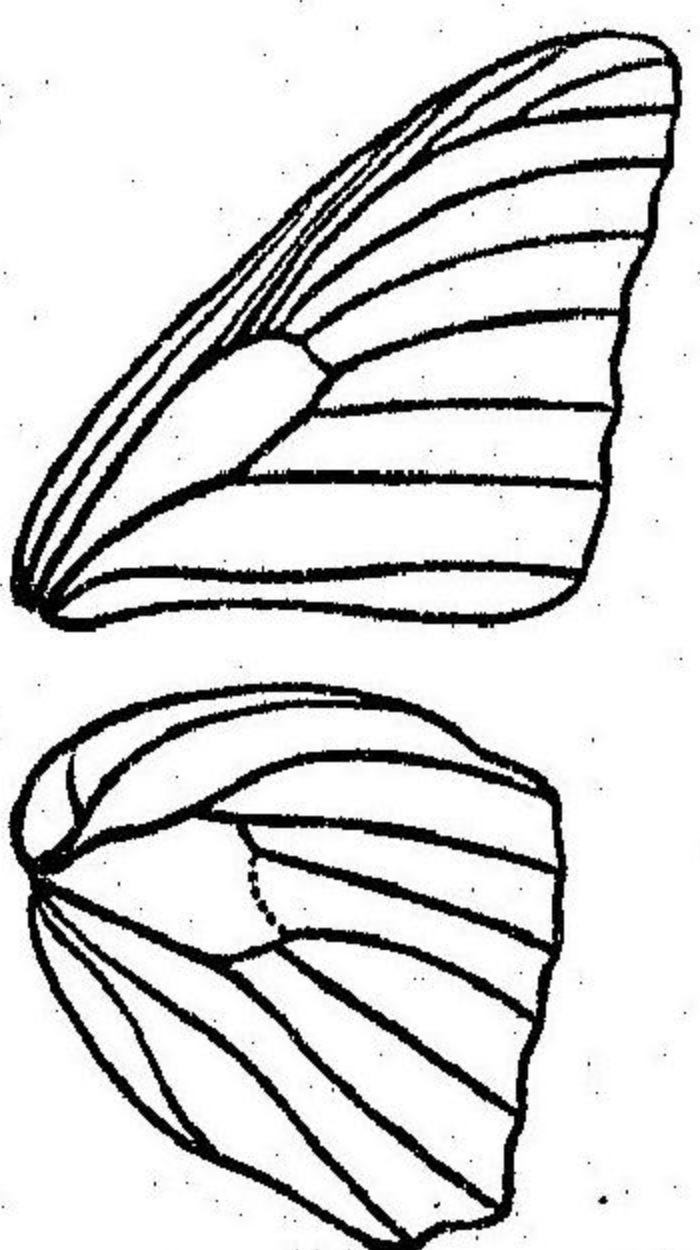
ノ用ヲナサズ。後脚ノ脛節ニハ中距ヲ有セズ。前翅ノ8ト9脈トハ7脈ヨリ發シ、後翅ニハ前縁距脈ヲ有シ、室ハ開放スルカ又ハ閉鎖不完全ナリ。卵ハ球狀或ハ鈍頭圓錐狀等ヲナシ、縦線條或ハ經緯線

的條理ヲ有ス。幼蟲ハ叉枝アル肉刺ヲ有シ、懸蛹ニシテ往々背部ニ角狀突起ヲ有シ、金銀色ヲ點ズルモノアリ。

三二、あをたてはもぢ *Junonia orithya* L.

雄ノ前翅ハ中央ヨリ基部ニ至リ藍黑色ニシテ外方ハ淡黄色ヲ呈シ、暗色條二箇アリテ藍色ヲ包メル黄褐紋二箇アリ。後翅

圖十五第



脈翅ノはてたかあめひ

ハ暗色ニ青色ヲ帯ビ、二箇ノ眼形紋アリテ後方ノモノハ赤環ヲ有ス。雌ハ中央ヨリ圓半暗褐色ニシテ、眼形紋ハ雄ニ比シ大ナリ。幼蟲ハきつねのまご類ヲ食フト云フ。

三三、たてはもぢ *Junonia asterie* L.

前翅黄褐色ニシテ、外縁部ニハ暗褐彎曲線二箇アリ、大小二箇ノ眼形紋ヲ有ス。後翅ハ暗色ヲ帯ビ、大眼形紋アリテ内ニ小白點ヲ有ス。幼蟲ハきつねのまご類ヲ食フト云フ。

三四、むもんだてはもぢ *Junonia almana* L.

前種ニ似タレドモ前翅ノ外縁缺刻ヲ有シ、表面ノ紋ハ裏面ニ現ハレズ、後翅ノ臀角ハ尾様ヲナス。幼蟲ハいはぎりさう、くさのぼたん等ヲ食フト云フ。以上三種ハ琉球ニ産ス。

三五、ひめいちもぢサカサハナヤ *Araschnia purejana* Brem.  
 春生ノモノハ黒色ニ橙色ノ帶狀斑紋列ヲ有シ、夏生ノモノハ黒色ニシテ前翅ヨリ後翅ニ亘リ斜ニ淡黄色ノ帶アリ、外縁ニハ橙色ノ波條前翅ニ一箇、後翅ニ二箇アリ。幼蟲ハいらぐさ類ヲ食フ。

三六、えぞいぢもぢヤカヤダ *Araschnia levana* L.

氣候多形ヲ現ハスモノニシテ、前種ニ似、春生ノモノハ小ニ、夏ニ現ハル、モノハ黒褐色ニシテ中央ニテ切斷シタル白帶ヲ有ス。幼蟲ハいらぐさ類ノ葉ヲ食フ。

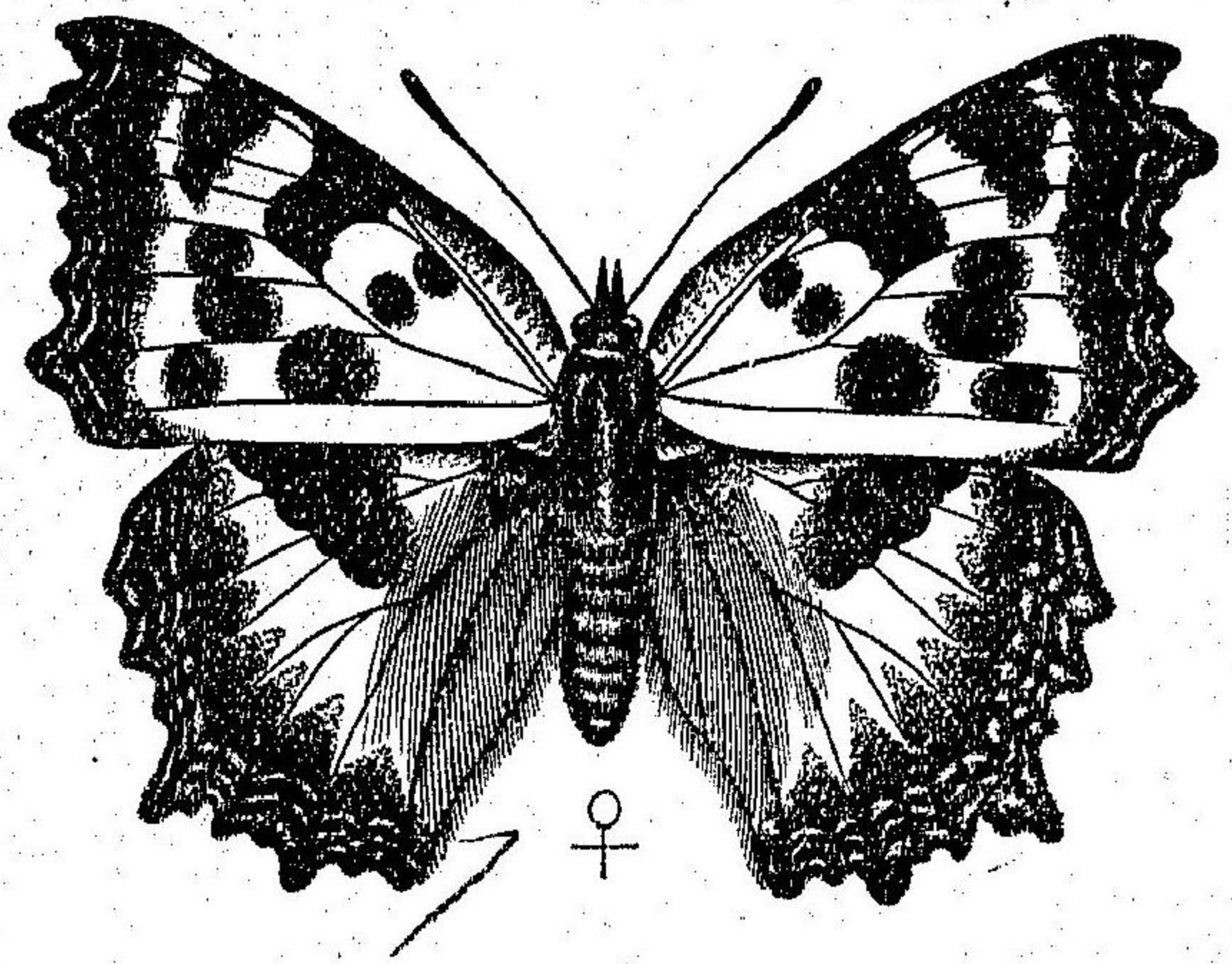
三七、はやたてはシヤヤタ *Grapha o-album* Leech.

外縁ノ缺刻甚シク、表面ハ濃橙色ニシテ黒褐色ノ斑紋ヲ有シ、外縁帯ハ赤褐色ニシテ不完全ノ同色亞外縁帯アリ、裏ハ濁黄褐色ニテ銀白ノC字紋ヲ有ス。幼蟲ハ棘毛ヲ生ジ、かなむぐら、すぐり等ヲ食フ。

三八、きたてはオヤヤ *Grapha o-aurum* Leech.

前種ニ似テ翅ハ黄橙色ヲ呈シ、外方ニアル黒褐斑中ニハ淡碧色ヲ點ゼリ。春生ハ小ニ、夏生ハ大ナリ。幼蟲ハからむし、かな

第五十一圖 ひてしごをひ



むぐら、あさ等ノ蕁麻科植物ヲ食フ。

九、ひをどして *Vanessa kanthamelas* Schif. (第五十一圖)

赤橙色ニシテ外縁部ニ黒色帯及ビ淡碧波線アリ、前翅ニ大小黒斑數個ヲ散布シ、後翅ノ前縁ニ接シ黒斑一個ヲ有ス、裏ハ暗濁ナル灰褐色ナリ。幼蟲ハ黒褐色ニ白條ヲ有シ、長キ又棘ヲ有ス。重ニゑのきノ葉ヲ食フ。

四〇、ひめひをどし *Vanessa urticae* L.

前種ニ似テ小形、前翅ノ翅尖ニ近ク著シク白斑アリ、後翅ノ基部ハ全ク黒褐色ナリ。北海道及ビ本島高山ニ産ス。幼蟲ハ黒色ニ暗黄褐條ヲ有シ、いらぐさ類ヲ食フ。

四一、くしやくて *Vanessa io* L.

赤褐色ニシテ、外縁部暗色ヲ帯ビ、兩翅ノ翅尖ニ近ク孔雀ノ尾紋様斑アリ。幼蟲ハ黒色ニ白環ヲ有シいらぐさ類ヲ食フ。

四二、こひをどし *Vanessa van-album* Leech.

ひをどしニ似テ、外縁部ニ碧色波線ヲ有セズ、前後翅共ニ翅尖ニ近ク白斑アリ、後翅ノ裏面ニV形ノ銀白紋ヲ有ス。幼蟲ハ褐色ニシテ黄褐線ヲ有シ、はこやなぎ類ノ葉ヲ食フ。

四三、あべりたて *Vanessa antiopa* L.

黒色ニ赭色ヲ帯ビ、黄色ノ外縁帯ヲ有シ、紫褐色ノ微點ヲ散布ス、其内方ニ碧色點ヲ包メル黒廣帯アリ、前翅ノ前縁部ニ淡黄斑二箇アリ。幼蟲ハ黒色ニ赤褐斑ヲ有シ、楊柳ノ葉ヲ食フ。

四四、るりたては *Vanessa canace* L.

黒色ニシテ黒點ヲ列セル碧色ノ亞外縁廣帯ヲ有シ、前縁ニ接シ大小ノ白斑アリ。幼蟲ハ黒色ニシテ棘毛ヲ有シ、さるさるいばら、ほととぎす等ノ葉ヲ食フ。

四五、あかたては *Pyrameis indica* Moore.

前翅ハ紅橙色ニシテ黒斑ヲ有シ、翅尖部ヨリ外縁ニ亘リ黒色ニシテ大小ノ白斑ヲ有ス。後翅ハ暗褐色ニシテ外縁部ハ紅橙色ヲ呈シ、黒斑列ヲ含ム、其内方ニモ黒斑列アリ。幼蟲ハからむし、竹葉等ヲ食フ。

四六、ひめあかたては *Pyrameis cardui* L.

前種ニ似テ小形、後翅ハ紅橙色ニシテ基部暗褐色ヲ呈シ、中央暗褐横帯ヲ有シ、外縁部ニ黒點列畧三條アリ。幼蟲ハ黒色又ハ黄褐色ニ黄斑ヲ有シ、こばう、あざみ、ひまわり等ノ葉ヲ食フ。

四七、いしがきこも *Cyrestis thyodamas* Poisl.

白色ニシテ細キ暗褐横線數箇ヲ有シ、暗褐ノ翅脈ト共ニ石垣ノ如キ紋理ヲ呈ス、外縁ハ暗褐ヲ帯ビテ内縁角ニ近ク黄褐斑アリ。後翅ニハ二箇ノ尾様部ヲ有ス。幼蟲ハ綠色ニシテ頭部ニ二突起ヲ有シ、背

部ニモ突起ヲ有シテいぬびは、おほばいたび等ノ葉ヲ食フ。

四八、うらぎんへうもん *Argynnis adippe* L.

後翅ノ裏面ハ淡黄褐色ニ綠色ヲ帯ビテ略五條ノ銀白紋列ヲ有シ、第二、第四ノ間ニハ銀點ヲ中心トセル黄褐紋ノ一列アリ。幼蟲ハ暗灰色ニシテすみれ類ヲ食フ。

豹文蝶ノ類ハ、翅ノ表面多クハ橙黄色ヲ呈シテ黒脈ヲ有シ、

黒斑紋ヲ散布スルニヨリ著シ、然レドモ表面ノ斑紋ハ區別ノ徴候トナラザルコト多キニヨリ、此類ハ重ニ裏面特ニ後翅ノ記載ヲナセリ。

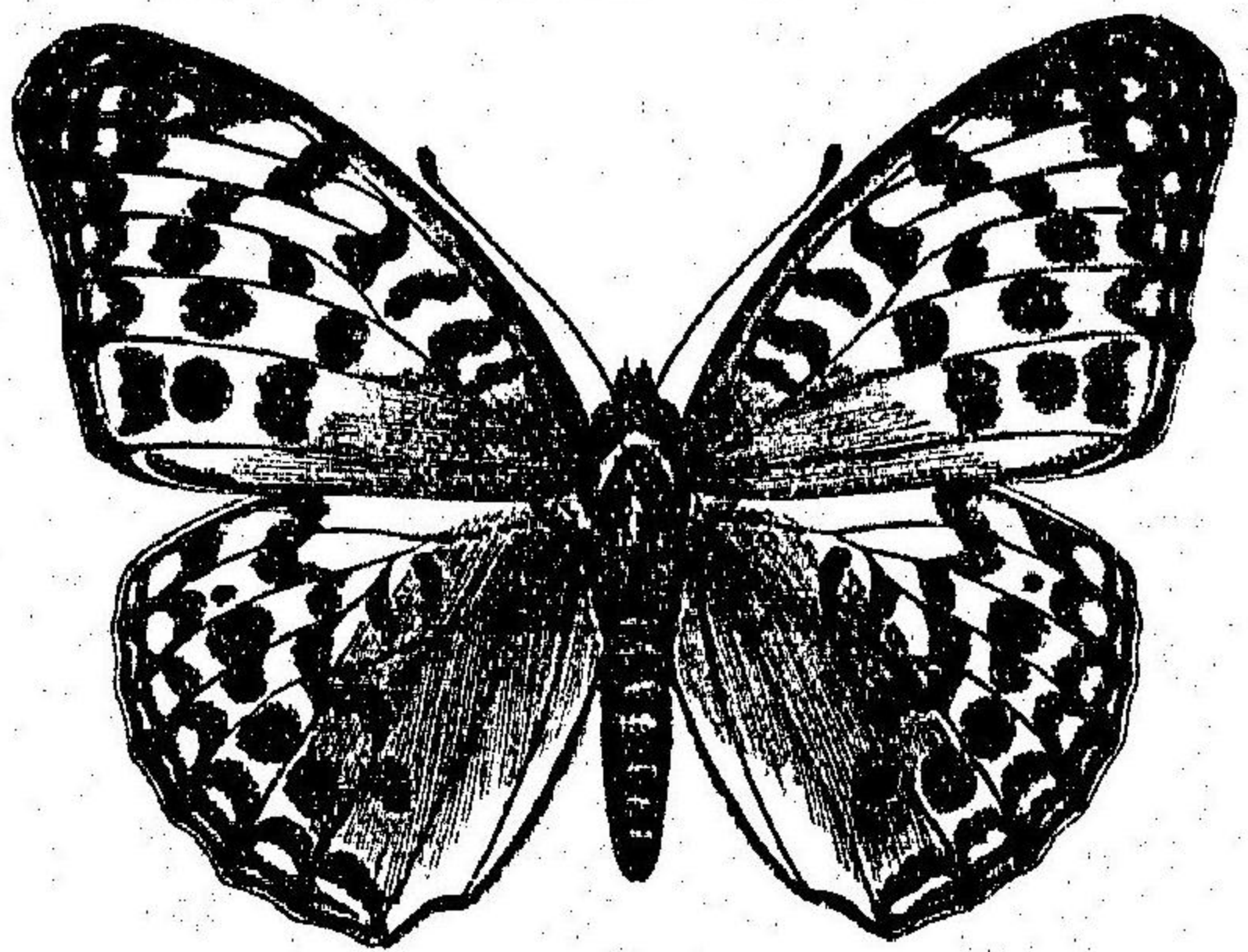
四九、おほうらぎんへうもん *Argynnis nerippe* Feld.(第五十二圖)

うらぎんへうもんニ似テ大形、雌ハ多少暗色ヲ帯ブ、翅尖ニ近ク數個ノ白點アリ、後翅裏面ノ外縁部ニアル白紋ハ○形ヲナスコレ前種ノ弦月形ト區別スベキ點ナリ。黄褐紋列ノ各紋モ中心ニ黒點ヲ有スルヲ常トス。

五〇、くさへりうらぎんへうもん *Argynnis agalia* L.

後翅ノ裏ハ基部暗綠色ニシテ黒環ヲ有セル銀白紋三列アリ、外

図二十五第 おほうらぎんへうもん



線部ニハ半月形紋ノ一列アリ。幼蟲ハすみれヲ食フ。

五一、うらぎんすぢへうもん *Argynnis laodice* Pall.

後翅ノ裏面内半ハ帯緑黄白色ニシテ二箇ノ不正黄褐線ヲ有シ、外半ハ淡黄褐色ニシテ、内半トノ堺ニ不正銀白色條アリテ外方暗褐色ヲ呈ス。

五二、おほうらぎんすぢへうもん *Argynnis rusalana* Notk.

前種ニ酷似ニテ大形、表面少シク暗色ヲ帯フ。

五三、へうもんでぶくモガタハサモン *Argynnis anadyomene* Feld.

後翅ノ裏ハ黄橄欖色ニシテ微ニ銀色帯ノ朦朧タル紋理ヲ有ス。普通ノ種ナリ。

五四、こへうもんハサモンテサ *Argynnis daphne* W. C.

前種ニ比スレバ小形ニシテ後翅ノ基部綠色ヲ帯ビテ外半ノ紋ハ分明ナラズ、中央ノ銀線ハ不規則ニシテ一見うらぎんすぢへうもんト區別シ難シ、然レドモ表面ノ斑紋ハ比較的小ナリ。幼蟲ハ黒褐色ニシテ暗黄棘ヲ有シ、黄色ノ線條アリ。すみれ、くさいちごノ類ヲ食フト云フ。

五五、ひめへうもんヨハサモンタフ *Argynnis ino* Rott.

前種ニ似テ一層小形ナリ、後翅ノ裏面ハ外縁部褐色ヲ帯ビ僅ニ紫色ノ雲影ヲ有ス。中央帯ハ褐色縁ヲ有ス。幼蟲ハ白黄色或ハ黄褐色ニシテ背部褐色ヲ帯ビ、淡黄色ノ二線ヲ有シテ、われもかう、しもつ

け、いらぐさノ類ヲ食フト云フ。

五六、ぎんすぢへうもんリヨクモツハサモン *Argynnis paphia* L.

後翅ノ裏面ハ綠色ニシテ銀白色ノ横條數箇アリ、雄ノ前翅表面ニハ特殊鱗ヲ有セル脈四條アリ。幼蟲ハ暗褐色ニシテ淡色線ヲ有シ、いちご、すみれノ類ヲ食フ。

五七、めすぐさへうもん *Argynnis sagana* Doubl.

雌ハ黒色ニ藍色ヲ混ジ、白斑白帯アリ、へうもんでぶ類中翅ニ橙黄色ヲ加ヘザルハ此雌ノミ。雄ハ普通ノ橙黄色ニシテ、後翅表面ノ基部ハ黒點少ク、一箇ノ彎曲黒條アリ。

五八、つまぐろへうもん *Argynnis niphe* L.

他種ト區別スベキハ、後翅ノ外縁ノ鋸齒深クシテ二箇ノ碧色波形線ヲ含メル黒線帯ヲ有スルニアリ、雌ノ前翅翅尖ニ近キ部ハ藍黒色ヲ呈シテ白斑ヲ有ス。幼蟲ハ黒色ニシテ三箇ノ橙赤線ヲ有シ、すみれヲ食フ。

五九、へうもんもち *Meletea paebe* Knock.

橙黄色ニシテ、前翅ニ黒褐横帶數箇ヲ有シ、縁毛ハ白色ヲ呈ス。後翅ニモ横帶數箇アリテ外縁部ニ橙黄色ノ新月紋列及ビ眼形紋列ヲ形成ス。

六〇、こへうもんもち *Meletea athalia* Ratt.

前種ニ似テ小形、後翅ニ眼形紋列ヲ有セズ。幼蟲ハ黒クシテ白點ヲ有シ、まゝこなヲ食フト云フ。  
六一、みすぢてふヨシキヤ *Nepis aceris* Lep.

黒褐色ニシテ兩翅ヲ展張スルトキハ三箇ノ白帶ヲ認ムベシ。前翅ノ第一白帶ハ劍形ニシテ一回稀ニ二回切斷セリ。裏ハ黄褐色ニシテ白條ハ表ト一致ス。幼蟲ハ褐色ニ白色、緑灰色ヲ混ジ、萱科植物ヲ食フ。

六二、はやしみすぢキメヤナフ *Nepis excellens* Butl.

前種ニ似テ少シク大形、前翅ノ劍形帯ハ連續セリ。裏面ハ黄褐色ニシテ條理略表面ニ同ジ。

六三、をほみすぢ *Nepis alnera* Brem.

前種ニ似テ、帶斑都ベテ狭小ナリ。前翅ノ劍形帯ハ切斷セントシテ連續セリ。

六四、りうきつみすぢ *Nepis eurynome* West.

みすぢてふニ似テ少シク大形、外縁一層圓ミヲ帶ビタリ。琉球ニ産ス。

六五、ほしみすぢ *Nepis pyeri* Butl.

みすぢてふニ似テ色濃ク、劍形帯ハ數箇ニ切斷セリ。後翅ノ裏面基部ニ黒點數箇アリ。

六六、ふたすぢてふ *Nepis lucilla* Hüb.

後翅ニ白帶一條アルノミナルニヨリ他ノみすぢてふト區別スベシ、都ベテ斑白少ナシ。幼蟲ハ赤褐色

ニシテほぎきしもつけヲ食フト云フ。

六七、いちもじてふ *Limnites sibylla* L.

黒褐色ニシテ、前翅ヨリ後翅ニ亘リ一箇ノ白帶アリ、前翅ノ翅尖ニ近ク

二白點ヲ有シ、裏ハ黄褐色ニシテ、後翅ハ青色ヲ帶フ。幼蟲ハ綠色ニ又

枝アル棘毛ヲ有シ、にんごうノ葉ヲ食フ。蛹ハ背部ニ耳狀隆起ヲ有ス。

六八、おほいちもじ *Limnites populi* L.

前種ヨリ大形ニシテ、後翅ノ外部ニ橙黄色新月紋列アリ。幼蟲ハ綠色ニ

シテにこなやなぎノ葉ヲ食フ。信濃及ビ北海道ニ産ス。

九、こむぎのこ *Apatura ilia* Hüb.

帯褐黄色ニシテ、基部暗褐ヲ呈シ、暗褐色ノ帶條斑紋アリ、翅尖ニ近ク白點アリ。雄ハ鮮紫ノ金性光ヲ放ツ。幼蟲ハ綠色ニシテ頭部ニ二突起ヲ有シ、柳ノ葉ヲ食フ。此種ト形状ヲ同ジクセルモノニシテ暗褐色ニ白條ヲ有スルアリ、變種ナルベシ。

七〇、むらさみてふオホムササキ *Euripus charonda* Hew.

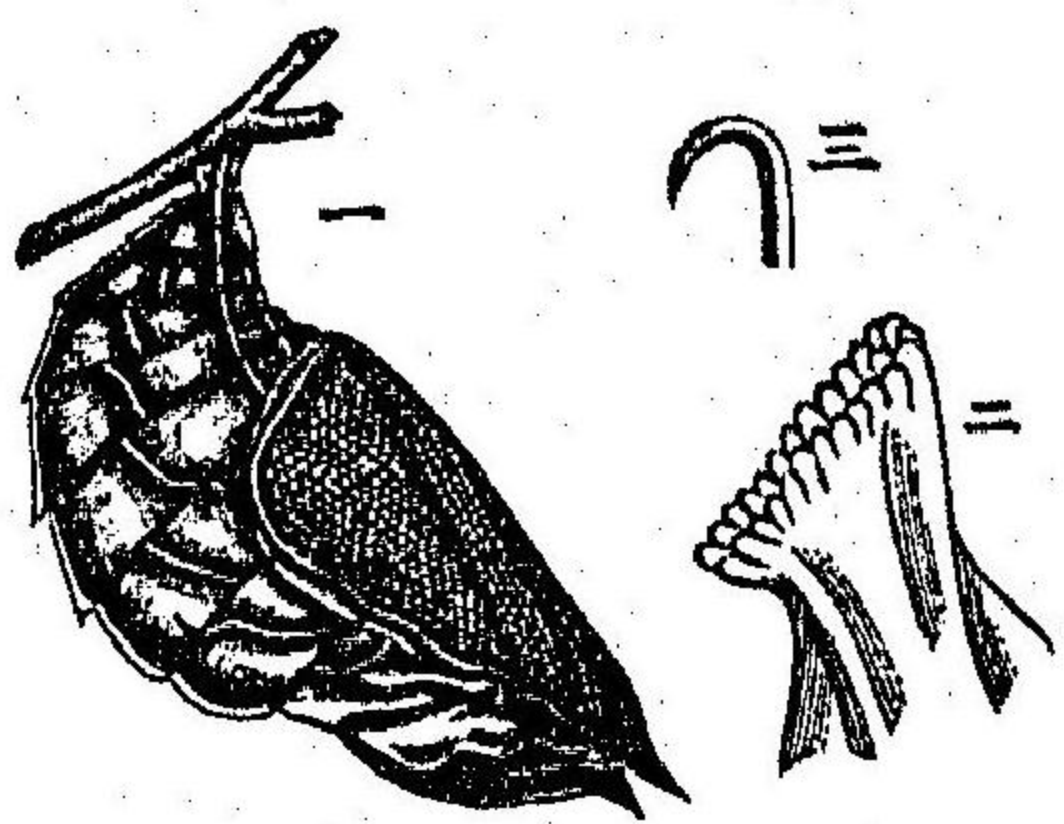
大形ニシテ雌ハ黒褐色ニ白斑ヲ散布シ、後翅ノ臀角ニ近ク朱斑アリ。雄ノ前翅ノ内半鱗紫色ニシテ金性光ヲ放チ、白斑條ヲ有シ、外半ニ黄斑ヲ有ス。

第五十三圖



いぢもぢてふノ蛹

圖四十五第 蛹ノふてらだまご



七一、こまたらてふ *Hesina japonica* Feld.  
中形ニシテ黒褐色ニ淡黄斑ヲ散布シ、後翅ハ斑紋大ニシテ白ミ勝チナリ。  
時季ニヨリ斑紋ニ變化アリ。幼蟲ハこむらさきに似テ、えのきの葉ヲ食フ。  
蛹ハ扁平ニシテ斜線ヲ有ス。

七二、あかぼこむらた *Hesina assimilis* L.

前種ニ似テ大形、淡黄綠色ノ紋斑多シ、後翅ノ外縁部ニ赤色ノ眼形紋列ア  
ルニヨリ著シ。琉球ニ産ス。

七三、すみながし *Dichorragia nesimachus* Boisj.

黒色ニシテ、光輝アル綠色或ハ藍色點ヲ散布シ、白色斑アリ、外縁部ニ白色ノV形紋列ト新月紋列ト  
ヲ有ス。

七四、うらぐらうびるや *Hypolimnas bolina* L.

黒色ニシテ鮮紫色ノ金性光ヲ放チ、前翅ニ大小ノ橢圓白紋二箇ト小白斑數箇アリ、外縁部ニ白色波條  
二箇アレドモ不明ナルコトアリ。後翅ニハ大白圓紋一箇アリテ白點列白波形條アリ。

七五、ふたぎてふ *Charaxes weismanni* Frite.

前翅ハ黒色ニシテ中央部ノ下半ハ帯黄白色ヲ呈シ、中央ヨリ外部ニ白點及ビ白點列二箇アリ。後翅モ

黒色ニシテ中央廣帯ハ黄色ヲ呈シ、外縁部ニ白紋列及ビ碧色ノ波形條二箇アリ、尾襟部二箇アルニヨ  
リ此和名アリ。

七六、このはてふ *Kallima inachus* Boisj.

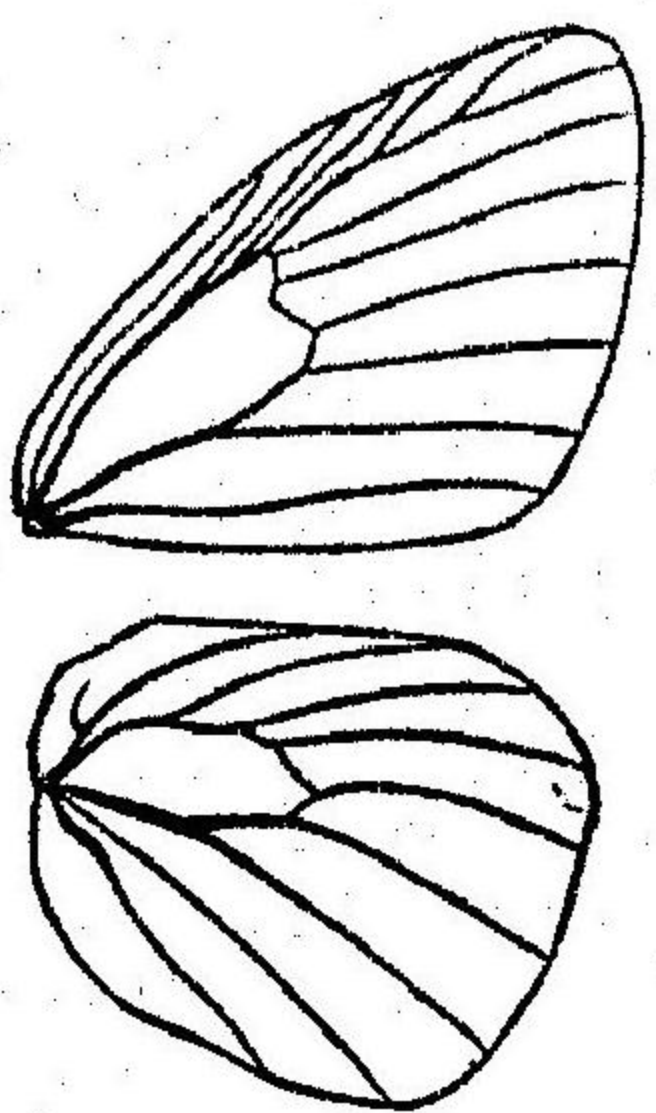
前翅ハ黒色ニシテ基部ヨリ内縁ニ亘リ青藍色ヲ帯ビ、前縁ヨリ内角ニ向ヒ赤橙色廣帯アリ、翅尖ニ近  
ク白點ヲ有ス。後翅ハ藍黒色ニシテ黒色ノ波形亞外縁線ヲ有シ、臀角ハ伸長セリ。裏面ハ灰褐色或ハ  
黄褐色ニシテ濁リ、前翅尖ヨリ後翅臀角ニ黒褐條ヲ貫キ、葉ノ中肋ニ擬シテ枯葉ノ觀ヲ呈ス。保護ノ  
例トシテ著シキモノナリ。

### 第五 蛇目蝶科 Satyridae

大形乃至小形ノ蝶ニシテ、唇鬚ハ短ク、前脚ハ退化シテ爪ヲ有セズ、翅ハ概テ暗色ニシテ淡色條及ビ

蛇眼紋ヲ有シ、前翅ノ脈ハ基部ニテ膨起シ、後翅ハ前縁距脈  
ヲ有シテ各脈分離セリ。好ミテ陰鬱ノ地ニ靜飛ス。卵ハ鶏卵  
狀又ハ橢圓狀ニシテ表面ニ彫刻的紋理ヲ印シ、往々線條ヲ有  
スルアリ。幼蟲ハ後端多少尖リテ尾節ハ二突起ニ終ハリ、短  
毛ヲ有ス。蛹ハ尾節ニテ體ヲ支持スルカ或ハ支持セズ、稀ニ

圖五十五第



脈翅ノふてめのやじこ

地中ニアルコトアリ。

七七、こじやのめてよ *Mycalesis perdicus* Hew.

暗色ニシテ前翅ノ外縁部ニ二眼形紋アリテ後方ノモノ大ナリ、後翅ハ臀角ニ近ク大眼形紋アリ、雄ハ後翅ノ基部ニ總狀鱗毛ヲ有ス。

七八、うすいろこじやのめ *Mycalesis gotama* Moore.

前種ニ比スレバ少シク淡色ニシテ、後翅ニハ唯裏面ノモノト一致スル不明ノ斑紋ヲ見ルノミ。後翅ノ裏ニハ六紋アリ。幼蟲ハ淡黄綠色ニシテ全體粗糙ナリ、竹及び其他ノ禾本科植物ヲ食フ。

七九、ひかげてよ *Letho sicilis* Hew.

帶黄暗褐色ニシテ、前翅ニ淡色横帯ヲ有スルコトアリ、後翅ニハ不明瞭環紋數個アリ。裏面ハ一層淡色ニシテ前翅ノ翅尖ニ近ク大小二環紋アリ、後翅ニハ前縁ニ近ク黄環ヲ有セル黑眼形紋一個ト外縁部ニ同様ノ大小紋ヲ有シ、共ニ其外方ニ淡紫色ノ外環ヲ有ス。雄ハ後翅ノ室ニ總毛ヲ有ス。幼蟲ハ禾本科植物ノ葉ヲ食フ。

八〇、くろひかげてよ *Letho diana* But.

前種ニ酷似シテ、色暗黒ナルト、前翅ノ内縁ヨリ裏面ノ前方ニ向ヒテ長毛ヲ生ゼルトニヨリ區別スベシ

八一、くろひかげも *Letho marginalis* Motsch.

暗褐色ニシテ、後翅ニ四箇ノ眼形紋アリ、裏面ハ淡色ニシテ前翅ニ白帯アリ、兩翅ニ眼形紋列ヲ有シ後翅ノ臀角ニ近キモノハ重瞳子點ヲ有ス。

八二、ひめきまだらてよ *Letho calipteris* But.

暗黄褐色ニシテ、前翅ニ黄褐斑列アリ、前方小ニシテ二列トナル。後翅ニハ同色ノ斑列アリテ、中ニ黄環ヲ有セル暗褐圓紋ヲ有ス。

八三、きまだらもち *Lasionmata epimenides* Mén.

前種ニ似テ淡褐色ヲ呈シ、前翅ノ翅尖ニ近ク一眼形紋アリ、紋理都ベテ明瞭ヲ缺ク。

八四、じやのめ *Pronophila schrenckii* Yén.

暗灰色ニシテ内半ハ多少淡シ、前翅ノ翅尖ニ近ク大小二紋アリ、後翅ニ大小ノ黒圓紋六箇アリ、裏面ハ一層淡色ニシテ、表面ノ紋ハ黄環白心ノ黑眼形紋トナリテ著シ。大形ノ種ナリ。

八五、きまだらてよ *Neope gaschkevischii* Mén.

暗褐色ニシテ黄褐斑紋ヲ散布シ、翅脈ハ黄褐色ナリ。裏面ノ基部ニハ雲形斑理ヲ有シ、環形紋列アリ。八六、うらじやのめ *Parage achine* Lang.

暗褐色ニシテ暗黄褐環ヲ有セル大小ノ黒圓紋列アリ、裏ハ黄褐色ヲ帯ビテ斑紋分明ニ、中央淡碧色ヲ點ズ、後翅ニ二白條アリ。幼蟲ハ綠色ニシテ、食草ハ禾本科ナリ。

八七、かすりひかびてふッハロツツシヤン×Parage deidamia Evers.  
黒褐色ニシテ縁毛白色ナリ、前翅ニ朦朧タル白斑ト一個ノ眼形紋ヲ有シ、後翅ニハ眼紋二箇アリ、裏面ハ白條顯著ナリ。

八八、じやのめてふ Satyrus dryas Scop.

大形ニシテ暗褐色ヲ呈シ、中心淡碧色ノ黒眼紋前翅ニ二箇、小形ノモノ後翅ニ一箇アリ。幼蟲ハ灰黄色ニ暗色ノ背線ヲ有シ、すゞキヲ食フ。

八九、ひめうらなみじやのめヨメシヤン×Ypthima philomela Jah.

暗褐色ニシテ、前翅ニ黒色重瞳子眼紋一箇アリ、黄環ヲ有シ、淡碧色ヲ點ズ。後翅ニ同色ノ眼形紋大五箇アリテ臀角ニ近キモノハ結合セリ。裏面ハ灰白色ニ黄褐色ヲ帯ビテ暗褐色ノ漣波様條理アリ。

九〇、うらなみじやのめ Ypthima motschulski Brem. et Grey

前種ニ似テ大形、濃色ヲ呈シ後翅ニ三箇ノ眼形紋ヲ有ス。

九一、ひめひかびチヤキロカヤ Coenonympha oedipus Fab.

小形黒褐色ニシテ、後翅ニハ微ニ斑紋ヲ認ムベシ。裏ハ黄褐色ニシテ、亞外縁線ハ銀白色ヲ呈シ、黄環ヲ有セル黒色眼形紋列アリ。幼蟲ハ緑色ニシテ莎草ヲ食フト云フ。

九二、ちやまだらひかびベニコカヤ Erebia sedaeori Eyer.

黒褐色ニシテ外縁部ニ橙色斑アリ、内ニ黒色眼形紋二箇ヲ有ス。往々後翅ニ不明ノ橙色帯アリ。幼蟲ハ竹葉ヲ食フ。

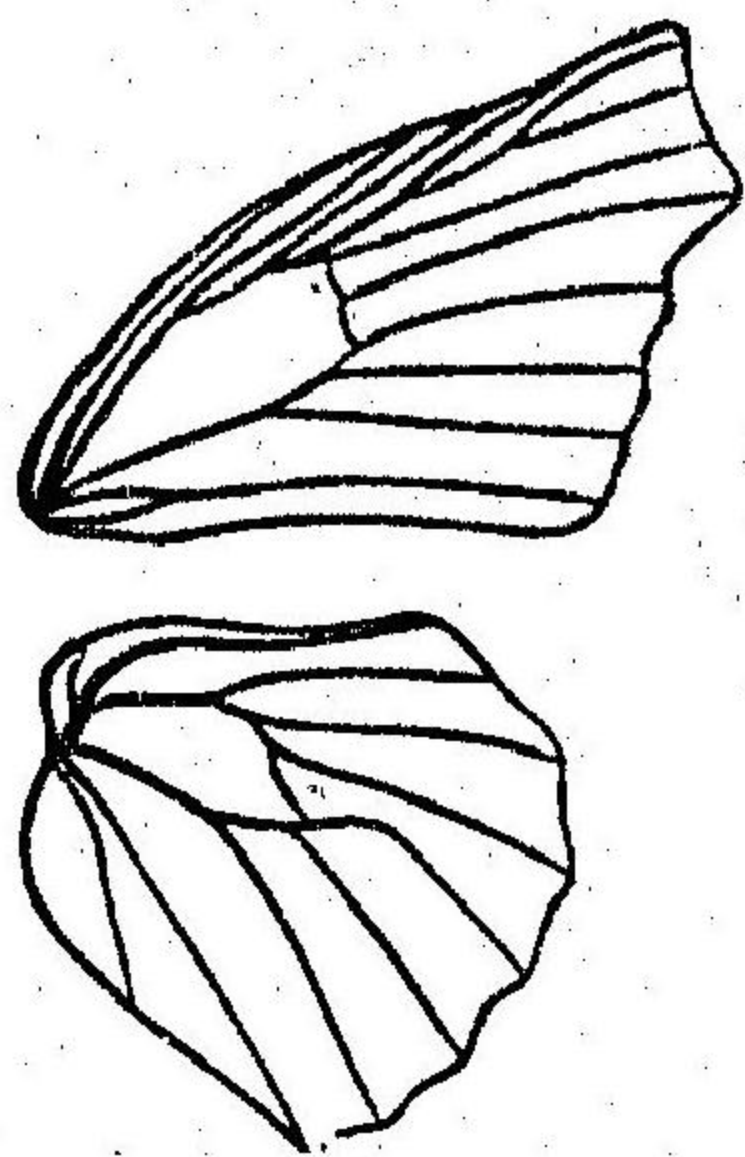
九三、このまてふ Melanitis leda L.

黒褐色ニシテ、前翅ノ外縁ハ缺刻ヲ有シ、翅尖ニ近ク橙褐色部アリテ、此内ニ黒斑アリ、白色ヲ點ズ。往々橙褐色ヲ有セサルモノアリ。後翅ハ臀角ニ近ク黒色ノ眼形紋一箇或ハ二箇アリ。裏面ハ黄褐色又ハ灰褐色等種々アリ。幼蟲ハ淡黄色ニシテすずたまノ葉ヲ食フト云フ。

### 第六 天狗蝶科 Lemonidae or Libytheidae

小形ノ蝶ニシテ、觸角ハ中庸ノ長サヲ有シ、中央ヨリ先端ニ漸次膨大ス。唇鬚ハ非常ニ發育シテ鳥嘴狀ヲ呈シ、雄ノ前脚ハ退化シテ、雌ノミ發育セリ。前翅ノ外縁ハ缺

第五十六圖 てんぐてふノ翅脈



刻ヲ有シテ鈎ヲ呈シ、1脈ハ基部又狀ヲナス。後翅ハ前縁距脈ヲ有シ縁ニ凸凹アリ。幼蟲ハ圓筒狀ニシテ細毛ヲ粗生シ、平滑ナル圓頭ヲ有ス。尾端ニテ懸垂シ、懸蛹トナル。

九四、てんぐてふ Libythea lepita Moore. (第五十七圖)

暗褐色ニシテ橙赤色ノ不正斑ヲ有シ、前翅ノ翅尖ニ近ク二箇ノ白斑



アリ。幼蟲ハ綠色ニシテるのきの葉ヲ食フ。

### 第七 小灰蝶科 Lycaenidae

多クハ小形孱弱ノ蝶ニシテ鮮色ヲ呈スルモノ多ク、前脚ハ發育スレドモ雄ノ跗節ハ一爪又ハ兩爪ヲ缺ク後脚ノ脛節ニ中距ヲ有セズ。觸角ハ黑白ヲ交互シ、唇鬚ハ密毛ヲ生ジテ末節ノミ裸出ス。前翅ハ7脈ヲ缺キ8ト9脈トハ柄ヲ有スルカ又ハ合一ス、後翅ハ前縁距脈ヲ有セズ。

卵ハ扁平橢圓又ハ頭巾狀ニシテ菊花紋理或ハ細線ヲ有シ、稀ニ平滑ナリ。幼蟲ハ扁平橢圓狀ニシテ細毛ヲ粗生シ、自由ニ伸縮ス、脚ハ甚ダ短シ。蛹ハ短クシテ兩端圓ク、帶蛹又ハ懸蛹タリ。

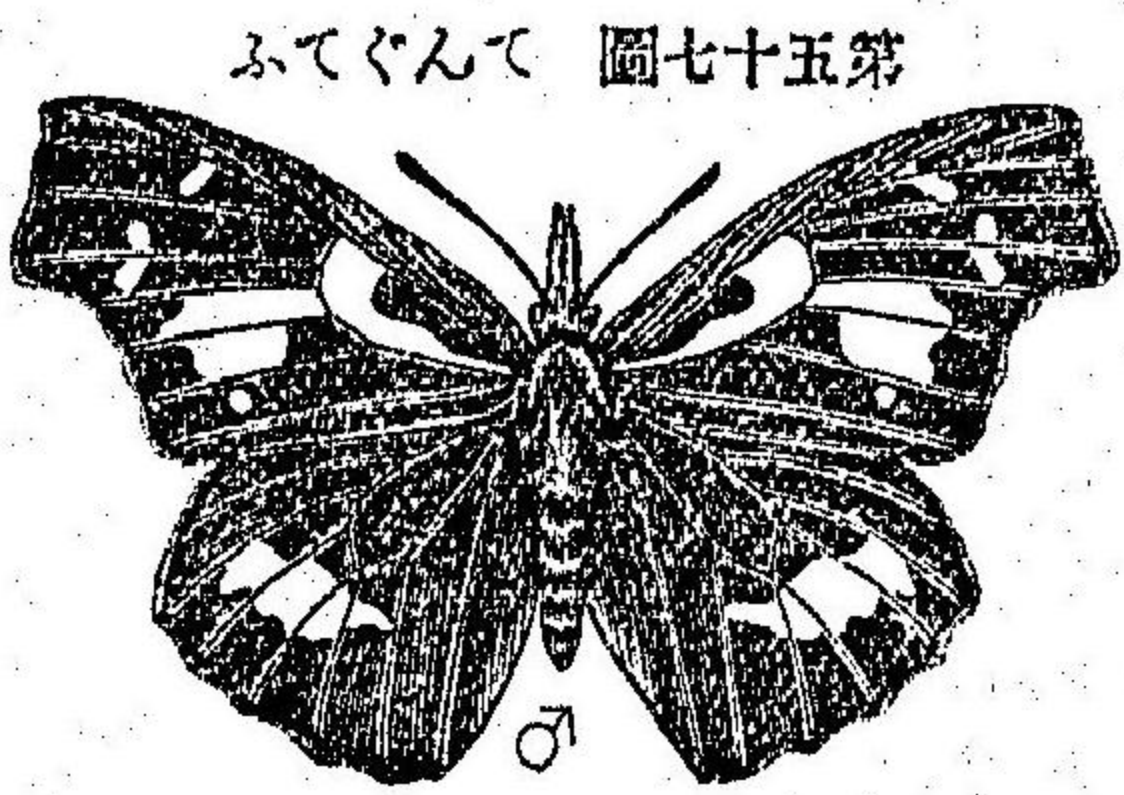
九五、こいししむみシモフリシムミ。ホイシウツム。 *Tarka hamada* Druce. (第五十

九圖)

翅ノ表面ハ暗黒色、裏面ハ白色ニシテ黒點ヲ散布スルコト恰モ基石ヲ列ベタルガ如シ。幼蟲ハ半透明白色ニシテ細毛ヲ生ジ、竹、薄等ノ葉ニ生ズル貝殻蟲ヲ食フ。蝶類ノ幼蟲ニ

テ食肉ノモノハ今日此一種ヲ知ルノミ。

九六、こししむみシムミチフ。カメマシム。 *Lycaena argus* L.



ふてぐんて 圖七十五第

雄ハ翅ノ表面碧紫色ニシテ、翅脈黒ク、縁ハ黒色ヲ帶ビ、雌ハ暗黒色ニシテ、後翅ノ外縁部ニ橙色點箭形斑ヲ列ヌルコトアリ、裏面ハ淡青灰色ニシテ白環ノ黒點ヲ散布シ、外縁部ニ波形橙色條アリ。幼

第五十八圖 しむみてふノ翅脈

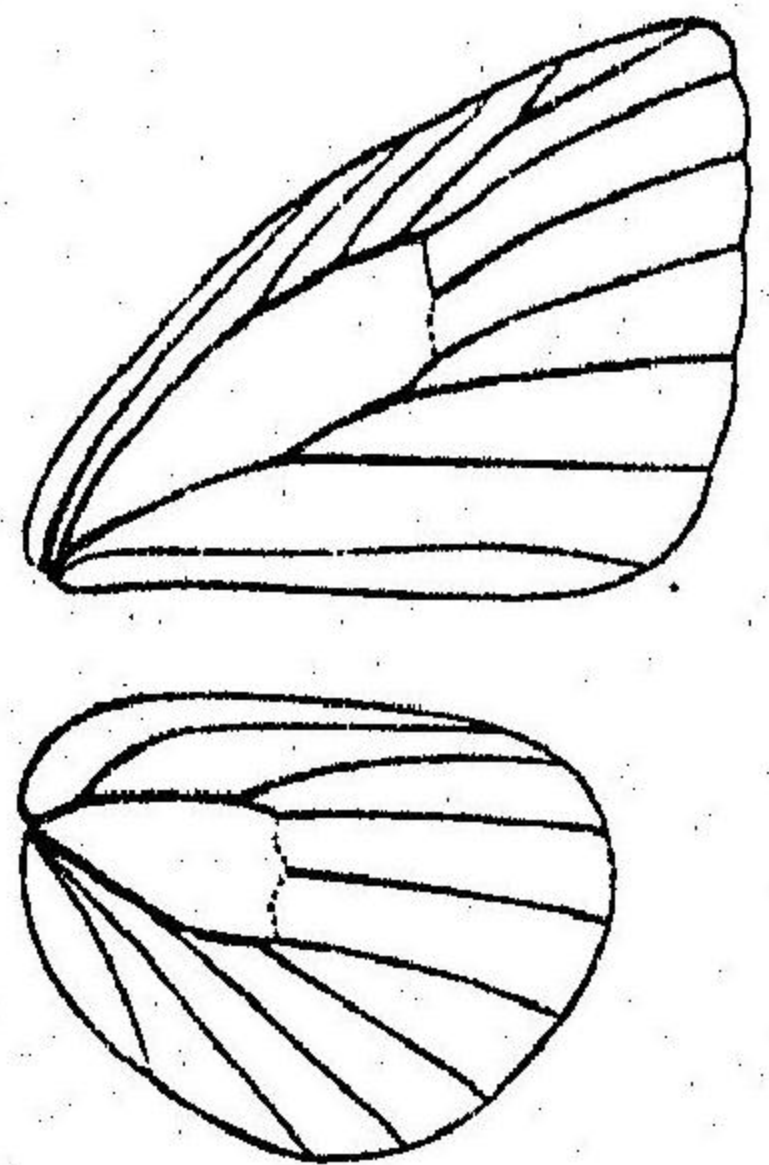
蟲ハ黯綠色ニシテ赤色背線ヲ有シ、うまごやしノ類ヲ食フト云フ。

九七、ひめしむみ *Lycaena aegon* Schiff.

前種ニ酷似シ、縁毛ハ幅廣クシテ白ク、小形ナリ。裏面ノ斑點ハ前種ノ如ク著シカラズ。カービー氏ノ如キハ前種ト同一ノモノトセリ。

九八、いぶりしむみ *Lycaena iburiensis* But.

翅ハ淡碧色ニシテ、翅脈及ビ邊緣ハ黯褐色ナリ、裏面ハ淡青色ニシ

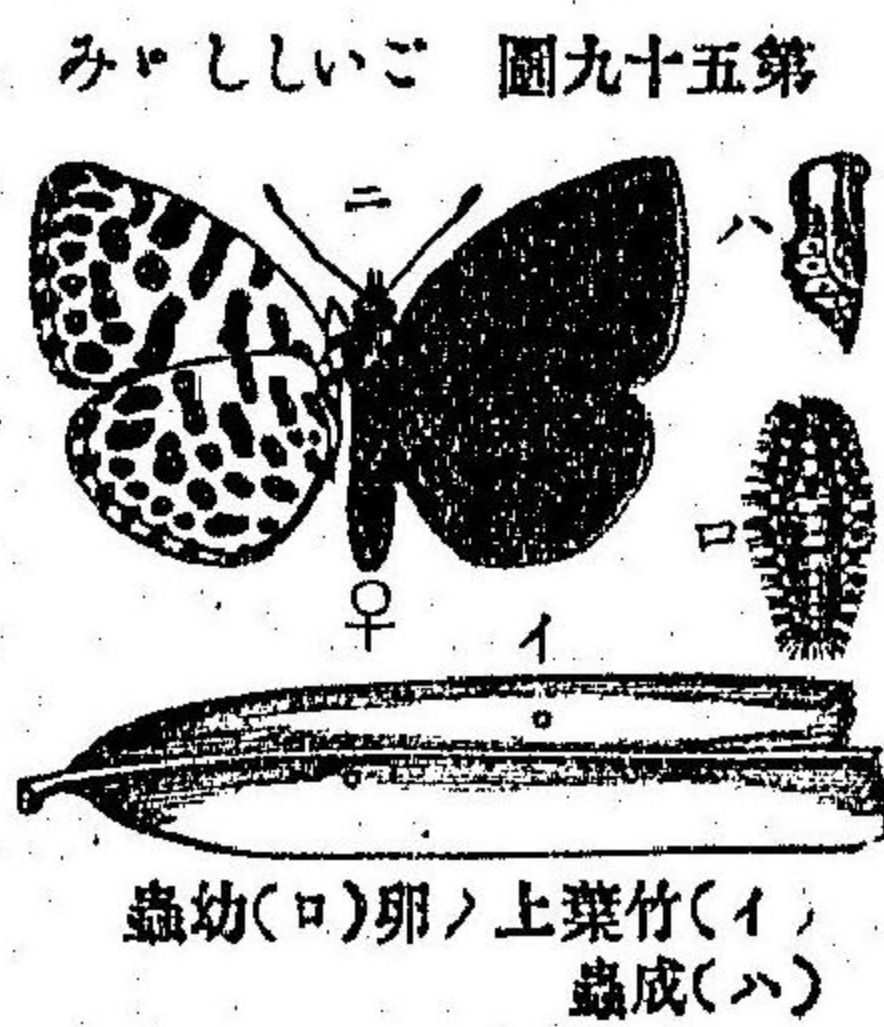


テ黒點ヲ散布シ、後翅ニ橙紅色ノ半月形紋列アリ。北海道及ビ本島ノ高山及ビ北部ニ産ス。

九九、おほりしむみ *Lycaena barine* Leech.

鮮碧色ヲ呈シ、外縁部ハ黒シ、後翅ノ外縁ニ黒點列アリ。裏ハ淡灰白色ニシテ、後翅ハ淡青ヲ帶ブ。前翅ニ大小ノ黒點列三箇、後翅ノ外縁ニ二箇アリテ、橙紅色ノ半月形紋列其間ニ横ハル。

一〇〇、えぞしむみカスイロシムミ *Lycaena lycornus* But



みいししいご 圖九十五第

蟲幼(ロ)卵ノ上葉竹(イ) 蟲成(ハ)

鮮碧色ヲ呈シ、前翅ノ前縁ハ灰色ヲ帯ビ、外縁部ハ黑色ナリ。後翅ノ周縁モ黒クシテ、外縁ニ沿ヒ黒斑列アリ、縁毛白クシテ脈端黒シ。裏ハ灰白色ニシテ、后翅ハ青色ヲ帯ビ、黒點列及ビ橙色ノ半月形點列アリ。

一〇二、*Lycaena pyrer* Murray.

翅ノ周縁ハ黑色ニシテ、内部ハ紫碧色ヲ呈シ、外方ニ白色部アリ。裏面ハ白色ニシテ、外縁部ニ黒點列アリ。しゝみてふ類中稍大形ノ種ナリ。

一〇二、へりほししゝみ *Lycaena berce* Feld.

邦産蝶類中最小ノ種ニシテ、表面ハ暗褐色ニテ全ク紋理ナク、裏ハ淡青白色ニテ

前翅前縁ノ中央ニ沿ヒ著シキ黒斑アリ。琉球ニ産ス。

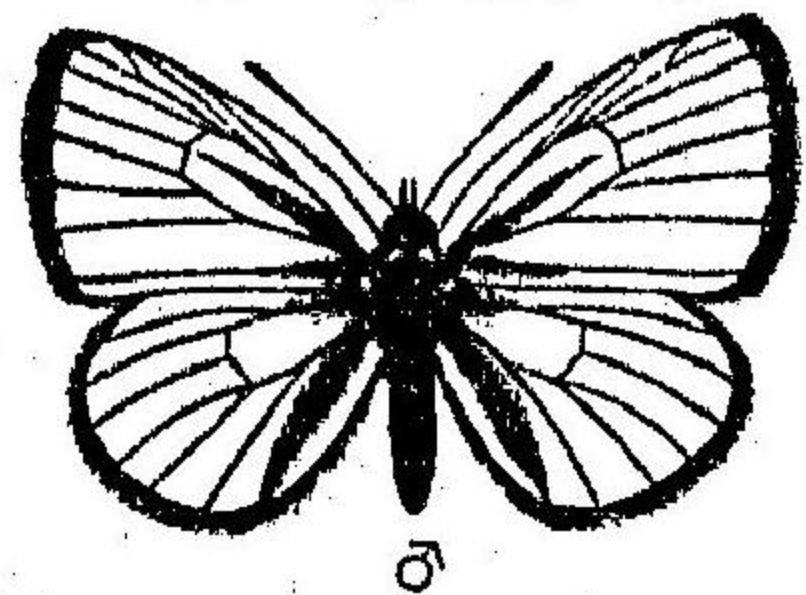
一〇三、をがさはらしゝみ *Lycaena ogasawarenensis* Pryer

紫碧色ニシテ金性光澤ヲ有シ、邊縁暗黒ナリ。裏面ハ青白色ニシテ、後翅ハ淡緑ヲ帯ベリ。小笠原島ニ産ス。

一〇四、しゝみてふなまゝ *Cyaniris argyolus* L. (第六十圖)

雄ハ淡紫色ニシテ周縁少シク暗色ヲ帯ビ、雌ハ周縁廣ク暗色ヲ呈セリ。裏面ハ白色ニシテ中央ニ暗黒色ヲ散布シ、外縁部ニ暗色波條及ビ黒點列アリ。幼蟲ハ暗緑灰色ニ黄點ヲ散布シ、黒頭ト暗緑ノ背線

第六十圖 しみみ



ヲ有シテひらぎつた、くろうめもどき等ノ花及ビ嫩葉ヲ食フト云フ。

一〇五、やまごしゝみ *Zizera naha* Kollar.

雄ハ淡紫色ニシテ周縁暗色ヲ帯ビ、雌ハ暗褐色ニシテ中部紫色ヲ帯ブ。裏ハ帯灰蒼白色ニシテ内半ニ數箇ノ黒點ト、外半ニ黒點列略三條アリ。幼蟲ハ綠色ニシテかたばみヲ食フ。

一〇六、へびしゝみ *Chrysophanus phlaeas* L.

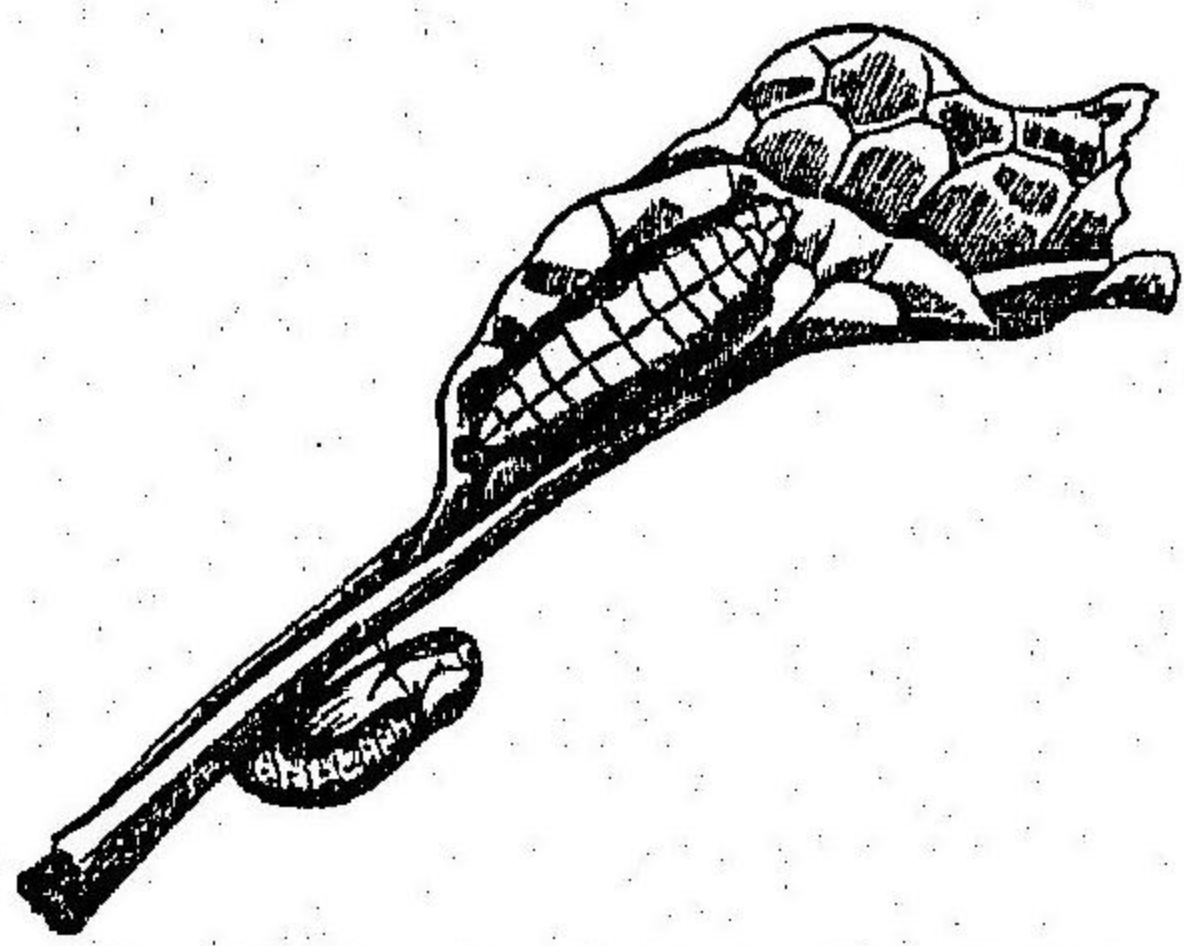
前翅紅橙色ニシテ黒縁ヲ有シ、黒斑ヲ散布ス。後翅ハ暗褐ニシテ紅橙色縁ヲ有シ、其内ニ黒斑アリ。夏生ノモノハ春生ニ比シ暗色ヲ帯ビテ大形ナリ。幼蟲ハ綠色ニシテ背線、側線ハ赤褐色ヲ呈ス。ギーギー、すいは等ヲ食フ。

一〇七、つばめしゝみ *Everes argyades* Pallas.

雄ハ紫碧色ニシテ後翅ノ外縁部ニ黒點數個ヲ有シ、雌ハ暗褐色ニシテ後翅ノ外縁部ニ橙色點二三個アリ、裏ハ蒼白色ニシテ黒點列アリ、共ニ後翅ニ尾様部ヲ有ス。

一〇八、うらなみしゝみ *Polyommatus baeticus* L.

雄ハ淡碧紫色ニシテ。雌ハ暗色ヲ帯ブ。後翅ニ尾ヲ有シ、其傍ニ白環ノ黒色紋二箇アリ。裏面ハ灰褐



第六十圖 しみみノ幼蟲及蛹

色ニシテ白色漣形ノ條理アリ、後翅ノ臀角ニ黄環ノ黒點二箇ヲ有ス。幼蟲ハ綠色ニシテふぢまめノ芽葉、花、實ヲ食フ。

一〇九、くろしいみ *Nipanda fusca* Brem.

翅ノ表ハ黒褐色ニシテ紋理ナク、縁毛ハ白色ナリ。裏ハ灰色ニシテ白環アル暗點數箇ヲ散布ス。此科中中形ノ種ナリ。

一一〇、るりしいみ *Arhopala japonica* Murray.

翅ハ鮮紫色ニシテ周縁黒色ヲ呈シ、裏ハ灰褐色ニシテ暗褐色ノ斑條アリ。幼蟲ハ黄白色ニシテ微毛ヲ生ジ、かしノ葉ヲ食フ。

一一一、むさくつばめ *Arhopala turbata* But.

前種ニ似テ、後翅ニ尾ヲ有シ、先端白シ。裏ニハ灰色縁ヲ有スル濃褐色ノ斑條ヲ有ス。重ニ九州ニ産ス

一一二、るーみすしいみ *Arhopala ganesa* Moore.

翅ハ碧紫色ニシテ、周縁ハ廣ク黒色ヲ呈シ、縁毛ハ灰色ニシテ、前二種ヨリモ小形ナリ。裏面ハ褐色ニシテ四箇ノ帯條ヲ有ス。ふらいあー氏ノ鹿野山ニテ採集シタル外他ノ産地ヲ知ラズ、稀有ノ種ナリ

一一三、こつばめ *Satsuma ferrea* But.

翅ハ淡碧色ニシテ暗色ノ周縁ヲ有シ、縁毛ハ白ト淡褐トヲ交ユ。裏ハ暗褐色ニシテ濃褐波帯及ビ白色

波條アリ、鈍頭ノ尾ヲ有ス。

一一四、うらぎんしいみ *Curetis acuta* Moore.

雄ハ紅橙色ニ、雌ハ淡碧色ニ暗褐色ノ周縁ヲ有ス。裏面ノ銀白色ナルト、此科中大形ノ種ナルトニヨリ區別シ易シ。幼蟲ハふぢノ葉ヲ食フ。

一一五、からす(しいみ)つばめ *Thecla w-album* Knoch.

翅ハ黒褐色ニシテ、前翅ハ無紋、後翅ノ臀角ニ紅橙色斑アリ、後翅ニ二箇ノ尾アリテ長短ヲ異ニス。裏ハ灰褐色ニシテW字形ノ白線アリ。幼蟲ハやまにれノ葉ヲ食フト云フ。北海道ニ産ス。

一一六、みやまからす(しいみ)つばめ *Thecla nera* Janson.

翅ハ黒褐色ニシテ紋理ナク、後翅ハ尾ヲ有ス。裏ハ褐色ニシテ彎曲白條ヲ有シ、後翅ニ橙黄色亞外縁帯及ビ黒點列ヲ有ス。

一一七、りんご(しいみ)つばめ *Thecla pruni* L.

前翅ハ暗褐色ニシテ、雌ハ内角ニ近ク不明ノ橙色點アリ、後翅ハ尾ヲ有シ、外縁ニ不明ナル橙色帯ヲ有シ内角ニ近ク明ナリ。裏ハ黄褐色ニシテ、白色點列、橙色帯黒斑列等ヲ有ス。幼蟲ハ綠色ニ黄色線ヲ有シ、りんご、かしは等ノ葉ヲ食フ。

一一八、ふちぐろあをつばめ *Zephyrus taxila* Brem.

雄ノ翅ハ黒色ノ周縁ヲ有シ、内部ハ光ノ干涉ニヨリテ孔雀緑或ハ藍青色ノ金性光ヲ發ス。雌ハ多形ニシテ、全ク暗黒ナルアリ、又前翅ノ一部ノ鮮紫色ヲ呈スルアリ、或ハ橙色紋ノ加ハルアリ、共ニ尖端白キ黒尾ヲ有シ、裏ハ灰褐色ニ二箇ノ白條ヲ有シ、後翅ニ橙色斑アリ。幼蟲ハ淡黄色ニ綠色ノ背線ト紋理トヲ有シ、はんのきの葉ヲ食フ。

一一九、あをつばめオオモドリシム *Zephyrus orientalis* Murray.

前種ニ似テ、雄ノ黒縁ハ狭シ。雌ハ暗黒ニシテ全ク紋理ヲ有セズ。幼蟲ハ淡黄白色ニシテかしの葉ヲ食フ。

一二〇、めすあかみどり(しぐみ)つばめ *Zephyrus smaragdina* Brem.

雄ハ金光アル孔雀綠色ノ翅ヲ有シ、周縁ハ黒色ナリ。雌ハ黒褐色ニシテ前翅ノ翅尖ニ近ク橙色斑アリ裏ハ暗褐色ニシテ白線各一箇アリ、後翅ノ外縁部ハ橙色ニシテ黒點ヲ有シ、尾ヲ有ス。

一二一、うらなみあか(しぐみ) *Zephyrus sapphirina* Standl.

前三種ヨリモ小形ニシテ、雄ハ濃綠色ニ狭キ黒縁ヲ有シ、雌ハ暗灰色ナリ、裏ハ共ニ白色ニシテ微ニ暗條二箇ヲ認ムベク、眞珠光澤ヲ有ス。北海道ニ産ス。

一二二、うらなみ(しぐみ)つばめ *Zephyrus signata* Butler.

翅ハ碧色ニシテ、周縁ハ廣ク黒色ヲ呈ス。裏面ハ黄褐色ニシテ黒點白點白條ヲ有ス、尾部アリ。北海

道ニ産ス。

一二三、つまぐらあかつばめツグロツノアカシム *Zephyrus lutea* Hew.

橙赤色ニシテ、外縁ハ淡褐色ヲ呈シ、前翅ノ翅尖ニ近ク黒點アリ、尾ハ黒色ニテ先端白ク、裏ハ淡黄褐色ニシテ白條四箇アリ、又外縁部ニ紅橙色帯アリテ黒紋列ヲ有ス。

一二四、うらなみあか(しぐみ)つばめウライダマ *Zephyrus saepesinata* Hew.

橙色ニシテ外縁ハ黒色ナリ、前翅ノ翅尖ニ黒斑アリ、後翅ニハ黒尾ヲ有シテ、其基部ニ黒點アルコト殆ンド前種ニ同ジ。然レドモ裏面黄色ニシテ黒斑、黒條ヲ有スルニヨリ區別スベシ。幼蟲ハならノ葉ヲ食フト云フ。

一二五、あかつばめオオモドリシム *Zephyrus jonasi* Janson.

橙色ニシテ、雄ハ殆ンド紋理ヲ有セズ、雌ハ前翅尖ニ黒斑ヲ有ス。裏ハ暗橙色ニシテ、亦紋理ノ著シキモノナシ。尾ハ黒クシテ先端白シ。

一二六、ごいしつばめオオモドリシム *Zephyrus ethna* Janson.

暗褐色ニシテ尾長ク黒クシテ先端白シ。裏面ハ前翅白色ニ暗色外縁ヲ有シ、黒斑ヲ散布ス、後翅ハ白色ニ灰色ヲ混ジテ白環、黒點ヲ散布シ、臀角ニ近ク橙色斑アリ。

一二七、つばめてふミイロオオモドリシム *Zephyrus atilia* Brem.

暗褐色ニ白縁毛ヲ有シ、後翅ニ白點條一列乃至二列アリ、尾ハ黒色ニテ先端白シ、裏ハ蒼白色ニシテ暗色ノ帶ト斑列トヲ有シ、前翅ノ中央ニ一暗色斑、臀角ニ近ク黄環ノ黒色紋二箇アリ。幼蟲ハかしノ葉ヲ食フト云フ。

一二八、うすいろ(をながしゅみ)つばめ *Zephyrus Butleri* Fenton.

前種ニ似テ淡色、前翅ノ中部ニ二黒斑、後翅ノ中部ト臀角ニ近ク黒斑アリ。北海道ニ産シ稀品ナリ。

一二九、ざんつばめ ヲラケロシム *Zephyrus orsedise* But.

雄ハ銀白色ニ黒縁ヲ有シ、雌ハ暗黒ニシテ中央ニ淡碧色ヲ帶ブ。裏面ハ暗褐色ニシテ白條ト白環ノ黒紋列アリ、尾ハ黒色ニテ先端白シ。

一三〇、うらぎんしゅみ *Zephyrus Hara* Butler.

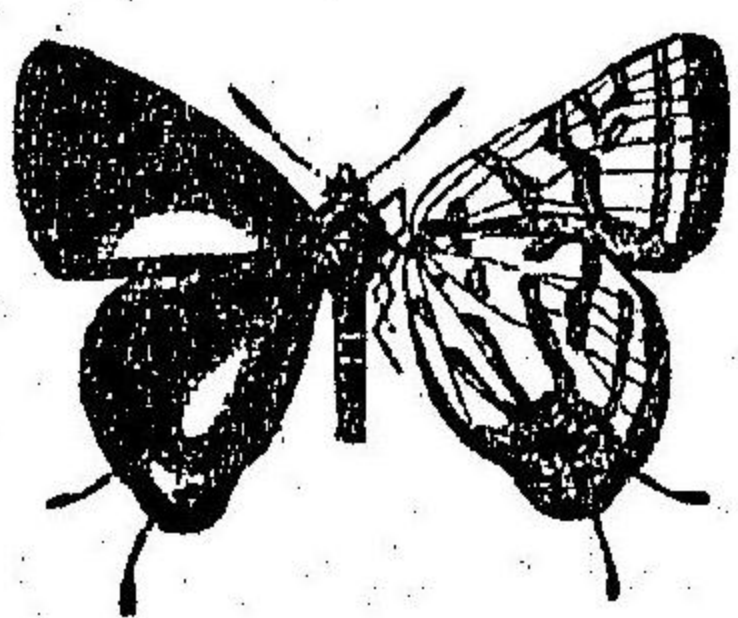
暗褐色ニシテ白色ノ縁毛ヲ有シ、裏面ハ淡黄金色ヲ呈シテ、臀角ニ近ク紅橙色アリ、北海道及ビ日光ニ産ス。

一三一、るりつばめ トヲフシム *Papala arata* Brem.

紫碧色ニシテ、暗色ヲ帶ブルコトアリ。後翅ノ臀角ニ橙赤點アリ、尾ハ黒クシテ

先端白シ。裏ハ灰白色ニ暗色帶數箇ヲ有シ、後翅ノ臀角ニ近ク橙色斑アリテ黒點ヲ有ス。

一三二、きまたらつばめ *Apleneus tohita* var.? (第六十二圖)



第六十二圖  
きまたらつばめ

斑アリ、コレ前種ト區別スベキ要點ナリ。

一五一、ほしちやばねせノリ *Aeronaclius inachus* Menet.

小形ニテ暗褐色ヲ呈シ、前翅ニ白色斑點一箇ヲ有シ、後翅ノ裏ニハ三列ノ白點アリ。

一五二、くろせノリ *Notocrypa curvifascia* Feld.

黒色ニシテ前翅ノ中央ニ白色廣帯ヲ有ス。但シ一端ハ前縁ニ達セズ、此外方ニ白小點數箇アリ。此科中大形ナリ。

一五三、こもんくろせノリ *Notocrypa goto* Mabii.

前種ニ似テ、前翅ノ白廣帯ハ短ク内縁ニ達セズ。最モ稀品ナリ。

一五四、おほちやばねせノリ キヌテセキ *Ismene aguilina* Speyer.

雄ハ暗褐色ニシテ紋理ヲ有セズ、雌モ同色ニシテ前翅ニ淡黄斑ト、同色ノ斑列一條アリ、共ニ基部ニ近ク黄褐色毛ヲ有シ、裏面ハ表ヨリ淡色ナリ。

一五五、あをばせノリ オキナナセキ *Rhoparocampa benjamini* Guerin.

本邦此科中最大種ニシテ、翅ハ藍黒色ヲ呈シ、基部ニ灰緑トヲ混ズ、後翅ノ臀角ニ近ク橙色ヲ呈シテ外縁毛モ赤橙色ナリ。

一五六、びろじやせノリ *Hasora chironus* Cram.

暗褐色ニ白縁毛ヲ有シ、後翅ニ白點條一列乃至二列アリ、尾ハ黒色ニテ先端白シ、裏ハ蒼白色ニシテ暗色ノ帶ト斑列トヲ有シ、前翅ノ中央ニ一暗色斑、臀角ニ近ク黄環ノ黒色紋二箇アリ。幼蟲ハかしノ葉ヲ食フト云フ。

一二八、うすいろ(せながし)つばめ *Zephyrus Butleri* Fenton.

前種ニ似テ淡色、前翅ノ中部ニ二黒斑、後翅ノ中部ト臀角ニ近ク黒斑アリ。北海道ニ産シ稀品ナリ。

一二九、ぎんつばめウラクロシツミ *Zephyrus orsedise* But.

雄ハ銀白色ニ黒縁ヲ有シ、雌ハ暗黒ニシテ中央ニ淡碧色ヲ帶ブ。裏面ハ暗褐色ニシテ白條ト白環ノ黒紋列アリ、尾ハ黒色ニテ先端白シ。

第六十二圖  
きまだらつばめ

一三〇、うらおんしツミ *Zephyrus liara* Butler.

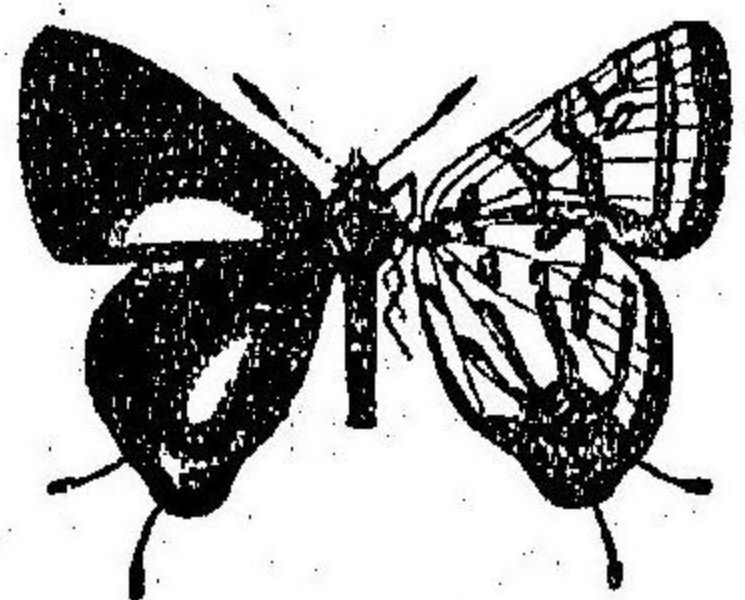
暗褐色ニシテ白色ノ縁毛ヲ有シ、裏面ハ淡黄金色ヲ呈シテ、臀角ニ近ク紅橙色アリ、北海道及ビ日光ニ産ス。

一三一、るりつばめウラフシツミ *Rapala arata* Brem.

紫碧色ニシテ、暗色ヲ帶ブルコトアリ。後翅ノ臀角ニ橙赤點アリ、尾ハ黒クシテ

先端白シ。裏ハ灰白色ニ暗色帶數箇ヲ有シ、後翅ノ臀角ニ近ク橙色斑アリテ黒點ヲ有ス。

一三二、きまだらつばめ *Apineus tohita* var.? (第六十二圖)



欠

MISSING

斑アリ、ユレ前種ト區別スベキ要點ナリ。

一五一、はしちやばねせノリ *Aeromachus inachus* Menet.

小形ニテ暗褐色ヲ呈シ、前翅ニ白色斑點一箇ヲ有シ、後翅ノ裏ニハ三列ノ白點アリ。

一五二、くろせノリ *Notoerypa eurifascia* Feld.

黒色ニシテ前翅ノ中央ニ白色廣帯ヲ有ス。但シ一端ハ前縁ニ達セズ、此外方ニ白小點數箇アリ。此科中大形ナリ。

一五三、こもんくろせノリ *Notoerypa goto* Mabii.

前種ニ似テ、前翅ノ白廣帯ハ短ク内縁ニ達セズ。最モ稀品ナリ。

一五四、おほちやばねせノリ *Ismene aguilina* Speyer.

雄ハ暗褐色ニシテ紋理ヲ有セズ、雌モ同色ニシテ前翅ニ淡黄斑ト、同色ノ班列一條アリ、共ニ基部ニ近ク黄褐色毛ヲ有シ、裏面ハ表ヨリ淡色ナリ。

一五五、あをばせノリ *Rhoparocampa benjamini* Guerin.

本邦此科中最大種ニシテ、翅ハ藍黑色ヲ呈シ、基部ニ灰緑ヒラ混ズ、後翅ノ臀角ニ近ク橙色ヲ呈シテ外縁毛モ赤橙色ナリ。

一五六、びろくろせノリ *Hasora chironus* Cram.

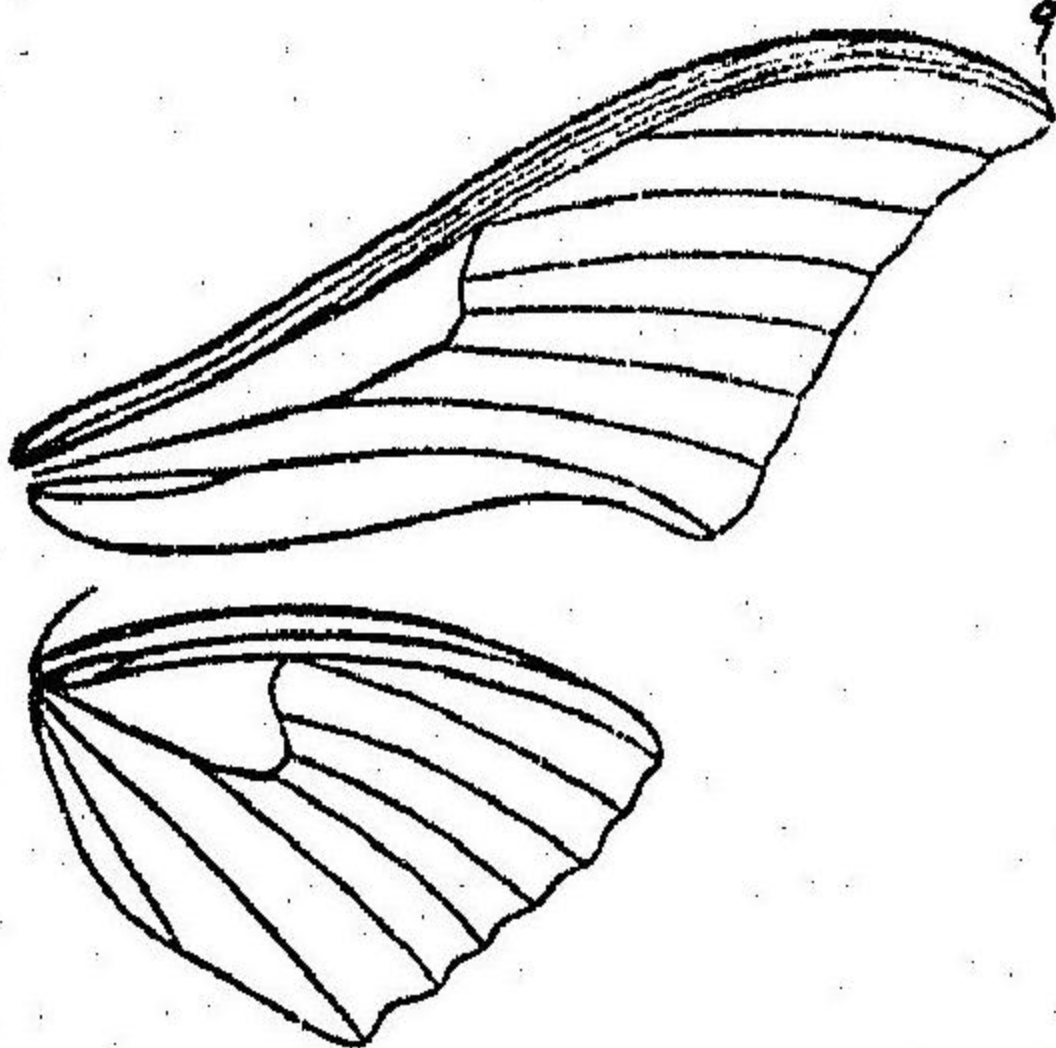


黒褐色ニシテ天鵝絨狀ヲ呈シ、翅基及ビ體ニ長毛ヲ生ズ。琉球ニ産ス。

### 蛾亞目 HETEROCCERA

#### 第一 天蛾科 Sphingidae

大形或ハ中形ノ蛾ニシテ、肥大ナル體軀ヲ有シ、複眼ハ球形ニテ單眼ヲ有セズ、觸角ハ中央或ハ先端  
第六十五圖 ほそばすずめノ翅脈



ニ至ルニ從ヒ肥厚トナリ、吻ハ發育ス。前翅ハ長ク延長シテ畧三角形ヲ呈シ、1<sub>b</sub>脈ハ基部又狀ヲナシ、9脈ヲ缺クコト多シ。後翅ハ比較的小ニシテ腹部ノ半ニ達セズ、4脈ト5脈トハ殆ンド平行シ、8脈ハ斜條ニヨリテ室ト連結セリ。卵ハ球狀ニシテ平滑ナリ。幼蟲ハ裸體ニシテ同筒狀ヲ呈シ、第十一節ノ背部ニ一箇ノ尾角ヲ有シ、多クハ地中ニテ蛹化ス。

一五七、ゑびがらすずめ *Herse convolvuli* L.

前翅ハ暗灰色ニシテ暗色ノ齒牙形線條數個ヲ有シ、後翅モ暗灰色ニテ四箇ノ黒色横帶アリ、腹部ニ赤色ノ輪帶アルニヨリ著シク、吻頗ル長シ。幼蟲ハ綠色或ハ暗褐色ニシテ側斜條ヲ有シ、さつまいも、あさがお、ひるがほ、つるな、あづき、ふぢまめ等ノ葉ヲ食フ。  
一五八、めんがたすずめ *Acherontia slyx* Moore.

前翅ハ黒褐色ニシテ黄色ヲ混ジ、濃色ノ波形帶ト黄色ノ室點トヲ有ス。後翅ハ濃黄色ニ二箇ノ黒色廣帶アリ。胸背ニ襖襖狀紋アルニヨリがいこつてふノ名アリ。幼蟲ハ黄綠色或ハ暗褐色ニシテ、側斜條ヲ有シ、ごま、なす、じやがたらいも等ノ葉ヲ食フ。

一五九、しもふりすずめ *Psilogramma menephron* Gram. var. *inereola* walk.

前翅暗灰色ニシテ白色微點ヲ滿布シ、不明ナル數個ノ暗色鋸齒帶アリテ、白色ノ室點ヲ有ス。後翅ハ黒灰色ナリ。幼蟲ハ綠色ニ白斜條或ハ褐斜條ヲ有シ、きり、くろき、いぼたひ、らぎ等ノ葉ヲ食フ。

一六〇、ゑびがらすずめにすずめ *Hyloicus ligustri* L. var. *constricta* But.

前翅ハ褐色ニシテ中央暗色ヲ帶ビ、短縦線數個ト波形横條アリ。後翅ハ淡紅ニシテ黒色ノ二廣帶アリ腹部ハゑびがらすずめに酷似セリ。幼蟲ハ綠色ニシテ白色側斜條ヲ有シ、いぼた、ねすみもち類ノ葉ヲ食フト云フ。

一六一、くろすずめ *Hyloicus caliginus* But.

翅ハ暗灰色ニシテ白色微點ヲ滿布シ、前種ニ比スレバ小形ナリ。前翅ニ二箇ノ不明暗帶ヲ有シ、黒色ノ短線三四箇アリ。幼蟲ハ褐色、黄白綠色、黒色ノ線條ヲ有シテ、松ノ葉ヲ食フ。

一六二、さぢなみすずめ *Dolbina tancrei* stand.

小形ノ種ニシテ、前翅ハ帶綠黄褐色ヲ呈シ、暗色ノ波形條數個ヲ有シテ、白色ノ室點アリ。後翅ハ暗

灰色ナリ。幼蟲ハ綠色ニシテ紅色ヲ點シ、黄白色斜條ヲ有シ、とねりこ、ねすみもち、いぼた等ノ葉ヲ食フ。

一六三、ほぐばすすめ *Oxambulyx ochracea* Put.

前翅ハ黄褐色ニシテ、基部ニ黒色圓紋ヲ有シ、不明ノ暗波形條數箇アリ。後翅ハ橙褐色ニテ暗色ノ横條數箇アリ。腹部ノ第六節ノ兩側及ビ第八節ノ上面ニ各一箇ノ暗色斑アリ。

一六四、とびいろすすめ *Clanis bilineata* Walk.

前翅ハ褐色ニ紫色ヲ帯ビ、前角ニ三角形ノ紫褐色班アリ、紫褐色ノ波形線三箇アリ。後翅ハ暗褐色ニシテ、一部黄褐色ヲ呈セリ。

一六五、ももすすめ *Marumba gaschkewitschii* Brem. var. *echepron* Boisid.

前翅ハ暗褐或ハ赤褐色ニ紫色ヲ帯ビ、彎曲線數箇アリテ暗色帯ヲ形成ス。後翅ハ肉紅色ニシテ外縁部暗色ヲ呈ス。幼蟲ハ綠色或ハ黄色ニシテ顆粒ヲ有シ、側斜條アリ、も、さくら、かいごう等ノ葉ヲ食フ。

一六六、くちばすすめカシノイモムシヲ *Marumba spechius* Mén.

前翅黄褐色ニシテ畧前種ニ似タル條理ヲ有シ、後翅ハ暗黄褐色ニシテ臀角ニ近ク灰黄白色ヲ呈シ、二個ノ赤褐色點アリ。幼蟲ハ黄綠色ニシテ顆粒ヲ有シ、側斜條面ニ赤點ヲ配列ス。かし、くり等ノ葉ヲ

食フ。

一六七、たはしもふりすすめ *Langia zenzeroides* Moore. var. *Navae* Kohl.

邦産ノ此科中最大種ニシテ、前翅ハ灰白色ニ灰藍色ヲ帯ビ黒褐色ノ條帶アリ、外縁ハ齒牙狀凹凸ヲナス。後翅ハ灰黄色ニシテ縐子狀絹光ヲ有ス。幼蟲ハ龐大ニシテ頭ト尾ハ割合ニ小サク、綠色ニシテ顆粒ヲ有シ、亞背線ハ黄白點ヲ列チタリ。うめ、あんず等ノ葉ヲ食フ。

一六八、ぎんばすすめ *Parum colligata* Walk.

前翅緑褐色ニシテ、紫褐或ハ灰黄色ノ縦帶或ハ横帶アリ、中央ニ銀白色ノ圓點アルニヨリ著シ。後翅ハ灰紫色ニシテ彎曲白條アリ。幼蟲ハ綠色ニシテ顆粒ヲ有シ、背線ハ紅紫色ナリ。かぢのき、かうぞ等ノ葉ヲ食フ。

一六九、ひさごすすめ *Mimas tiliae* L. var. *Christophi* Staud.

小形ノ種ニシテ、前翅ハ褐色ヲ呈シ、中央ニ瓢形紋アリ、外縁ハ缺刻凸凹ヲナス。後翅モ褐色ナリ。幼蟲ハ菩提樹科ノ植物ヲ食フナルベシ。

一七〇、うんもんすすめカヤキノイモムシヲ *Calambulyx tatarinovi* Brem. et Grey.

前翅ハ蒼白色ニ綠色ノ雲紋狀斑紋ヲ有シ、後翅ハ肉紅色ナリ。幼蟲ハ綠色ニシテ赤褐色ノ背線ヲ有シ、けやきノ葉ヲ食フ。

一七一、うすすめ *Sphinx planus* Walk.

前翅ハ暗灰色ニ淡紅色ヲ帯ビ、褐色ノ齒狀線條及ビ曇影ヲ有シ、後翅ハ紅色ニシテ、中心黑色ニ碧色ノ中環ト黑色ノ外環トヲ有スル著シキ眼形紋ヲ有ス。幼蟲ハ綠色ニ白色ノ顆粒ヲ有シ、側斜條アリテやなぎ、さくら等ノ葉ヲ食フ。

一七二、えぞすめ *Phyllophingia dissimilis* Brem. et Grey.

前翅ハ灰褐色ニ紫色ヲ帯ビ、前線部ニ三角形ノ暗褐色斑ヲ有シ、暗色ノ帶條曇影アリ。後翅ハ灰褐色ニシテ二箇ノ暗色波形横帶ヲ有ス。

一七三、すぢばほうじやく *Haemorrhagia radians* Walk.

翅ハ暗褐色ニシテ、中央部透明ナリ、基部、縁部ニ黄褐色毛ヲ生ズ。體ハ黄褐色ニシテ、腹部黑色ヲ混ジ、第六節黑色ナリ。尾總ハ黑色ニ黄褐色ヲ混ズ。

一七四、くろすかしば *Haemorrhagia fuciformis* L. var. *affinis* Brem.

前種ニ似テ少シク大キク、體ハ橄欖黄色ニシテ腹部ノ五六節ノ背面ハ黑色ナリ。

一七五、たほすかしば *Cephonodes hylas* L.

翅ハ全ク透明ナレドモ、羽化ノ初メハ淡褐色ヲ帯ベル白鱗ヲ有ス。體ハ橄欖綠色ニシテ腹部ノ四節兩側及ビ五節ハ濃赤褐色ヲ呈シ、尾總ハ黑色ナリ。幼蟲ハ綠色ニシテくちなしノ葉ヲ食フ。

一七六、くろすすめ *Ampelophaga rubiginosa* Brem. et Grey.

翅ハ褐色ニシテ、濃褐色ノ彎曲帶數箇前翅ヨリ後翅ニ連亘セリ、故ニ此名アリ。幼蟲ハ綠色ニシテ白色ノ亞背線ヲ有シ、第三、四節ノ兩側膨大セリ。ぶどうノ葉ヲ食フ。

一七七、くろくもすすめ *Asomeryx castanea* Rothschild.

前翅ハ紫褐色ニシテ、暗色ノ帶條數箇ト曇影トヲ有シ雲紋狀ヲ呈ス。後翅モ同色ニシテ濃色ノ横條アリ幼蟲ハ鮮綠色ニシテ淡黄點ヲ滿布シ、亞背線ハ淡黄色、側斜條モ同色ニシテ、第三節ヨリ第四節ニ亘リ新月狀黄色隆起ヲ有ス。ぶどう、やぶからしヲ食フ。

一七八、ひめほうじやく *Gurela masuriensis* But. var. *sangaica* But.

前翅暗褐色ニシテ黒褐色ノ彎曲線數箇ヲ有シ、後翅ノ前線ノ中央ハ非常ニ凹入セリ、黒褐色ニシテ橙黄色ノ大斑アリ。幼蟲ハ綠色ニシテへくそかづらヲ食フ、小形種ナリ。

一七九、ひめくろほうじやく *Macroglossum bombylans* Boisid.

前翅黒褐色ニシテ濃色ノ帶條ヲ有シ、後翅ハ黒褐色ニシテ橙黄色ノ廣横帶アリ。體ハ橄欖綠色ナリ。幼蟲ハ茶褐色ニシテ不完全側斜條ヲ有シ、へくそかづら、あけび等ノ葉ヲ食フ。小形ノ種ナリ。

一八〇、くろほうじやく *Macroglossum saga* But.

前種ニ似テ少シク大キク、後翅ノ橙黄色横帶ハ前種ニ比シ分明ナリ、又全體黒褐色ナルヲ異リトス。

幼蟲ハ綠色ニシテゆづりはヲ食フ。

一八一、ほうじやくマキム *Maeroglossum stellatarum* L.

前翅ハ暗褐色ニシテ二條ノ黒褐横線アリ、後翅ハ黄褐色ニシテ基部、外縁部暗色ヲ帯ブ。幼蟲ハ綠色ニ白點ヲ散布シ、白線ヲ有シテかはらまつばヲ食フ。

一八二、いぶきすすめ *Celerio galii* Roit.

前翅暗緑褐色ニシテ黄白色ノ斜帯ヲ有シ、内方ノ縁ニ三個ノ突出アリ、基部ニ白毛ヲ生ズ。後翅ハ黒色ニシテ中央ハ白色ニ橙色及ビ紅色ヲ點シ、外縁部灰黄色ナリ。幼蟲ハ黒褐色ニシテ、第二節ヨリ第十一節ニ亘リ兩側ニ黄圓紋ヲ有シ、かはらまつばヲ食フ。

一八三、べにすすめ *Pergesa elpenor* L. var. *Lewisii* But.

前翅濃黄綠色ニシテ二箇ノ紅紫色帯ヲ有シ、後翅ハ紫色ナリ。幼蟲ハ綠色或ハ褐色ニシテ第三、四、五ノ三節ニ眼狀紋アリ、ほうせんくわ、みぞはぎ、かはらまつば、つきみそう等ヲ食フ。

一八四、ひめすすめ *Pergesa askoldensis* Oberthür.

前翅褐色ニシテ灰褐色ノ線條アリ、後翅モ同色ニシテ基部ト外縁部ハ灰褐色ナリ。すすめノ和名ヲ有スル中ニモ最小ノ種ナリ。

一八五、きいろすすめ *Mamestra* *Mamestra* *Theretra nesus* Drury.

前翅黄褐色ニ暗綠色ヲ混ジ、紫褐色ノ線條數箇アリ、黒色ノ室點ヲ有ス。後翅ハ黒色ニシテ黄褐色ノ廣帯アリ。腹部黄色ニシテ橄欖色縦帯ヲ有ス。幼蟲ハ緑白色又ハ黄褐色ニシテ側斜條ヲ有シ、やまのいもヲ食フ。

一八六、したべにすすめ *Theretra aleo* L.

前翅ハ淡褐色ニシテ濃色ノ斜線數個ヲ有シ、黒色室點アリ後翅ハ紅色ニシテ基部黒色ナリ。腹部ノ前方兩側ニ黒紋アリ。幼蟲ハぶぶらヲ食フト云ヘリ。琉球、臺灣ニ産ス。

一八七、こすすめ *Theretra japonica* Boisj.

前翅ハ暗灰色ニシテ綠色ヲ帯ビ、暗色ノ斜線條ヲ有シ、黒色室點アリ。後翅ハ黒色ニシテ灰黄條アリ腹部ハ黄金色ニシテ、背部ニ緑褐帯ヲ有ス。幼蟲ハ綠色或ハ褐色ニシテ白色ノ亞背線ヲ有シ、第四、五節ニ眼形紋アリ。ぶだう、やぶからし、つた等ノ葉ヲ食フ。

一八八、せすぢすすめ *Theretra oldenlandiae* Fab.

前種ニ似タレドモ、腹背ニ二箇ノ銀白條ヲ縦走セルニヨリ區別スベシ。幼蟲ハ通常黒色ニシテ、兩側ニ眼形紋ヲ列テ、さといも、ほうせんくわ、はんげ等ヲ食フ。

一八九、いつほんせすぢすすめ *Theretra pinastria* Mart.

是亦前種ニ酷似スレドモ、腹背ノ銀白條僅カ一本ナルニヨリ區別スベシ。幼蟲ハ褐色ニシテ眼形紋ヲ

列子、さといもヲ食フ。薩摩以南ニ産ス。

一九〇、びろごちすすめ *Phragasia mongolianus* But.

前翅ハ黒褐色ニシテ多少天鷲絨狀ヲ呈シテ不明ノ濃色線又ハ點線アリ。後翅モ黒褐縁ニシテ黄褐色ノ不完全横帯アリ。幼蟲ハ褐色ニシテ暗色短線ヲ分布シ、第四節、兩側ニ眼形紋アリ。ふだう、やぶがらし、ほうせんくわ等ヲ食フ。

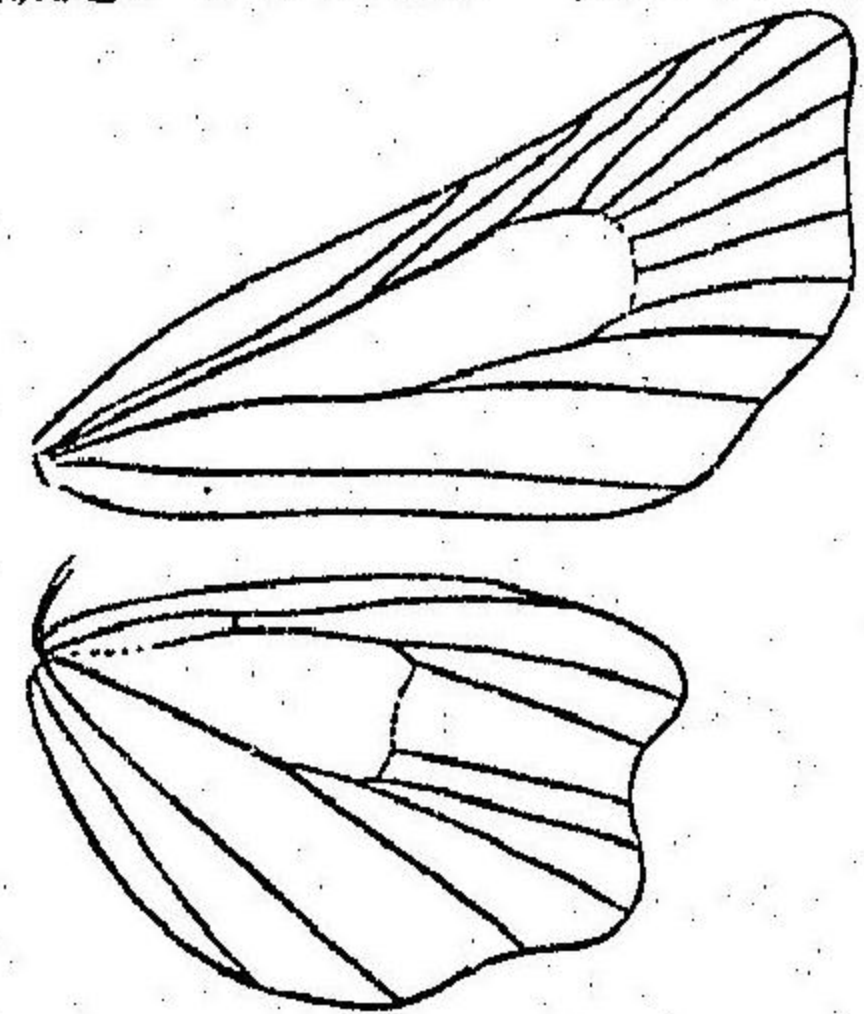
一九一、たかぢごすすめ *Cochenea minor* But.

前翅ハ淡黄褐色ニシテ前縁部暗綠色ヲ呈シ、暗緑ノ斜條數箇アリ。後翅ハ黒色ニシテ黄褐色ノ廣帯アリ。臺灣ニ産ス。

### 第二 雜鹿子蛾科 *Thyrididae*

小形ノ蛾ニシテ、翅ニ透明紋ヲ有シ、外縁ハ波形ヲナス。複眼ハ裸出シ、觸角ハ簡單ニシテ中央少シク膨大シ、基部關節肥厚ナリ。唇鬚ハ短クシテ末端尖リ、吻ハ發育シ、前脚ノ脛節ニ葉狀片ヲ有ス。前翅ノ脈ハ悉ク分離シ、後翅ノ8脈ト7脈トハ短條ニテ連接ス、1<sub>1</sub>ヲ缺キ、1<sub>1</sub>ハ殆ンド臂角ニ達ス。幼蟲ハ疣狀突起ヲ有シ、背部ニ毛ヲ散布ス、

脈翅ノこのかなひ 圖六十六第



常ニ葉ヲ捲キテ棲息シ、薄キ繭ヲ作りテ蛹化ス。

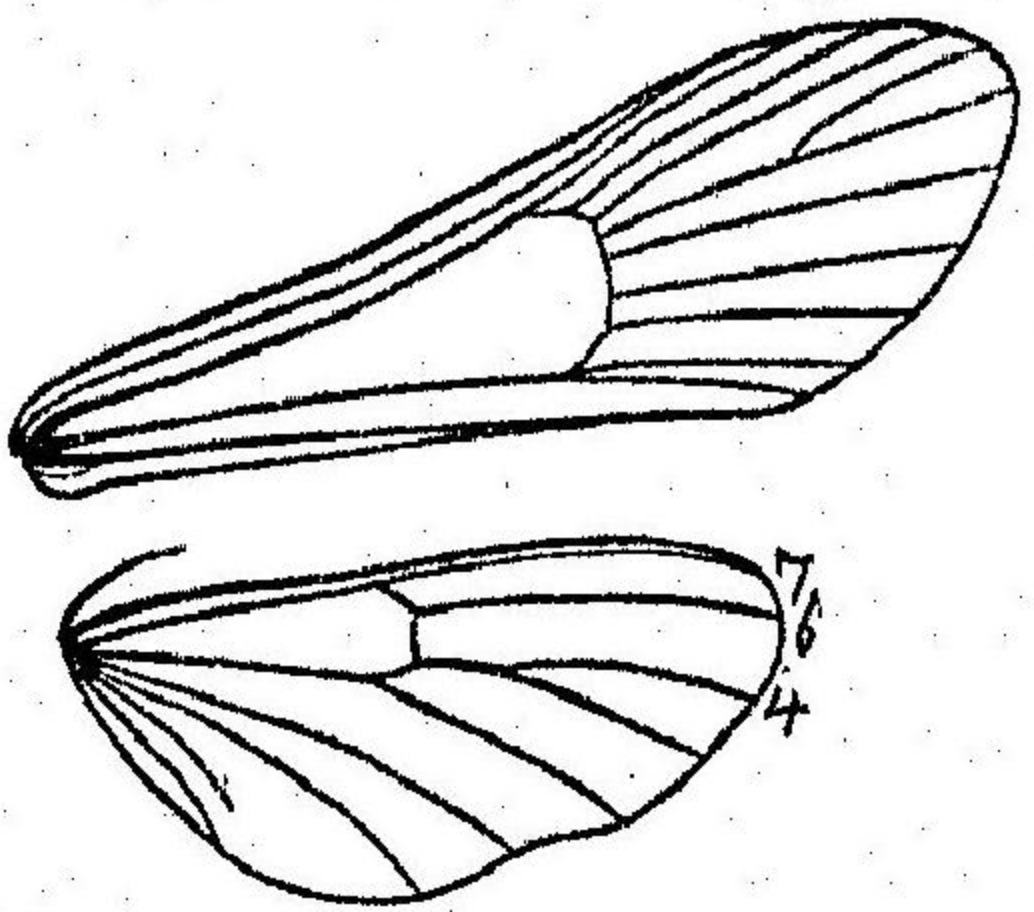
一九二、ひなかのこ *Thyris usitata* But.

翅ハ黒褐色ニシテ、兩翅共ニ透明白色ヲ有シ、黄色點ヲ散布ス。翅ノ展張僅ニ五六分。

### 第三 硝子蛾科 *Sesidae* or *Aegeridae*

小形ノ蛾ニシテ、單眼ヲ有シ、觸角ハ中央ヨリ先端ニ至ルニ從ヒ漸次膨大セリ。唇鬚ハ可ナリ長クシテ上方ニ曲リ、第三節ハ短クシテ尖レリ。翅ノ大部分ハ透明ニシテ、前翅ハ狹長ニ、外端稍圓ミヲ帶ビ、1<sub>1</sub>脈ハ基部ニテ叉狀ヲナシ、7脈ト8脈トハ柄ヲ有ス。後翅ハ長卵形ニシテ5脈ヲ缺キ、6脈ト7脈トハ殆ンド平行シ、8脈モ亦缺ケタリ。腹部ハ長クシテ後翅ヲ超過シ、通常各色ノ環帯ヲ有シ、雄ハ七節、雌ハ六節ヲ明ニ見ルベシ。尾部ニ總毛ヲ有シ雄ノ後脚ハ異様ノ觀ヲ呈ス。形狀細腰蜂ニ類シ、白晝速ニ飛翔ス。幼蟲ハ裸體ニシテ黄白色ヲ呈シ、僅ニ細毛ヲ粗生ス。樹幹ニ蠶入シテ一冬或

脈翅ノはしかす、圖七十六第



ハ一冬ヲ經過シタル後蛹ニ化ス。

一九三、えぞすかしば *Sphecia contaminata* But. (第一版第十圖)

翅ハ透明ニシテ淡黄褐色ヲ帯ビ、脈ハ黒クシテ前翅ノ中央ニ赤色ノ横脈點アリ。腹部ハ太クシテ黄環帯ヲ有ス。

一九四、ぶどうすかしば *Scapteron regale* But. (第一版第十三圖)

前翅ハ紫褐色ニシテ銅色線ヲ有シ、後翅ハ透明ニシテ眞珠光ヲ放ツ。腹部大ニシテ橙色ノ三横帯ヲ有シ、幼蟲ハ葡萄ノ幹ニ蝨入ス。

一九五、こすかしば *Aegeria hector* But. (第一版第十四圖)

前翅ハ透明ニシテ黒脈ヲ有シ、前縁及ビ外縁ハ紫黑色ニシテ中央ニ弦月狀紫黒點アリ、後翅モ亦透明ナリ。體ハ鋼鐵黑色ニシテ黄色横帯ヲ有ス。幼蟲ハ黄色ニシテ櫻桃等ノ幹ヲ穿ツ。

一九六、ざんすちすかしば *Aegeria tennis* But.

前種ニ酷似シテ、襟部及ビ腹部ニ銀白色横帯ヲ有ス、

一九七、ほしすかしば *Tintia editha* But.

前翅ハ暗褐色ニシテ二箇或ハ三箇ノ透明點ヲ有シ、後翅ハ全ク透明ニシテ、體ハ黄褐色ナリ。脚ハ黄金色ニシテ黒帯ヲ有ス。

一九八、きんもうすかしば *Tintia constricta* But.

前翅ハ紫黑色ニシテ透明ノ長線ト方形斑トヲ有シ、後翅ハ全ク透明ナリ。體ハ紫黑色ニシテ腹部ニ黄

帯ヲ有シ、尾總ノ中央ハ黄金色ナリ。

一九九、もゝぶとすかしば *Malita enrytion*. (第一版第十一圖)

小形ニシテ、後脚ノ腿脛節ニ長毛ヲ有スルニヨリ一見區別シ得ベシ。

#### 第四 緋鹿子蛾科 *Zygaenidae*

小形ノ蛾ニシテ、單眼ヲ有シ、觸角ハ中央ヨリ先端ニ至ルニ從ヒ漸次膨大スレドモ、或ハ櫛齒狀又ハ絲狀ナルコトアリ、唇鬚ハ中庸ニシテ上ニ向ヒ、末節短クシテ尖レリ。

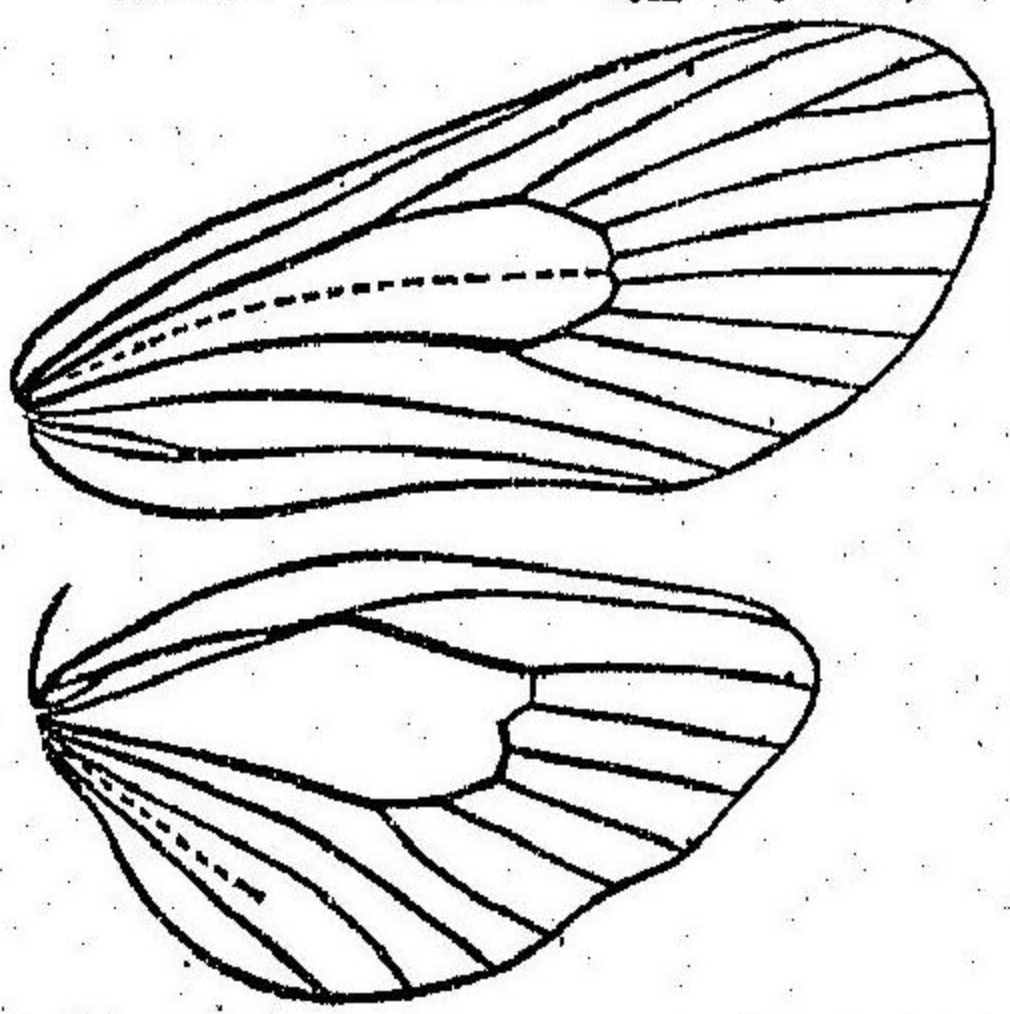
前翅ニ1<sub>b</sub>ト1<sub>c</sub>脈ヲ有シ、後翅ノ8脈ハ短條ニヨルカ或ハ屈曲シテ室ノ上縁ニ連結ス。卵ハ長卵形ニシテ細線或ハ網紋ヲ有シ、幼蟲ハ短クシテ短毛ヲ生ジ、貝殻蟲狀ヲ呈シ、八對ノ脚ヲ有ス。薄繭ヲ葉又ハ枝幹ニ固着セシメテ蛹化ス。

二〇〇、ひめくろうすば *Adscita (Procris) funeralis* But.

翅ハ淡黑色ニシテ紫光ヲ發シ、體モ黑色ニシテ藍光ヲ有ス。幼蟲ハ黄色ニシテ黒毛ヲ粗生シ、竹葉ヲ食フ。

二〇一、さくらんぼすば *Adscita (Procris) esmeralda* But. (第一版第一圖)

第六十八圖 このがひノ翅脈



前翅ハ碧色或ハ綠色ニシテ金性光ヲ放チ、後翅ハ暗灰色ナリ。胸部ハ綠色ニ、腹部ハ淡黑色ヲ呈シテ各節黑色帯ヲ有ス。

二〇二、くろうすばナシノホシケムシ。ナシノホシケムシ *Adscita (Procris) nigra* Leech. (第一版第七圖)  
ひめくろうすばニ類似スレドモ翅ノ幅少クシ廣シ。幼蟲モ亦是ニ類シテ、梨ノ葉ヲ食ヒ、葉ニ白色ノ薄キ繭ヲ營ム。

二〇三、あをばたくろうすば *Milberis (Nothia) tenuis* But.  
翅ハ灰色透明ニシテ翅脈黒ク、體ハ黑色ニシテ鮮綠ノ金性光ヲ放ツ、

二〇四、きまたらくろうすば *Binthia gracilis* Walk. (第一版第三圖)

前翅ハ紫黑色ニシテ莖黃色ノ短線狀斑數箇ヲ有ス。後翅ハ灰色ヲ帯ビテ透明ナリ。胸部ハ綠青色ニシテ金性光ヲ放チ、腹部ハ紫褐色ヲ呈シ、各節ニ綠青色線ヲ有ス。

二〇五、きぼしくろうすば *Balataea aegeroides* But.

前種ニ似タレドモ前翅ノ斑ハ圓紋狀ニシテ其數少シ。後翅ハ灰色ニシテ透明ナリ。

二〇六、みのげうすば *Masakimocamilla* Masakita *Pyrenia sinea* Moore.

翅ハ灰色ニシテ基部黃色ヲ帯ビ、脈ハ黒シ。體ハ橙色ニシテ長キ茸毛ヲ生ジ、尾總ヲ有ス。幼蟲ハ淡黄色ニ細毛ヲ生ジ、黒縦線數箇ヲ有ス。ころころむし、たばらむし等ノ名ヲ有シ、まさきノ葉ヲ食フ。

二〇七、ひかの、 *Zygaena nippona* But. (第一版第八圖)

前翅帶綠褐色ニシテ紅色ノ斑點三箇ヲ有シ、後翅ハ紅色ナリ。體ハ紫黑色ニシテ、腹部ノ二三節ハ紅色ヲ呈シ、美麗ナル種ナリ。幼蟲ハ黄色ニシテ黒紋ヲ分布ス。

### 第五 星鹿子蛾科 Syntomidae

形狀ハ前科ニ酷似スレドモ、區別スベキ點多シ。即チ後翅ノ脈ハ其數ヲ減ジテ通常8ヲ缺キ、1a, 1cモ缺クコト多ク、前翅モ1cヲ缺ケリ。前脚ノ脛節ニ葉狀片ヲ有シ、觸角ハ絲狀ヲ呈シ、唇鬚ハ短シ。幼蟲ハ毛總ヲ生ゼル疣狀突起ヲ有シ、薄繭ヲ營ミテ蛹化ス。

二〇八、あはだしろはしかの、 *Syntomis thelebus* Rab. (第一版第九圖)

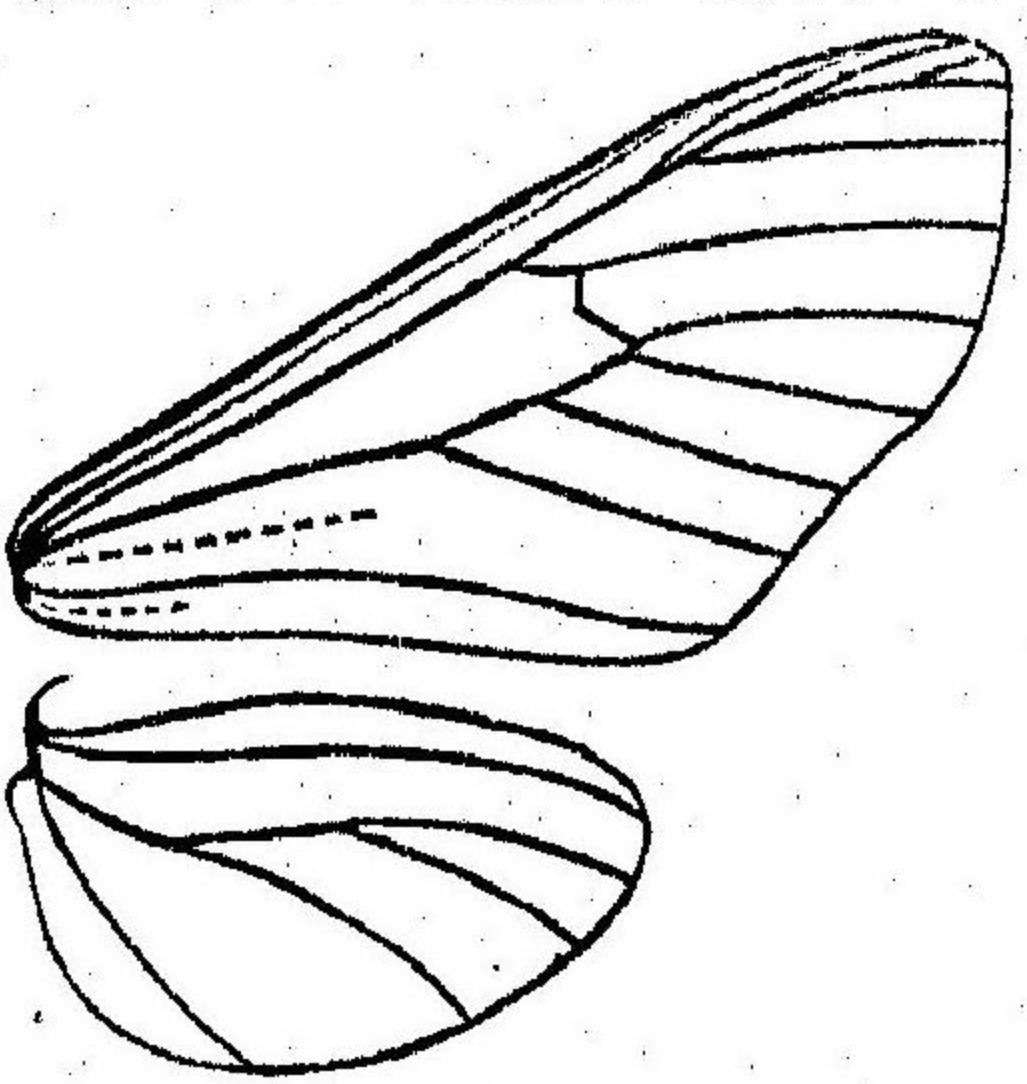
前翅ハ黒褐色ニシテ紫光ヲ有シ、白色ノ透明斑紋五箇アリ。後翅ハ前外縁部黒褐色ニシテ、中央ヨリ基部ニ亘リ白色透明ナリ。胸部ハ暗黑色ニシテ、腹部ハ橙黄色ヲ呈シ、各節ニ黒環條ヲ有ス。

二〇九、しろはしかの、 *Syntomis fortunei* Boisj.

(第一版第十五圖)

前種ニ酷似スレドモ、體ハ紫黑色ニシテ、腹部ニ二條ノ黄色帯アリ。幼蟲ハ黑色ニシテ褐毛ヲ密生シ

第六十九圖 しろはしかのノ翅脈



たんば、等ヲ食フト云フ。

### 第六 螢蛾科 Chalcosiidae

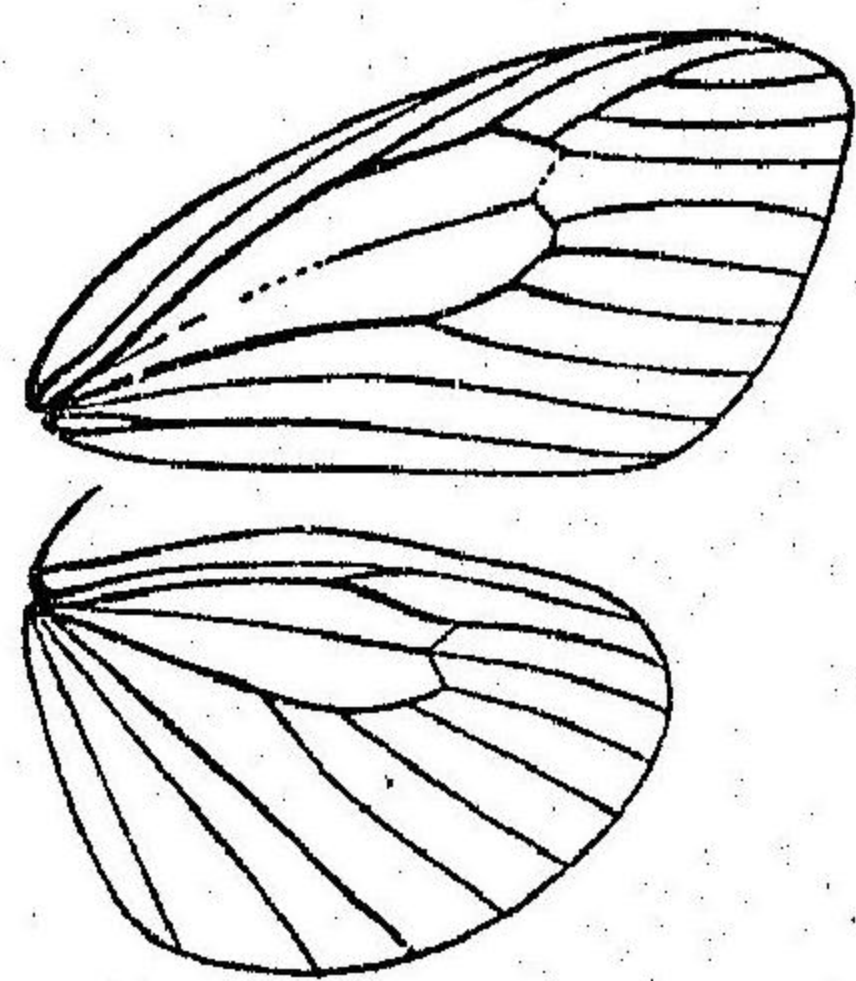
緋鹿子蛾科ニ類似セル點多シト雖モ、觸角ハ長キ櫛齒狀ヲ呈シ、前翅ノ7、8、9脈ハ基部ヲ一ニシ前、後翅共ニ中脈ヲ有シテ、白晝飛翔ノ性ヲ有シ、多クハ一種ノ臭氣ヲ有ス。幼蟲ハ瘤起ヲ有シ、且有毛ノモノ多シ。繭ヲ續グ。

第七十圖 しろをびはたるノ翅脈

二二〇、しろをびはたるホタルガ。ホタルテフ *Pidorus atratus* But. (第一版

第二十圖)

翅ハ黑色ニシテ紫光ヲ有シ、前翅ニハ前縁ヨリ内角ニ達スル白色廣帯アリ。頭部赤色ナルガ故ニはたるノ名アリ。幼蟲ハ背部黄色ニシテ、側部ニ黑白條ヲ有シ、ひさかきノ葉ヲ食ヒテ舟狀ノ繭ヲ營ム。



二二一、しろをびはたるものホタルガモドキ *Laurion remota* Walk. (第

一版第二十一圖)

前種ニ酷似スレドモ白帯ハ全ク後縁ニ達セズ、後翅ハ白色ニシテ邊縁ハ黑色ヲ帯ビ、中央ニ黒曇アリ。幼蟲ハ短ク肥大ニシテ、赤褐色ニ黄色ノ斑點ヲ有ス。

二二二、こしきはたる *Erasmia hobsoni* But. (第一版第一圖)

翅ハ黑色ニシテ、脈ハ綠色ヲ呈シ、縁圈ヲ有セル白圓紋及ビ綠色斑紋數個ヲ有シ、金性光ヲ放ツ、前翅ノ基部ニハ橙赤帶ヲ有シ、美麗ナル大形種ナリ。

二二三、りうぢうるりはたる *Chalcosia adalifa* Walk.

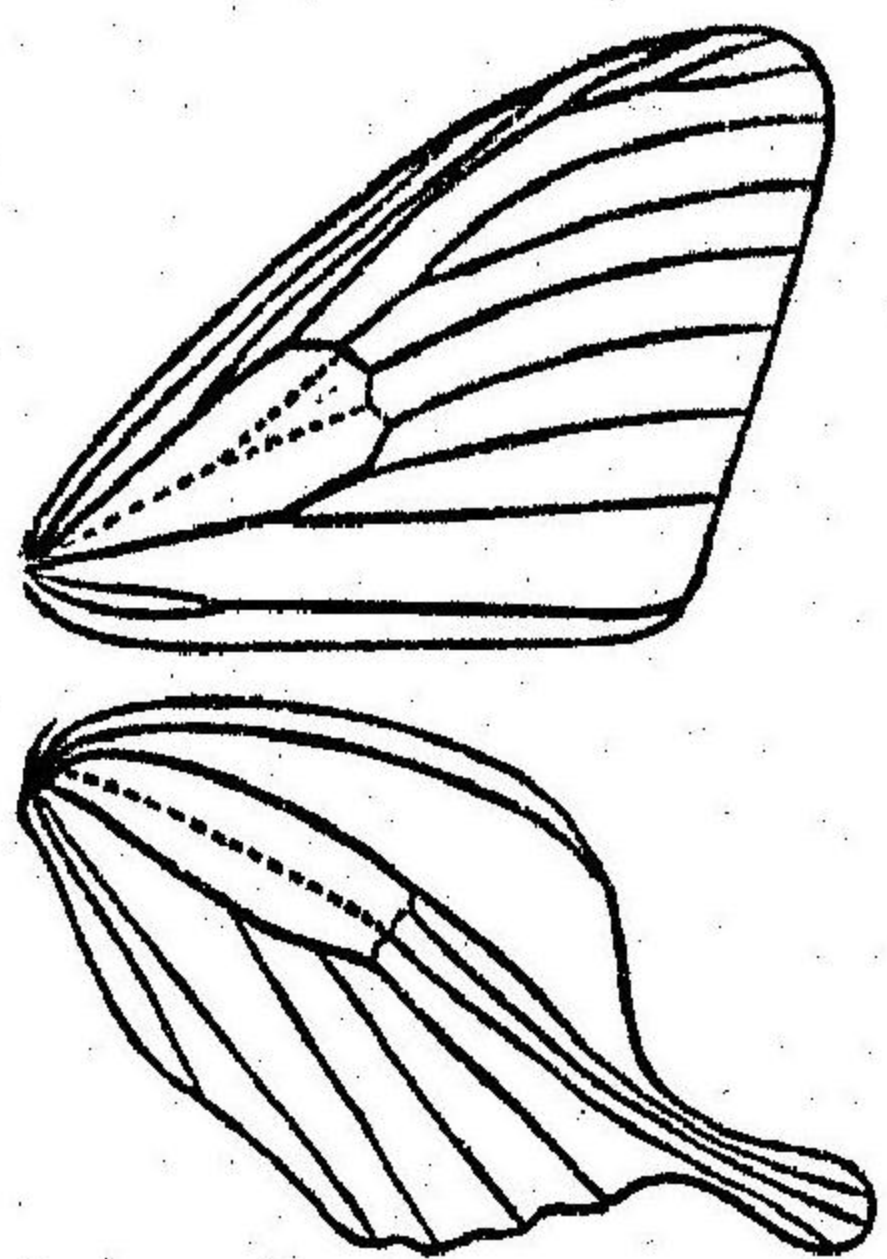
第七十一圖 あげはしぎノ翅脈

前翅ハ白色ニシテ黑色ノ外縁ヲ有シ、二箇ノ黒帯アリ、後翅モ白色ニシテ外縁部黑色ヲ帯ビ、共ニ黑色部ノ翅脈ハ孔雀綠光ヲ放ツ。頭、襟部ハ朱赤色ニシテ體ハ孔雀綠色ナリ。

二二四、うすばつばめ *Elysma westwoodii* Voll. (第二版第十一

圖)

翅ハ淡黄白色ニシテ黒脈ヲ有シ、脈ニ沿ヒテ灰色ヲ帯ブ、前翅ノ基部ニ黄色ヲ有シ、後翅ニハ尾襟部ヲ有ス。



### 第七 擬鳳蝶科 Epicopeiidae

鳳蝶屬ノ觀ヲ呈シ、翅刺ハ殆ンド痕跡的ナリ。吻ハ發育シ、觸角ハ櫛齒狀ヲ呈シ、各翅共ニ室ハ脈ニヨリテ縦斷セラレ、後翅ノ8脈ハ全ク7脈ト分離セリ。幼蟲ハ白蠟質ヲ分泌スベキ皮膚腺ヲ有シテ綿



毛狀ノ外被ヲ形成ス。本邦僅一種ヲ産スルノミ。

二二五、あげはも *Epicopeia hainasii* Holl. (第一版第十二圖)

じやかうあげはニ類似シテ小形ナリ。蓋シ是ガ春形ニ擬セルモノカ。幼蟲ハ白綠色ニシテ白毛ヲ生ジ白粉ヲ有セリ。やまかうばしノ葉ヲ食ヒ、葉面ヲ綴リテ淡褐色ノ繭ヲ營ム。蛹ハ黒褐色ニシテ白粉ヲ散布セリ。

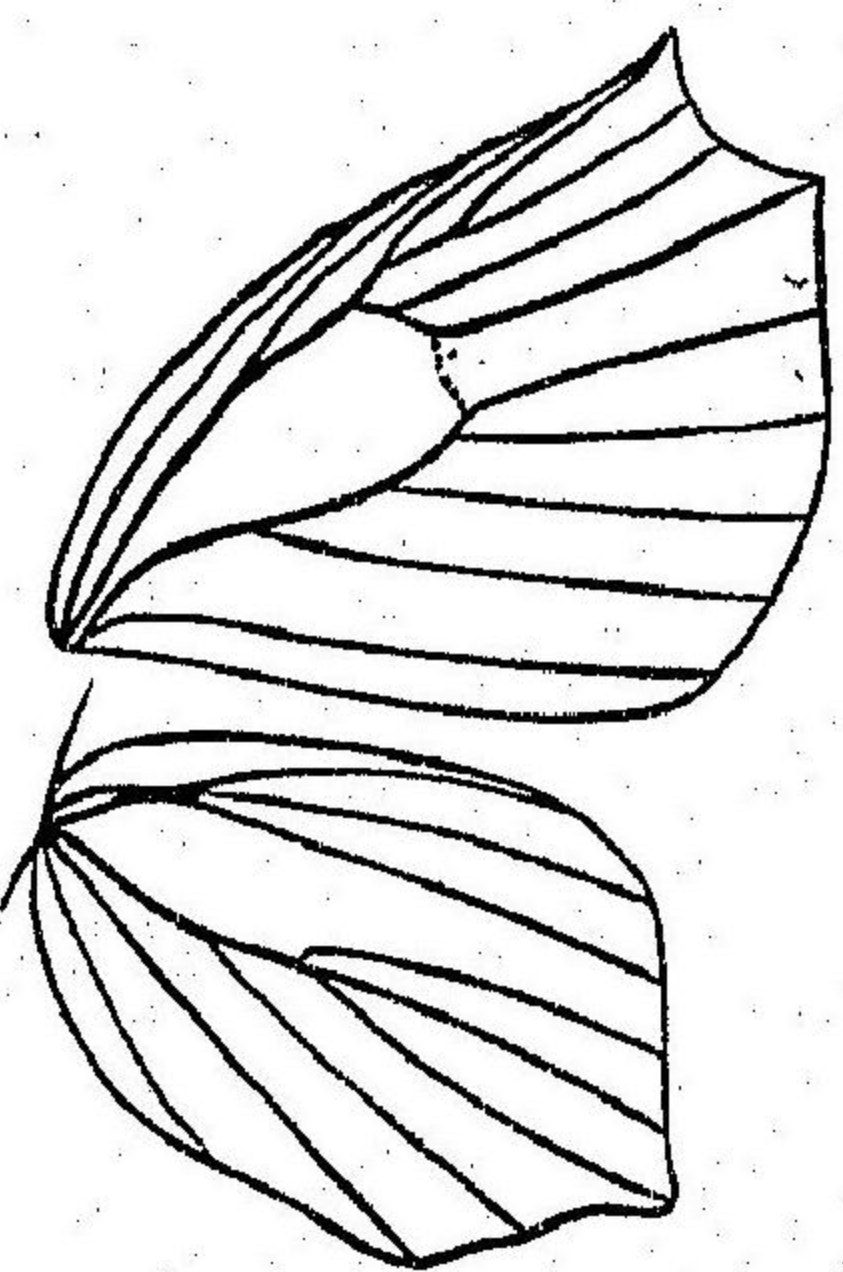
### 第八 錨紋蛾科 Calidulidae

一見蝶ノ觀アレドモ翅刺ヲ有スルト、觸角ノ絲狀ナルニヨリ區別スベシ。唇鬚ハ發育シ、後翅ニハ横脈ヲ缺ケリ。白晝飛翔ノ性ヲ有シ、本邦唯一種ヲ産スルノミ。 第七十二圖 かばいらいかりノ翅脈

二二六、かばいらいかりイカリアヲ。イカリモンガ *Pterodacta gloriosa*

But. (第一版第十六、十七圖)

翅ハ黒褐色ニシテ、前翅ニ橙赤色ノ錨形紋ヲ有セリ。裏面ハ橙黄色ニシテ褐色ノ細點ヲ散布シ、前翅ノ基部ハ綠色ヲ帯ビテ白點及ビ黒紋ヲ有スル等、他ノ蛾類ノ翅裏ノ殆ンド著シキ紋理ナキトハ大ニ異ル點ナリ。



### 第九 小綠蛾科 Nycteolidae

此科ニ屬スルモノハ、小形或ハ中形ノ蛾ニシテ單眼ヲ有シ、雄ノ觸角ハ多少細毛ヲ生ジ、唇鬚ハ中庸ナルカ或ハ短シ。前翅ハ大抵綠色ヲ呈シ、5脈ハ4脈ニ近ク出ヅ。後翅ハ1。ヲ缺キ、8脈ハ彎曲シテ 第七十三圖 もんきこみざりノ翅脈 一部分室ノ上縁ト連結ス、往々5脈ヲ缺ク。幼蟲ハ微毛ヲ有スルカ或ハ殆ンド裸體ニシテ、舟形ノ繭ヲ營ム。

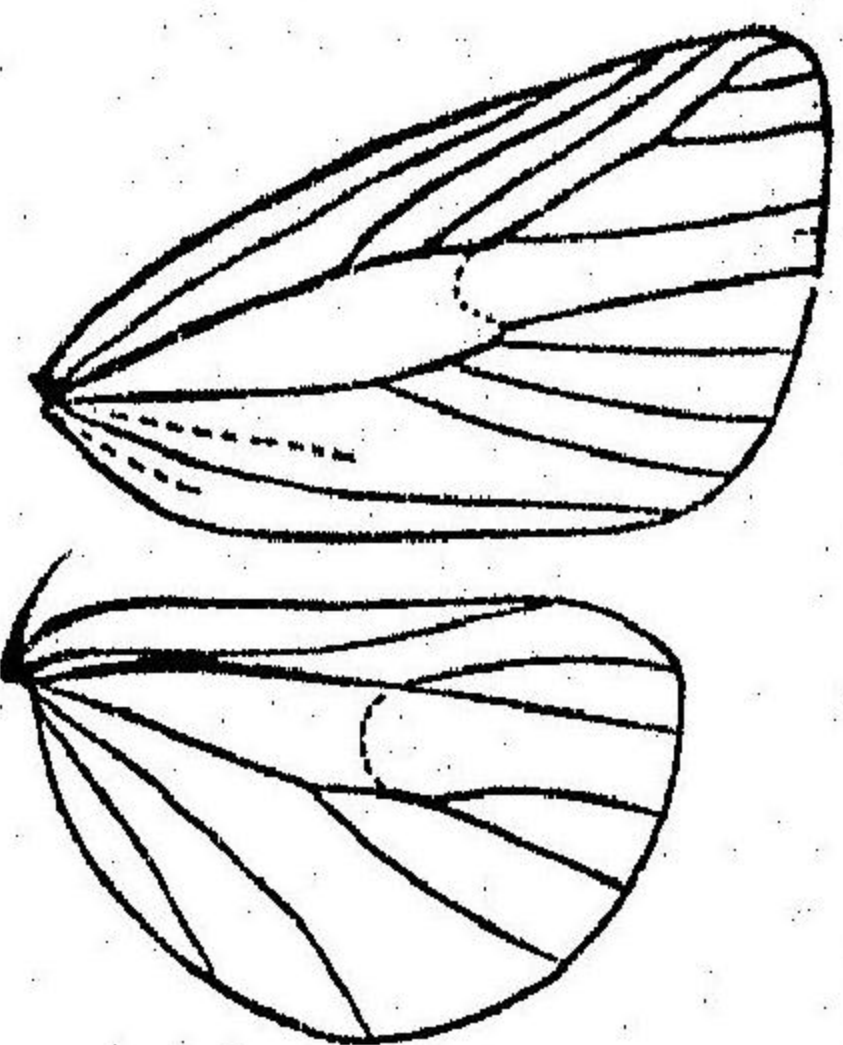
二二七、もんきこみざり *Epris ornataria* Walk.

前翅ハ稍長方形ニシテ鮮綠色ヲ呈シ、外縁ハ黒褐ナリ、基部ヨリ前縁ノ中央ニ沿ヒ黄褐色ノ楔形紋アリ。後翅ハ白色ニシテ眞珠光ヲ發ス。小形ナリ。幼蟲ハ綠色或ハ黄白ニシテ、綿ノ蒴果ヲ食害ス。

二二八、あかへりしろすぢこみざり *Halius prasiana* L.

前翅ハ綠色ニシテ二箇ノ白斜條ヲ有シ、雄ハ淡紅色縁ヲ有シテ、雌ハ淡黄色縁ヲ有ス。後翅ハ白色ナリ。前種ニ比スレバ大形ナリ。幼蟲ハ黄綠色ニシテ黄點、黄線ヲ有シ、櫛、はんのき等ノ葉ヲ食フト云フ。 二二九、しろすぢこみざり *Hylophila bicolorana* Fernal.

前種ニ似テ、二箇ノ白斜條ヲ有シ、縁毛ハ白色ニ、後翅ハ白色ナリ。幼蟲ハ黄綠色ニシテ黄條ヲ有シ



楮ノ類ヲ食フト云フ。

第十 地衣蛾科 Lithosiidae

小形ノ蛾ニシテ、觸角ハ短ク絲狀ヲ呈シ、雄ニハ微毛ヲ生ゼリ。前脚ニ葉狀片ヲ有シ、後脚ニ二對ノ距ヲ有ス。單眼ヲ缺キ、唇鬚ハ中等大或ハ短小ナリ。前翅ノ8ト9脈トハ柄ヲ有シ、往々5脈ヲ缺ク室ハ十分ニ閉サレズ。後翅ノ不完全横脈ハ角ヲ有シ、7ト8脈トハ基部全ク結合スルカ又ハ一部分連結セリ。幼蟲ハ疣狀突起ヲ有シテ毛ヲ生シ、地衣類ヲ食ヒテ繭ヲ營ム。夜飛的ノモノ多ケレドモ、或ハ白晝飛ブモノアリ。

第七十四圖 へりあかくろすぢノ翅脈

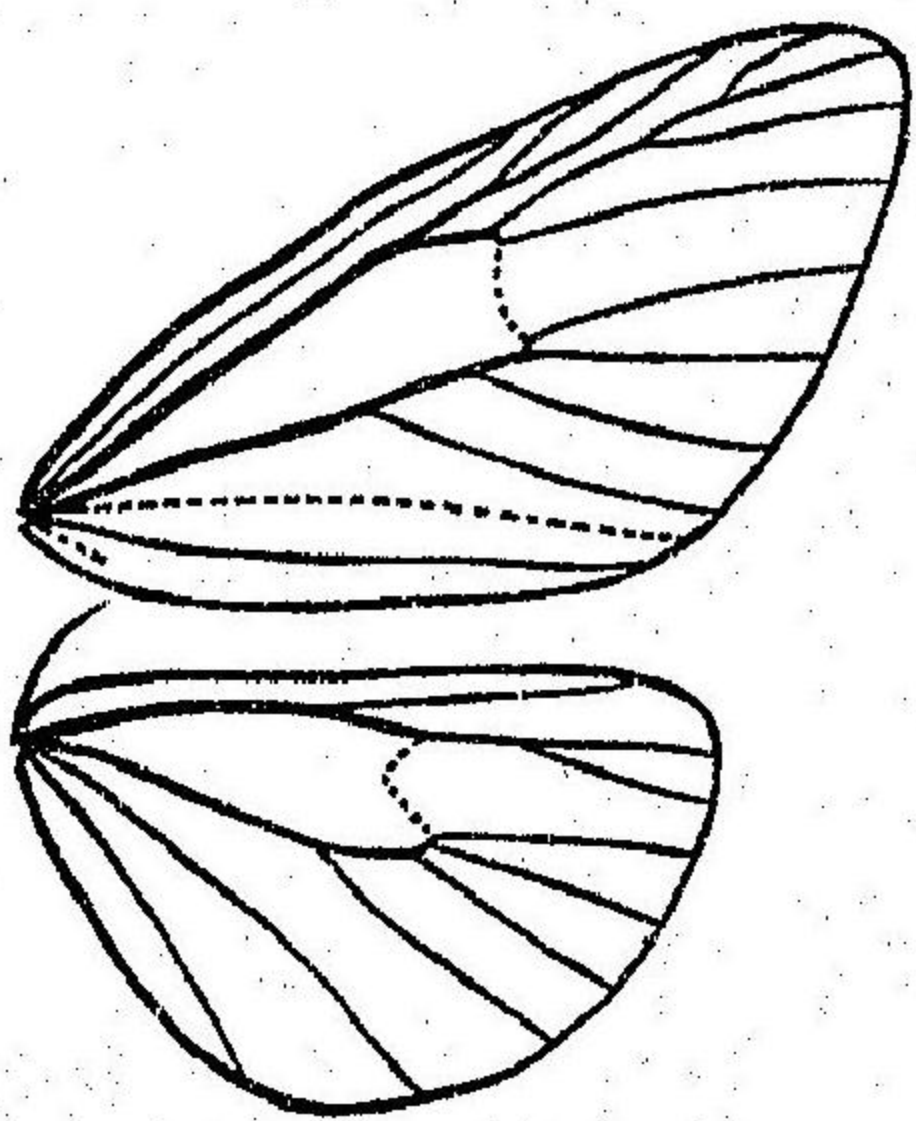
二二〇、こまだらはいしたば *Aemene fasciata* But. (第二版第八圖)

前翅ハ灰白色ニシテ黑色點ヲ散布シ、後翅ハ灰色ナリ。

二二二、へにいろめなみ *Miltochrista aberrans* But.

前翅ハ橙紅色ニシテ基部ニ黒點ヲ散布シ、中部ニ二箇ノ黑色彎曲線アリテ往々中央ニテ連結シ十字形ヲナス、後横線ハ波形ニシテ、其外ニ點線ヲ有シ、共ニ黑色ナリ。後翅ハ淡橙紅色ナリ。

二二三、へにいろめなみ *Miltochrista rosaria* But.



前種ニ似テ中央彎曲線ハ接近セズ、後翅ハ殆ンド白色ヲ呈ス。

二二三、へにいろめなみ *Miltochrista calamina* But.

翅ハ黄色ニシテ紋理ハ前二種ニ類似シ、後翅ハ淡黄色ナリ。幼蟲ハ淡綠色ニ黄色線ヲ有シ、長毛ヲ生ジテ、藤ノ葉ヲ食フト云フ。

二二四、へにいろめなみ *Miltochrista torrens* But. (第二版第十九圖)

色ハへにいろめなみに似テ、前翅ノ中部ニ二箇ノ黑色波形線ヲ有シ、其外方及ビ内方ニハ黑色ノ短縦線十數箇ヲ有スルコト常ナレドモ、不明ナルコトアリ。

二二五、あかまだら *Miltochrista pulchra* But. (第二版第十六圖)

着色ニハ種々ノ變化アレドモ、前翅ハ黄色ニ赤色ノ短縦線ヲ散布シ、前縁ヨリ内縁ニ亘リテ灰色ノ帶或ハ條三箇アリ、多クハ點狀ヲナス。後翅ハ淡橙紅色ナリ。此科中大形ノ種ナリ。

二二六、あかへりくろすぢ *Melanema venata* But. (第一版第十九圖)

兩翅共ニ淡橙黄色ニシテ、前縁及ビ外縁部ハ共ニ赤色ヲ帶ベリ。翅脈黑色ナルニヨリ一見識別スベシ。

二二七、きべりうすねすみ *Lithosia adauca* But. (第二版第七圖)

前翅ハ暗灰色ニシテ、前縁黃褐色ヲ帶ビ、縁毛ハ白色ヲ帶ブ。後翅ハ淡葉色ニシテ、胸部ハ暗灰色、頭及ビ肩部ハ黃褐色ニ、腹ハ灰白色ナリ。

二二八、うすきねすみ *Liliosia pavescens* But.

着色大小ハ種々アレドモ淡黄色ニ灰色ヲ帯ブルコト多ク、或ハ前翅ノ外縁ニ黄褐帯ヲ有スルコトアリ。後翅モ黄褐色ニテ縁トラル、コトアリ。L. laevisハ是ガ異名ナリ。

二二九、ひめきべりうすねすみ *Liliosia griseola* Hib.

きべりうすねすみニ似テ小形ナリ。幼蟲ハ黑色ニシテ前方ニ赤點ヲ有シ、背ニ二箇ノ赤線ヲ有シ、樹木ニ生ズル地衣ヲ食フト云フ。

二三〇、ほしすぢねすみ *Liliosia muscerla* Hib.

兩翅共ニ鼠灰色ニシテ、前翅ニ黒點ノ連続シテ横線ヲ形成セルアリ。幼蟲ハ天鵝絨狀黒褐色ニシテ、三箇ノ黒縦線ト赤灰側線トヲ有シ、柳ニ生ズル地衣ヲ食フト云ヘリ。

二三一、さべりねすみ *Aeglya colitoides* But. (第二版第十二圖)

前翅ハ鼠灰色ニシテ黄褐色前縁條ヲ有シ、後翅ハ多少淡色ナリ。翅基鱗片、肩胛片等ハ黄褐色ニシテ、腹ハ灰色ナリ。

二三二、かばいろふたほし *Onistis quadra* L. (第三版第九、第十八圖)

雄ノ前翅ハ灰黄色ニシテ、基部ハ前縁ニ沿ヒテ黑色ヲ呈シ、後部ハ黄褐色ナリ、外縁部暗色ヲ帯ビテ、後翅ハ淡黄色ナリ。雌ノ前翅ハ橙黄色ニテ二黒斑ヲ印シ、後翅ハ雄ニ同ジ。幼蟲ハ黑色ニシテ白條及

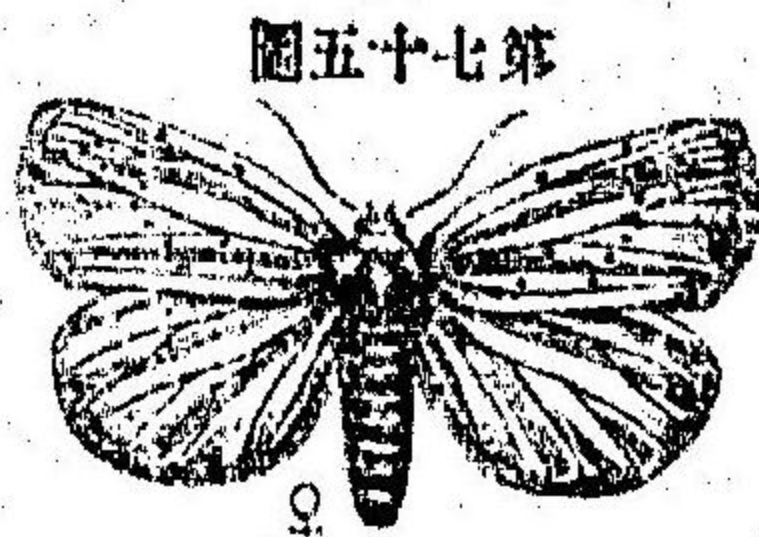
ビ灰藍色條ヲ混ジ、赤褐色ノ顆粒ヲ有シ、有毛ナリ。樹木及ビ屋根ニ生ズル地衣類ヲ食フト云フ。

二三三、さいろごまだら *Setina flava* Brem. et Grey. (第七十五圖)

前翅ハ濃黄色ニシテ黒點ヲ散布シ、後翅ハ少シク淡色ニシテ無紋ナリ。

二三四、あかすぢしろば *Chionema hanata* Walk. (第二版第十四圖)

前翅ハ白色ニシテ、基部ト外縁ニ各一箇、又中央ニ二箇ノ赤色横條アリ、黒色ノ室點ヲ有ス。後翅ハ淡紅色ナリ。



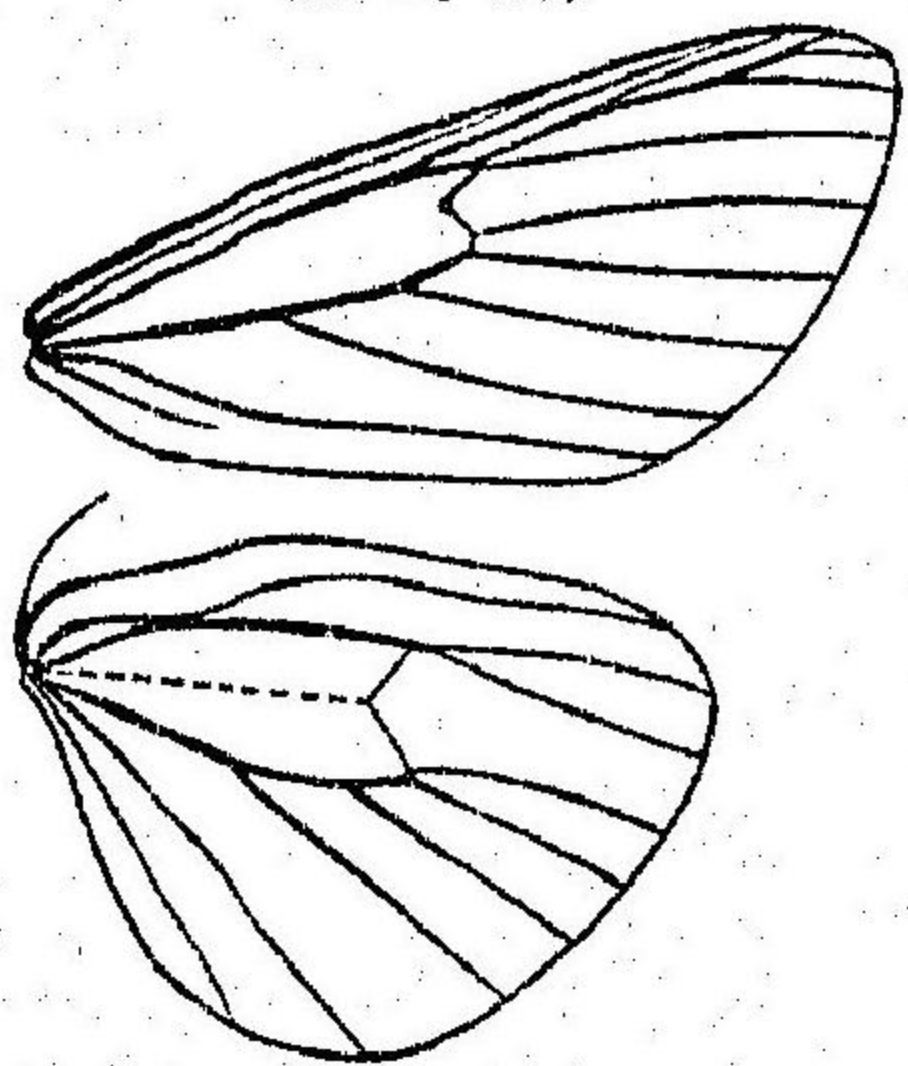
第七十五圖

さいろごまだら

### 第十一 燈蛾科 Archidae

中形或ハ大形ノ蛾ニシテ美麗ノ彩色ヲ有スルモノ多ク、前科ニ似タル點多シト雖モ單眼ヲ有シ、吻ハ發育ス、往々短クシテ柔ナルコトアリ。觸角ハ櫛齒狀ニテ、前翅ノ長サノ半ニ達セザルモノ多ク、脛節ノ距ハ短シ。前翅ノlaハlbヨリ離シ、5ハ室ノ下角ヨリ、6ハ上角ヨリ發ス。後翅ハlaヲ有シ、1cヲ缺ク、往々4ヲモ缺ク、5ハ室ノ下角ヨリ出デ、6ト7トハ往々合併ス、8ハ室ニ連接セリ。幼蟲ハ疣狀突起ヲ有シテ剛毛ヲ生ジ、繭ヲ營ム。

第七十六圖



脈翅ノへたるしかあらは



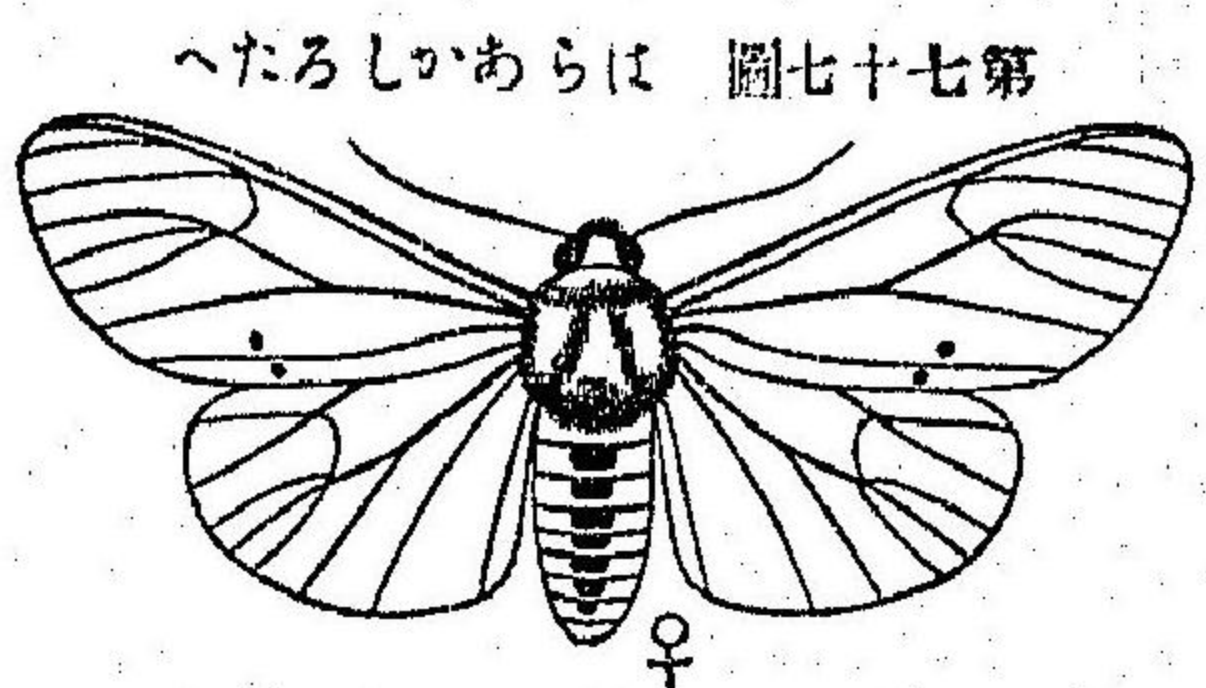
二四四、をすぐろしろたへもどきクハケムシノガ、ユマフテフ、ユイダラテフ *Spilarectia imparilis* But.  
前種ノ如ク雄ハ暗黒色ニシテ、腹部黄色ヲ呈シ、雌ハ兩翅共ニ黄白色ニシテ、前翅ニ數十ノ暗色點ヲ有シ、後翅ノ臀角ニ接シテ數箇ノ暗色點アルコトアリ、又無キアリ。幼蟲ハ黒褐色ニシテ黄紋、黄條ヲ有シ、長毛ヲ生ズ、桑ノ害蟲ナリ。

二四五、はらあかほしすぢ *Spilarectia rosacea* But. (第二版第九圖)  
雄ノ前翅ハ黄色ニシテ、内縁ヨリ翅尖ニ黒色ノ點線ヲ有シ、他ニ黒點數箇アリ、後翅ハ肉色ヲ呈ス。雌ハ兩翅共ニ淡黄色ナリ。腹ハ共ニ赤色ニシテ、背ニ黒紋ヲ縦列セリ。

二四六、はらあかひとすぢ *Spilarectia ione* But.  
前種ニ似テ、淡黄色ヲ呈シ、前翅ニ翅尖ヨリ斜ニ暗色條ヲ發シ、後翅ニ黒色室點及ビ翅尖ニ一箇、臀角ニ近ク三箇ノ黒點アリ。

二四七、はらあかうすぢ *Spilarectia mollecula* But.  
前種ニ似テ、翅ハ淡紅色ヲ帶ビ、兩翅ニ黒色室點ヲ有シ、前翅ニ暗條ナクシテ翅尖ニ近ク黒點ヲ有シ、後翅ノ外縁部ニ暗黒點數箇ヲ有ス。

二四八、はらあかしろたへ *Spilosoma erubescens* Moore. (第二版第七圖)  
兩翅共ニ雪白色ニシテ、往々前翅ノ内縁ニ近ク二箇ノ黒點ヲ有ス。腹ハ赤色ニ



シテ、背ニ黒斑列ヲ有ス。幼蟲ハ褐色ノ粗毛ヲ密生シ、種々ノ植物ノ葉ヲ食フ。

二四九、きはだごまふしろたへ *Spilosoma menthastris* Fabr. (第二版第一圖)  
前翅ハ白色ニシテ黒色斑點數十箇ヲ散布シ、後翅モ白色ニシテ黒斑數箇アリ。腹ハ黄色ニシテ背ト両側ニ黒斑列アリ。幼蟲ハ暗褐色ニシテ藍色ノ疣狀突起ヲ有シ、毛總ヲ有ス。桑、櫻等ノ害蟲ナリ。

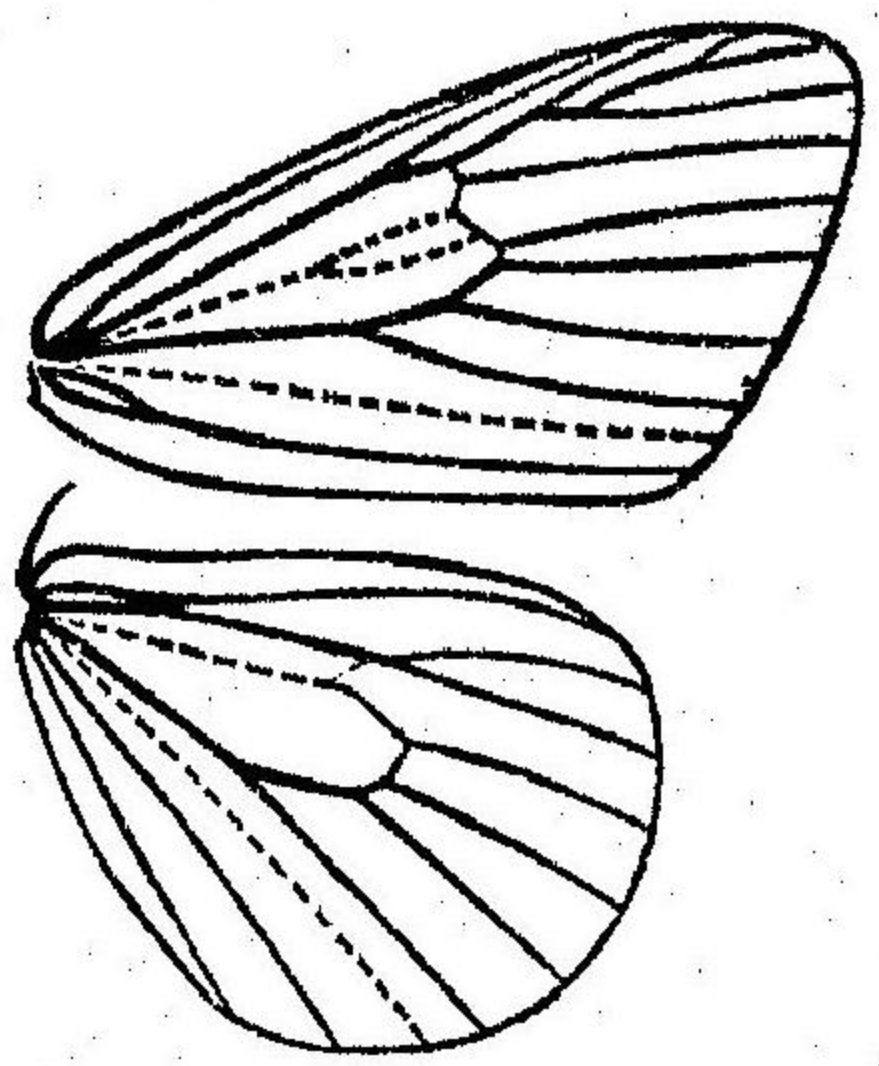
二五〇、はらあかふたすぢ *Diacrisia bifasciata* But. (第二版第十五圖)  
翅ハ黄色ニシテ前翅ノ中央ニ二箇ノ黒帶ヲ有シ、内縁ニ近ヅキテ結合セリ。但シ脈ニテ切斷セラレテ斑列狀ヲナス。腹ハ橙赤色ニシテ黒紋ヲ縦列セリ。

二五一、はらあかまたら *Diacrisia Lewisii* But.  
前翅ハ白色ニシテ、黒色ノ斑條數箇ハ翅脈ニ沿ヘリ。後翅ニ黒斑數箇アリ。頭部及ビ腹部ハ赤色ニテ腹背ニ黒紋列アリ。

### 第十二 毒蛾科 Liparidae

成蟲ハ長キ毛狀鱗ニテ體ヲ被ヒ、單眼ヲ有シ、吻ハ發育セズ。雄ハ櫛齒狀觸角ヲ有シ、雌ハ櫛齒短シ。前翅ノ1脈ハ1脈ト連結セズ、1脈ヲ缺ク、7ト8脈トハ9脈ヨリ出ヅ。後翅ニハ1脈ヲ有シ、5脈ハ4脈ニ近ク出ヅルカ又ハ缺乏セリ。往々雌ニ翅ヲ缺クモノアリ。卵ハ球狀ニシテ平滑ナリ。幼蟲

第八十七圖



脈翅ノみなとさるぐすな

ハ有毛ニシテ總毛ヲ有シ、繭ヲ營ムニ毛ヲ混ズ。幼蟲ノ毛及ビ成蟲ノ鱗ハ人ノ皮膚ニ觸レテ癢衝ヲ發セシムルモノアリ。  
二五二、こしろたへ *Kimikamimiga* *Euproctis* (*Porthesia*) *similis* *Fuesl.* (第二版第十圖)  
翅ハ雪白色ニシテ、前翅ノ前緣角ニ近ク暗色ノ二點アリ、往々之ヲ缺ク、尾端ニ黄色毛ヲ叢生ス、幼蟲ハ桑ノ金毛蟲ニシテ、桑、

梅、櫻、棗、すぐり等ノ葉ヲ食フ。

二五三、をびうこん *Melakamimiga* *Rimikondokkamimiga* *Artaxa intensa* *But.* (第二版第十二圖)

翅ハ黄色ニシテ、前翅ニク形ノ褐色横帯アリ、往々分明ナラズ、翅尖ニ近ク黒褐點二箇ヲ有スルコトアリ、幼蟲ハ橙黄色ニシテ黒色線條ヲ有シ、薔薇、苹樹、梨等ヲ害スル毛蟲ナリ。

二五四、をすぐろうこん *Chakamimiga* *Artaxa conspersa* *But.* (第三版第二十圖)

通常雄ハ黒褐色ニシテ前翅ニ灰黒色ノ二箇ノ彎曲線ヲ有シ、雌ハ黄色ニシテ前翅ニ黒褐細點ヲ散布シ、二箇ノ彎曲線ヲ認ムベク、共ニ翅尖ニ近ク二箇ノ黒點ヲ有スレドモ、第二回ノ發生ニ於テハ雄ノ色彩殆ンド雌ニ類セリ。幼蟲ハ茗ノ毛蟲ニシテ、淡黄綠色ニ白毛ヲ生ジ、灰藍色ノ線條ヲ有シテ、ちや、つばき、さかんか等ノ葉ヲ食フ。

二五五、たほをすぐろうこん *Nigima* (*Cherotricha*) *niphonis* *But.*

前種ニ似テ大形ナリ、後翅ニ黒色ノ室點ヲ有ス。

二五六、はらぐろをびうこん *Nigima* (*Cherotricha*) *Staudingeri* *Leech.* (第三版第五圖)

濃黄色ニシテ、前翅ノ基部ト中央ニ褐色ノ廣帯ヲ有シ、黒色ノ室點アリ。腹部ノ中央ハ黒色ナリ。

二五七、ほしうすいろうこん *Ara* *Jonasii* *But.* (第二版第六圖)

前翅ハ淡黄色ニシテ、翅尖淡褐色ヲ帯ビ、淡褐色ノ室紋アリ。後翅ハ前翅ヨリ一層淡色ナリ。

二五八、うすばしろたへ *Leucoma subvirea* *Walk.*

殆ンド白色ニシテ翅脈ハ淡黄色ナリ。

二五九、うすぐもしろたへ *Aretomis* (*Leucoma*) *auripes* *But.* (第二版第五圖)

白色ニシテ翅脈ハ淡黄色ヲ呈シ、前翅ノ前緣部ハ黒色ニテ曇レリ。幼蟲ハ藍黒色ニシテ、黒色ノ疣ヲ有シテ長毛ヲ生ジ、みづきノ葉ヲ食フ。

二六〇、またらうすまぬ *Deroca* *phasma* *But.*

翅ハ白色半透明ニシテ、前翅ノ中央及ビ前緣、外縁ニ亘リテ暗色斑ヲ有シ、後翅ノ外縁部ニモ暗色斑數箇アリ、孱弱ナル蛾ナリ。

二六一、うすばいろが *Laelia coenosa* *Hüb.*

雄ノ前翅ハ帶赤灰色ニシテ、外縁ニ近ク不明ナル暗色點線ヲ有シ、後翅ハ灰白色ナリ。雌ハ暗白色ニシテ紋理ナシ。幼蟲ハ黄灰色ニシテ背ニ四個ノ黄毛總ヲ有シ、莎草科植物ヲ食フト云フ。

二六二、くもがたくちば *Cifuna locuples* Walk. (第三版第十三圖)

前翅ハ褐色ニシテ濃色ノ彎曲條帶數箇アリ、後翅ハ淡黄褐色ナリ。

二六三、をすしろはしなみ *Notolophus (Oregia) gonostigma* Linn.

雄ハ前翅赤褐色ニシテ、翅尖ニ近ク白色紋ト赤色紋ヲ有シ、内角ニ近ク又一白紋アリ、後翅ハ黒褐色ナリ雌ハ翅ヲ有セズ。幼蟲ハ黒色ニシテ橙色線ヲ有シ、背上ニ黄褐毛束ヲ有シ、前端及ビ後端ヨリ黒毛ヲ有セリ。りんご、櫻、梨等ノ葉ヲ食フ。

二六四、ひめをすぐろさなみ *Notolophus (Oregia) thyllinus* But.

雄ハ暗褐色ニシテ黄褐ヲ混ジ、翅尖ニ近ク黒點、内角ニ眼形紋アリ。雌ハ灰黄色ニシテ前翅ニ淡黄褐ノ波條ヲ有シ、暗斑數個アリ。幼蟲ハ暗黒ニ橙色線ヲ有シ、兩側ニモ毛束ヲ生ズ。梨、りんご等ヲ害ス。

二六五、あしぐろしろたへ *Silpnotia salicis* L.

雪白色ニシテ觸角及ビ脛節、跗節ノミ黒色ナリ、翅ハ鱗ヲ被ルコト多少薄シ。幼蟲ハ黒色ニ白赤色ヲ點ジ、はこやなぎ類ノ葉ヲ食フ。

二六六、をすぐろさなみ *Porthetria disper* L.

雌ハ灰白色ニシテ兩翅ニク形黒褐紋ヲ有シ、外縁ニ八箇ノ黒褐紋アリ、前翅ニ數箇ノ暗色齒牙形條ヲ有シ、後翅ニ一箇ノ彎曲條アリ。雄ハ殆ンド暗黒ニシテ、紋理ハ略雌ニ同ジ、可ナリ大形ナリ。幼蟲ハ褐色ニシテ藍色及ビ赤褐色ノ疣狀突起ヨリ長毛ヲ生ジ、梨、櫻、はんのき等ノ葉ヲ食フ。

二六七、をすぐろさなみ *Porthetria aurora* But.

前種ニ似タレドモ、雌ノ後翅及ビ腹部ハ淡赤色ヲ帶ブルニヨリ區別スベシ。幼蟲ハかしは、なら、くぬぎ等ヲ害ス。

二六八、はらあかさなみ *Porthetria monacha* L.

前翅ハ白色ニシテ齒牙形黒條數箇ヲ有シ、後翅ハ灰褐色ニシテ外縁部白ク暗色點數箇アリ、腹ハ赤色ヲ呈ス。幼蟲ハ櫛、林檎、ぶな松、樅等ヲ害ス。

二六九、しりあかさなみ *Porthetria fumida* But.

をすぐろさなみニ酷似スレドモ、腹部ノ末端ニ紅色ヲ帶ブルヲ以テ區別スベシ。

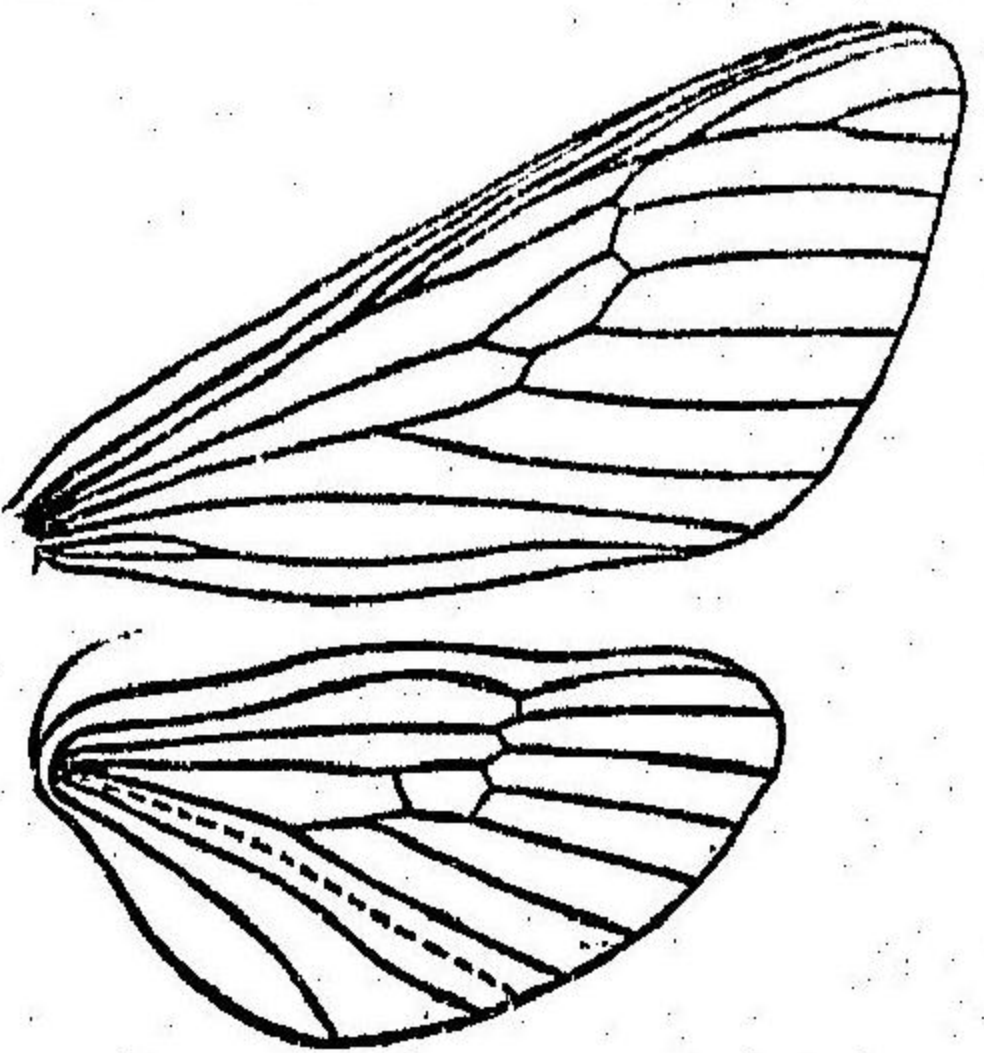
二七〇、こさなみ *Dasychira abietis* Esp. ?

前翅ハ灰白色ニシテ暗色ノ波形線數箇アリ、後翅ハ暗灰色ナリ、幼蟲ハ綠色ニシテ背部ニ橙色ノ毛束四箇ヲ、前端ニ黒色ノ毛束二箇、尾端ニ橙黄色毛束一箇ヲ有ス。杉ノ害蟲ナリ。

第十三 木蠹蟲蛾科 *Zeuzeridae* or *Cossidae*

頭部ハ毛ヲ粗生シ、單眼ヲ有シ、吻ハ發育セズ、觸角ハ前縁ノ二分ノ一ニ達セズ、唇鬚ハ甚ダ短クシテ末節尖レリ。胸部ノ下面ハ多毛ニシテ、腹部長ク臀角ヲ超過セリ。腿節ハ多毛ニシテ、後脚ノ脛節ニハ中距ヲ缺ク。前翅ノ7脈ト8脈トハ柄ヲ有シ、9脈ハ基部ニ近ク8ト合セリ。兩翅共ニ室中ヲ貫ケルY狀中脈ヲ有ス。幼蟲ハ草木ノ莖幹中ニ蠶入シ、繭ハ重ニ嗜食植物ノ屑片ニテ形成セラル。

第七十九圖 ぶらうすばりノ翅脈



二七一、こまふうすばり *Zeuzera pyrina* L.

翅ハ白色ニ黄色ヲ帯ビ、藍光黑色小斑ヲ散布ス。胸部ハ白色ニシテ藍黑色斑ニ列アリ。雄ノ觸角ハ櫛齒狀ニシテ尖端急ニ曲レリ。幼蟲ハ黄白色ニシテ黒斑ヲ有シ、りんど、つらら等ノ樹幹ニ蠶入ス。

二七二、ふたいろうすばり *Bireta pallida* But.

前翅ハ淡黄色ニシテ幽ニ淡褐色ノ斑帯ヲ認ムベク、翅尖ヨリ斜ニ内方ニ走レル褐色線アリ。後翅ハ殆ンド白色ニシテ淡褐ヲ帯ブ。此種ニ二形アリテ、一ハ他ヨリモ前翅狭シ。幼蟲ハすゝきの莖中ニ蠶入

スト云フ。

二七三、さびなみまだら *Hypopta cossus* L. ?

前翅ハ灰色ニシテ、暗褐色ノ切斷波形成線數箇前縁ヨリ内縁ニ走り、三四箇濃厚ナリ。後翅ハ暗灰色ニシテ、縁部ニ少シク波形成線ヲ有ス。幼蟲ハ背部黒褐ニシテ、側部黄色ニ赤線ヲ有シ、柳、樺、なら等ノ樹幹ニ蠶入ス。

二七四、こまふうすばり *Phragmatocia castaneae* Hüb.

前翅ハ淡黄褐色ニシテ、翅脈間ニ不明ノ暗短線ヲ點ズ。後翅ハ甚ダ淡キ黄褐色ナリ。幼蟲ハ黄白色ニシテ淡紫線ヲ有シ、よし類ノ幹ニ蝕入スト云フ。

第十四 蝙蝠蛾科 *Hepialidae*

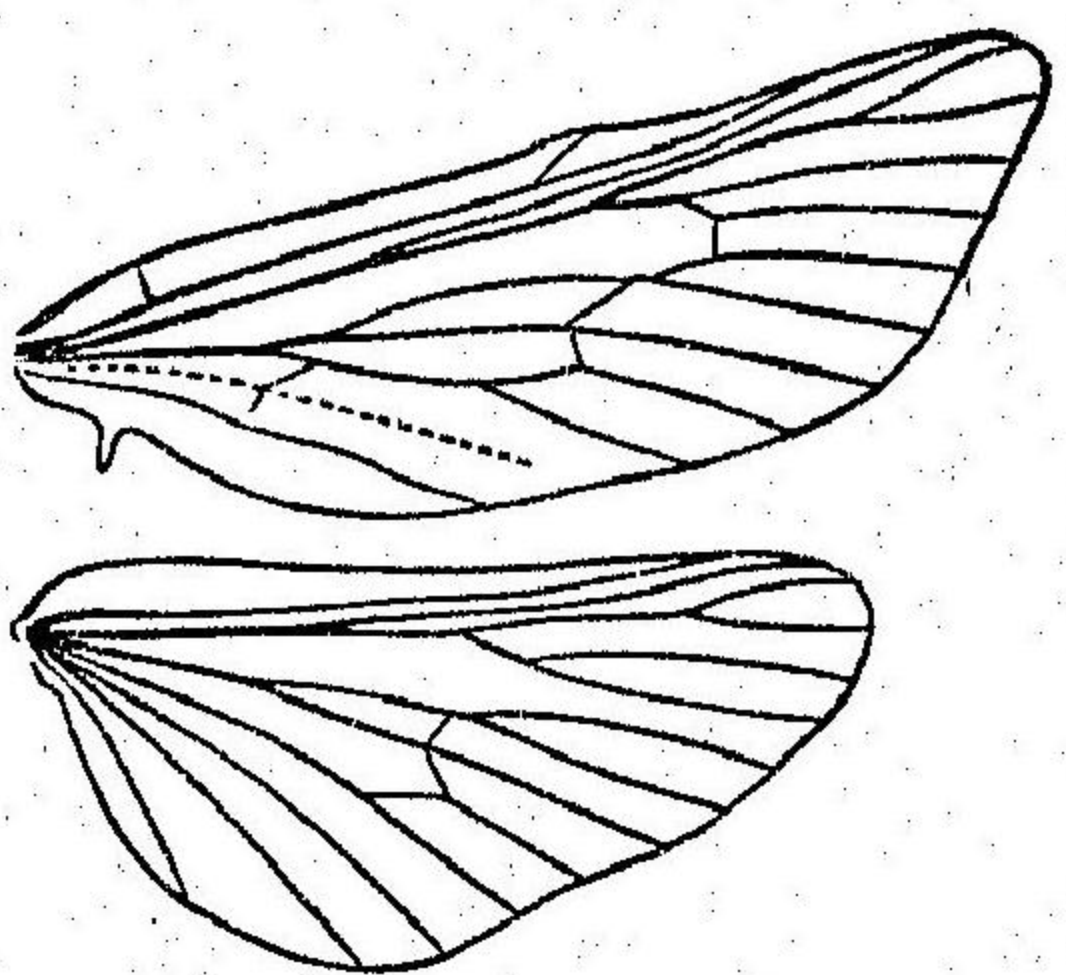
單眼ヲ缺キ、吻ハ發育セズ、唇鬚ハ短クシテ下ニ垂レ、多毛ナリ。前後翅共ニ畧同一ノ脈ヲ有シ、特ニ前翅ニ垂翅ヲ有シ、後翅ニハ翅刺ヲ缺ク。幼蟲ハ前科ノ如ク樹幹ニ蠶入ス。

二七五、くもがたかうもりクサヤノシンクヒガ *Hepialus exarsens* (aemulus) But. (第一版第六圖)

前翅ハ茶褐色ニシテ濃色ノ雲紋ヲ有シ、後翅ハ暗褐色ヲ呈ス。兩翅共ニ狭長ニシテ畧同形ナリ。後脚



第八十圖 くもがたかうもりノ翅脈



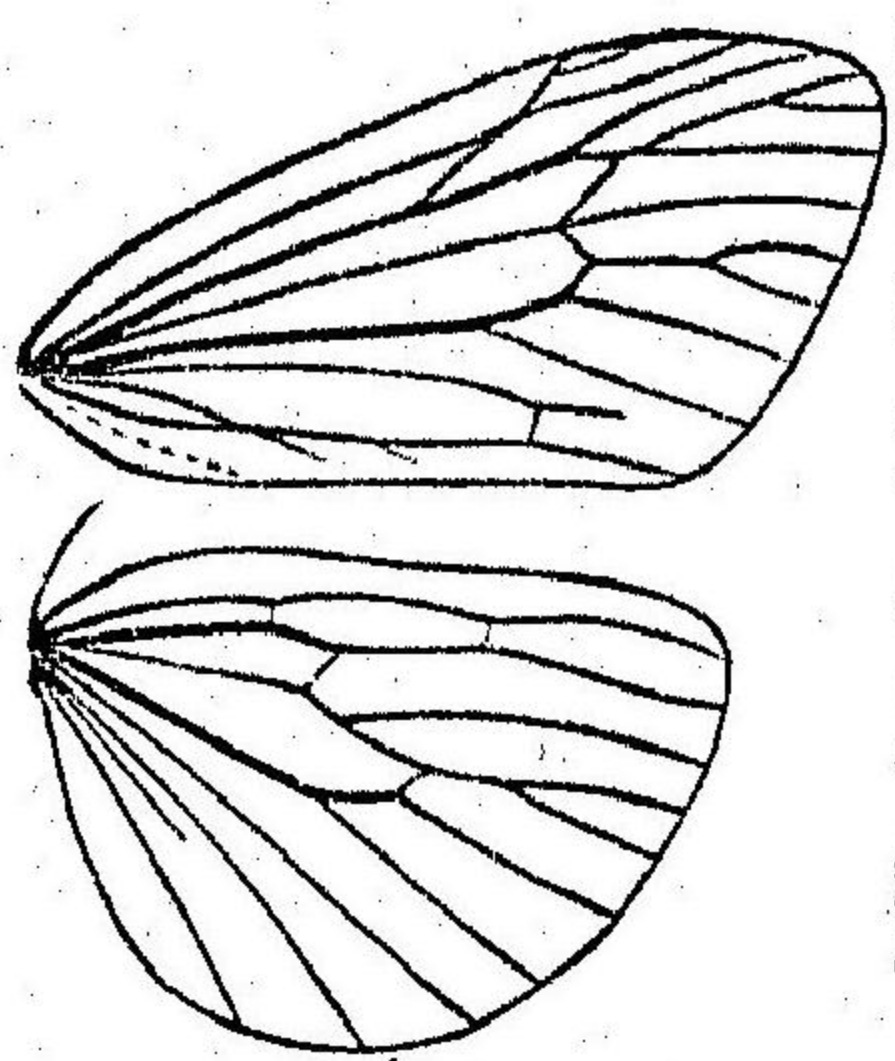
ハ退化シテ短ク、前、中脚ハ長大ニシテ、静止ノ際ハ此兩對ニヨル大形ニシテ黄昏飛翔スルヲ以テ一見蝙蝠ノ觀ヲ呈ス。幼蟲ハ淡黄色ニシテ、頭部ハ淡褐色ヲ呈シ、十六脚ヲ有ス。くさざ、さり其他種々ノ樹幹ニ蝨入ス。俗ニいさいばたノ名アリ。

二七六、えぞひめかうもり *Hepialus lectus* L.

前種ニ比スレバ小形ニシテ、前翅ハ黄褐色ニ黄白斑ヲ有シ、金性光ヲ放ツ。後翅ハ暗灰色ナリ。北海道ニ産ス。

### 第十五 避債蟲蛾科 Psychidae

第八十一圖 なすうすいみノ翅脈



小形暗色ノ蛾ニシテ、雌ハ翅ヲ缺ク。頭部ハ密毛ヲ生ジ、觸角ハ翅長ノ二分一以下ナリ。雄ハ先端ニ至ルニ從ヒ櫛齒狀ヲ呈ス。前翅<sub>1a</sub>ハ中脈ノ前ニテ<sub>1b</sub>ト交通シ、<sub>1c</sub>若シ存スレバ<sub>1b</sub>ト合併ス、<sub>7</sub>脈ヲ缺ク。後翅ノ<sub>8</sub>脈ハ短條ニヨリテ室ノ上縁ニ連接セリ。幼蟲ハ枝葉ノ小片ヲ絹絲ニテ綴リテ鞘ヲ作り、其内ニテ蛹化ス。

二七七、なすうすいみ *Eumeta minuscula* But.

### (第一版第五圖)

翅ハ暗灰褐色ニシテ、翅脈ハ黑色ヲ呈シ、腹部ハ後翅ノ臀角ヨリ超過セリ。幼蟲ハ茗、梨、櫻等ヲ害ス。

二七八、ねほをすうすいみ *Eumeta crameri* Westw.

前種ニ比スレバ大形ニシテ、幼蟲ハ柳ヲ害ス。

二七九、ひめをすうすいみ *Psyche unicolor* Hufn.

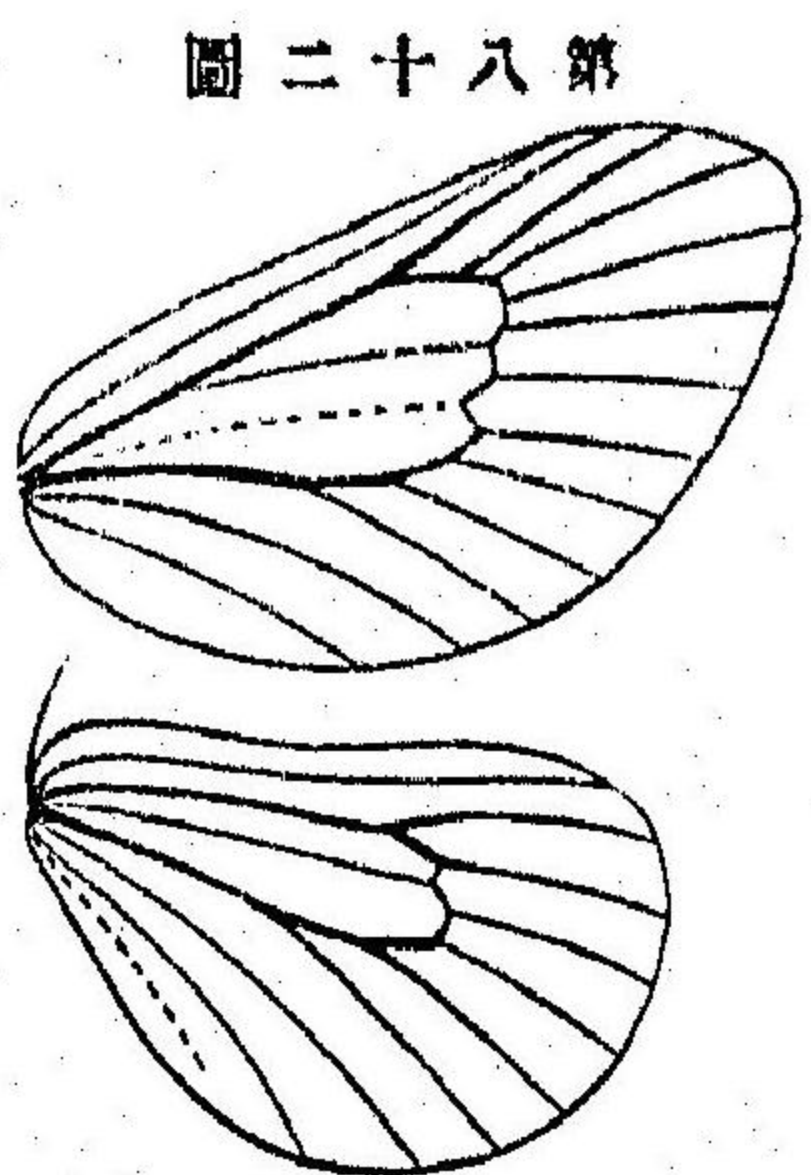
前二種ヨリモ一層小形ニシテ暗灰色ヲ呈シ、腹部ハ短シ。幼蟲ハ桑ヲ害ス。

### 第十六 蟬寄生蛾科 Epipropidae

觸角ハ短クシテ、關節數非常ニ少ク、兩翅ノ脈ハ盡ク分離シテ、中央室ハ分割セラル。幼蟲ハ腹脚退化シテ、殆ンド蛆狀ヲ呈シ、蟬ニ寄生ス。繭ハ綿毛様物ニテ被包ス。鱗翅類中寄生ノ生活ヲ營ムモノハ唯此科ニ屬スルモノノミニシテ、世界ニ産スルモノニテ學名アルハ僅カ三四種ニ過ギズ。本邦亦一種ヲ産ス。

二八〇、せみやどりくろば *Epiprops hawaii* Dyar. (第一版第四圖)

展張七分内外ノ小形ニシテ、前翅ハ黑色ニ光輝アル藍碧色ノ漣波形線ヲ並べ、後翅ハ黒褐色ナリ。幼



圖二十八第

脈翅ノばるくりどやみせ

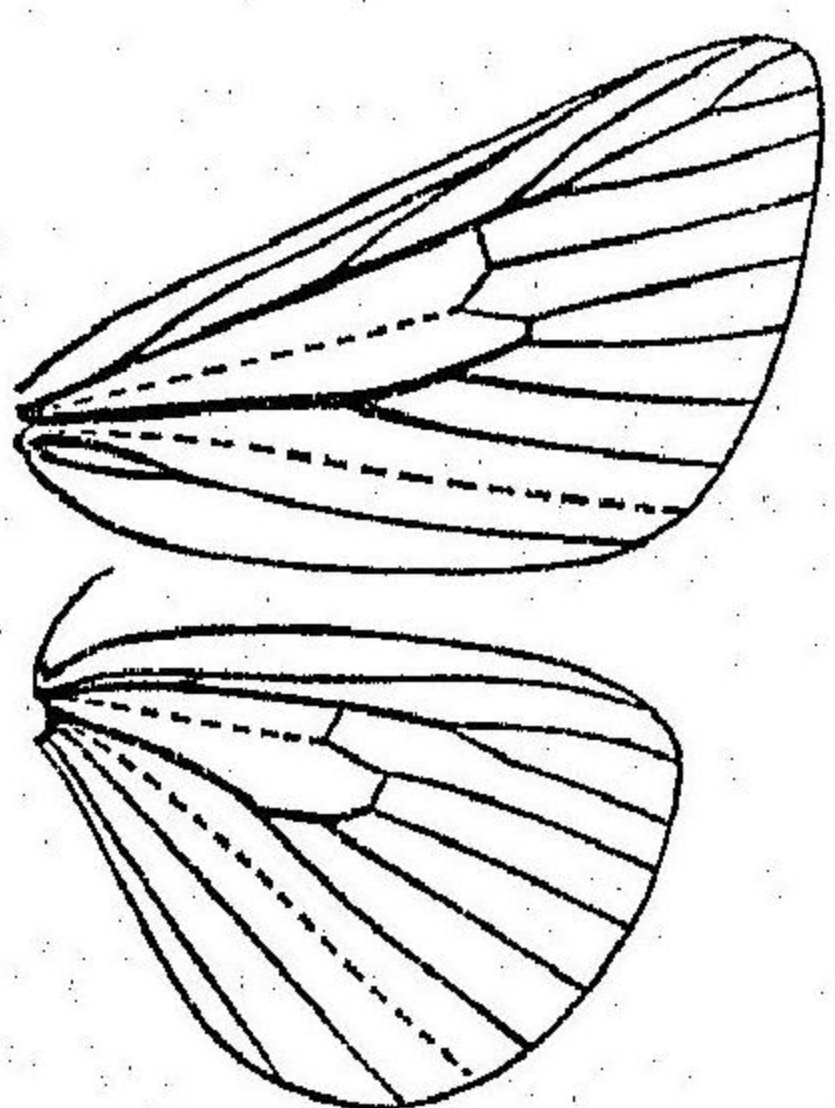
蟲ハ淡黄色ニシテ少シク赤褐ヲ混ジ、白粉ヲ以テ被ハレ、老熟スルニ隨ヒ綿毛様物ヲ生ズルコト甚シ、故ニ之ガ寄生ヲ受ケタル蟬ハ遠クヨリ之ヲ知ルヲ得ベシ。最モ多ク寄生ヲ受クルハひぐらし、みんみん、あぶらせみ等ニシテ、幼蟲老熟スレバ寄主ヲ去リテ樹幹又ハ草葉上ニ營爾ス。白色ノ綿様毛ヲ生ジ橢圓形ナリ。

第十七

刺蟲蛾科

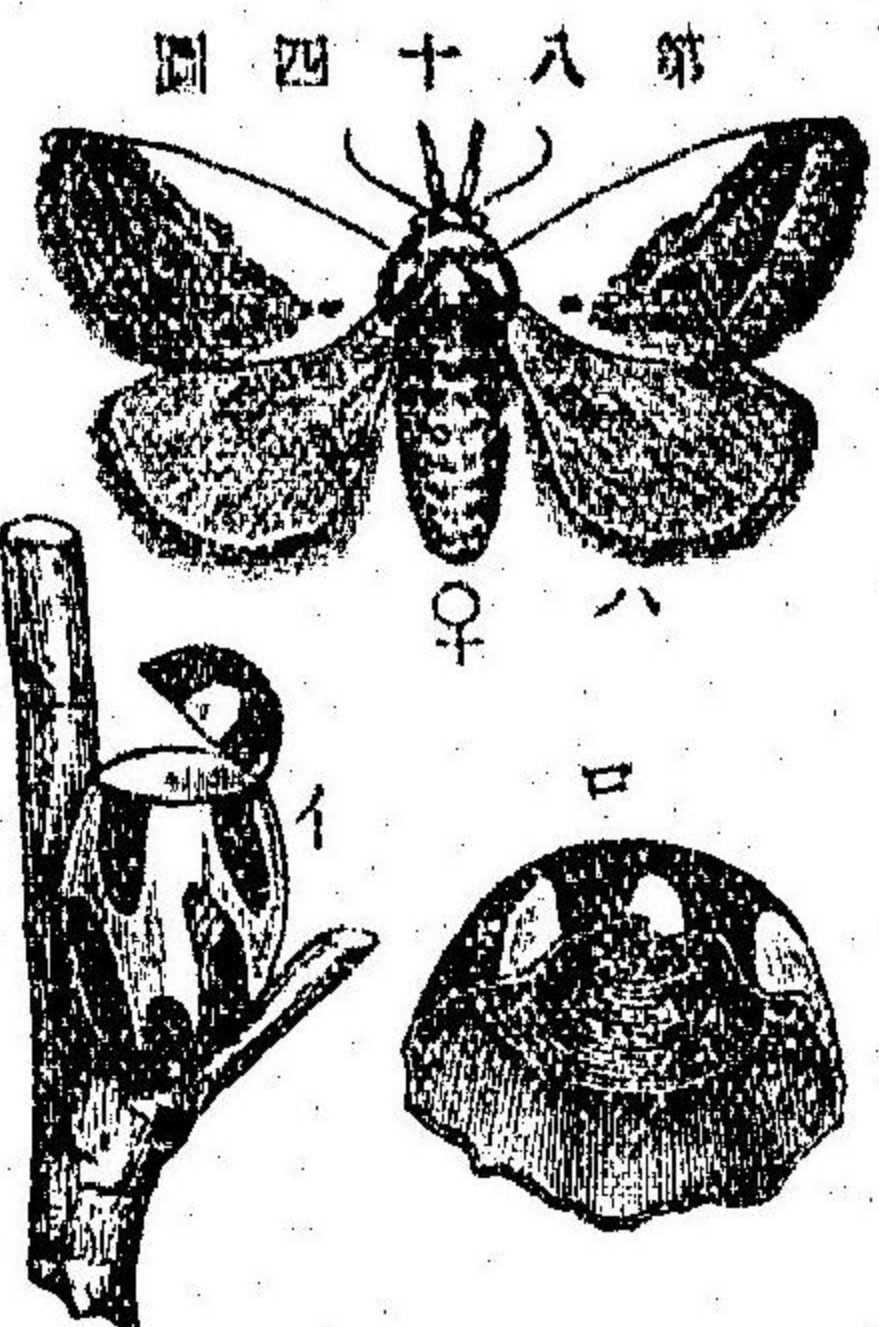
Limacodidae or Eucleidae

夜飛の小形ノ蛾ニシテ、吻ハ退化シ、觸角ハ櫛齒狀ヲナス。前翅ノ1e脈ハ分離シ、後翅ノ4ト5脈トハ多少接近セリ、6ト7トハ柄ヲ有ス、8ハ基部ニ近ク室ト交通セリ。幼蟲ハ多少扁平ニシテ小サキ收縮スベキ脚ヲ有シ、粗毛ヲ有シテ毒液或ハ刺戟液ヲ含ム。蓋シ下部ノ腺ヨリ分泌スルモノナリト謂ヘリ。是レニ觸ル、トキハ激シキ痲衝ヲ發ス。故ニいらむしノ名アリ。堅キ繭ヲ營ム。



二八一、こがねまるばイラムシ。イラムシテフ Monema Flavescens But. (第一版第十八圖)(第八十四圖)

第八十三圖 こがねまるばノ翅脈



こがねまるば (イ) 繭 (ロ) 繭ノ蓋 (ハ) 成蟲

前翅ハ黄褐色ニシテ、基部黄金色ヲ呈シ、前縁ハ黑褐ヲ呈ス、翅尖ヨリ二儻ノ褐色線ヲ發ス、黄褐ノ室紋アリ。後翅ハ淡黄赭色ナリ。幼蟲ハ黄色、綠色、紫色等ヲ混ジテ鮮麗ナル色ヲ呈シ、又枝アル刺毛ヲ有ス。腹脚ハ非常ニ退化セリ。繭ハ堅牢ニシテ俗ニすずめのつば又ハすずめのたまごト呼ブ。 二八二、みどりまるば Parasa sinensis Walk. 前翅綠色ニシテ基部ニ暗灰斑ヲ有シ、外縁部モ亦暗灰色ヲ呈セリ。後翅ハ灰色ナリ。幼蟲ハけやき、梅、桃等ヲ食フト云フ。

二八三、しろすぢまるば Phrixolepia sericea But.

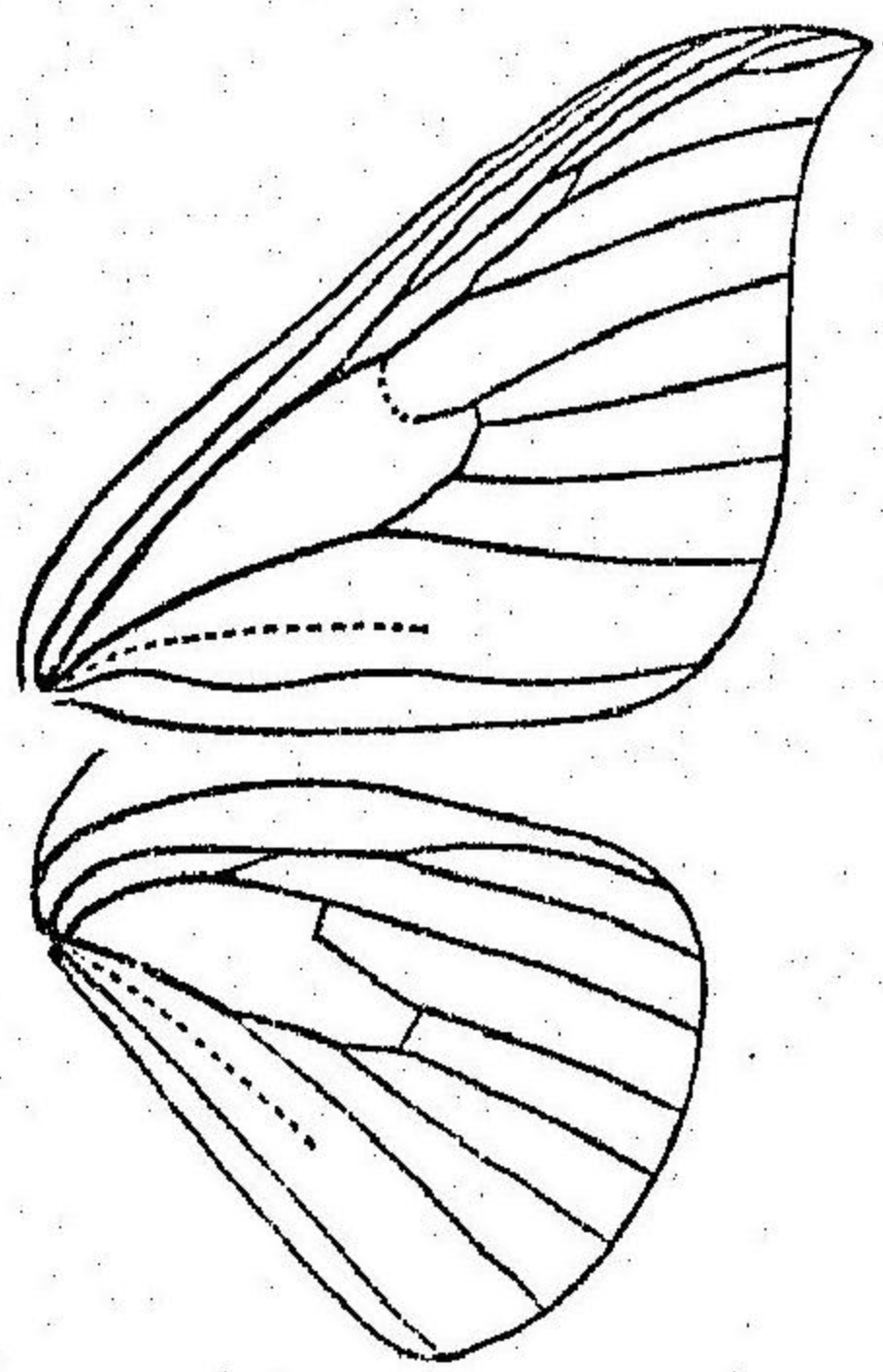
前翅ハ光輝アル赤褐色ニシテ、前縁黄色ヲ呈シ、中央ニく形ノ白條アリテ、内方ハ暗色ヲ伴ヘリ。後翅ハ光輝アル褐色ニテ、縁毛ハ白色ナリ。

第十八

鈎翅蛾科

Drepanidae

單眼ヲ有シ、複眼ハ球狀ヲ呈ス、觸角ハ櫛齒狀ヲナシ、唇鬚ハ短クシテ少シク上向シ、末節短クシテ多少尖レリ。前翅ノ7ト8脈トハ一タビ合シテ離ル、カ又ハ連合セリ、又10脈ハ8脈ヨリ支出セリ。



後翅ノ5脈ハ室ノ下角ニ近ク發シ、横脈ハ角ヲ有ス、6ト7脈トハ室角ノ前方ヨリ出デ、8脈ハ後方ニ曲リテ殆ンド7脈ニ接シ、或ハ觸接セリ。前翅ノ翅尖ハ尖リテ鉤状ヲ呈スルニヨリ著シ。幼蟲ハ裸體ニシテ多ク尾脚ヲ缺キ、尾節ハ通常長突起ニテ畢レリ。繭ハ葉ニ績グ。

二八四、くらすぢかきば *Oreta calida* But. (第三版第二圖)

翅ハ黄褐色或ハ褐色ニシテ暗色點ヲ散布シ、前翅ニハ黑色ノく形線二箇アリ。幼蟲ハ綠色ニシテ背部ニ褐色斑ヲ有シ、黄白又ハ白色線ヲ縱走セシメ、頭部ニ突起二箇ヲ、背部ニ數箇ヲ有シ、尾節ヨリ一本ノ尾様突起ヲ伸出ス。さんごじゆ、かますみ等ノ葉ヲ食フ。

二八五、きまだらかきば *Oreta calceolaria* But.

黄色ニシテ褐色點ヲ散布シ、前翅ニハ褐色斜廣帯ト外縁帯トヲ有シ、後翅ニモ褐色ノ廣帯アリ。幼蟲ハのぶごうヲ食フ。

二八六、きはだかきば *Oreta pulchripes* But.

暗褐色ニシテ紫紅色ヲ混ジ、灰色ヲ點ズ。前翅ニ二三ノ前縁點ヲ有シ、二箇ノ不正斜條有リテ、中央



圖六十八第 幼蟲ノばぎからするく

ニ銹色大斑アリ。頭部ハ鮮黄色ニシテ、腹部モ黄色ナリ。

二八七、ふたすぢかきば *Oreta turpis* But.

淡褐色ニシテ外縁部ハ黑色點ヲ散布シ、前翅ニ二箇ノ灰色條ヲ有ス。後翅ノ前縁部ハ淡色ニシテ、胸部ハ赤褐色、腹部ハ淡褐色、尾總ハ黄色ナリ。

二八八、きいろかきば *Drepana oroea* Leech. (第三版第十一圖)

黄色ニシテ褐色點ヲ散布シ、白色ノ室點アリ。前翅ノ中央ハ褐色ヲ帯ビテ外縁部ニ黒點數個ヲ有シ、其中二個大ニシテ、白色ノ新月形外圍ヲ有スルコトアリ。

二八九、やまごかきば *Platypteryx japonica* Moore.

紫灰色ニシテ兩翅共ニ褐色線ヲ有セル黄色斜條二箇ヲ有ス。

二九〇、うすぐろかきば *Platypteryx scabiosa* But.

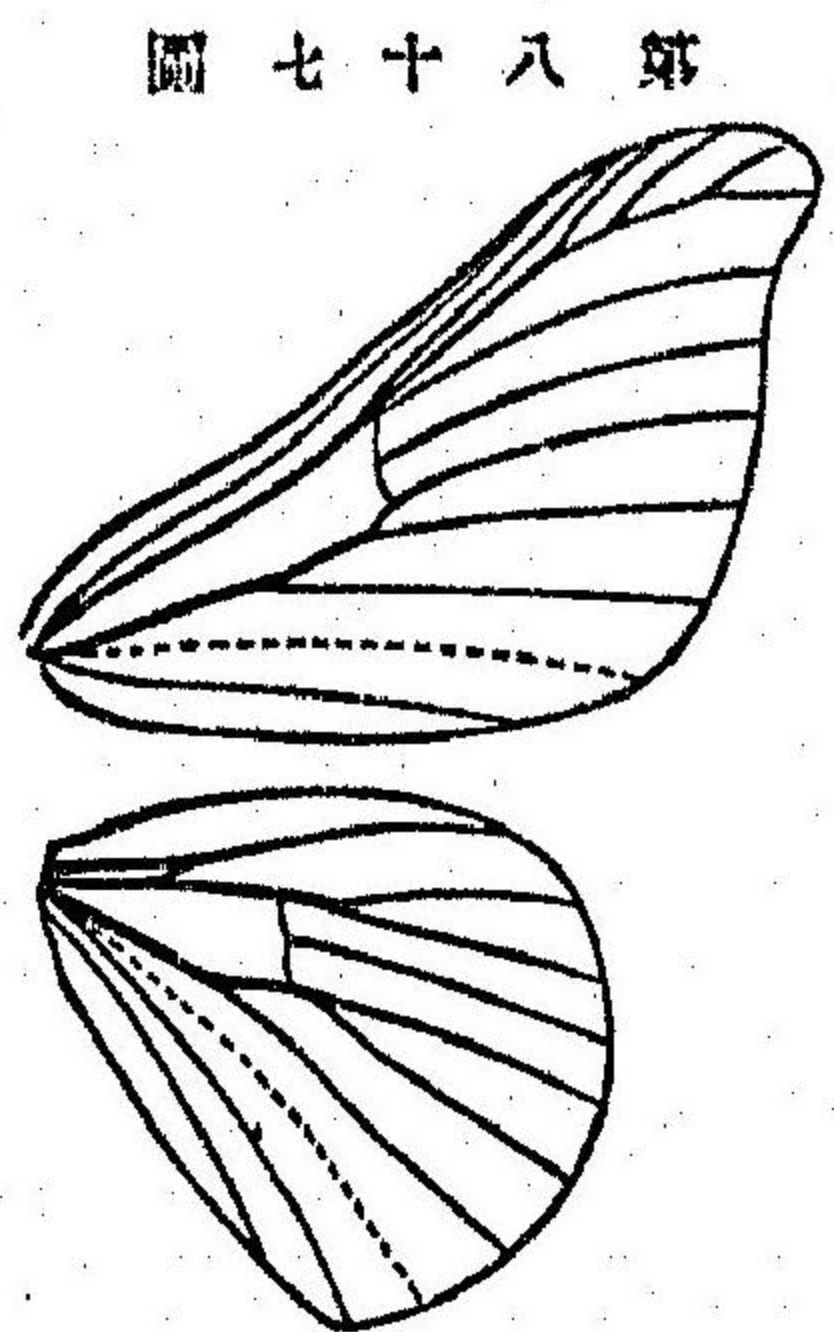
暗灰色ニシテ前翅ノ前縁ハ橙色ヲ呈シ、亞外縁線ハ濃色ニシテ、中央ニ不正ノ斑紋アリ。

二九一、あかうらかきば *Hypsonadius insignis* But. (第三版第八圖)

紫色ニ灰色ヲ帯ビ、暗色ノ細點ヲ散布シ、前翅ハ赤褐斜條翅尖ヨリ發シ、翅尖ニ近ク暗色斑アリ。後翅ニハ赤褐色ノ横線及ビ波形線アリテ、裏面ハ帶紫赤色ナリ。

第十九 蠶蛾科 Bombycidae

唇鬚甚ダ短クシテ、吻ヲ缺ク。觸角ハ櫛齒狀ヲ呈シ、腹部ハ後翅ヲ超過セリ。脚ハ發育シテ毛ヲ有シ、距ハ發育セズ。兩翅ノ5脈ハ共ニ横脈ノ中央ヨリ出デ、後翅ノ8脈ハ短條ヲ以テ7ト連接ス。卵ハ橢圓狀ニシテ龜甲形紋理ヲ有シ、幼蟲ハ裸體ニシテ第十一節ニ尾狀隆起ヲ有ス。絹絲ヲ績ギテ繭ヲ營ム。



脈翅ノらかたごまや

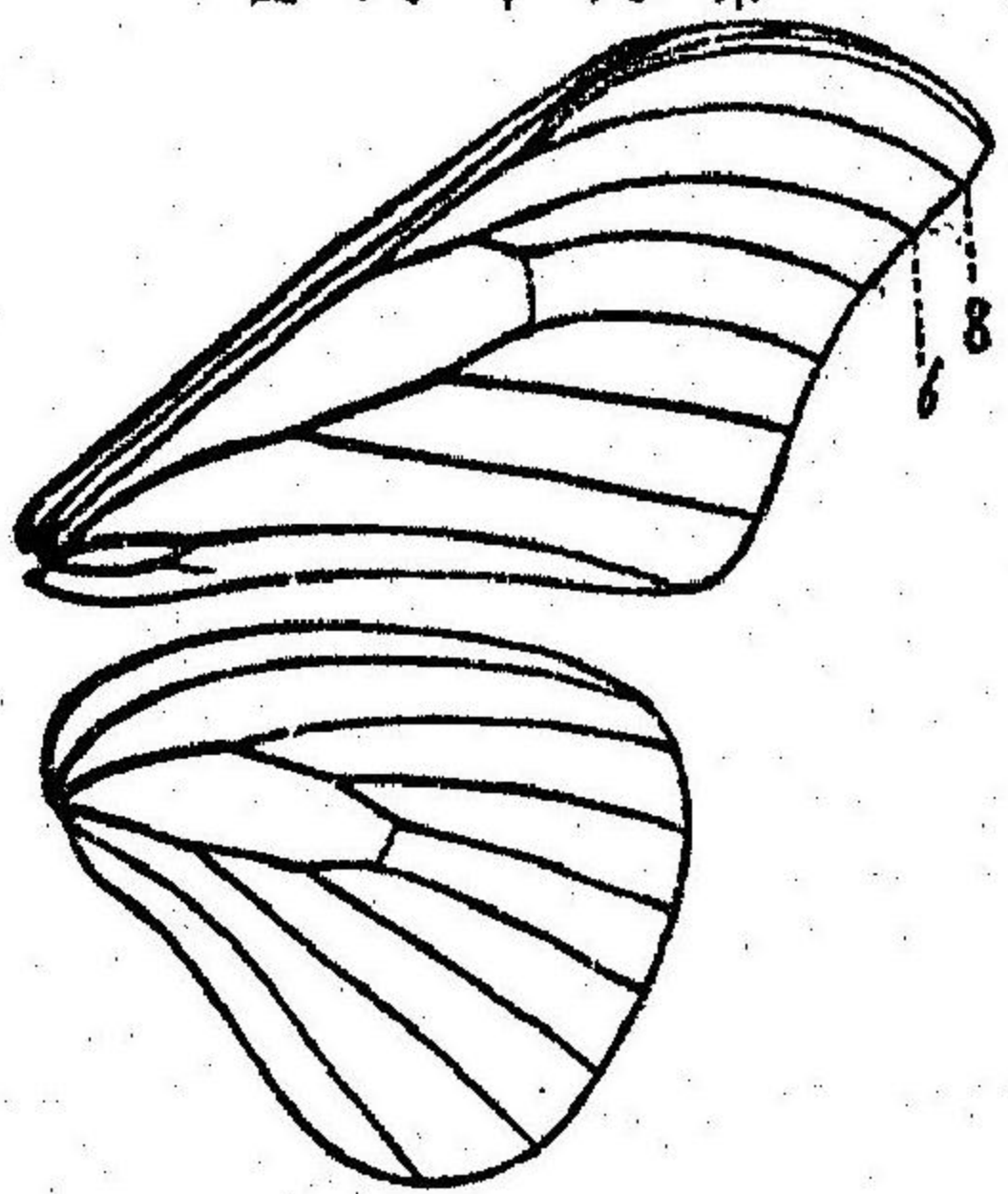
フ。絹絲ヲ績ギテ厚キ繭ヲ營ム。

二九三、やまとたからカイコ *Bombyx Mori L. var. mandarina Moore.*

暗褐色ニシテ、前翅ノ翅尖ニ近ク略三角形ノ濃色斑ヲ有シ、基部及ビ外縁部ニ濃色ノ弧線二箇アリ、此間ニ弦月形紋アリ。後翅ニモ弧線二箇アリテ往々帶狀ヲナス。幼蟲ハ家蠶ニ似テ前方膨大シ、桑葉ヲ食フ。

第二十 野蠶蛾科 Saturniidae

圖八十八第



脈翅ノきしにらか

大形ノ蛾ニシテ、頭部ハ密ニ毛ヲ生ジ、單眼ヲ缺キ、吻ハ發育セズ、觸角ハ兩櫛齒狀ニシテ、唇鬚ハ甚ダ短シ。體ハ密ニ毛ヲ有シ、後脚ノ脛節ニハ中距ヲ缺ク。前翅ハ11脈ノ基部又狀ヲ呈シ、7脈及ビ11脈ヲ缺ク。後翅ハ翅刺ヲ有セズシテ11脈ヲ缺キ、廣キ肩部ヲ有ス。卵ハ球狀ニシテ平滑。幼蟲ハ強大ニシテ疣狀突起ヲ有シ、多クハ毛ヲ有ス。卵形ノ繭ヲ營ミテ絹絲ヲ績ギ得ベキモノアリ。

二九四、やまとにしカイコ *Anthrenae yamamai Guer.*

翅ハ通常黃色ナレドモ往々綠褐色、赤褐色ヲ呈スルコトアリ

兩翅ニ透明圓紋ヲ有シ、殆ンド外縁ニ平行シテ褐色ト白色ト相半セル一横帶アリ。幼蟲ハ黃綠色ニシテ疣點ヲ有シ、其上ニ粗毛ヲ生ジ、側部ニ銀白點アリ。櫛、櫛等ノ葉ヲ食ヒ、綠黃色ノ繭ヲ營ム。繭ヨリ絹絲ヲ績ギ得ベシ。本邦固有ノ種ナリ。

二九五、からにしカイコ(柞蠶) *Anthrenae pernyi Guer.*

通常黃褐色ヲ呈シテ、前種ニ酷似ス。然レドモ多少翅尖ノ鋭キ觀アリ、且前種ハ一年一回ノ發生ナレドモ、此種ハ二回發生ス。明治十一年ノ頃支那ヨリ移植セシモノナリ。幼蟲モ前種ニ似テ、繭ハ黃色ナリ。